クラリオン株式会社
本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル：**0120 -112 -140**
(9：00～12：00・13：00～17：30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

280-8537-00

Printed in Japan　2007/5　QX-6702A-A/QX-6703A-A

ROAD EXPLORER HDD 5.0

MAX9700DT/MAX8700DT 取扱説明書

Clarion

取扱説明書

ROAD EXPLORER HDD 5.0

MAX9700DT

ワイド7型　VGA 2DIN HDD/DVD/MD
タッチパネル　AV-Naviシステム

MAX8700DT

ワイド7型　VGA 2DIN HDD/DVD
タッチパネル　AV-Naviシステム

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用の前に本書をよくお読みいただき、安全で快適なカーライフにお役だてください。
・お車をゆずられるときには、次のオーナー様のために、本書を車につけておいてください。また、暗証番号も解除し、目的地などの個人情報も削除してください。
・仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ナビゲーションシステムについて

ハイブリッドナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS（Global Positioning System：全地球測位システム）、ジャイロセンサーと車速センサーを使って車の移動量を検出する自律航法などによって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。
本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。
ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。
なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため（変更の場合を含めて）、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。
その際は、恐れ入りますが十分にご注意をくださいます様にお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

●基本操作ガイド
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの基本的な操作について説明しています。本機をお使いになる前に、この基本操作ガイドをよくお読みいただき、本機の基本操作を理解してください。

●取扱説明書：本書
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの操作と機能の詳細をご理解いただくため、項目別に説明しています。

●本機取付説明書
・お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。
※本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

本書の構成

この『取扱説明書』は、本機をさらに使いこなすためのものです。MAX9700DT/MAX8700DTの全ての機能を、機能の内容ごとに説明しています。仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ナビゲーション編

地図の見かたと操作
地図画面の操作方法、表示内容を説明します。

目的地を探す
目的地をいろいろな方法で探します。

ルートの設定と誘導
目的地までのルート設定や条件、誘導時の便利な機能などを説明します。

情報を利用する
渋滞を避けるために役立つVICS情報などの利用のしかたについて説明します。

AV編

ラジオを聴く
ラジオの操作方法を説明します。

地上デジタル放送のテレビを観る
テレビの操作方法を説明します。

DVD を観る／聴く
DVDの操作方法を説明します。

CD・MD・MP3・WMA を聴く
CD・MD・MP3・WMAの操作方法を説明します。

AV編

ミュージックキャッチャーを聴く
ミュージックキャッチャー・マイアルバムの操作方法を説明します。

アナログ録音する／ファイルを聴く
アナログ音源の録音・再生方法を説明します。

iPod を聴く／観る
本機にiPodを接続した場合の操作方法を説明します。

設定編

各種設定
ナビゲーションや音質の設定について説明します。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは
本機を譲渡や廃棄などで手放す場合のご注意について説明します。

便利な機能編

便利な機能(アクセサリー)の使いかた
さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明します。

困ったときに

困ったときに
操作方法などに困ったときにご利用ください。

付録

付　録
参考となる資料について説明します。

本書の見方

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。
本書をお読みになる前に、よく理解しておいてください。



ボタン
操作パネル上のボタンを表します。

お願い
お車や本体のために必ず守っていただきたいことです。

アドバイス
操作をする上で、本機を使いこなすためのアドバイスです。

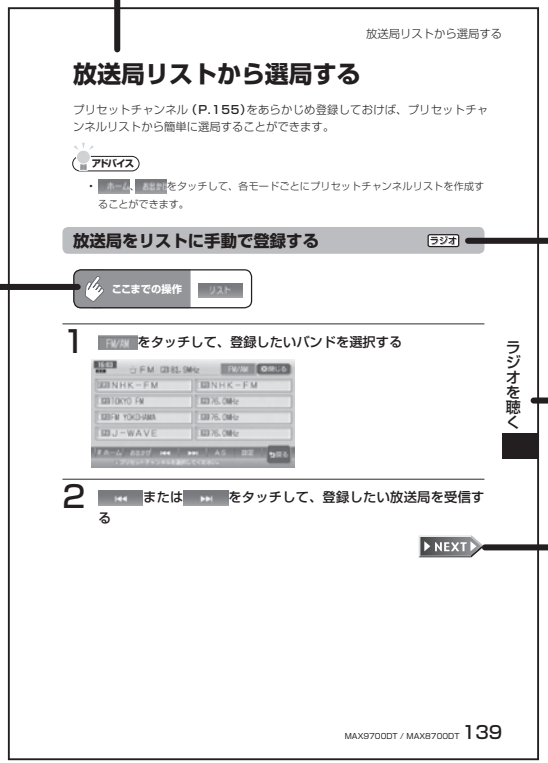
お知らせ
操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことです。

インデックス
章の内容を示すインデックスです。

参照ページ
参照先のページ番号を示しています。基本操作ガイドを参照させている場合は、**基-P.XX** と表記しています。

END
操作の終わりを表します。

タイトル
タイトルを表します。主に各操作方法で構成されています。



アイコン
画面上に表示されるキーを表します。

ソース名
この操作が適用できるソースを表します。

インデックス
章の内容を示すインデックスです。

NEXT
操作手順や説明が次ページに続くことを表します。

目次

地図の見かたと操作…… 17
現在地を表示する …… 18
地図を動かす（スクロール） …… 19
スクロール時の地図表示…… 20
地図を縮小、拡大する …… 21
スケールを細かく調整する…… 22
地図の向きを変える …… 23
地図の表示方法を変える …… 24
地図表示の種類…… 25
ルート誘導中の地図表示 …… 33
交差点の手前で出る表示…… 34
交差点表示…… 35
VICS情報画面 …… 37
VICS情報が表示された地図画面 …… 37
地図凡例一覧 …… 39
地図ランドマーク一覧 …… 41
目的地を探す…… 43
目的地を探すには …… 44
電話番号から探す …… 46
住所から探す …… 47
地名を入力して探す…… 49
施設の名前から探す …… 50
ジャンルから探す …… 51
キーワードを入力して探す…… 52
よく行く場所を目的地にする …… 53
よく行く場所をナビに登録する…… 53
登録リストから探す…… 55
登録リストを編集する…… 56
周辺の施設を探す …… 60
よく使うジャンルの施設を一括検索する…… 61
現在地・目的地・地図表示位置の周辺から探す…… 64
目的地周辺の駐車場を探す（駐車場ニアピン）…… 65
別の駐車場を探す（駐車場リレー検索）…… 66
ルート沿いの施設を探す…… 67
TV・雑誌の情報から探す …… 69
TV番組・雑誌の名前から探す …… 70

ジャンルから探す…… 71
周辺から探す…… 72
目的地の履歴から探す …… 73
その他の方法で探す …… 74
ハイウェイから探す…… 75
緯度経度で探す…… 79
郵便番号で探す…… 80
マップコードで探す…… 81
メモリーカードに登録した地点から探す…… 82
スクエアビューから探す…… 83
こんな画面が表示されたら …… 84
検索結果画面表示について…… 84
施設情報について…… 85
マップクリップ®を利用する …… 86
ルートの設定と誘導…… 87
目的地を設定したら… …… 88
設定したルートを変更する …… 90
ルートを再設定する…… 91
迂回したい場所を設定する…… 92
複数のルートを比べる…… 93
ルートの優先路・計算条件を変える…… 95
設定したルートを編集する…… 98
出発時刻ごとのルートを表示する…… 102
ルートを確認する…… 103
設定したルート上をデモ走行する…… 104
設定したルートを削除する…… 104
ルート上の情報を表示する …… 105
目的地の地図を表示する…… 106
次の案内地点を確認する…… 106
ルート上の渋滞を確認する…… 107
音声案内をもう一度聞く…… 107
ルート上の情報を確認する…… 108
情報を利用する…… 109
情報を見るには …… 110
FM VICS情報を利用する …… 111
VICS情報について …… 111
FM VICS情報を見る …… 113
FM VICS情報の種類 …… 115

ビーコンVICS情報を利用する …… 116
ビーコン情報について …… 116
ビーコンVICS情報を見る …… 118
ビーコンVICS情報の種類 …… 120
ラジオの交通情報を受信する …… 121
ハードディスク情報を見る …… 122
お車のメンテナンス時期を登録する …… 123
お知らせ設定をする …… 124
販売店情報を登録する …… 127
ETC情報を利用する …… 129
ETC画面表示について …… 129
ETC情報を見る …… 131
ETC料金を割り勘にする …… 133
静止画データを利用する（画像を探す） …… 134
静止画データを見る …… 134
スライドショーを見る …… 136
静止画データを編集する …… 137
電話を利用する …… 139
Bluetoothとは …… 139
携帯電話を登録する（ペアリング） …… 140
電話をかける …… 142
電話を受ける …… 148
携帯電話の登録と切り替え
（2台目以降を登録する場合） …… 149
電話の設定をする …… 152
ラジオを聴く …… 153
画面表示とタッチキーについて …… 154
選局する …… 156
自動選局する …… 156
手動で選局する …… 156
放送局リストから選局する …… 157
放送局をリストに手動で登録する …… 157
放送局をリストに自動で登録する（オートストア）
…… 158
放送局リストからチャンネルを選ぶ …… 159
放送局名を編集する …… 160
受信設定を変更する …… 161
受信エリアを切り替える …… 161

背景を設定する …… 162
リスト表示を設定する …… 163
カレンダーを設定する …… 163
写真を設定する …… 164
地上デジタル放送のテレビを観る …… 165
地上デジタル放送とは …… 166
12セグとワンセグについて …… 166
マルチチャンネル放送について …… 167
テレビ放送の受信について …… 168
アナログ放送からデジタル放送への移行について
…… 168
本体の名称とはたらき …… 169
接続のしかた …… 169
B-CASカードとは …… 170
B-CASカードについて …… 170
B-CASカードを台紙からはがす …… 170
B-CASカードを入れる …… 171
B-CASカードを抜く …… 172
画面表示とタッチキーについて …… 173
ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える …… 176
ワンセグ／12セグの自動切替機能について …… 176
バンドを切り替える …… 177
選局する …… 178
メイン／サブチャンネルを選局する …… 178
チャンネル番号を入力して選局する …… 179
番組表（EPG）から選局する …… 180
手動で選局する …… 180
放送局リストから選局する …… 181
放送局をリストに手動で登録する …… 181
放送局をリストに自動で登録する（オートストア）
…… 182
放送局リストからチャンネルを選ぶ …… 183
番組の詳細を表示する …… 183
データ放送を利用する（12セグ放送のみ） …… 184
緊急放送を観る（12セグ放送のみ） …… 185
音声を切り替える …… 186
地上デジタル放送の設定をする …… 187
優先エリアを切り替える …… 188

放送メールを表示する…… 189
B-CASカードのID情報を確認する …… 190
個人情報を初期化する…… 191
リモコンを使う …… 192
リモコンをセットする…… 192
リモコンの電池を交換する…… 192
リモコンの使いかた…… 193
リモコンボタンの名称とはたらき…… 194
DVDを観る／聴く …… 197
画面表示とタッチキーについて …… 198
再生する …… 201
ディスクが本機に入っている場合の再生方法…… 201
ディスクが本機に入っていない場合の再生方法… 201
再生を停止する…… 201
いろいろな再生方法 …… 202
タイトル／チャプター番号を選んで再生する…… 202
ディスクメニューを利用して再生する…… 203
スロー再生する…… 206
リピート、スキャン再生をする…… 207
字幕・音声・アングルを切り替える…… 208
初期設定を変更する …… 209
モニターサイズを切り替える…… 211
メニュー言語、音声言語、字幕言語を切り替える 212
パスワードを設定・変更する…… 213
パスワードを消去する…… 214
国別の視聴制限を設定する（カントリーコード）
…… 215
視聴制限を設定する（パレンタルレベル設定）… 216
再生状態表示を設定する…… 217
PURE MODEを変更する …… 218
ダイレクト操作の確認画面を表示する…… 219
アングルマークの表示時間を設定する…… 220
5.1chの音声を2chに切り替えて再生する …… 221
画面サイズを切り替える …… 222
CD・MD・MP3・WMAを聴く …… 223
画面表示とタッチキーについて …… 224
再生する …… 228
ディスクが本機に入っている場合の再生方法…… 228

ディスクが本機に入っていない場合の再生方法… 228
メモリーカードから再生する…… 228
いろいろな再生方法 …… 229
リストから選んで再生する…… 229
リピート、スキャン、ランダム再生をする…… 230
情報を表示する …… 232
トラックの情報を表示する…… 232
CD-TEXT/TAG情報を表示する …… 234
MDのグループ演奏を切り替える
（MAX9700DTのみ） …… 235
ミュージックキャッチャー® ・マイアルバムを聴く
…… 237
ミュージックキャッチャー®とは…… 238
ミュージックキャッチャー®に録音する…… 239
録音する前に必ずお読みください…… 239
タイトル表示について…… 239
録音についてのご注意…… 240
自動録音…… 241
手動録音…… 242
マイアルバムを作成する …… 243
画面表示とタッチキーについて …… 246
再生する …… 248
いろいろな再生方法 …… 249
リストから選んで再生する…… 249
アルバム名を選んで再生する…… 250
アーティスト名を選んで再生する…… 251
ジャンルを選んで再生する…… 251
最近聴いた曲を選んで再生する…… 252
アルバム番号を選んで再生する…… 253
トラック番号を選んで再生する…… 253
リピート、スキャン、ランダム再生をする…… 254
指定したアルバムを再生する…… 255
オートプレイリストを作成して再生する…… 256
類似曲を再生する…… 261
「探す」から聴きたい曲を選んで再生する …… 262
アルバム、トラックを編集する …… 263
アルバム情報を編集する…… 263
不要なアルバムを削除する…… 264

アルバムの再生順序を変更する…… 265
トラック情報を編集する…… 266
不要なトラックを削除する…… 267
トラックの再生順序を変更する…… 267
トラック情報を表示する…… 268
アナログ録音する／ファイルを聴く……269
アナログキャッチャーとは …… 270
アナログキャッチャーに録音する …… 271
録音する前に必ずお読みください…… 271
録音についてのご注意…… 272
録音する…… 273
画面表示とタッチキーについて …… 274
再生する …… 277
いろいろな再生方法 …… 278
リストから選んで再生する…… 278
スキップ再生する…… 279
情報を表示／編集する …… 280
トラックを編集する…… 280
アルバム／トラックを表示する…… 281
アルバムをクローズする…… 282
iPod®を聴く／観る ……283
接続できるiPod®…… 284
画面表示とタッチキーについて …… 285
再生する …… 287
いろいろな再生方法 …… 288
リストから選んで再生する…… 288
トラック番号を選んで再生する…… 288
リピート、シャッフル再生をする…… 289
条件を指定して再生する…… 290
情報を表示する …… 292
iPod®ビデオを観る…… 293
iPod®画面を設定する…… 295
各種設定……297
ナビゲーションの設定をする …… 298
画面の設定をする…… 300
地図上のアイコンの設定をする…… 302
走行軌跡の設定をする…… 304
ルート誘導時の地図の設定をする…… 308

ルート案内の設定をする…… 310
音声案内の設定をする…… 313
VICS情報の設定をする …… 316
その他の設定をする（自宅編集・登録地点編集・
自車位置の調整・カーソル表示…） …… 320
初期設定…… 330
ETCの設定をする …… 332
音質を設定する …… 334
スピーカーを設定する…… 336
接続しているスピーカーを設定する…… 339
フィルター調整をする…… 340
ドルビー PL Ⅱ を設定する …… 341
MUSICモードを微調整する …… 343
ポジションを設定する…… 344
タイムアライメントを調整する…… 345
スピーカーゲインを調整する…… 347
パラメトリックイコライザーを設定する…… 348
パラメーターを調整する…… 349
Z エンハンサーを設定する …… 352
音量バランスを調整する…… 353
映像を設定する …… 354
昼画面と夜画面を切り替える…… 354
ディスプレイの明るさを調整する…… 355
画質を調整する…… 356
ユーザーを設定する …… 357
ユーザーを選択する…… 357
途中でユーザーを切り替える…… 358
ユーザーを登録する…… 359
ユーザーを削除する…… 360
ユーザー情報を編集する…… 361
画面の表示色を設定する …… 365
オープニング画面を設定する …… 366
製品を廃棄・譲渡・転売するときは……367
データを消去（初期化）する …… 368
ナビゲーション内のデータ消去について…… 368
データを消去する…… 369
便利な機能（アクセサリー）の使いかた……371
本機に接続できる機器 …… 372

リモコンを使う（別売） …… 373
各部の名称と働き …… 373
リモコンの操作 …… 377
接続したビデオを観る …… 380
画面サイズを切り替える …… 381
リアモニターを使う（別売） …… 382
リアモニターに表示できる映像 …… 382
前席とリアモニターで別々のソースを選択する（2ZONE） …… 383
リアモニターの映像（後席ソース）を操作する … 387
リアカメラシステムを使う（別売） …… 388
リアカメラシステムの操作 …… 388
音声で操作するには（ボイスコントロール） …… 392
音声操作について …… 392
ボイスコントロールに入る …… 393
知っておきたい言葉 …… 394
正しく認識させるために …… 394
音声操作例 …… 395
メモリーカードを使う（別売） …… 398
使用可能なメモリーカード …… 398
メモリーカードのデータを編集する …… 400
困ったときに …… 417
自車位置がずれていたら …… 418
自車位置のずれを修正するには …… 418
3Dセンサーによる上下道路判定について …… 419
自車位置の精度について …… 420
故障かなと思ったら …… 423
ナビゲーション関連 …… 423
オーディオ関連 …… 424
リアカメラシステム …… 428
その他 …… 428
よくある質問について（Q&A） …… 429
エラーメッセージ一覧 …… 432
付録 …… 435
地図データについて …… 436
市街地図収録エリア一覧 …… 440
VICSシステムの問い合わせ先 …… 446
VICS情報有料放送サービス契約約款 …… 447

カントリーコード一覧 …… 450
ボイスコントロールで操作できる言葉 …… 452
ナビゲーションモードで操作できる言葉 …… 452
オーディオモードで操作できる言葉 …… 461
電話操作に関する言葉 …… 467
認識愛称に登録できる語句一覧 …… 467
対応メディア・対応ファイルについて …… 468
お手入れ …… 472
ディスクのお手入れ …… 472
本体のお手入れ …… 472
TVアンテナのお手入れ …… 473
保証書とアフターサービス …… 474
仕様 …… 475
構成内容 …… 476
商標について …… 477
暗証番号照会申込書 …… 480
索引 …… 481

Memo

地図の見かたと操作

地図画面の操作について説明しています。
地図を3Dで表示したり、向きを変えて
表示したりできます。

目次

現在地を表示する ……18
地図を動かす（スクロール）……19
地図を縮小、拡大する ……21
地図の向きを変える ……23
地図の表示方法を変える ……24
ルート誘導中の地図表示 ……33
VICS情報画面……37
地図凡例一覧 ……39
地図ランドマーク一覧 ……41

現在地を表示する

ナビゲーションの設定途中の画面、スクロール先の地図画面などやオーディオ画面であっても、現在地の地図画面を表示させることができます。

現在地の地図画面が表示されている状態で現在地を押すと、現在地の地名などを表示します。表示内容については、**「スクロール時の地図表示」（P.20）**をご覧ください。

1 現在地を押す



現在地の地図画面を表示します。

地図を動かす（スクロール）

地図を好きな方向に自由に動かすことができます。

スクロール地図の表示内容については、**「スクロール時の地図表示」（P.20）**をご覧ください。

1 見たい方向の画面の端をタッチする

画面をタッチすると、タッチした場所が画面のセンターに移動（スクロール）します。また、画面をタッチし続けると、タッチしている方向に地図が移動（スクロール）し続けます。

2D地図のスクロール



タッチポイントの目安
（表示はされません。）

3D地図のスクロール

や をタッチして、3D地図を回転表示することができます。



アドバイス

- 走行中は1ステップのスクロールとなり、連続したスクロールはできません。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

2 現在地の地図に戻るには、現在地を押す

スクロール時の地図表示

地図表示を移動（スクロール）しているときは、スクロール先の地名とマップコード（**P.81**）が表示されます。

スクロール先の地名表示は、スケールにより表示内容が変わります。

市街地図収録エリアの10m ～ 500mスケール：市区町村名＋町名＋丁目名

それ以外のスケール：都道府県名＋市区町村名

2D地図表示のとき



タッチすると地点メニューが表示され、目的地として設定できます。

タッチすると現在地を表示します。

3D地図表示のとき



アドバイス

- スクロール先の地名・マップコードなどは、非表示にすることもできます。
  詳しくは、**「スクロール位置情報表示」（P.300）**をご覧ください。

地図を縮小、拡大する

10mスケールの詳細な市街地図から、256kmスケールの日本全国地図まで、16段階に拡大／縮小して表示します。

2画面で表示している場合は、左地図のスケールが変更されます。右地図のスケールを変更するには、**「2画面表示時の右地図を操作する」（P.28）**をご覧ください。

お知らせ

- 道路拡張などで幅員が変更された道路については、表示された地図と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示しない場合があります。

1 **地図を広く見たい場合は広域を押す**

詳しく見たい場合は詳細を押す



スケールバー

画面下にスケールバーが表示されます。

■市街地図エリアの地図尺度（16段階）

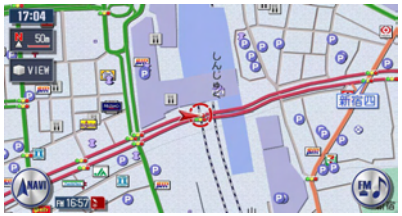
市街地図：10m、25m、50m

通常地図：50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、8km、16km、32km、64km、128km、256km

■市街地図がないエリアの地図尺度（15段階）

通常地図：10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、8km、16km、32km、64km、128km、256km

通常地図50m



市街地図50m



お知らせ

- 市街地図の表示中に、車が市街地図の収録エリア外に出たときは、同じスケールの通常地図で表示されます。
- 市街地図の表示中に、市街地図と通常地図の境界付近を走行中の場合には、市街地図収録エリア外の部分がグレーの背景で表示されます。
  このような状態が続く場合には、広域でスケールを切り替えて通常地図にしてください。

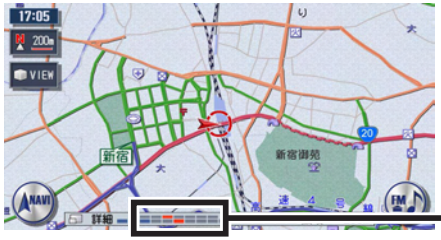
スケールを細かく調整する

お知らせ

- 市街地図50mスケールと通常地図50mスケールの間、および256kmスケールはこの操作はできません。

1 広域か詳細を押し続ける

スケールを細かく設定できます。



詳細なスケールが表示されます。

地図の向きを変える

地図の向きを進行方向上向き（ヘディングアップ）、または北方向上向き（ノースアップ）に変更できます。
3D地図では、地図の向きは変更できません。

1 方位マークをタッチする

タッチするたびに、地図の表示方向が進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

：進行方向上向き
（ヘディングアップ：H-UP）



：北方向上向き
（ノースアップ：N-UP）



2画面表示では、右地図の方位マークにタッチして、右地図の向きを変更できます。

地図の表示方法を変える

地図の表示方法を変更できます。

1 VIEWをタッチする

2 表示方法をタッチする



選択した表示方法で地図が表示されます。
現在選択可能な表示方法のタッチキーのみが表示されます。

タッチキー	機能の内容	参照ページ
1画面	画面を分割しないで表示する（通常の地図画面）	P.25
2画面	画面を左右同じ大きさに分割して表示する	P.25
AV2画面	ナビ画面とオーディオ画面に分割して表示する	P.25
2D地図	平面地図を表示する（通常の地図画面）	P.26
3D地図	地図を立体的に表示する	P.26
抜け道表示	抜け道表示のON/OFFを切り替える	P.308
シティ	ルート誘導中にシティモード画面に切り替える	P.26
ハイウェイ	高速道路およびハイウェイモード対象の有料道を走行中にハイウェイモード画面に切り替える	P.26
スクエアビュー	対象エリアを走行中にスクエアビュー画面に切り替える	P.27
VIEW設定	地図表示に関する設定メニュー画面を表示する	P.308
軌跡の保存	表示中の軌跡を保存する	P.305
保存軌跡の表示	保存された軌跡を表示する	P.306

地図表示の種類

1画面



画面を分割しないで表示します。

2画面



画面を左右に分割にして表示します。

- 右画面のスケール変更、向きなどの切り替えができます。→P.28
- 割り込み表示などは左画面に表示されます。
- スクロールなどの操作は左画面で行います。

AV2画面



画面をナビとオーディオで分割して表示します。

- メニュー操作時などは、一時的に解除されます。
- VICSアイコンの文字情報は表示されません。
- 映像画面の大きさの変更→P.28

2D地図



平面地図を表示します。

3D地図



立体地図を表示します。地図スケールを市街地図にすると、ビルなどの建物は立体表示されます。

- 視点の高さを調節できます。→P.309
- 空に星座を表示できます。→P.300

ハイウェイモード



高速道路およびハイウェイモード対象の有料道を走行中に表示されます。
IC、ランプ、JCT出口までの合計料金などの情報も表示されます。
詳しくはP.29をご覧ください。

- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

シティモード



ルート誘導時、一般道を走行中に表示されます。
1～3つ先の案内地点の情報、目的地および目的地までの料金を表示します。詳しくはP.32をご覧ください。

スクエアビュー



一般道および都市高速道路走行中の画面を、リアルな3D実写風景で表示します。
詳しくはP.32をご覧ください。

- 建物の形状や位置は、実際のものと異なる場合があります。
- 高架道路が正しく表示されないことがあります。

2画面表示時の右地図を操作する

■右地図を縮小、拡大する

1 右地図をタッチし、広域か詳細を押す



アドバイス

- 3D地図をタッチした場合は、角度調整をタッチして視点の角度を調整することもできます。(P.309)

2 戻るをタッチする

通常の2画面表示に戻ります。
しばらく操作しなくても、自動的に通常の2画面表示に戻ります。

END

■右地図の向きを変える

1 方位マークをタッチする

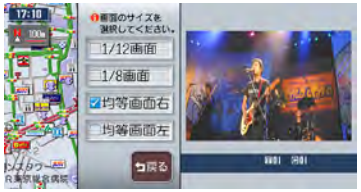


タッチするたびに、地図の向きが切り替わります。

END

映像画面の大きさを変更する

1 映像画面をタッチし、希望の大きさをタッチする



1/12画面



1/8画面



均等画面右



均等画面左



アドバイス

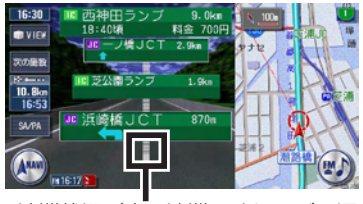
- 1/12画面と1/8画面の映像は常に右上に表示されます。
- AVを押すと、映像が全画面表示となります。元に戻すには、AVか現在地を押します。

ハイウェイモードの表示について

ハイウェイモードの画面は、以下の場合のみ自動的に表示されます。

- ハイウェイモード自動切替（P.308）が「する」に設定されている
- 目的地が設定されている
- 高速道路、都市高速道路、一部の有料道を走行している

以上の条件を満たしていない場合は、P.24を参照してVIEW選択画面から手動で表示させてください。



渋滞状況（赤：渋滞、オレンジ：混雑）が表示されます。

- 次の施設、前の施設をタッチすると、前後の施設情報を表示します。元に戻るには、戻るをタッチします。
- 施設名称をタッチすると、施設の種類に応じてSA/PA図、分岐図、またはETCレーン情報が表示されます。
- 右地図は常にH-UPで表示され、スケール変更と2D/3D切り替えができます。
- 通常の地図画面に戻るには、現在地を押します。
- VICSの規制アイコンは、最大8個まで表示されます。

お知らせ

- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、出口までの料金は表示されません。
- オートリルート（P.311）すると、ハイウェイモードは一時的に解除されます。
- 一部の有料道、または変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引などの変則的な料金体系には対応しておりません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金にしたがってお支払いください。

■SA/PA図

サービスエリアやパーキングエリアの2km手前で、施設情報が自動的に表示されます。

通常のハイウェイモード画面で、SA/PAの名称をタッチしても情報を表示することができます。

SA/PA図から通常のハイウェイモード画面に戻るには、路線図をタッチします。



SA/PA図の表示マークは、下記の通りです。

マークのデザインおよび名称などは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

- スナックコーナー
- お土産コーナー
- 休憩所
- レストラン
- ハイウェイ情報ターミナル
- スマートインターチェンジ
- インフォメーション
- FAX
- ポスト
- 障害者用トイレ
- トイレ
- 宿泊・休憩施設
- お風呂
- コインランドリー
- キャッシュディスペンサー
- シャワー
- セブンイレブン
- ファミリーマート
- サンクス
- サークルK
- ミニストップ
- デイリーヤマザキ
- マクドナルド
- ロッテリア
- モスバーガー
- 吉野家
- ミスタードーナツ
- 小僧寿し
- モービル石油
- 九州石油
- エネオス
- キグナス石油
- ゼネラル石油
- 昭和シェル石油
- 出光
- エッソ石油
- コスモ石油
- JOMO
- その他ガソリンスタンド

■スマートインターチェンジについて

SAやPAなどから一般道への出入りが可能なETC専用のインターチェンジをスマートインターチェンジ（スマートIC）と呼びます。

情報をタッチして表示されるサービス情報に、スマートICのアイコン表示があればスマートICが設置されています。



お知らせ

- ETCユニットを搭載していない車両は、スマートICを通行できません。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所もあります。営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますので、ご利用の際はご注意ください。

■分岐図

ジャンクションまたは高速道路／有料道路の出口の2km手前にさしかかると、分岐図が自動的に表示されます。分岐図が表示されるのは、目的地が設定されている場合のみです。

分岐図はあくまでもイメージであり、実際の形状とは異なる場合があります。

分岐点から通常のハイウェイモード画面に戻るには、路線図をタッチします。



■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。支払が発生する場合は、同時に料金が音声で案内されます。

ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。



お知らせ

- ETCレーン図は、表示されない場合があります。
- ETCレーン図は、ETC未接続時にも表示されます。

■料金案内について



料金所がある場合に料金が表示されます。

シティモードの表示について

シティモードの画面は、以下の場合のみ自動的に表示されます。

- シティモード自動切替(P.308)が「する」に設定されている
- 目的地が設定されている
- 一般道を走行している

以上の条件を満たしていない場合は、P.24を参照してVIEW選択画面から手動で表示させてください。



- 前の案内、次の案内をタッチすると、前後の案内地点の情報を表示します。元に戻るには、戻るをタッチします。
- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 右地図は常にH-UPで表示され、スケール変更と2D/3D切り替えができます。
- 通常の地図画面に戻るには、現在地を押します。

スクエアビューの表示について

スクエアビューの画面は、以下の場合のみ自動的に表示されます。

- スクエアビュー自動切替(P.308)が「する」に設定されている
- 目的地が設定されている
- 対象エリアを走行している

以上の条件を満たしていない場合は、P.24を参照してVIEW選択画面から手動で表示させてください。



- 高速道路と一般道が近接している場合は、スクエアビューが表示されなかったり、走行していない道路のスクエアビューが表示される場合があります。
- スクエアビュー表示中に対象外のエリアに入ると、スクエアビューは終了します。
- 高速道路のスクエアビュー表示は、目的地が設定されている場合のみです。
- 一般道のスクエアビュー表示中は、方面看板は表示されません。
- 右地図はスケール・向き変更・2D/3Dの切り替えができます。
- 通常の地図画面に戻るには、現在地を押します。

ルート誘導中の地図表示

目的地を設定し、ルート誘導を開始したときに表示されます。

自車位置から目的地までのルート距離

ルート外を走行中は、目的地までの直線距離が表示されます。



※1 **「到着予想渋滞考慮」(P.311)**が「しない」に設定されていると、到着予想時刻は**「到着予想速度設定」(P.312)**で定めた平均速度で計算され、統計渋滞情報データは用いられません。

※2 次の案内地点情報は、入口や出口までの距離が近いときや、案内すべき交差点が付近にある場合には表示されない場合があります。

交差点の手前で出る表示

交差点の700m手前からレーンガイド、方面看板案内を表示します。

各画面とも、案内消しをタッチすると、表示案内を消します。

レーンガイドと方面看板案内の表示／非表示を切り替えることができます。詳しくは、**「ルート案内の設定をする」（P.310）**をご覧ください。

レーンガイド



方面看板案内



レーンガイド＋方面看板案内



アドバイス

- 案内地点でない交差点でもレーンガイドが表示されます。

交差点表示

ルート誘導中の交差点表示を「拡大」、「オートスケール」、「地図」から選択できます。

各画面とも、拡大消しまたはイラスト消しをタッチすると、通常の地図画面に戻ります。

「拡大」、「オートスケール」、「地図」のどのモードの場合にも、都市高速道路の入口約300m手前ではイラスト表示して案内します。（道路形状などの条件により、表示できない場合もあります。）

交差点表示の設定については、**「ルート案内の設定をする」（P.310）**をご覧ください。

■「拡大」

交差点や都市高速入口の約300m手前で、拡大して案内します。

交差点の手前



都市高速入口の手前



立体交差点の手前



■「オートスケール」
交差点の約300m手前で100mスケールに、約140m手前で50mスケールに変わり、表示案内します。

100mスケール



50mスケール



サイドワイド機能について



「オートスケール」誘導の場合に、進行方向上向きで地図を表示していると、約300m手前で曲がる方向を広く表示するように地図が左右に移動します（サイドワイド機能）。ただし、方面看板が表示されているときの左折案内では、地図は移動しません。

■「地図」
表示されている地図のまま表示案内します。



VICS情報画面

VICS情報とは、NHK-FMなどのFM文字多重放送を受信して表示される、交通などの情報です。
詳しくは、「FM VICS情報を利用する」（P.111）をご覧ください。

VICS情報が表示された地図画面



文字表示
すべてのスケールで表示します。（地域によっては、文字情報は発信されない場合があります。）

渋滞情報を線で表示
赤色：渋滞（1km以下のスケールで表示）
オレンジ色：混雑（1km以下のスケールで表示）
緑色：順調（市街地図を除く200m以下のスケールで表示）

受信マーク表示
FM多重放送と、光・電波ビーコンの情報提供時刻を表示します。

駐車場表示
1km以下のスケールで表示

地図をスクロールしてカーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。



カーソルの置かれたアイコンの情報が表示されます。

VICS情報の受信マーク

FM多重放送情報　　光・電波ビーコン

VICS情報のランドマーク

事故	故障車	障害物・路上障害	工事
凍結	作業	通行止・閉鎖	片側交互通行
チェーン規制	進入禁止	駐車場・SA/PA 空車	駐車場・SA/PA 満車
駐車場・SA/PA 混雑	駐車場・SA/PA 不明	駐車場・SA/PA 閉鎖	対面通行
車線規制	その他の情報・規制	徐行	入口閉鎖
大型通行止め	入口制限	速度規制 10km/h	速度規制 20km/h
速度規制 30km/h	速度規制 40km/h	速度規制 50km/h	速度規制 60km/h
速度規制 70km/h	速度規制 80km/h		

地図凡例一覧

凡例の色は、印刷の都合上、本機で表示される色と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

市街地図凡例

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

	街区(A)		学校の敷地
	街区(B)		工場の敷地
	街区(C)		駅（地上）
	街区(D)		官公署
	街区(E)		病院
	街区(F)		学校
	水系		鉄道敷地
	工場の敷地		ランプ出口、ランプ入口の矢印
	高層集合住宅		歩道
	工場・銀行・ビル・タンク・舗装地		庭園路
	トンネル		その他道路
	一般装飾線 道路の地下部分		有料道路
			中央分離帯
	都道府県界･郡･市（指定市含む）･町･村・支庁界・町名・字界/町（丁）・大字界		娯楽デパート
			ホテル
			植栽地
	水門		山林
	料金所		芝生などその他緑地
	市街地図背景		堤外地、湿地
	フェリー航路/その他旅客線航路		路線
	砂地		ビル等
	一般国道、主要地方道		一般家屋
	舗装地その他敷地		一方通行
	病院の敷地		

一般地図凡例1

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

	都市間高速道路		フェリー航路・航路（※）
	都市高速道路		抜け道
	有料道路・準都市高速道路		0m以上1000m未満
	国道		1000m以上1500m未満
	主要地方道		1500m以上2000m未満
	都道府県道		2000m以上2500m未満
	幹線		2500m以上3000m未満
	その他案内道		3000m以上3500m未満
	導入路		3500m以上4000m未満
	細街路1		
	細街路2		

※フェリー航路・航路は、3D地図では表示しません。

一般地図凡例2

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

	水系		公立図書館、美術館・博物館、文学館、科学館・資料館、ホール・劇場・文化施設
	市街地		
	ポリゴン内地面		
	公園、庭園、緑地、植栽地、山林、牧場、観光果樹園、観光牧場、観光農園		都道府県庁、市役所、町村役場、区役所、青年の家、官公署、裁判所、森林管理所の敷地、保健所、皇室施設、その他の公共施設、公民館
	工場の敷地、墓地、病院の敷地、その他の宗教施設、体験・学習館		病院
	射撃場、乗馬、サイクルスポーツセンター、ゴルフ練習場、その他スポーツ施設、総合スポーツ公園、陸上競技場、野球場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート		警察署
			ホテル・公共宿泊施設
			道の駅
			駅
			駐車場
	鉱山・砂地		高層集合住宅
	学校、テーマパーク、史跡・名勝、天然記念物、陵墓、動物園、植物園、水族館、遊園地、総合リゾート		私鉄、モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ
			新幹線、JR線、第3セクター、貨物線、鉄道側線部
	堤外地、湿地		
	空港の敷地、民間飛行場の敷地、ヘリポートの敷地、自衛隊、米軍		私鉄、地下鉄（地上）路線、モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ
	工場、鉄道、その他鉄道施設、その他施設、発電所・変電所、刑務所、研究所、浄水場・終末処理場、倉庫、公設の研究所		防波堤
			国境線、都道府県界、郡・市（指定市含む）・町・村・支庁界
	その他の娯楽施設、展望台、健康ランド、ボウリング場、体育館、ヨットハーバー・マリーナ、競艇場、物産館・観光市場、専門店、市場、複合商業施設、飲食店・レストラン、ショッピングセンター、スーパー、DIY、百貨店、温泉		

地図ランドマーク一覧

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

都道府県庁	企業・法人・その他公的施設・工場・研究所など	キャンプ場
市役所・区役所		スキー場
町役場・村役場・その他役所関係	ホテル	総合スポーツ公園
官公署	公共宿泊施設	美術館
裁判所	デパートなど	陵墓・博物館など・その他宗教施設
空港・民間飛行場	ショッピング街	図書館
ヘリポート	衣料品店	ホール
フェリー乗り場	駐車場	牧場・観光牧場
灯台	道の駅・旅の駅	競輪・競馬・競艇
港	JA	主要都市
インターチェンジ／ランプ	クラリオン関連会社	温泉
	城・城跡	銭湯
スマートインターチェンジ	寺院	公園・庭園
	神社	史跡・名勝
サービスエリア	教会	霊園・墓地
パーキングエリア	ゴルフ場	海水浴場
料金所（高速・有料道）	ゴルフ練習場	山岳
信号機	遊園地	コスモ石油
トンネル	テーマパーク	JOMO
関係者以外立入禁止区域	動物園	出光
	植物園	エネオス
警察署	水族館	エッソ石油
駐在所・交番	プール	九州石油
消防署	観光遊覧船乗り場	昭和シェル石油
刑務所	健康ランド	キグナス石油
病院	展望台	ゼネラル石油
大学	ボーリング場	モービル石油
短期大学	スタジアム・スポーツ施設	その他ガソリンスタンド
高校・高専	野球場	ファミリーマート
中学校	テニスコート	ローソン
小学校	乗馬	セブンイレブン
幼稚園	ヨットハーバー・マリーナ	サークルK
保育園	体育館	サンクス
その他学校	モータースポーツ施設	ミニストップ
郵便局	サイクルスポーツセンター	デイリーヤマザキ
自衛隊	射撃場	セーブオン
米軍	その他スポーツ施設	セイコーマート

	ポプラ		三井住友銀行		ニッサンレンタカー
	スリーエフ		三菱東京UFJ銀行	Budget	バジェットレンタカー
am/pm	am/pm	MIZUHO	みずほ銀行		ジャパンレンタカー
	ヤマザキYショップ		その他金融機関		トヨタレンタリース
	ショップ99	HONDA	HondaCars		マクドナルド
	その他コンビニエンスストア		スバル		モスバーガー
Royal Host	ロイヤルホスト	NISSAN	日産レッドステージ		ケンタッキーフライドチキン
	デニーズ	NISSAN	日産レッド&ブルー		吉野家
	すかいらーく	NISSAN	日産ブルーステージ		ロッテリア
	ガスト		マツダ	First Kitchen	ファーストキッチン
	ジョナサン		アンフィニ		ミスタードーナツ
	バーミヤン		マツダオートザム		CoCo壱番屋
	藍屋		スズキ		小僧寿し
夢庵	夢庵	ISUZU	いすゞ		その他ファーストフード
CASA	CASA		ダイハツ	SEIYU	西友
	リンガーハット		トヨタ	JUSCO	ジャスコ
COCO'S	COCO'S		ネッツトヨタ		ダイエー
Joyful	ジョイフル		レクサス		イトーヨーカドー(堂)
	その他ファミリーレストラン		三菱自動車		丸井
	オートバックス		三菱ふそう		高島屋
	スーパーオートバックス		日産ディーゼル		三越
	イエローハット		日野自動車		スーパー・商業施設など
COCKPIT	コクピット		フォード		ディスカウントストア
タイヤ館	タイヤ館	ヤナセ	ヤナセ		家電店
	オートテック		フォルクスワーゲン		DIY
	オートハローズ		アウディ		各種学校
	オートアールズ		その他カーディーラー		NTT
タイヤセレクト	タイヤセレクト		エックスレンタカー		結婚式場
	ジェームス		オリックスレンタカー		マンション
	その他カー用品店		ニッポンレンタカー		
	りそな銀行・埼玉りそな銀行		マツダレンタカー		
			ジャパレン		

ナビゲーション編

目的地を探す

本機では、さまざまな方法で目的地を
検索できます。

目次

目的地を探すには ……44
電話番号から探す ……46
住所から探す ……47
施設の名前から探す ……50
ジャンルから探す ……51
よく行く場所を目的地にする ……53
周辺の施設を探す ……60
TV・雑誌の情報から探す ……69
目的地の履歴から探す ……73
その他の方法で探す ……74
こんな画面が表示されたら ……84

目的地を探すには

本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探し出すことができます。

1 探すを押す

2 目的地を検索する方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
電話番号	目的地の電話番号を入力して探す	P.46
住所	住所を入力して探す	P.47
施設名称	行きたい施設の名称を入力して探す	P.50
ジャンル	大／中分類からジャンルを選択し、選択したジャンルに該当する施設を探す	P.51
登録リスト	登録リストから探す	P.55
周辺検索	自車位置や目的地などの周辺の施設を探す	P.60
TV・雑誌	TV番組や雑誌で紹介されたお店などを探す	P.69
最後の地図	過去に表示した地図の地点を探す	P.73

タッチキー	検索の内容	参照ページ
FUN RING	FUN RINGメニューから目的地を探す	基-P.84
その他の方法	・ハイウェイから探す ・緯度経度で探す ・郵便番号で探す ・マップコードで探す ・メモリーカードに登録した地点から探す ・スクエアビューから探す	P.75 P.79 P.80 P.81 P.82 P.83
自宅へ戻る	自宅として登録した地点を目的地として設定する	—

アドバイス

・走行中は、選択できる項目が限定されます。

電話番号から探す

目的地の電話番号を入力して、その番号の施設を検索できます。

お知らせ

- 携帯電話・PHSの番号は検索対象外です。
- データの整備状況により、検索できない施設やできても位置がピンポイントではない施設があります。
- ピンポイントではない施設の場合には警告音と共に「ピンポイントのデータではありません…」とメッセージが数秒表示された後、地図を表示します。その場合の地図位置はあくまでも、おおよその位置であり、施設位置とは異なりますので十分ご注意ください。
- 電話番号に該当する候補が複数検索された場合は、リストが表示されるので目的の施設を選択してください。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ 電話番号

1 目的地の電話番号を市外局番から入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

■個人宅を検索する場合

- 入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。名字を入力して 決定 をタッチしてください。
  名字とデータが一致していれば、地図と地点メニューが表示されます。一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
- 個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読み方で登録されている場合があります。

住所から探す

全国の住所データから、目的地を検索できます。住所がわからない場合は、地名を文字入力して位置を検索することもできます。

お知らせ

- 住所データの整備状況により、一部検索できない住所があります。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ 住所

1 目的地の都道府県をタッチする



アドバイス

- 地名を入力 をタッチして、地名から検索することもできます。
- 近隣県 をタッチすると、自車位置周辺の都道府県のみをリスト表示します。

2 市区町村、丁目、番地、号の順に選択してタッチする



NEXT

番地入力 ：番地・号を数字で直接入力できます。
入力後は 決定 をタッチしてください。

MAP ：選択した場所の地図と地点メニューが直接表示されます。
目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

地名を入力して探す

都道府県名や市町村名が分からなくても、地名から位置を検索できます。



1 地名を入力して 決定 をタッチする



地名の途中までででも検索できます。

2 目的の地名を選択してタッチする



3 番地・号をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

施設の名前から探す

行きたい施設の名称から、位置を検索できます。

アドバイス

- 施設名称の一部からでも検索できます。入力途中で検索対象が絞られた場合は、自動的に施設リストが表示されます。ただし、すべての施設を省略した名称で検索できるわけではありませんので、できるだけ正式名称で入力してください。
- 入力文字数が少ないと、対象件数が膨大となるため、入力した文字に完全に一致する施設のみがリスト表示されます。入力文字数を多くすることにより、部分一致する施設まで検索できるようになります。

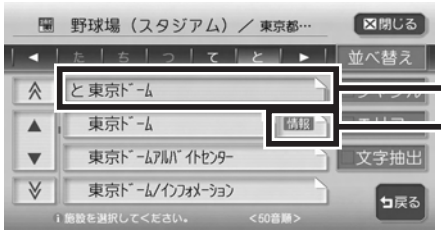
ここまでの操作 探す ▶▶▶ 施設名称 あ

1 施設名を入力して 決定 をタッチする



入力文字から予想される変換候補を表示します。**(基-P.104)**

2 目的の施設を選択してタッチする



施設に専用駐車場または契約駐車場がある場合は、施設名称の下に駐車場名が表示される場合もあります。

施設の情報が表示されます。**(P.85)**

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

END

ジャンルから探す

「食べる・飲む」「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択し、選択したジャンルに該当する施設が検索できます。ジャンルがよくわからない場合は、目的の施設に関連するキーワードから検索することもできます。

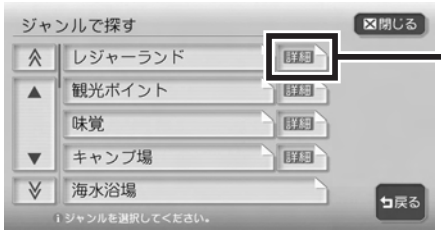
ここまでの操作 探す ▶▶▶ ジャンル

1 目的の施設のジャンル（大分類）を選択してタッチする



施設リストが表示されるまで、同様の手順を繰り返します。
該当件数の多いジャンルを選択した場合は、都道府県や市区町村の選択画面が表示されます。

2 目的の施設のジャンル（中分類）を選択してタッチする



小分類のジャンルのリストが表示されます。

3 目的の施設を選択してタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

END

キーワードを入力して探す

お好みのジャンルが見つからない場合は、キーワード入力からジャンルを特定することができます。
キーワードを入力すると、大分類、中分類、小分類に分類されていない多くのジャンルを選択することができます。



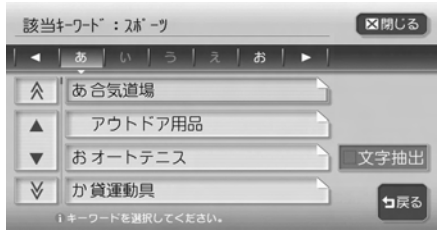
1 施設のキーワードを入力して 決定 をタッチする

キーワードの入力途中で検索対象が絞られた場合や、すべて同じ名称の場合には、入力中でも自動的にリストが表示されます。

アドバイス

- 検索の結果で、一部施設の収録件数が少ないジャンルもあります。その場合は、別の類似名称のジャンルにデータが含まれていることがあります。

2 目的のジャンルを選択してタッチする



施設リストが表示されるまで、お好みのジャンルをタッチします。

3 目的の施設を選択してタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

よく行く場所を目的地にする

登録リストに登録されている地点から、目的地を検索できます。

よく行く場所をナビに登録する

地図に表示されている場所や目的地として設定した場所を、本機に500件まで登録しておくことができます。
登録した場所は、登録リストから簡単に検索できます。また、登録リストの中から特によく行く場所を1グループにつき16か所選んで、マイリストとして保存しておくことができます。

アドバイス

- 本機内の登録地点をメモリーカードに書き出すことができます。詳しくは**「登録地点の取り込み／書き出し」（P.411）**をご覧ください。
- 目的地として設定した地点は、自動的に本機に登録されます。自動的に登録しないように設定することもできます。詳しくは、**「その他の設定をする-計算と同時に地点登録」（P.321）**をご覧ください。

登録リストに登録する

アドバイス

- 登録リストに登録された地点の名称や位置は、あとで修正することもできます。詳しくは**「登録リストを編集する」（P.56）**をご覧ください。
- 本機お買い上げ時には、一度目的地として設定した地点を自動的に登録リストへ登録する設定になっています。この設定を解除することもできます。詳しくは**「その他の設定をする」（P.320）**をご覧ください。

■現在地を登録する

登録したい自車位置で、ナビゲーションコントロールバーの 地点登録 をタッチする



現在地が登録され、登録リストに追加されます。

■現在地以外の場所を登録する

登録したい地点の地点メニューを表示させ、地点登録をタッチする



表示中の地点が登録され、登録リストに追加されます。

マイリストに登録する

以下で説明する方法のほかに、設定メニューおよびFUN RINGメニューからも登録できます。詳しくは、**「その他の設定をする」(P.320)**、**「FUN RINGを使ってみよう」(基-P.84)** をご覧ください。

ここまでの操作

探す ▶ 登録リスト

1 登録したいグループを選択してタッチする



2 編集をタッチする



3 マイリスト登録をタッチする



4 マイリストに登録したい地点をタッチする



すでにマイリストに登録されている地点には、1～16が表示されています。

5 決定をタッチする

選択した地点がマイリストに登録されます。

アドバイス

- マイリストから目的地を探す方法については、**「マイリストから目的地を探す」(基-P.87)** をご覧ください。

END

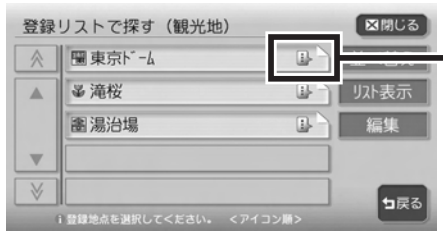
登録リストから探す

ここまでの操作 探す ▶▶▶ 登録リスト

1 目的のグループを選択してタッチする（グループ設定時のみ）



2 目的の登録地を選択してタッチする



認識愛称が登録されている地点に表示されます。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

アドバイス

- 登録地点に電話番号が登録されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると が表示され、タッチして電話をかけることができます。

次の操作は… **「目的地を設定したら…」(P.88)** をご覧ください。

END

登録リストを編集する

登録リストに登録されている地点の情報を編集します。

アドバイス

・マイリストの編集方法については、**「マイリストを整理する」（基-P.88）**、**「マイリストアイコンを移動する」（基-P.89）**をご覧ください。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ 登録リスト ▶▶▶ **[編集したいグループ]** ※

※グループ選択時のみ

1 編集 をタッチする

2 ﾃﾞｰﾀ編集 をタッチする



3 編集したい地点をタッチする

4 目的の項目をタッチし、編集する





ｱｲｺﾝ 名称 ：タッチするとアイコン選択画面が表示され、選択して 決定 をタッチすると名称入力画面が表示されます。自宅の場合は、アイコンの編集はできません。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ：タッチするとグループ選択画面が表示されます。

電話番号 ：タッチすると電話番号入力画面が表示され、登録地点の電話番号を編集できます。

位置 ：タッチすると登録地点の地図が表示され、スクロールして位置を編集できます。

認識愛称 ：ボイスコントロール時の登録地点の呼び方を設定します。タッチすると愛称入力画面が表示されます。認識愛称として入力できる文字には制限があります。詳しくは、**「認識愛称に登録できる語句一覧」（P.467）**をご覧下さい。

音声選択 ：車が登録地点に近づいたときの音声案内を設定します。タッチすると音声選択画面が表示されます。

画像 ：画像リスト**（基-P.113）**または地点データ画面で表示される画像を設定します。タッチするとフォルダ選択画面が表示され、希望のフォルダを選択して、設定したい画像を選択します。

5 はい をタッチする

設定が本機に登録され、地点データ画面に戻ります。

END

グループを編集する

グループ名の変更、また登録地のグループ設定／解除を行うことができます。

■グループを設定／解除する

登録地をグループに分けて管理できます。ここでは、例として「登録地の所属するグループ」を設定する方法、またグループ設定を解除する方法について説明します。

グループ設定されていない登録地は、「1：グループ1」に所属しています。

地点データ編集画面からも、同様の操作ができます。詳しくは、**「登録リストを編集する」（P.56）**をご覧ください。

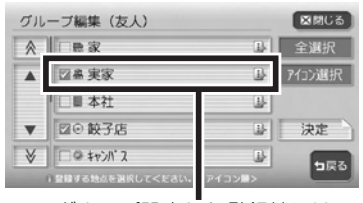
ここまでの操作

探す ▶ 登録リスト ▶ [設定したいグループ] ▶ 編集 ▶ グループ編集

1 設定したいグループをタッチする

登録地点リストが表示されます。

2 設定したい登録地を選択し、決定をタッチする



グループ設定した登録地には☑が表示されます。

グループ設定を解除するには、登録地点を再度タッチして☑を消します。

END

■グループ名称を変更する

グループ名称を変更できます。

お買い上げ時のグループ名称は、「グループ1～5」となっています。

ここまでの操作

探す ▶ 登録リスト ▶ [設定したいグループ] ▶ 編集 ▶ グループ編集

1 名称変更をタッチする

2 名称を変更したいグループをタッチする



3 変更したいグループ名称を入力し、決定をタッチする

メッセージ画面が表示され、グループ編集画面に戻ります。

END

登録リストから地点を削除する

登録リストに登録されている地点の情報を削除します。

ここまでの操作

探す ▶ 登録リスト ▶ 編集

1 地点削除をタッチする

2 削除したい地点をタッチして選択する

地点は複数選択できます。

3 決定をタッチする

4 はいをタッチする

選択した地点が削除されます。

END

周辺の施設を探す

自車位置や目的地などの周辺の施設を検索できます。走行中も操作はできますが、検索された施設を目的地として設定することはできません。

ここまでの操作　探す ▶▶▶ 周辺検索 **または**

ナビゲーションコントロールバーの 周辺検索

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
お好み一括	お好み最短リスト（P.62）に登録されているすべてのジャンルの施設を、自車周辺で一括して探す	P.61
お好み最短	お好み最短リスト（P.62）に登録されているジャンルの施設を、ジャンルごとに探す	P.63
自車周辺	自車、目的地、地図をスクロールさせた表示先周辺の施設をジャンルごとに探す	P.64
目的地周辺		
表示先周辺		
駐車場ニアピン	目的地に最も近い駐車場を探す	P.65
駐車場リレー検索	目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合、その周辺の他の駐車場を探す	P.66
ルートサイド	目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定する	P.67

アドバイス

- 目的地が設定されていない場合は、周辺検索メニューで選択できる項目は限定されます。

よく使うジャンルの施設を一括検索する

よく使うジャンルをお好み最短リストに登録しておくと、そのすべてのジャンルの施設を一括して周辺検索できます。検索できるのは、周辺10km以内の地域で1ジャンルにつき5件までです。お好み最短リストに登録されているジャンルは、追加および変更ができます。詳しくは、**「よく使うジャンルを本機に登録する」（P.62）**をご覧ください。

ここまでの操作　探す ▶▶▶ 周辺検索 ▶▶▶ お好み一括

1 行きたい施設のジャンルをタッチする



ジャンルのキーをタッチすると、次の候補施設が表示されます。周辺に対象施設がないときは、そのジャンルはリストに表示されません。

現在地と選択した施設が表示されるスケールで、地図が表示されます。
地図は北方向上向きで表示され、スクロールおよび向きの変更はできません。

2 施設の場所を確認して、決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

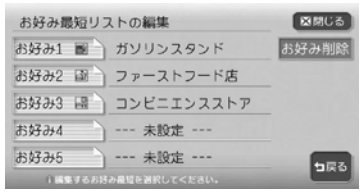
よく使うジャンルを本機に登録する

よく検索するジャンルを、5つまで本機に登録しておくことができます。
コンビニやガソリンスタンドでは、店名まで指定して登録することもできます。

ここまでの操作
探す ▶ 周辺検索

1 お好み変更をタッチする

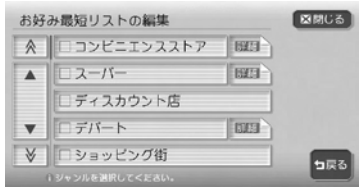
2 登録したいお好み番号をタッチする



登録済みの番号を選択すると、現在の設定に上書きされます。

3 登録したいジャンル（大分類）をタッチする

4 目的の項目をタッチする



選択した項目を登録する場合は、手順7へ進みます。

5 店名を指定する場合は、詳細をタッチする

6 お好みの店名をタッチする

7 決定をタッチする

選択した項目がお好み最短リストに登録され、周辺検索メニューにアイコンが表示されます。

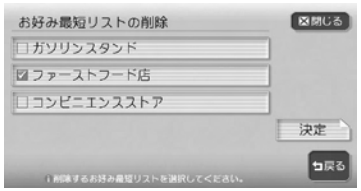
END

■登録したジャンルを削除する

ここまでの操作
探す ▶ 周辺検索 ▶ お好み変更
または
周辺検索 ▶ お好み変更

1 お好み削除をタッチする

2 削除する項目をタッチし、決定をタッチする



全ての項目を削除することはできません。少なくとも1つは項目を残してください。

3 はいをタッチする

選択した項目がお好み最短リストから削除されます。

END

お好みのジャンル施設を周辺から探す

お好み最短リストに登録されたジャンルで、ジャンルごとに現在地周辺の施設を検索することもできます。この場合は、周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を検索できます。

アドバイス
- 目的地周辺検索·表示先周辺検索·ルートサイド検索でも同様の操作ができます。

ここまでの操作
探す ▶ 周辺検索

1 お好み最短リストアイコンから行きたい施設ジャンルのアイコンをタッチする



2 施設リストから行きたい施設をタッチする

3 施設の場所を確認して、決定をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

現在地・目的地・地図表示位置の周辺から探す

自車・目的地・地図をスクロールした表示先周辺の施設をジャンルで検索できます。自車・目的地周辺では、周辺100km以内の施設を、最大100件まで検索できます。

ここまでの操作

探す ▶▶▶ 周辺検索 ▶▶▶ 自車周辺、目的地周辺、表示先周辺 のいずれか

1 目的の施設のジャンルを選択してタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設を選択してタッチする



※画面は自車周辺検索の場合です。

選択中の施設名、自車位置からの距離と方向が表示されます。

自車位置と選択した施設が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする



リスト上の前後の施設を表示します。

施設の情報を表示します。
選択した施設によっては、表示されないことがあります。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

END

目的地周辺の駐車場を探す（駐車場ニアピン）

目的地に最も近い駐車場を行き先に設定できます。目的地の半径800m以内にある駐車場を、最大10件まで検索できます。目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

ここまでの操作

探す ▶▶▶ 周辺検索 ▶▶▶ 駐車場ニアピン または

地点メニューの 駐車場ニアピン

1 行きたい駐車場を選択してタッチする



駐車場の情報を表示します。

選択中の駐車場名、目的地からの距離が表示されます。

自車位置と選択した駐車場を入れた地図が表示されます。

2 場所を確認して 決定 をタッチする

選択した駐車場までのルートが設定され、目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。



駐車場（白い旗）

目的地（黄色い旗）

P60は、コインパーキングの表示です。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

END

別の駐車場を探す（駐車場リレー検索）

ジャンル検索、お好み最短検索、駐車場ニアピンで目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合に、その周辺の別の駐車場を探すことができます。ルートガイド終了時、またはルート外で目的地に約300mまで近づいたときに操作できます。

お知らせ

- 以下の場合には、駐車場リレー検索は解除されます。
  目的地を解除または変更した場合
  「他の駐車場」が表示されている状態で、車のエンジンスイッチを切った場合
  一度目的地に近づいてから1ｋｍ以上離れた場合

1 目的地に接近中の画面で、「他の駐車場」をタッチする

周辺の駐車場が地図上に10件まで表示されます。



目的地周辺に駐車場が1件しかない場合は表示されません。

2 行きたい駐車場を選択し、「決定」をタッチする

選択した駐車場までのルートが設定され、目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。

アドバイス

- 一度行った駐車場は、アイコンが水色からグレーに変わって区別されます。ただし、目的地解除またはエンジンを切ることにより、区別は解除されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。
目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

お知らせ

- 立寄地は、目的地までのルート沿いにある施設です。経由地としては設定されません。
- ルートを再計算すると、立寄地は解除されます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ 周辺検索 ▶▶▶ ルートサイド

1 ジャンルを選択してタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設を選択してタッチする



自車位置と選択した施設を入れた地図が表示されます。

施設名称、自車位置からの距離、道路に対しての施設の位置（右または左）が表示されます。

3 場所を確認して「立寄地に設定」をタッチする



リスト上の前後の施設を表示します。

施設の情報を表示します。

ルート案内を開始すると、立ち寄る施設に「立寄地点」と表示されたマークが点灯し、約300m以内に近づくと、効果音で案内します。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

検索アイコンについて

検索アイコンは、周辺検索で検索した施設のアイコンの上に矢印が付いたもので、500m以下のスケールで表示されます。



検索アイコンを消すには

周辺検索メニューの 検索アイコン消去 をタッチします。



TV・雑誌の情報から探す

TV番組や雑誌で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TV・雑誌の情報を更新するには、**「TV・雑誌情報の取り込み」（P.413）**をご覧ください。

お知らせ

- メディアで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組・雑誌は継続的に施設を紹介している特定のもので、今後は予告なく変更されることがあります。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ TV・雑誌

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

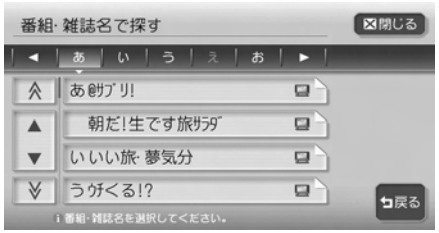
タッチキー	検索の内容	参照ページ
番組・雑誌名	TV番組・雑誌の名前から施設を探す	P.70
ジャンル	「食べる・飲む」「遊ぶ・見る」「泊まる」「買う」の4つのジャンルから探す	P.71
周辺検索	自車、目的地周辺および地図をスクロールした表示先周辺にある施設を、ジャンルから探す	P.72

TV番組・雑誌の名前から探す

目的の施設がどのTV番組・雑誌などで紹介されたかわかっている場合の検索方法です。



1 目的の番組または雑誌名をタッチする



2 目的の施設をタッチする



紹介された番組・雑誌名、放送日または発売日が表示されます。
番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。

施設の情報を表示します。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

アドバイス

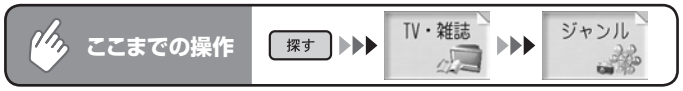
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。
  : 食べる・飲む : 遊ぶ・見る : 泊まる : 買う

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

ジャンルから探す

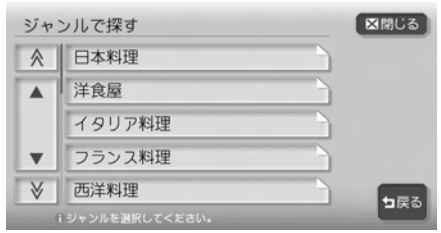
目的の施設を、ジャンルから検索します。
ジャンルは、大きく分けて「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。



1 目的のジャンルをタッチする



2 目的の詳細ジャンルをタッチする



3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

周辺から探す

自車・目的地・地図をスクロールした表示先周辺の施設をジャンルで検索できます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ TV・雑誌 ▶▶▶ 周辺検索

1 自車周辺、目的地周辺または表示先周辺をタッチする

2 目的のジャンルをタッチする



詳細ジャンルリストから絞り込めます。

自車周辺、目的地周辺または地図をスクロールした表示先周辺の施設が検索され、結果がリスト表示されます。

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

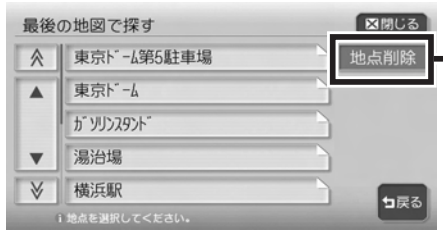
END

目的地の履歴から探す

過去に設定した目的地の一覧から、目的地を検索できます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ 最後の地図

1 目的の地点を選択してタッチする



削除画面が表示され、削除する地図を選択できます。

選択した地図と地点メニューが表示されます。
ここで表示される地点メニューには、地点登録は表示されません。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

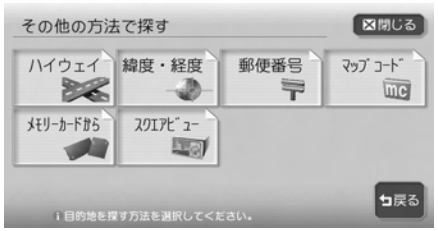
END

その他の方法で探す

緯度・経度や郵便番号を入力して目的地を検索することができます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ その他の方法

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	機能の内容	参照ページ
ハイウェイ	サービスエリア、高速道路の入口・出口などを探す	P.75
緯度・経度	目的地の緯度・経度を入力して探す	P.79
郵便番号	目的地の郵便番号を入力して探す	P.80
ﾏｯﾌﾟｺｰﾄﾞ	目的地のマップコードを入力して探す	P.81
ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞから	メモリーカード内の登録地を目的地に設定する	P.82
ｽｸｴｱﾋﾞｭｰ	スクエアビュー表示が可能な施設を目的地に設定する	P.83

ハイウェイから探す

サービスエリア、高速道路の入口・出口などの施設を目的地として設定できます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ ハイウェイ

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
道路別	道路名からハイウェイの施設を探す	P.76
最寄の入口	自車位置から一番近いハイウェイの入口を探す	P.77
目的地周辺施設	設定した目的地の周辺にあるハイウェイの出口を探す	P.77
文字入力	施設の名称を文字入力して、ハイウェイの施設を探す	P.78

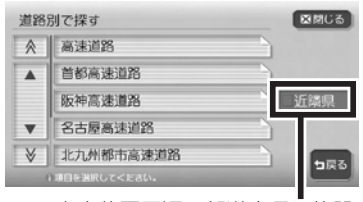
道路名から探す

ハイウェイの施設を道路名や路線図から検索して、目的地として設定できます。

ここまでの操作

探す ▶ その他の方法 ▶ ハイウェイ ▶ 道路別

1 目的の道路の種類を選択してタッチする

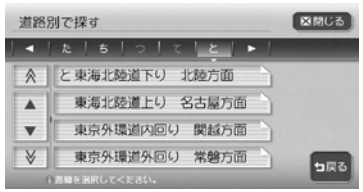


自車位置周辺の都道府県に施設がある道路に限定して検索を行います。

路線のリストが表示されます。

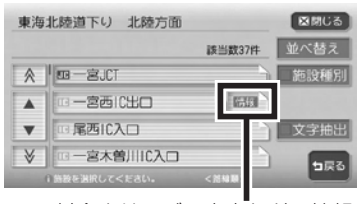
※ 高速道路 をタッチした場合でも、高速道路以外の有料道路が検索される場合があります。

2 目的の路線を選択してタッチする



選択した路線の施設リストが表示されます。

3 目的の施設をタッチする



料金やサービス内容などの情報が表示されます。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

最寄りの入口から探す

自車位置から近い順にハイウェイの入口を検索して、目的地として設定できます。

ここまでの操作

探す ▶ その他の方法 ▶ ハイウェイ ▶ 最寄の入口

1 行きたい最寄りの入口を選択してタッチする



路線選択 ： 検索する路線を絞り込めます。

文字抽出 ： 名称を入力して絞り込めます。

800m ： 自車位置から距離、方向が表示されます。

自車位置と選択した入口を入れた地図が表示されます。

2 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

目的地周辺の施設を探す

目的地から近い順にハイウェイの出口を検索して、目的地として設定できます。

目的地が設定されていないとこの操作はできません。

ここまでの操作

探す ▶ その他の方法 ▶ ハイウェイ ▶ 目的地周辺施設

1 目的の施設を選択してタッチする

目的地と選択した出口を入れた地図が表示されます。

2 場所を確認して、決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

施設名称を入力して探す

ハイウェイの施設名を入力して、目的地として設定できます。

ここまでの操作

探す ▶ その他の方法 ▶ ハイウェイ ▶ 文字入力

1 行きたい施設名を入力して 決定 をタッチする

2 目的の施設を選択してタッチする



選択施設の道路名が表示されます。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

緯度経度で探す

目的地の緯度・経度を入力して検索できます。

ここまでの操作

探す ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ 緯度・経度

1 目的の場所の緯度経度を入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

郵便番号で探す

目的地の郵便番号を入力して検索できます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ 郵便番号 〒

1 目的の場所の郵便番号を入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

お知らせ

- 入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて入力画面に戻ります。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

END

マップコードで探す

行きたい場所のマップコードを入力して、目的地として設定することができます。マップコードは、出版物などで調べることができます。

アドバイス

- マップコードとは地点を表わすコードで、6～12桁の数字と＊で構成されています。6～10桁のコードを標準マップコード、12桁のコードを高精度マップコードと呼び、場所を表わす精度が異なっています。本機は、どちらのマップコードにも対応しています。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ ﾏｯﾌﾟｺｰﾄﾞ mc

1 目的の場所のマップコードを入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.88) をご覧ください。

END

マップコードに関するお問い合わせ先

ホームページ

http://guide2.e-mapcode.com/

電話0566-61-4210

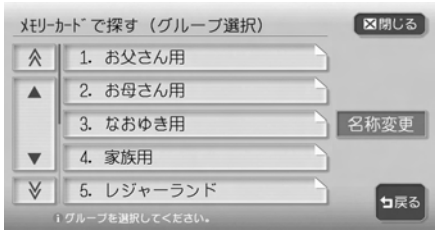
（株式会社デンソー MCプロジェクト）

メモリーカードに登録した地点から探す

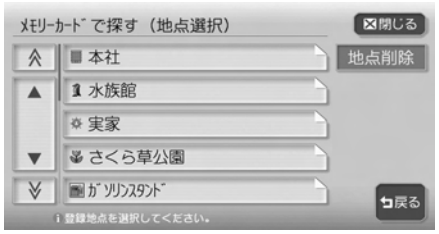
SDメモリーカード／メモリースティックに取り込んだ登録地点を目的地として設定できます。メモリーカードの操作について、詳しくは**「メモリーカードを使う（別売）」（P.398）**をご覧ください。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ メモリーカードから

1 目的の登録地点が含まれているグループをタッチする



2 目的地にしたい登録地点をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

スクエアビューから探す

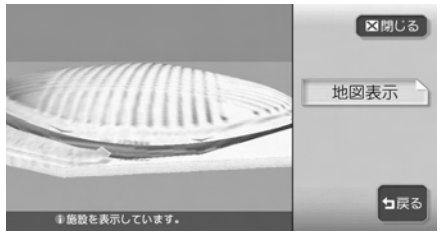
スクエアビュー画面を表示して目的地として設定できます。

ここまでの操作 探す ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ スクエアビュー

1 目的の施設を選択してタッチする



2 地図表示をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.88）をご覧ください。

END

こんな画面が表示されたら

検索結果画面表示について

施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。

「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」

→ピンポイントで地点を検索できなかった場合のメッセージです。表示されている場所が正しいかどうかを確認してください。

「施設入口地点を表示します。」

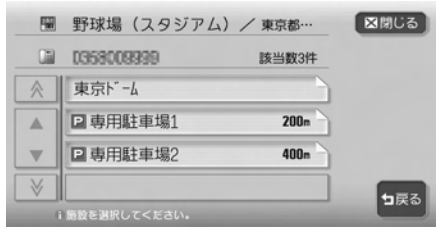
→表示されている場所が施設の入口であるため、そのまま目的地として設定すると、車で走行するのには適さない場所に誘導される場合があります。

「経路誘導に最適な地点を表示します。」

→目的地が誘導に適さない場所にあるため、そのままルートを設定すると、目的地とは異なる場所に誘導されます。
目的地と誘導地点が離れている場合は、誘導地点が地図画面の中心に表示され、目的地は黄色の旗で表わされます。

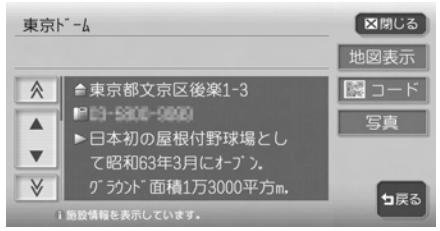


専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図を表示します。駐車場を選択した場合は、中心位置に駐車場地点が、目的地施設の地点に黄色の旗が表示されます。



施設情報について

施設リスト画面で 情報 が表示されている施設には、住所や電話番号などの施設情報が登録されています。
情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。



- ：電話番号が登録されているときBluetooth対応携帯電話を接続すると、タッチして電話をかけることができます。詳しくは、**「電話を利用する」（P.139）**をご覧ください。
- 地図表示 ：施設の地図と地点メニューが表示されます。
- コード ：QRコードが表示されます。QRコードを利用して、施設の情報を携帯電話で確認することができます。詳しくは、**「マップクリップ®を利用する」（P.86）**をご覧ください。
- 写真 ：施設の写真が表示されます。

マップクリップ®を利用する

施設情報画面の2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で撮影して、本機で見ていた地図を引き続き携帯電話で見ることができます。

お知らせ

- 「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。2次元バーコードの読み取りに対応していない機種もございます。ご了承ください。
- 「マップクリップ」は、予告なくサービスが変更、中断、中止される場合があります。
- 携帯電話での地図表示サービスは、下記のとおりです。

  ドコモ：iMapFan ／月額315円（税込）

  au：ケータイ地図 MapFan for EZweb/月額315円（税込）

  ソフトバンク：ケータイ地図 MapFan for Y!/月額315円（税込）

  iMapFan、ケータイ地図MapFan会員の方は、読み取った地図の縮尺変更や移動など、1画面分を超える範囲を見ることができます。また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- 2次元バーコードで読み取った地図は、1画面のみ閲覧無料です。通信費、パケット料はお客様負担となります。

ここまでの操作 施設リスト画面の 情報 ▶▶▶ コード

1 地図情報 または ガイド情報 をタッチする



QRコードが縮小表示されます。
QRコードのサイズはお手持ちの携帯電話に合わせて設定してください。

地図情報：施設の地図情報を携帯電話に表示します。
ガイド情報：施設のガイド情報を携帯電話に表示します。

2 QRコードを読み取る

コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

END

ルートの設定と誘導

目的地までの行き方や計算方法を設定する、
便利な誘導の機能を説明します。

目次

目的地を設定したら… ……88
設定したルートを変更する ……90
ルート上の情報を表示する …… 105

目的地を設定したら…

目的地を探したら、そこに行くまでのルートを設定します。
現在の推奨計算条件でルートを設定する方法、計算条件を変更してからルートを設定する方法の2つがあります。
目的地を探す方法について詳しくは、**「目的地を探す」（P.43）**をご覧ください。

⚠警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制に従って走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

1 地点メニューの 計算条件 をタッチする



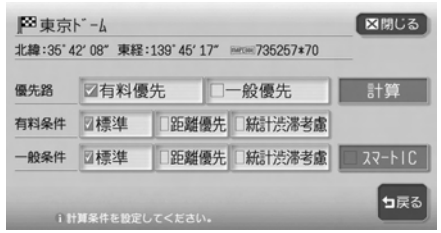
現在の計算条件が表示されます。

計算条件画面が表示されます。

お知らせ

- 計算条件を変更せずにルートを設定する場合は、ここに行く をタッチします。

2 ルートを設定するための計算条件を選択してタッチする



設定項目については、**「ルートの優先路・計算条件を変える」（P.95）**をご覧ください。

3 計算 をタッチする

設定した計算条件で、目的地までのルートが設定されます。



音声案内地点には、旗のアイコンが表示されます。

- （青）：通常道路での右左折案内
- （紫）：細街路での右左折案内
- （黄緑）：走行レーンの案内

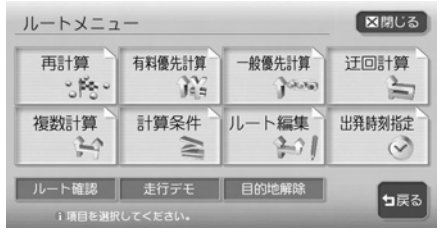
車をルートに従って走らせると、ルート誘導が開始されます。
目的地に到着すると、自動的にルート誘導が終了します。
ルート誘導終了時には、目的地あるいはルートの終端の約30m手前で音声案内が流れます。

END

設定したルートを変更する

1 ナビゲーションコントロールメニューの ルート をタッチする

2 希望の操作を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
再計算	現在の計算条件で、ルートを再設定する	P.91
有料優先計算	有料道を優先して、ルートを再設定する	P.91
一般優先計算	一般道を優先して、ルートを再設定する	P.91
迂回計算	渋滞など、現在地から10km以内の避けたい場所を迂回するルートを設定する	P.92
複数計算	計算条件を変えて、最大8つのルートを表示する	P.94
計算条件	設定したルートの計算条件を変更する	P.95
ルート編集	経由地の追加や削除、目的地の位置の修正をする	P.98
経由地削除	経由地を削除する (※)	P.101
出発時刻指定	出発予定時刻を含めた前後2時間の出発時刻から、渋滞情報を考慮したルートと到着予想時刻を比較する	P.102

※経由地を設定したルートを走行中に表示されます。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
ルート確認	設定したルート上を、画面上で移動しながら確認する 現在地から目的地までのルートを全体表示する	P.103
走行デモ	設定したルート上をデモ走行する	P.104
目的地解除	設定した目的地を解除する	P.104

ルートを再設定する

設定したルートを、お好みの条件で計算し直すことができます。

計算条件を変えずに再設定する

ここまでの操作 ▶ ルート ▶▶▶ 再計算

現在の条件でルートを再計算します。 ▶ END

優先路を変更して再設定する

オートリルート機能が「しない」の時にルートを間違えてしまった場合、優先的に走行するルートを選択して再計算します。ルート誘導中に優先路を変更することもできます。
オートリルートの設定について詳しくは、**「ルート案内の設定をする」(P.310)** をご覧ください。

ここまでの操作 ▶ ルート ▶▶▶ 有料優先計算 または 一般優先計算

選択した道路を優先してルートを再計算します。 ▶ END

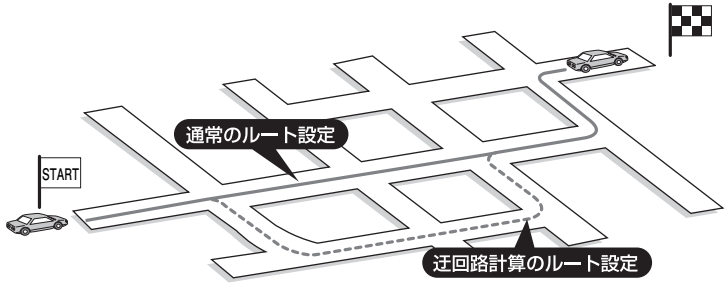
▶ NEXT

迂回したい場所を設定する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルート（現在地から10km以内）を再計算します。

お知らせ

- 別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、あらかじめ渋滞考慮計算を適用しておくと、ビーコンからのVICS渋滞情報を考慮した迂回ルートが設定されます。渋滞考慮計算の設定については、**「VICS情報の設定をする」（P.316）**をご覧ください。



ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 迂回計算

迂回するルートの再計算をはじめます。

END

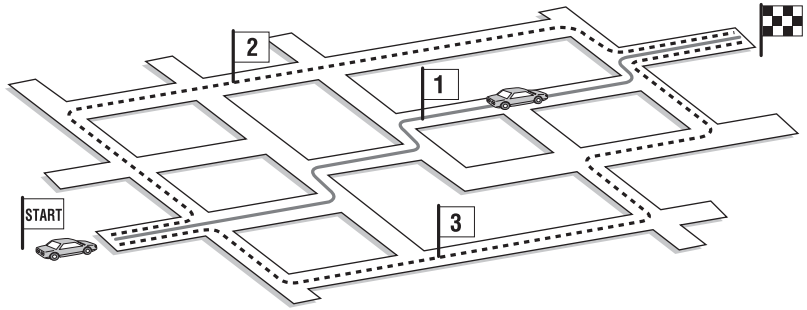
複数のルートを比べる

計算条件を変えて、最大で8つのルートを計算します。ただし、目的地の位置によっては、8つのルートを表示できない場合があります。また、8つのルートの一部が同じルートになる場合もあります。

お知らせ

- 経由地を設定している場合は、複数ルートの計算はできません。
- 料金表示は、一部の有料道や変則的な料金体系の高速道には対応していない場合があります。このため、表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

1：有料道、標準
2：一般道、標準
3：有料道、標準2（1の別ルート）
4：一般道、標準2（2の別ルート）
5：有料道、距離優先
6：一般道、距離優先
7：有料道、統計渋滞考慮
8：一般道、統計渋滞考慮



ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 複数計算

1 希望のルートを選択してタッチする



各ルートには、総走行距離と料金が表示されます。実際の料金が表示より多い可能性がある場合は、「￥○○以上」と表示されます。

選択したルートの色が前面に表示されます。

2 決定 をタッチする

3 ルートを確認して 案内開始 をタッチする



計算したルートは、重なって表示される場合があります。

手順2の画面に戻って他のルートを選択できます。

選択したルートが設定されます。

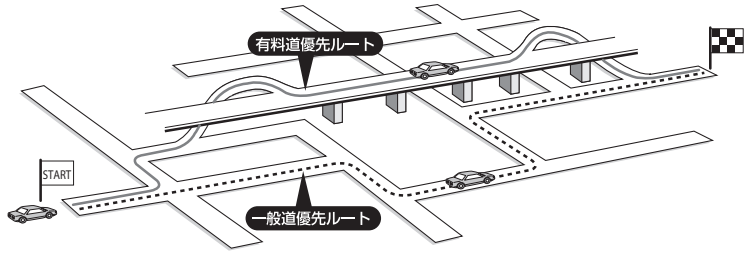
アドバイス

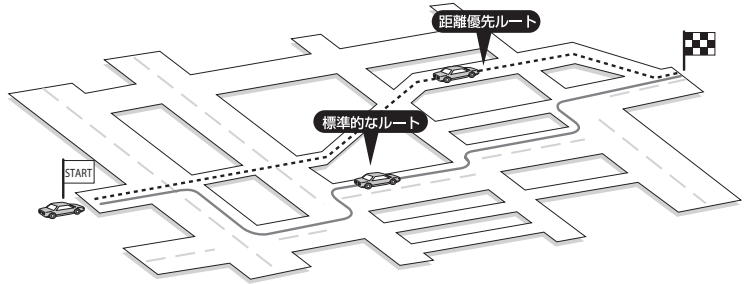
- 地図の縮小／拡大やスクロールで、ルートを確認できます。

END

ルートの優先路・計算条件を変える

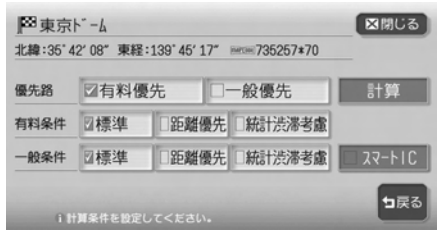
有料道路と一般道路のどちらを優先とするか、また計算の詳細な条件を設定します。





ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 計算条件

1 優先路、計算条件を選択してタッチする



NEXT

設定項目	設定の内容	設定値
優先路	有料道路と一般道路のどちらを優先するかを設定します。	有料優先 一般優先
有料条件	[優先路]で「有料優先」を選択した場合の詳細な計算条件を設定します。	**標準**：標準条件 **距離優先**：距離を優先 **統計渋滞考慮**：渋滞の統計データ※1を利用して計算
一般条件	[優先路]で「一般優先」を選択した場合の詳細な計算条件を設定します。	
スマートIC	利用できるスマートIC（SAやPAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ）を考慮してルート計算するかどうかを設定します。※2	利用する 利用しない

※1 渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。（スマートICの営業時間や営業期間は統計処理されません）

※2 スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があり、それらを考慮したルート計算は行っていません。あくまで利用可能なスマートICを考慮したルートを計算するかどうかの設定となるので、ご利用の際はご注意ください。

2 計算 をタッチする

変更した条件でルートが再計算されます。

お知らせ

- 有料優先 を選択しても、有料道を使用しないルートを設定する場合があります。また、一般優先 を選択しても有料道を使用するルートを設定する場合があります。
- 道路状況によっては、計算条件を変更しても同じルートになる場合があります。また、どの計算条件でも、道路状況によっては設定どおりのルートを計算できない場合があります。
- 有料条件／一般条件で 統計渋滞考慮 を選択した場合の到着予想時刻は、 統計渋滞考慮 以外を選択した場合の到着予想時刻より遅くなることがあります。
- 自車位置が有料道路上にある場合、または近くに有料道路がある場合は、一般道路と有料道路のどちらを走行しているかを確認する画面が表示されます。走行している道路のキーをタッチすると、その条件で計算されます。
- スマートICはETCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- 計算条件画面でスマートICを「利用する」に設定した場合に、スマートICを含むルートの計算を行うと確認画面が表示されます。営業時間を確認して、 はい または いいえ を選択してください。

⚠注意

- **スマートICには、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があります。また、社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。**

END

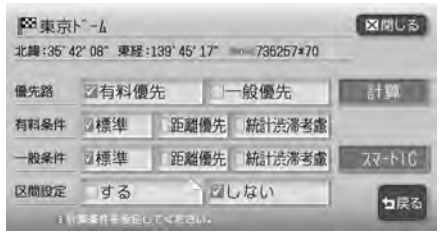
経由地ごとに優先路を設定する

経由地を設定した場合は、区間ごとに優先路を設定できます。

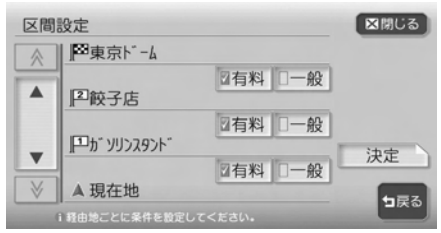
経由地の設定については、**「経由地を追加する」（P.99）**をご覧ください。

ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 計算条件

1 [区間設定] の する をタッチする



2 経由地ごとの優先路を設定する



3 決定 をタッチする

4 計算 をタッチする

設定した条件でルートが再計算されます。

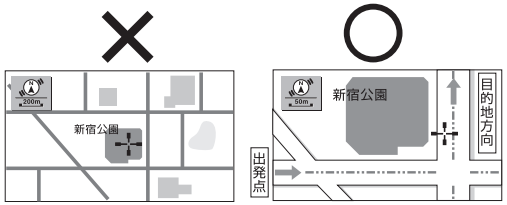
END

設定したルートを編集する

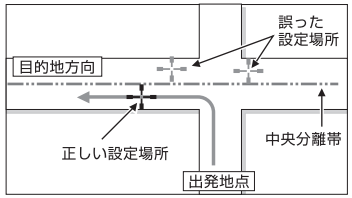
設定したルート上に寄り道したい場所を追加したり、目的地の位置を修正したりすることができます。
経由地は正しく設定されていないと、経由地に到達しないことがあります。以下のことにご注意ください。

1 経由地は、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

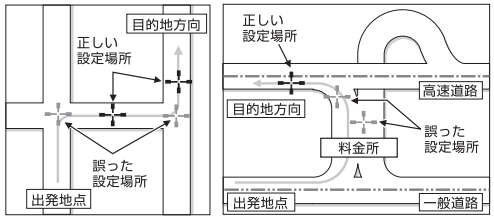
2 施設を経由地に設定すると、近くの経路対象道路を通るルートとなります。経由地に行く道路が細街路の場合は、近くの経路対象道路を通るルートとなります。



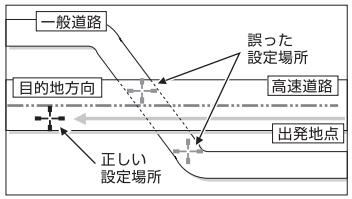
3 上下線や一方通行路は、車線を正確に設定してください。



4 交差点やインターチェンジなどには設定しないでください。目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。



5 高速道と一般道が交差している場所や、高速道が一般道上に高架になっている道路には設定しないでください。



お知らせ

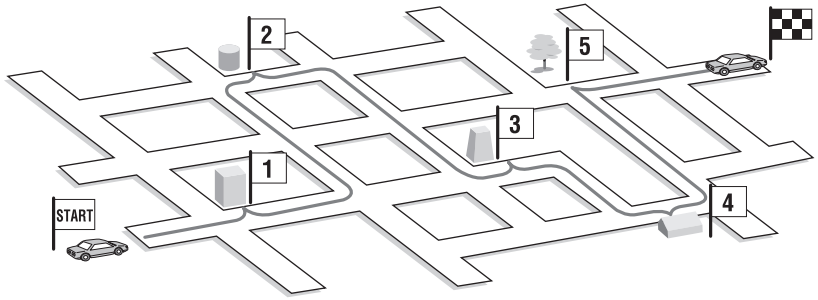
- 経由地を通過しないで先に進んだ場合、通らなかった経由地に向かってルートを設定し直すことがあります。
- ルート編集後に計算条件画面で 計算 をタッチせずに終了すると、設定済みのルートは計算されず、ルート誘導を開始しません。

経由地を追加する

最大で5つまでの経由地を設定できます。

お知らせ

- 経由地を設定すると、複数ルートの計算および到着予想時刻の比較はできません。



ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

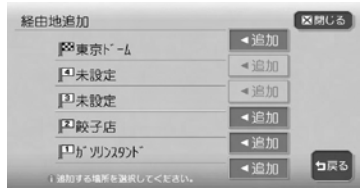
または地点メニューの 経由地追加

1 地点追加 をタッチする



1つめの経由地を設定するときは、経由地の探しかたを選択する画面が表示されます。
2つめ以降の経由地を設定する場合は、手順2の経由地追加画面が表示されます。

2 経由地を追加したい順序の ◀追加 をタッチする



3 経由地を探す

探し方は、目的地を探す場合と同様です。詳しくは**「目的地を探す」(P.43)**をご覧ください。
ルート編集画面に戻り、指定した場所に経由地が追加されます。

NEXT

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

経由地を含む新たなルートが設定されます。

▶ END ◀

経由地の順序を並べ替える

設定した経由地を経由する順序を並べ替えます。
経由地が2ヶ所以上設定されている場合にのみ操作できます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 地点並替 をタッチする

経由地並替画面が表示されます。

2 順序を変えたい地点をタッチする

3 地点を移動したい順序にある ◀移動 をタッチする



4 決定 をタッチする

5 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算 をタッチする

経由地の順序を変更した新たなルートが設定されます。

▶ END ◀

目的地や経由地の位置を修正する

目的地や経由地の位置を修正できます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 位置を修正したい地点をタッチする

2 修正する方法を選択してタッチする



位置調整 :
タッチすると地図画面が表示され、スクロールして位置を修正することができます。

検索から変更 :
目的地検索と同様の方法で位置を修正します。

3 地図をスクロールして位置を修正し、決定 をタッチする

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

位置を修正した新たなルートが設定されます。

▶ END ◀

経由地を削除する

設定した経由地を削除します。削除後は、新たなルートが設定されます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 地点削除 をタッチする

2 削除したい地点をタッチする

3 決定 をタッチする

4 はい をタッチする

5 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算 をタッチする

経由地を削除した新たなルートが設定されます。

▶ END ◀

出発時刻ごとのルートを表示する

お知らせ

・経由地が設定されている場合は、この操作はできません。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 出発時刻指定

1 出発日時、時刻を入力して 決定 をタッチする



入力した時間と、その1時間／2時間前後に出発した場合の到着予想時刻・総走行距離がリスト表示されます。

2 ルートを表示したい時間をタッチする



選択したルートが表示されます。

3 案内開始 をタッチする



リストに戻って他のルートを選択できます。

表示中のルートが設定され、ルート誘導が始まります。

END

ルートを確認する

設定したルートを、走行する前に確認できます。

設定したルートを確認する

お知らせ

・走行中は確認できません。必ず車を安全な所に止めて操作してください。
・スクロール地図では、ルートの確認はできません。
・3D地図表示時は、自動的に2D地図に切り替わってルート確認に入ります。

ここまでの操作　ルート ▶ ルート確認

ルート確認画面が表示されます。



スクエアビュー：
スクエアビュー表示（対象地域内の場合）でルートを確認できます。

自動後退 自動前進：
ルートを自動的に前進または後退します。止めるときは、解除 をタッチします。

左回転 右回転：
スクエアビュー表示を、左回転または右回転します。

後退 前進：
タッチしている間、ルート上を前進または後退します。

アドバイス

・走行を始めると、ルート確認は解除されます。
・自動前進（自動後退）時は、通常のスケール変更はできますが、詳細スケール調整はできません。

END

設定したルートを全体表示する

ここまでの操作　ルート ▶ ルート確認 ▶ 全ルート表示

現在地から目的地までの全ルートが表示されます。
全ルート表示画面では、地図のスクロール、広域、詳細切り替えを行うことができます。



END

設定したルート上をデモ走行する

お知らせ

- 走行中はデモ走行できません。必ず車を安全な所に止めて操作してください。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 走行デモ

デモ走行が自動的に始まります。
デモ走行中にも、地図スクロールやメニュー操作などを行うことができます。



デモ走行が解除されます。

アドバイス

- 走行を始めると、デモ走行は解除されます。
- 再度 走行デモ をタッチしても、デモ走行は解除されます。

END

設定したルートを削除する

お知らせ

- 目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 目的地解除 または 探す ▶▶▶ 目的地解除

1 確認画面で はい をタッチする

目的地の設定が解除され、現在地画面が表示されます。

END

ルート上の情報を表示する

設定したルート上のさまざまな情報を利用できます。
操作は、経路情報メニューから行います。

1 ナビゲーションコントロールメニューの 経路情報 をタッチする

2 希望の操作を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
目的地表示	目的地の地図を表示する	P.106
次の案内	ルート誘導中に、現在地から約50km以内にある次の案内地点を確認する	P.106
渋滞情報	現在地から2km以内のルート上に渋滞がある場合、その距離や位置を確認する	P.107
再音声	一度流れた音声案内を再度確認する	P.107
誘導情報	50km以内のルート上の情報を確認する	P.108

お知らせ

- 走行中は、選択できる項目が限定されます。

目的地の地図を表示する

ここまでの操作 → 経路情報 → 目的地表示

目的地の地図が表示されます。
この画面から、目的地の変更や修正はできません。

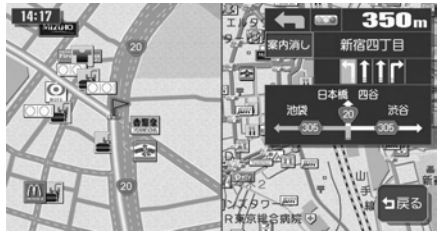


END

次の案内地点を確認する

ここまでの操作 → 経路情報 → 次の案内

自車位置から次の案内地点までの地図と、案内地点の拡大図が表示されます。



END

ルート上の渋滞を確認する

渋滞のあるルートと現在地の距離によって、表示される情報の種類が異なります。

現在地から2km以内：渋滞の起点までの地図※、起点までの距離と渋滞距離、音声案内
現在地から2km ～ 10km以内：音声案内のみ
現在地から10km以上先：案内しません。
※渋滞の長さに応じて、100m/200m/500m/1kmの4段階でスケールを自動的に切り替えて表示します。

お知らせ

- **「音声案内の設定をする」（P.313）**の音声案内が「しない」に設定されている場合でも、音声案内は行います。
- VICS情報更新時は、現在地画面に戻ります。

ここまでの操作 → 経路情報 → 渋滞情報

自車位置から渋滞の起点までの地図が表示されます。また、音声でも案内します。



渋滞の起点までの距離と渋滞距離を表示します。

END

音声案内をもう一度聞く

ここまでの操作 → 経路情報 → 再音声

一つ前の音声案内を、再度流します。
音声案内された案内地点を通過後は、通過した地点に対する音声案内はされません。

END

ルート上の情報を確認する

確認できる情報：信号の有無／案内地点（交差点）／自車位置からの距離、時間／高速道路の入口、出口、料金／案内地点間の渋滞状況／規制情報／案内区間の渋滞表示／案内区間の所要時間

お知らせ

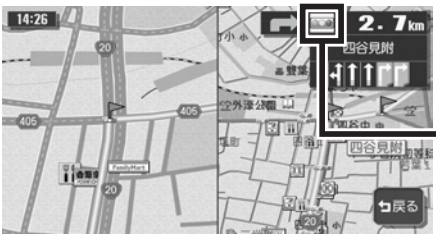
- 走行中は操作できません。必ず車を安全な所に止めて操作してください。
- 表示される料金は、実際の料金と異なることがあります。

ここまでの操作 経路情報 ▶▶▶ 誘導情報

1 詳細を確認したい案内地点名をタッチする



自車位置から選択した案内地点までの地図画面と、案内地点の拡大図が表示されます。



、は、ルートが増加した車線を通る／5車線以上ある交差点／5差路以上ある交差点／ルートが狭角で右左折する案内地点に表示されます。

END

ナビゲーション編

情報を利用する

情報メニューでは、VICS情報やビーコン情報を受信して交通情報などを見ることができます。また、車のメンテナンスに関する情報やハードディスクの情報、ETC履歴などの情報を見ることもできます。

目次

情報を見るには …… 110
FM VICS情報を利用する …… 111
ビーコンVICS情報を利用する …… 116
ラジオの交通情報を受信する …… 121
ハードディスク情報を見る …… 122
お車のメンテナンス時期を登録する …… 123
ETC情報を利用する …… 129
静止画データを利用する（画像を探す） …… 134
電話を利用する …… 139

情報を見るには

情報は、情報メニューから見ることができます。

1 設定/情報 **を押す**



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	情報の内容	参照ページ
FM VICS	FM VICSで受信した渋滞情報や所要時間、緊急情報などを表示する	P.113
ビーコン	光ビーコンや電波ビーコンから受信した交通情報などを表示する （別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時）	P.118
交通情報	交通情報（ラジオ）を受信する	P.121
HDD情報	本機のハードディスクの情報を表示する	P.122
メンテナンス	車のメンテナンスに関する情報をお知らせするための設定をする	P.123
ETC	ETCの履歴や情報を表示する （別売のETCユニット接続時）	P.131
電話	Bluetooth対応携帯電話を利用して、電話を使う （別売のBluetoothインターフェースアダプター接続時）	P.140
VICS設定	VICSに関する設定メニュー画面を表示する	P.316
高速道交通情報 一般道交通情報	渋滞情報表示のON/OFFを切り替える	P.107

FM VICS情報を利用する

VICSとは、日本道路交通情報センターからの情報を基にした道路情報サービスです。
また、VICS画面(カラー写真)、VICS情報のランドマーク、受信マークについては、**「VICS情報画面」（P.37）**をあわせてご覧ください。

VICS情報について

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示させることができます。
VICS画面（カラー）、VICS情報のランドマークおよび受信マークについては、**「VICS情報画面」（P.37）**をご覧ください。
サービスの提供区域については、「VICS情報有料放送サービス契約約款」のサービス提供区域［別表Ⅰ］**（P.448）**をご覧ください。

お願い

- 表示されている情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が次第に出てきます。この現象が起きるのはレベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因はVICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。

道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。

そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。

現在ご使用中のナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、**「VICSシステムの問い合わせ先」（P.446）**をご覧ください。

情報提供時間※1	FM多重、VICS光・電波ビーコンともに24時間
情報の種類	渋滞情報：渋滞区間を表示します。 所要時間情報：主要地点間の現在の所要時間を表示します。 交通障害情報：事故、故障車、路上障害物、工事、作業などについてお知らせします。 交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制とその原因についてお知らせします。 駐車場情報：駐車場、SA/PAの満車・空車情報についてお知らせします。
情報画面の種類※2	文字情報※3（レベル1） 図形情報（レベル2） 地図情報（レベル3）

※1 メンテナンスなどで、情報提供を休止する場合があります。
※2 画面例については、**P.115**をご覧ください。
※3 発信していない地域もあります。

FM VICS情報を見る

NHK-FM受信時の操作です。

民放のFM文字多重放送局を受信しているときは、タッチキーが「見えるラジオ」や「アラジン」と表示され、VICS以外の情報を楽しむことができます。

情報を受信する放送局の設定については、**「VICS情報の設定をする」（P.316）**をご覧ください。

お知らせ

- 詳細スケール調整時**（P.22）**は、各情報が表示されない場合があります。
- VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチを切って約1時間経過した場合、または新たにVICS情報を受信できない場合、VICS情報は消去されます。
- VICS情報を受信すると、『VICS情報を受信しました』とアナウンスします。2回目以降は『ポーン』という音でお知らせします。アナウンスを消したい場合は、**「VICS情報の設定をする」（P.316）**をご覧ください。

アドバイス

- VICS情報を非表示にすることもできます。詳しくは**「VICS情報の設定をする」（P.316）**をご覧ください。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ FM VICS

1 見たい情報を選択してタッチする



NEXT

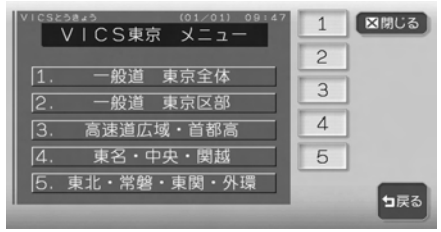
タッチキー	情報の内容
文字情報	渋滞情報を表示する(※)
NHK 一般	NHKのFM文字多重放送でニュースや天気予報などを見る
図形情報	渋滞情報を図形表示で確認する
所要時間	各地への所要時間を見る
緊急情報	FM VICS情報から受信した緊急情報を見る

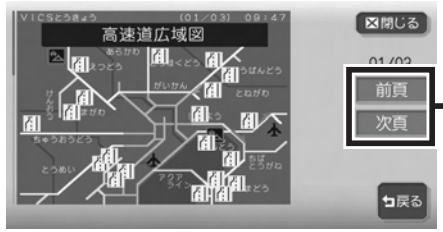
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

お知らせ

・走行中は選択できる項目が限定されます。

2 目次番号が表示された場合は、希望の番号をタッチする





情報が複数のページにまたがる場合に表示され、タッチするとページを移動できます。

END

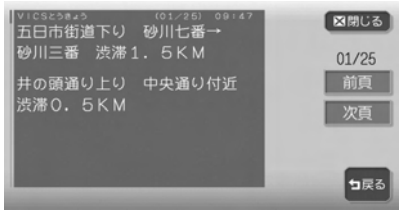
FM VICS情報の種類

本機で表示できるVICS情報画面には、以下の画面があります。

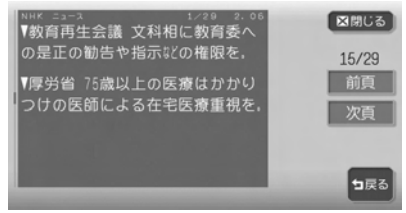
■文字情報画面

渋滞情報や、NHKおよび民放のFM文字多重放送を文字で表示します。

渋滞文字情報画面

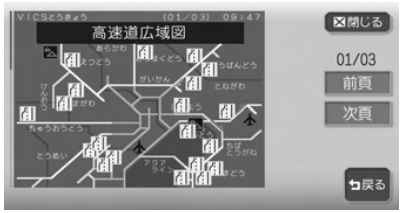


NHK文字情報画面



■図形情報画面

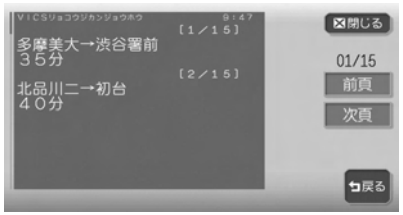
渋滞情報を図形で表示します。



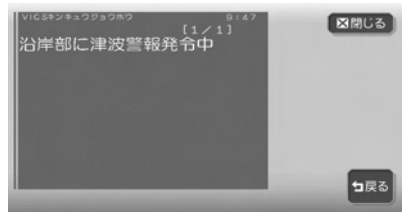
■所要時間・緊急情報画面

各地への所要時間や、緊急情報を表示します。

所要時間表示画面



緊急情報表示画面



ビーコンVICS情報を利用する

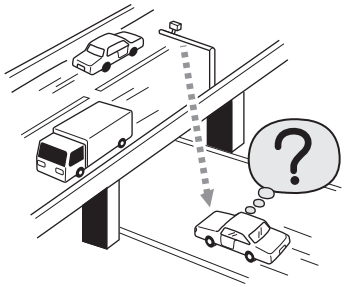
別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に受信できる情報です。

ビーコン情報について

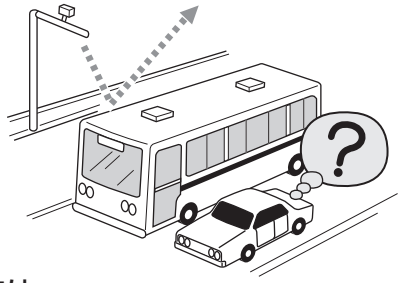
VICS光・電波ビーコンユニットから受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。
消えた後に、再度最新VICS情報を表示させるには、P.118からの手順で手動で表示させます。
ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。
ビーコン情報の受信については、以下の点にご注意ください。

■一般道路走行中には

- 高速道と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道のVICS情報を受信することがあります。

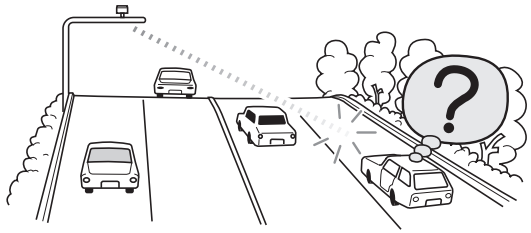


- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。



■高速道路走行中には

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



■VICS光・電波ビーコンアンテナ（別売）の取り扱いについて

- 別売のVICS光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。VICS情報が受信できなくなります。

ビーコンVICS情報を見る

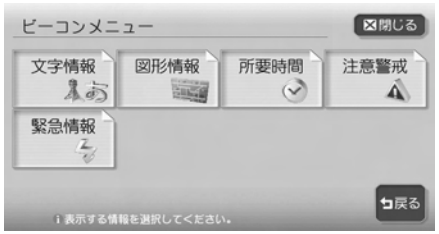
最新VICS情報の表示時間、また情報を自動的に表示するかしないかを設定できます。詳しくは、「VICS情報の設定をする」（P.316）をご覧ください。

お知らせ

- 「ビーコン」は、別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ ビーコン

1 見たい情報を選択してタッチする

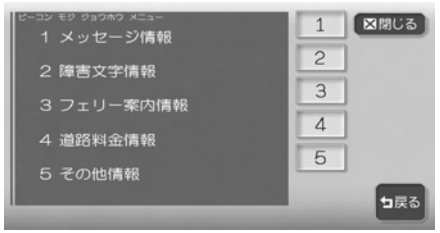


タッチキー	情報の内容
文字情報	渋滞情報を表示する
図形情報	渋滞情報を図形表示で確認する
所要時間	各地の所要時間を見る
注意警戒	ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を見る
緊急情報	

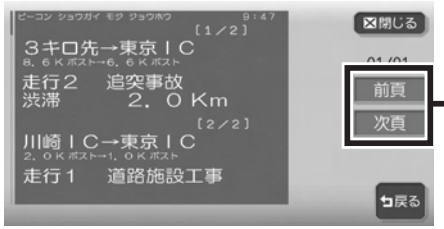
お知らせ

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

2 目次番号が表示された場合は、希望の番号をタッチする



▼

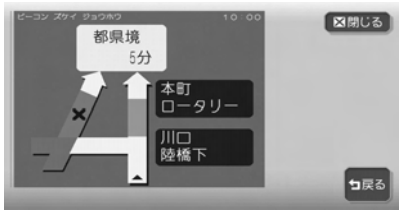


情報が複数のページにまたがる場合に表示され、タッチするとページを移動できます。

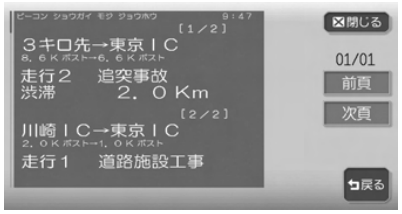
END

ビーコンVICS情報の種類

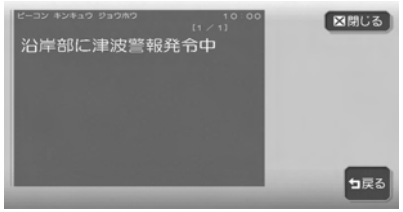
簡易図形情報



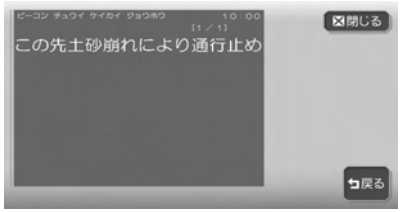
文字情報



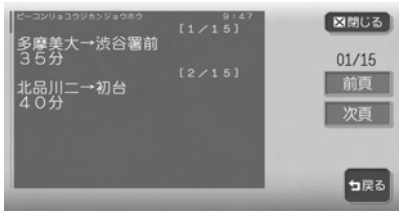
緊急情報



注意警戒情報



所要時間



ラジオの交通情報を受信する

交通情報（ラジオ）を受信できます。

ここまでの操作　設定/情報

1 交通情報 をタッチする



オーディオ操作キーが【TI】と表示されます。

周波数は、オーディオコントロールメニューの 1620 と 1629 から選択できます。

2 解除する場合は、オーディオコントロールメニューの 解除 をタッチする

交通情報を聴く前のソースに戻ります。

END

ハードディスク情報を見る

ハードディスクの情報を見ることができます。

ここまでの操作 設定/情報

1 HDD情報 をタッチする



ハードディスク情報が表示されます。ナビゲーションのバージョン、地図データの情報、TV・雑誌データの最終更新日およびミュージックキャッチャーの録音残量時間が表示されます。

END

お車のメンテナンス時期を登録する

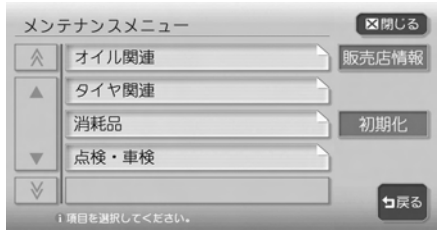
あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検、免許更新などの時期をお知らせすることができます。

お知らせ

- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

ここまでの操作 設定/情報

1 メンテナンス をタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	情報の内容	参照ページ
オイル関連 など	オイルやタイヤの交換時期や点検時期、免許証や保険であれば更新時期をお知らせする設定ができます。	P.125
販売店情報	販売店情報を登録する	P.127
初期化	設定したメンテナンス情報および販売店情報を、一括して初期化する	—

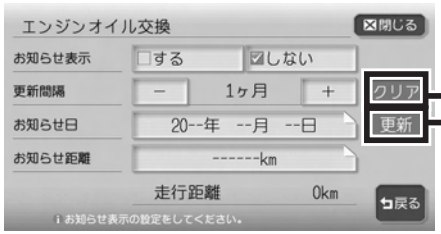
お知らせ設定をする

ここでは、例として「エンジンオイル」の交換時期を設定する方法について説明します。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ メンテナンス ▶▶▶ オイル関連 ▶▶▶ エンジンオイル

1 各項目を設定する



設定値をすべてクリアします。

お知らせ日を、設定した更新間隔で更新します。走行距離はリセットされます。

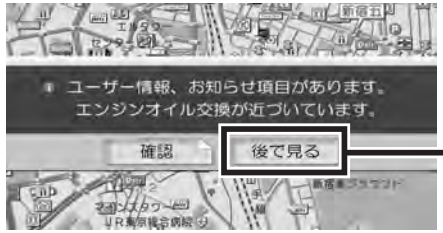
設定項目	設定内容
お知らせ表示	お知らせ内容をメッセージ表示するかどうかを設定します。
更新間隔	1ヶ月単位で更新間隔を変更します。
お知らせ日	お知らせする年月日を入力します。
お知らせ距離	お知らせする走行距離を入力します。計測される走行距離と、実際の走行距離で誤差が生じる場合があります。

※設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

2 閉じるをタッチする

設定した年月日や走行距離になると、次に本機を起動したときにメッセージが表示されます。

3 メッセージが表示されたら、確認をタッチする



後でメンテナンスメニューから項目を確認したい場合にタッチします。お知らせ項目は、メンテナンスメニューに ! が表示されています。 ! は、お知らせ設定を更新すると消えます。



登録した販売店の地点メニューが表示されます。

詳しくは、**「販売店情報を登録する」(P.127)**をご覧ください。

■各メンテナンス項目の設定内容

メンテナンス項目		日付設定※	距離設定※	お知らせ設定	更新間隔設定／更新機能
オイル関連	エンジンオイル	○	○	○	○
	オイルフィルタ	○	○	○	○
	ミッションオイル	○	○	○	○
	ブレーキオイル	○	○	○	○
タイヤ関連	空気圧チェック	○	○	○	○
	タイヤローテーション	○	○	○	○
	タイヤ交換	○	○	○	○

NEXT

メンテナンス項目		日付設定※	距離設定※	お知らせ設定	更新間隔設定／更新機能
消耗品	ワイパーブレード	○	○	○	○
	エアクリーナー	○	○	○	○
	クーラント	○	○	○	○
	バッテリー	○	○	○	○
	ブレーキパッド	○	○	○	○
点検・車検	車検	○		○	
	定期点検	○		○	

※日付と距離を両方設定できる項目でも、どちらか一方だけの設定も可能です。
両方設定した場合は、どちらかの設定に到達するとお知らせを行います。

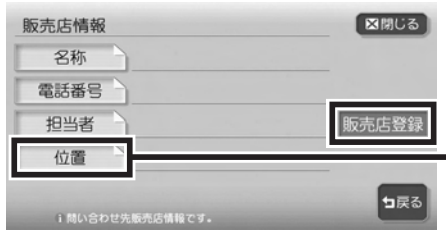
END

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート誘導することができます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ メンテナンス ▶▶▶ 販売店情報

1 販売店登録をタッチする

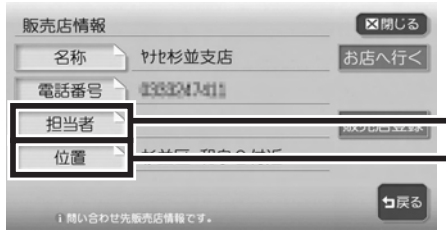


地図から位置登録を行う場合にタッチしてください。

2 販売店を探す方法を選択し、販売店を設定する



販売店を探す方法は、目的地を探す場合と同様です。詳しくは**「目的地を探す」(P.43)**をご覧ください。



担当者名を文字入力します。
登録位置を調整できます。

設定後は、販売店情報画面に戻ります。
設定した販売店の名称および位置は、自動で入力されます。

END

■販売店情報を登録したら

・販売店情報を設定したあとの販売店情報画面およびお知らせ項目確認には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの地図と地点メニューが表示されます。

・地点メニューの ここに行く をタッチすると、販売店までのルートが設定されます。



ETC情報を利用する

別売のETCユニット接続時に表示される情報です。
ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

ETC画面表示について

料金所ゲート通過時に、画面表示と音声で案内を行います。
案内の画面表示時間の変更、音声案内をするかしないかの設定については、**「ETCの設定をする」（P.332）**をご覧ください。

■画面表示

ETCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容は、ナビゲーション・オーディオ画面とも同様です。
メッセージ表示を消すには、地図をスクロールするか、何らかのタッチキー操作を行ってください。



■案内／警告表示

ETCユニットからの案内、警告情報を受信すると、案内、警告が表示されます。

●予告案内

料金所に予告アンテナが設置されている場合のみ、表示されます。

- **「ETCがご利用できません」**
- **「ETCがご利用可能です」**

●警告

・「ETCカードを確認してください」
ETCカードが故障、またはカードがETCカードでないときに表示されます。

・「ETCに異常が検出されました販売店に連絡してください」
ETCユニットの異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

・「ETCカードを挿入してください」
「ETCの設定をする」(P.332)のETCカード入れ忘れ警告を「する」に設定した場合、本機起動時に表示されます。

・「ETCユニットがセットアップされていません」
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。支払が発生する場合は、同時に料金が音声で案内されます。
ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。



お知らせ

・ETCレーン図は、表示されない場合があります。
・ETCレーン図は、ETC未接続時にも表示されます。

ETC情報を見る

ETCのさまざまな情報を見ることができます。
走行中は履歴を表示せず、最後に課金されたETCの金額をもう一度音声で案内します。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ ETC

1 見たい情報を選択してタッチする



タッチキー	情報の内容	参照ページ
履歴	ETCの履歴情報を表示する	P.132
最新利用履歴	1日分のETC履歴リストと合計金額を表示する	P.132
精算	ETC料金を希望の人数で割った金額を計算する	P.133
ETC設定	ETCについての設定をする	P.332
セットアップ情報	車載器管理番号や型式登録番号などを表示する	P.132

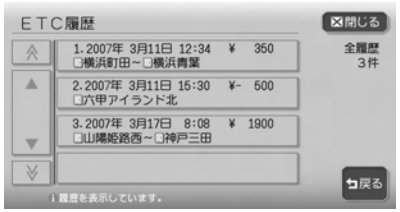
お知らせ

・走行中は選択できる項目が限定されます。

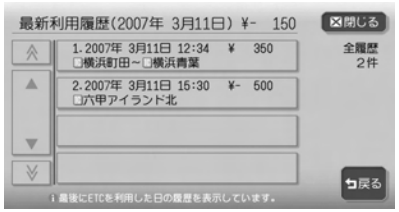
NEXT

2 情報を確認する

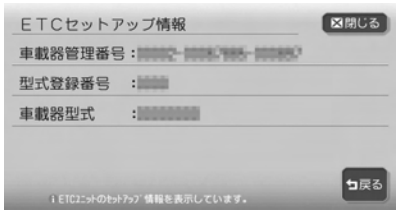
ETC履歴画面



最新利用履歴画面



ETCセットアップ情報画面



アドバイス

- ETC履歴は、ETCカードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大100件分を確認できます。

END

ETC料金を割り勘にする

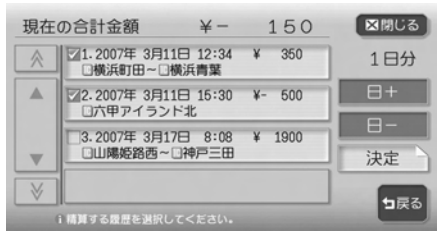
ETC履歴の中から精算したい履歴を指定し、希望の人数で割った金額を算出できます。
また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

お知らせ

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

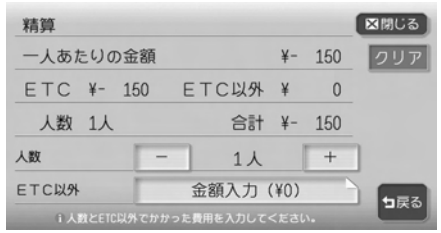
ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ ETC ▶▶▶ 精算

1 精算したい履歴をタッチして、決定をタッチする



履歴は複数選択できます。

2 精算人数を＋、－をタッチして入力する



一人あたりの支払い金額が表示されます。
金額の調整をしない場合は、手順5へ進みます。

3 ETC以外にかかった料金が必要であれば、金額入力 (¥0)をタッチする

4 金額を入力し、決定をタッチする

5 金額を確認し、閉じるをタッチする

END

静止画データを利用する（画像を探す）

メモリーカード（SDメモリーカード／メモリースティック）の静止画データやスライドショーを見ることができます。また、静止画データを「オーディオ用の背景」や「アルバム・登録地点用」として保存させることもできます。
静止画データとして利用できる画像のファイル形式などについては、以下の表をご覧ください。

ファイル形式	JPEG	デジタルカメラの写真画像など（JPEGベースラインプロセス準拠）
	ビットマップ（BMP）	16色、32色、256色、16bit色、24bit色、32bit色（すべて非圧縮）
ファイル制限	ファイルサイズ	ハードディスク：14MBまで メモリーカード：8MBまで
	総画素数	ハードディスク：2172万画素 メモリーカード：1270万画素

静止画データを見る

メモリーカードや、本機のハードディスク内の静止画データを見ることができます。

お知らせ

- メモリーカード内の静止画データを見る場合は、静止画データを見る前に必ずメモリーカードを挿入してください。
- ハードディスク内の空き容量が不足していると、静止画データの表示や編集ができなくなる場合があります。不要な静止画データは削除してください。データの削除方法については、**「元画像フォルダの削除／画像削除」（P.404）**をご覧ください。

1 探すを押し、画像を探すをタッチする

画像選択画面が表示されます。

2 HDD内画像 または カード内画像 をタッチする



フォルダ／画像の選択画面が表示されます。

3 見たいフォルダや画像ファイルをタッチする



選択した画像とタッチキーが表示されます。



約5秒間操作をしないと、タッチキーは消えます。再度表示させるには、画面をタッチします。

：前後の画像を表示します。

編集：画像をオーディオ用の背景やアルバム・登録地点用の画像として編集します。詳しくは、**「静止画データを編集する」（P.137）**をご覧ください。

左回転：表示中の画像を左に90°回転します。※

右回転：表示中の画像を右に90°回転します。※

スライドショー：スライドショーを開始します。詳しくは、**「スライドショーを見る」（P.136）**をご覧ください。

※ハードディスク内の画像を回転させた場合は、次回表示時も回転された状態となっています。

END

スライドショーを見る

静止画データを連続してスライドショーを見ることができます。

ここまでの操作

探す ▶▶▶ 画像を探す ▶▶▶ HDD内画像

（または カード内画像 ）▶▶▶ **［最初に再生したい画像ファイル］**

1 スﾗｲﾄﾞｼｮｰ をタッチする



スライドショーが開始されます。



スライドショーを停止するときは 停止 をタッチします。

アドバイス

- 約5秒間操作をしないと、タッチキーは消えます。再度表示させるには、画面をタッチします。

END

静止画データを編集する

静止画データを「オーディオ用の背景」や「アルバム・登録地点用」として保存させることができます。

ここまでの操作

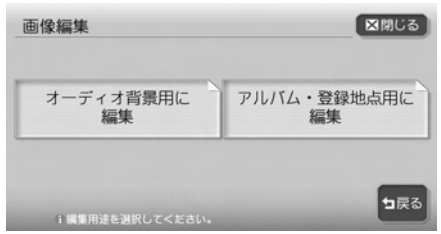
探す ▶▶▶ 画像を探す ▶▶▶ HDD内画像

（または カード内画像 ）▶▶▶ **［編集したい画像ファイル］**

1 編集 をタッチする

画像編集の選択画面が表示されます。

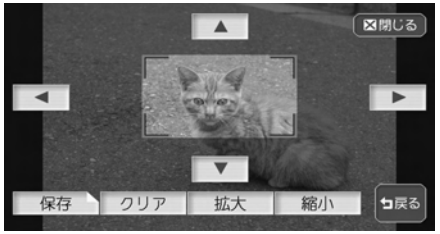
2 オーディオ背景用に編集 または アルバム・登録地点用に編集 をタッチする



画像編集画面が表示されます。

NEXT

3 保存する画像の範囲を設定する



オレンジ枠内の画像が保存の対象となります。

約5秒間操作をしないと、タッチキーは消えます。再度表示させるには、画面をタッチします。

拡大 ：オレンジ枠が小さくなります。

縮小 ：オレンジ枠が大きくなります。

◄、►、▼、▲ ：オレンジ枠が移動します。

クリア ：編集する前の状態に戻ります。

4 保存 をタッチする

プレビュー画面が表示されます。

5 保存 をタッチする



保存フォルダ選択画面が表示されます。

6 画像を保存するフォルダをタッチする

画像が保存されます。

END

電話を利用する

別売のBluetoothインターフェースアダプター（BLT570）接続時に、Bluetooth対応携帯電話を登録して本機から電話の発着信を行うことができます。Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。

Bluetoothとは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHｚ帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。

※Bluetoothは、ブルートゥースと読みます。

お知らせ

- 携帯電話は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 携帯電話の収納場所、距離によっては、接続できない場合があります。できるだけ通信状態のよい場所に置くことをお勧めします。
- Bluetooth対応携帯電話について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- 通話中に音量を調節した場合、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときに元の音量で通話できます。

携帯電話を登録する（ペアリング）

初めてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、別売のBluetoothインターフェースアダプターに登録（ペアリング）する必要があります。ペアリングすることにより、ハンズフリーで通話できる携帯電話を限定します。

お知らせ

- 走行中はペアリングを実行できません。
- 電話関連機能を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- オーディオOFF中、交通情報選択中は電話機能を選択できません。
- 携帯電話にBluetooth対応機器を登録する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ここまでの操作 設定/情報

1 電話 をタッチする

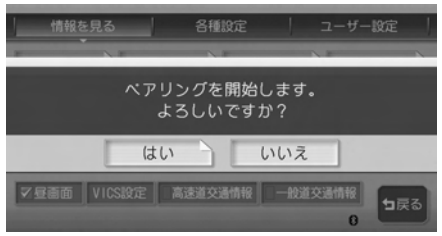


オーディオを停止するメッセージ表示後、ペアリング確認画面が表示されます。（初回時のみ）

お知らせ

- 電話 はBluetoothインターフェースアダプター接続時のみ表示されます。

2 はい をタッチする



3 携帯電話側からパスキー「1234」を入力する



ペアリング完了後、電話メニューが表示されます。



携帯電話の接続状態、受信感度、電池残量を表示します。

アドバイス

- 登録名称は変更できません。
- パスキーは変更できません。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続確認の操作が必要な場合があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「ハンズフリー」を選択してください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によって、数値が一致しない場合があります。

END

電話をかける

⚠注意

- **走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。**

お知らせ

- 通話中に車が電波の届かない場所に移動したときは回線が切れます。
- 通話中は、以下の機能のみ操作が可能です。
  - ノースアップ／ヘディングアップの切り替え（通話中地図画面のみ）
  - 地図の拡大／縮小（通話中地図画面のみ）
  - 地図スクロール（通話中地図画面のみ）
  - 音量調整
  - 現在地表示
  - 操作パネル開／閉

アドバイス

- 相手が先に電話を切った場合や、回線が切れてしまった場合は、電話メニューに戻ります。
- 携帯電話が待受け状態でないと、発着信できないことがあります。
- 通話中に 現在地 を押すと、地図画面に切り替わります。電話画面 をタッチすると通話中画面に戻ります。

ここまでの操作 設定/情報

1 電話 をタッチする

電話メニューが表示されます。

2 目的の操作を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	情報の内容	参照ページ
リダイヤル	最後にかけた電話番号にかけ直す	P.145
ダイヤル	電話番号を入力して電話をかける	P.144
電話帳	携帯電話の電話帳をBluetoothインターフェースアダプターに登録して電話をかける	P.146
着信履歴	本機の着信履歴から電話をかける	P.145
発信履歴	本機の発信履歴から電話をかける	P.145
登録電話機リスト	Bluetoothインターフェースアダプターと接続可能な携帯電話のリスト表示や切り替え、Bluetoothインターフェースアダプターと携帯電話のペアリングを行う	P.149
電話設定	ハンズフリーに関する設定をする	P.152

電話番号を入力してかける

お知らせ

・一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。

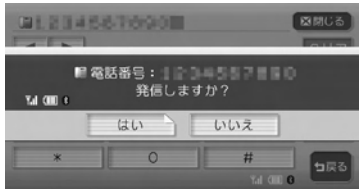
ここまでの操作

設定/情報 ▶ 電話 ▶ ダイヤル

1 電話番号を入力して 決定 をタッチする



2 はい をタッチする



電話番号が発信され、電話がかかります。

▼



呼び出し途中でタッチすると、電話を切り、電話メニューに戻ります。

3 通話を終了したい場合は、 をタッチする



電話を切り、地図画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。

END

通話中の地図画面

通話中に 現在地 を押すと、以下のような画面になります。

通話中地図画面

通話中画面に切り替わります。タッチして電話を切り、現在地が表示されます。



携帯電話の接続状態、受信感度、電池残量、通話時間が表示されます。

相手先の名前、電話番号が表示されます。

通話中地図スクロール時



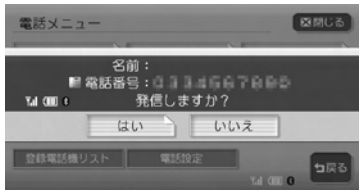
通話中地図画面に戻ります。

リダイヤルでかける

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 電話 ▶ リダイヤル

1 はい をタッチする



最後にかけた電話番号に電話をかけます。

END

着信履歴からかける

お知らせ

・着信履歴の登録数は、最新の５件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。
・非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 電話 ▶ 着信履歴

1 ダイヤルしたい相手先を選んでタッチする



着信履歴をすべて消去します。

2 はい をタッチする

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

END

発信履歴からかける

お知らせ

・発信履歴の登録数は、最新の５件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。

ここまでの操作

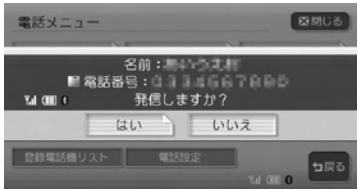
設定/情報 ▶ 電話 ▶ 発信履歴

1 ダイヤルしたい相手先を選んでタッチする



発信履歴をすべて消去します。

2 はい をタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

END

電話帳からかける

あらかじめ携帯電話の電話帳をBluetoothインターフェースアダプターに登録しておき、そこから電話をかけることができます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。電話帳の自動転送機能がある携帯電話は、電話帳が自動的に転送されます。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。
  その場合は、再度、登録電話機リストから接続したい携帯電話を選択してください。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 電話 ▶ 電話帳

1 ダイヤルしたい名前を選択してタッチする

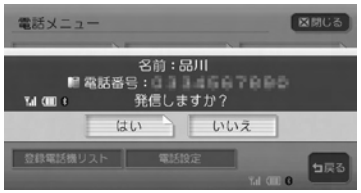


電話番号が1件しか登録されていない場合は、手順3に進みます。

2 ダイヤルしたい電話番号を選択してタッチする



3 はいをタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

アドバイス

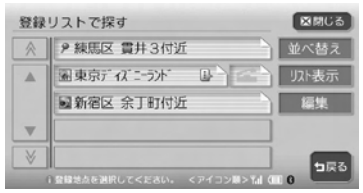
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件まで電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （一般）／（自宅）／（事務所）／（携帯電話）／（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなの先頭4文字で並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。
- 読みがなが4文字以上のデータは、エンジンOFFなどで携帯電話の接続が切れた場合、再接続時に表示順序が変わることがあります。

END

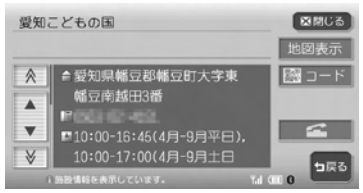
登録リストや施設情報から電話をかける

登録リストや施設情報画面に電話番号が登録されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続するとリスト画面から電話をかけることができます。

登録リスト画面

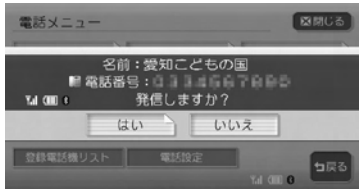


施設情報画面



1 リスト画面で または をタッチする

2 はいをタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

END

電話を受ける

Bluetoothインターフェースアダプターに接続した携帯電話が電話着信した場合、着信画面が表示されます。

⚠注意

- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1 着信画面で にタッチする



2 通話を終了したい場合は、 をタッチする

電話を切り、着信直前の画面に戻ります。
着信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

END

携帯電話の登録と切り替え（2台目以降を登録する場合）

お使いのBluetoothインターフェースアダプターとBluetooth対応携帯電話をペアリングします。
一度ペアリングした機器は、自動接続ができます。

お知らせ

- 携帯電話は、5台までペアリングすることができます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。

ここまでの操作　設定/情報 ▶▶▶ 電話 ▶▶▶ 登録電話機リスト

1 ペアリングをタッチする



登録されている携帯電話を切り替えます。

自動接続：点灯時、ペアリング済みの他の携帯電話をリストから選択すると、自動的に接続します。

NEXT

お知らせ

- リストから携帯電話を切り替えると、それまで使用していた携帯電話の発着信履歴は消去されます。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、現在の接続状態を維持したまま、2台目の携帯電話を登録します。
- 自動接続は、下記の場合に行われます。
  - Bluetooth対応携帯電話を接続したまま本機の電源を切り、再び本機の電源を入れた場合に前回接続していた電話と自動接続されます。
  - Bluetooth対応携帯電話と距離が離れているなど、何らかの理由で切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- 携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は、リストから接続したい携帯電話を選択してください。
- 携帯電話の「接続待機中」の設定を行わないと、自動的に接続されない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によって、数値が一致しない場合があります。
- 通話中に後席リモコンを使用して2ZONEのON/OFFを切り替えることができます。ただし、後席リモコンでリアモニターのソースは変更できません。したがって、通話中に後席リモコン操作で2ZONEを「ON」にすると、DVDモードのみ選択されます。

2 携帯電話側からパスキー「1234」を入力する

ペアリング完了後、登録電話機リスト画面に戻ります。
リストには登録された携帯電話の名称が表示されます。

END

登録情報を削除する

ペアリング済みの携帯電話情報を削除します。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 電話 ▶▶▶ 登録電話機リスト

1 削除 をタッチする

電話機削除リスト画面が表示されます。

2 削除したい携帯電話をタッチして、決定 をタッチする



3 はい をタッチする

お知らせ

- 携帯電話の登録情報を削除すると、該当する携帯電話の発着信履歴、電話帳情報も削除されます。
- 現在使用中の携帯電話の登録情報を削除すると、発着信履歴も削除されます。
- 複数の携帯電話の登録情報を削除している最中に本機の電源を切ると、削除できないことがあります。その場合は、電源を入れ、再度削除の操作を行ってください。

END

電話の設定をする

ハンズフリー電話に関する設定ができます。



電話設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
自動応答	電話がかかってきたときに、自動的に電話をつなぐよう設定する	する※／しない	—
スピーカー選択	ハンズフリー音声を出力するスピーカーの位置を設定する	左※／右	—
マイク感度	ハンズフリーマイクの感度を設定する	LO/MID※/HIGH	—
着信音量	着信音量を調整する	レベル0※～7	—
設定とメモリの初期化	ハンズフリーの設定とメモリを初期化する（＊）	—	—
機器情報	Bluetoothインターフェースアダプターの機器情報（Bluetoothパスキー、名称、アドレス、システム、ファームウェア）を表示する	—	—

（＊）設定値が初期設定に戻るほか、電話帳データ／着信履歴／発信履歴／リダイヤル／登録電話機リストがクリアされます。

オーディオ・ビジュアル編

ラジオを聴く

ラジオの操作について説明します。

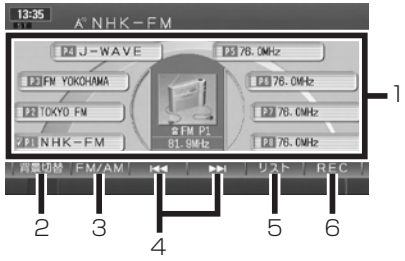
目次

画面表示とタッチキーについて …… 154
選局する …… 156
放送局リストから選局する …… 157
受信設定を変更する …… 161
背景を設定する …… 162

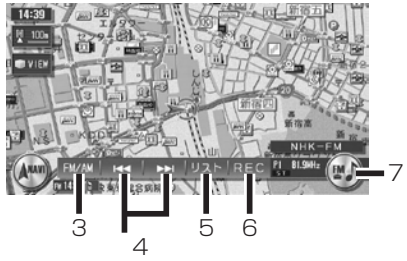
画面表示とタッチキーについて

ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ FM/AM

オーディオ画面



ナビ画面



1	プリセットチャンネルキー	現在登録されているプリセットチャンネル表示 タッチすると、そのチャンネルを受信します。
2	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する **(P.162)**
3	FM/AM	受信バンド（FM/AM）を切り替る タッチするたびに、FM→AMの順に切り替わります。
4	⏮、⏭	受信する周波数を切り替える（自動選局／手動選局）**(P.156)** 操作パネルのDN／UPを押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。
5	リスト	プリセットチャンネルリストを表示する
6	REC	受信中の放送を録音する **(P.273)**
7	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（FM/AM）表示 「ホーム」のモードが選択されているときは、ホームマークも表示されます。 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

■プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは**P.157**をご覧ください。

選局する

自動選局する

ここまでの操作　FM/AM で目的のバンドを選択

1 **オーディオコントロールバーの ⏮ または ⏭ を「ピッピッ」と音がするまでタッチし続ける**

放送を受信すると、自動的に選局が止まります。

END

手動で選局する

ここまでの操作　FM/AM で目的のバンドを選択

1 **オーディオコントロールバーの ⏮ または ⏭ をタッチして、希望の周波数に合わせる**

アドバイス

- 受信可能な放送局をあらかじめ本機に登録し、そこから選局することもできます。詳しくは、**「放送局リストからチャンネルを選ぶ」（P.159）**をご覧ください。

END

放送局リストから選局する

プリセットチャンネル（**P.155**）をあらかじめ登録しておけば、プリセットチャンネルリストから簡単に選局することができます。

アドバイス

- ホーム、お出かけをタッチして、各モードごとにプリセットチャンネルリストを作成することができます。

放送局をリストに手動で登録する

ここまでの操作　リスト

1 **FM/AM をタッチして、登録したいバンドを選択する**



2 **⏮ または ⏭ をタッチして、登録したい放送局を受信する**

3 **登録するチャンネルを、「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける**

受信中の放送局がそのチャンネルに登録されます。
ここで登録した内容はプリセットチャンネルキーにも反映されます。プリセットチャンネルキーには、チャンネル番号が表示されます。

END

放送局をリストに自動で登録する（オートストア）

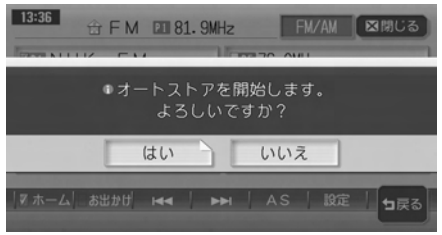
受信可能な放送局を自動で探し出し、8局まで登録します。（地域によっては8局に満たない場合があります）
お出かけ先で、周波数がわからないときに便利です。

ここまでの操作 リスト

1 AS をタッチする

メッセージ画面が表示されます。

2 はい をタッチする



オートストアが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されていきます。

アドバイス

- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書きして登録されます。
- オートストア中は、すべての選局操作はできません。終了するまでお待ちください。

END

放送局リストからチャンネルを選ぶ

1 FM/AM で目的のバンドを選択する

2 リスト をタッチする

3 目的の放送局のキーをタッチする

4 閉じる をタッチする

選択した放送局が受信され、初期画面に戻ります。

END

放送局名を編集する

登録した放送局の名称を編集できます。

お知らせ

・編集を中止するには、編集中に 戻る をタッチします。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ [編集したいチャンネル]

1 設定 をタッチする

各編集画面が表示されます。

2 受信局編集 をタッチする

3 放送局名 をタッチする

4 お好みの放送局名を10文字以内で入力し、決定 をタッチする

放送局名が確定され、受信局編集画面に戻ります。

お知らせ

・「お出かけ」モードに設定されている場合は、放送局名は表示されますが編集はできません。

END

受信設定を変更する

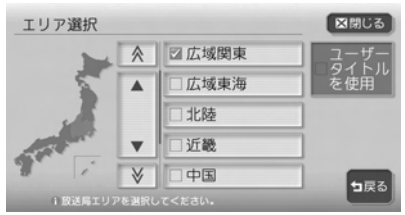
受信エリアを切り替える

受信エリアを選択することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定

1 エリア選択 をタッチする

2 切り替えたい放送局エリアをタッチする



選択した放送局エリアのランプが点灯し、エリアが切り替えられます。

ユーザータイトルを使用 をタッチすると、**「放送局名を編集する」(P.160)** で設定した放送局名（ユーザータイトル）を表示します。

END

背景を設定する

初期画面の背景をお好みの画像やカレンダーに設定できます。

1 背景切替 をタッチする

2 設定したい項目をタッチする



タッチキー	設定の内容	参照ページ
リスト表示	トラックキーやプリセットチャンネルキーをリストで表示する	P.163
カレンダー	初期画面にカレンダーを表示する	P.163
写真	本機に登録してある画像を背景に設定する	P.164

以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

リスト表示を設定する

ここまでの操作 背景切替 ▶▶▶ リスト表示

リスト表示が設定されます。

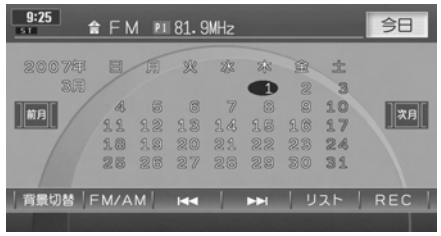


END

カレンダーを設定する

初期画面に重ねてカレンダーを表示します。
カレンダー表示中は、ミュージックキャッチャーなどのタイトルリストは表示されません。

ここまでの操作 背景切替 ▶▶▶ カレンダー



今日 ：当月のカレンダーを表示する
前月 ：前月のカレンダーを表示する
次月 ：次月のカレンダーを表示する

END

写真を設定する

あらかじめ本機に登録された7種類の画像のほか、お好みの画像を登録しておいて、そこから選択することもできます。

お知らせ

・登録画像の変更・追加については、**「アルバム・登録地点画像の取り込み／削除」(P.407)** をご覧ください。

ここまでの操作　背景切替 ▶▶▶ 写真

---

1 、で設定したい画像を選択し、背景に設定をタッチする



登録してある写真のスライドショーが開始します。スライドショーを中止するには、再度タッチします。

壁紙が変更されます。

END

オーディオ・ビジュアル編

地上デジタル放送のテレビを観る

同梱の地上デジタルTVチューナー（DTX870）を利用した地上デジタル放送テレビの操作について説明します。

目次

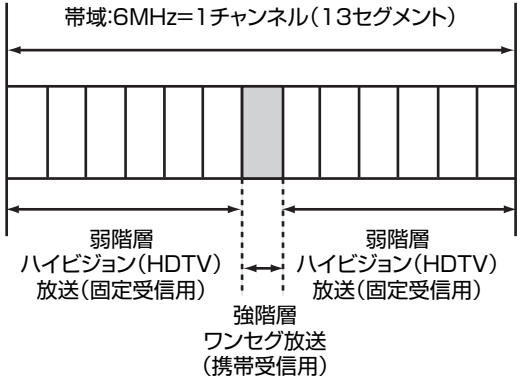
地上デジタル放送とは …… 166
本体の名称とはたらき …… 169
画面表示とタッチキーについて …… 173
ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える …… 176
バンドを切り替える …… 177
選局する …… 178
放送局リストから選局する …… 181
データ放送を利用する（12セグ放送のみ） … 184
緊急放送を観る（12セグ放送のみ） …… 185
音声を切り替える …… 186
地上デジタル放送の設定をする …… 187
リモコンを使う …… 192

地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
本機では、同梱の地上デジタルTVチューナー（DTX870）を接続して、12セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF帯域の電波を使用しており、約6MHzの帯域を１つのチャンネルとして13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けのHDTV放送（弱階層）を行うサービスを12セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。
ワンセグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2～ 5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

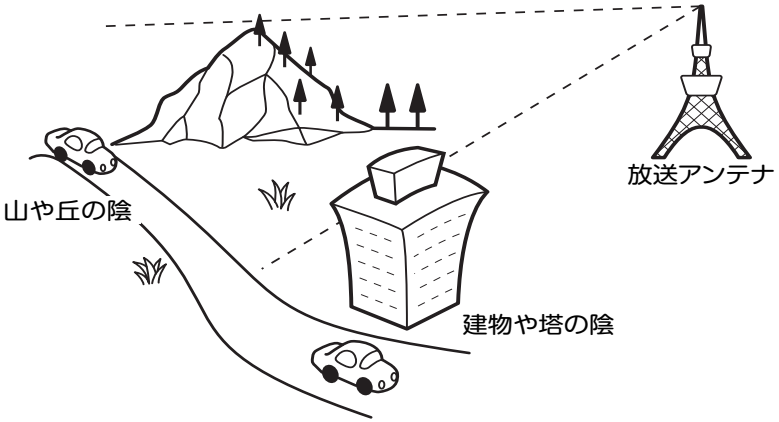
	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 （デジタルハイビジョン放送）		
7 時	プロ野球 （標準テレビ放送）	ドラマ （標準テレビ放送）	ニュース （標準テレビ放送）
8 時	映画 （デジタルハイビジョン放送）		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。
上記の放送の例では、○○○chを**メインチャンネル**、△△△chと×××chを**サブチャンネル**と呼びます。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、下記のような現象が起こることがあります。

- ●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- ●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- ●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。

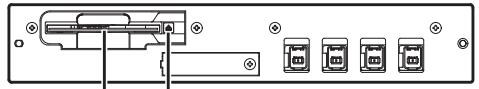


アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

本体の名称とはたらき

DTX870前面



DTX870側面



1 2 3

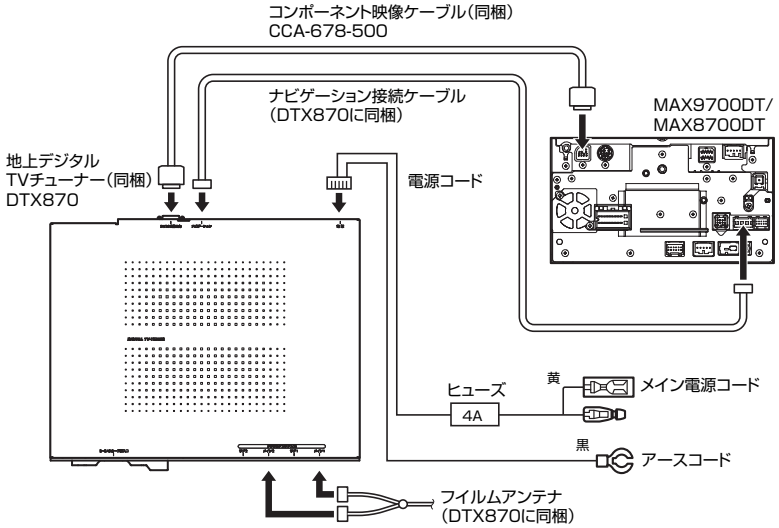
1 **B-CASカード挿入口**
B-CASカードを挿入する場所です。(→P.171)

2 **イジェクトボタン**
挿入されているB-CASカードを取り出すときに押します。(→P.172)

3 **リセットスイッチ**
DTX870を再起動する際に使用します。

接続のしかた

DTX870を本機で使用する場合は、以下のように接続します。



B-CASカードとは

B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。地上デジタル放送を視聴するときは、必ずDTX870にB-CASカードを入れてください。

お知らせ

- B-CASカードはDTX870に付属のものを使用してください。

B-CASカードについて

●B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードのIC（集積回路）部は触らないでください。IC部に触れるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないででください。高温によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを磁石の近くやテレビの上など、磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりB-CASカードが故障する恐れがあります。

B-CASカードを台紙からはがす

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。
なお、B-CASカードの台紙には『ユーザー登録はがき』が付いています。台紙に記述されている内容をご確認の上、ユーザー登録を行ってください。ユーザー登録は無料です。

お知らせ

- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250（AM10：00～PM8：00）
- 盗難防止のため、車から離れるときはB-CASカードをTVチューナーから抜いて持ち歩くようにしてください。

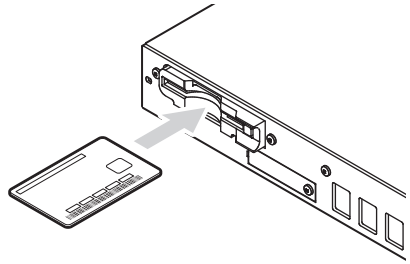
B-CASカードを入れる

お願い

- B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。

1 エンジンを切る

2 カード番号表示面を上にIC側を奥にして、B-CASカードを挿入する



アドバイス

- B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。

END

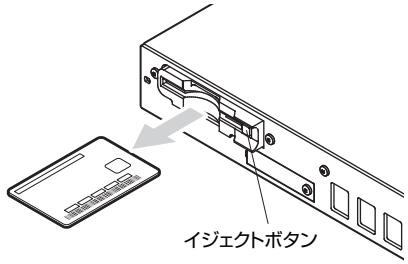
B-CASカードを抜く

お願い

- B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。

1 エンジンを切る

2 イジェクトボタンを押して、B-CASカードを抜く



お願い

- B-CASカードは高温で変形するおそれがあるので、使用後はカードを抜くかまたは高温にならない場所にセッティングしてください。

END

画面表示とタッチキーについて

⚠警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみテレビの映像を観ることができます。走行中は、音声だけを聴くことができます。**

お知らせ

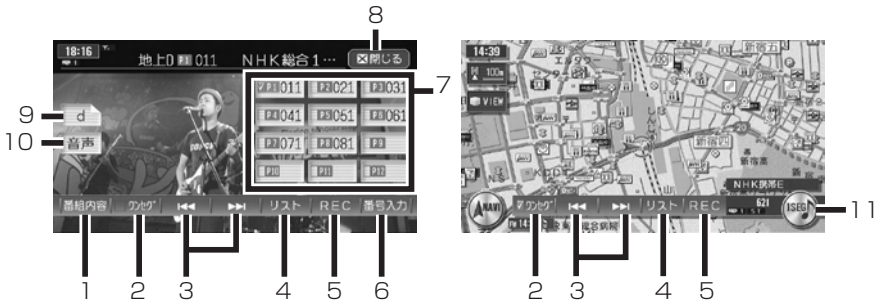
- 地上デジタル放送を受信するには、地上デジタルTVチューナーのほか、受信用アンテナや接続ケーブルが必要です。
- 地上デジタルTVチューナーは、地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます。(→P.176)
- テレビ受信時に（おもに弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また、画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

テレビの画面は、オーディオ画面を例に説明しています。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いはP.174をご覧ください。



約５秒間操作しないと、テレビのタッチキーは消えます。再度表示させるには、画面内をタッチします。

オーディオ画面　　**ナビ画面**



1	番組内容	番組内容を表示する 走行中は表示されません。
2	ﾜﾝｾｸﾞ	ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える
3	⏮、⏭	受信可能なメイン／サブチャンネルを選局する
4	リスト	プリセットチャンネルリストを表示する
5	REC	受信中の放送を録音する（P.273）
6	番号入力	チャンネル番号を直接入力して選局する（P.179） 走行中は表示されません。
7	プリセット チャンネルキー	現在登録されているプリセットチャンネルのキー ご希望のチャンネルのキーにタッチすると、選択したチャンネルを受信します。
8	閉じる	画面上の操作メニューの表示を消す
9	d	データ放送を表示する（P.184）
10	音声	受信中番組の音声を切り替える（P.186）
11	オーディオコント ロールキー	現在選択されているソース（1SEG）表示 「ホーム」のモードが選択されているときは、ホームマーク も表示されます。 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

■プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは**P.181**をご覧ください。

アドバイス

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、12セグのメインチャンネルのみです。ワンセグや12セグのサブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。



タッチして自動表示メッセージを消去します。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える

視聴する放送（12セグ放送／ワンセグ放送）に切り替えられます。



1 ワﾝｾｸﾞをタッチする

ワﾝｾｸﾞをタッチするたびに、ワンセグ放送と12セグ放送が切り替わります。

お知らせ

- 12セグ放送のサブチャンネル（→P.167）を視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

END

ワンセグ／ 12セグの自動切替機能について

地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。
自動切替機能ON時に、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

お知らせ

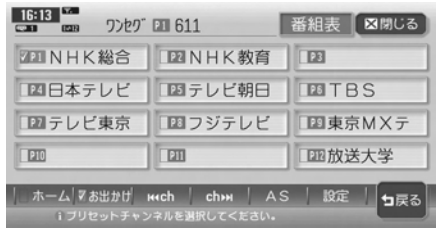
- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や12セグ放送で視聴していたチャンネルがワンセグ放送にない場合には、自動切替機能は働きません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないのにワンセグと認識してデータが送信され、自動切替機能が動作する場合があります。
- 12セグ放送の受信電波が強くなった場合は、12セグ放送に切り替わります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 自動切替機能OFF時に、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。（**「ノイズコンシールメント機能」（→P.187）**）

バンドを切り替える

地上デジタルTVチューナーには、2つのバンド（ホーム／お出かけ）があります。地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内のプリセットチャンネルをホーム、お出かけにそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。



1 ホームまたはお出かけをタッチして、観たいバンドを切り替える



お知らせ

- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

END

選局する

メイン／サブチャンネルを選局する

3桁チャンネル番号のメインチャンネル、サブチャンネルを自動的に選局します。

1 オーディオコントロールバーの ⏮ または ⏭ をタッチする

現在受信中のチャンネルを含む次、または前のチャンネルのメイン／サブチャンネルを探して選局します。

アドバイス

- 画面上にSEEKインジケーターが表示され、次の放送局が見つかるまで選局を継続します。

END

チャンネル番号を入力して選局する

12セグ放送のメイン／サブチャンネル、およびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

ここまでの操作 番号入力

1 観たい3桁チャンネル番号を入力し、決定 をタッチする



12セグ放送の3桁チャンネル番号を入力した場合、放送局があるとオーディオ画面に切り替わり選局した放送を受信します。ワンセグ放送の3桁チャンネル番号を入力した場合は、放送局があると選局はされますが画面は切り替わりません。戻る をタッチしてください。放送局がない場合は、入力した番号がキャンセルされるので再入力します。

アドバイス

- 3桁に満たない番号を入力した場合は、エラーとなります。
- プリセットチャンネルリストで観たい番組のチャンネル番号をタッチし、直接選局することもできます。

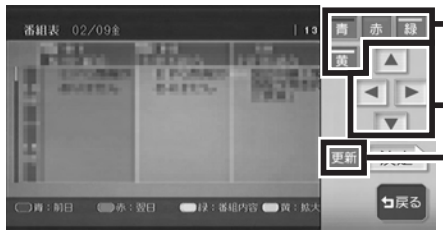
END

番組表（EPG）から選局する

観たい番組を番組表から探して選局します。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 番組表

1 ▲、▼、▶、◀で観たい番組を選択し 決定 をタッチする



画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

操作キー

番組表の内容が更新されます。

選択した番組の放送を受信します。

END

手動で選局する

ここまでの操作　リスト

1 ⏮ch または ch⏭ をタッチして、希望のチャンネルに合わせる

アドバイス

- UHF放送の13ch ～ 62chまでを１チャンネルずつ選局できます。
- 受信可能な放送局をあらかじめ本機に登録し、そこから選局することもできます。詳しくは、**「放送局リストからチャンネルを選ぶ」（P.183）**をご覧ください。

END

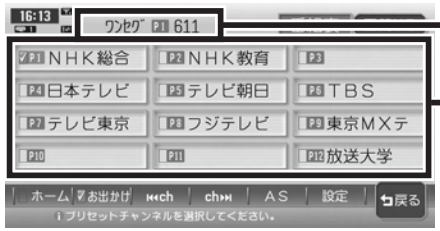
放送局リストから選局する

放送局をリストに手動で登録する

プリセットチャンネル（P.174）をあらかじめ登録しておけば、プリセットチャンネルリストから簡単に選局することができます。
プリセットチャンネルは、「ホーム」「お出かけ」の各バンドに12ずつ、合計24チャンネルまで登録することができます。

ここまでの操作　リスト

1 ホーム または お出かけ をタッチして、登録したいバンドを選択する



受信中の放送局が表示されます。

受信中の放送局を登録するキーです。

2 ⏮ch または ch⏭ をタッチして、登録したいチャンネルを選択する

3 登録するプリセットチャンネルキーを、「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける

選択したチャンネルがプリセットチャンネルに登録されます。
ここで登録した内容はオーディオ画面のプリセットチャンネルキーにも反映されます。プリセットチャンネルキーには、チャンネル番号が表示されます。

お知らせ

- プリセットチャンネルキーに表示される内容は、12セグの放送局名とチャンネルです。

END

放送局をリストに自動で登録する（オートストア）

受信可能な放送局を自動で探し出し、12局まで登録します。（地域によっては12局に満たない場合があります）
お出かけ先で、チャンネルがわからないときに便利です。

お知らせ

- オートストアを実行すると、現在選択している受信バンド（ホーム、お出かけ）別にチャンネルリストが登録できます。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ ホーム または お出かけ で目的のバンドを選択

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする



オートストアが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されます。

アドバイス

- 受信状態によっては、約1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートストア中は、すべてのチャンネル切り替え操作はできません。終了するまでお待ちください。
- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書きして登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルがクリアされる場合もあります。

- オートストア中にエンジンを切るなど、オートストアを途中で終了した場合は、次回受信時にすでに登録されたプリセットチャンネルのうち、一番小さい3桁チャンネルが選局されます。

END

放送局リストからチャンネルを選ぶ

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ ホーム または お出かけ で目的のバンドを選択

1 プリセットチャンネルキーをタッチする

選択した放送局が受信されます。

アドバイス

- DN / UP を押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。また、初期画面のプリセットチャンネルキーから直接選局することもできます。

END

番組の詳細を表示する

現在観ている番組の詳細内容を表示します。

1 番組内容 をタッチする

番組の詳細内容が表示されます。



END

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

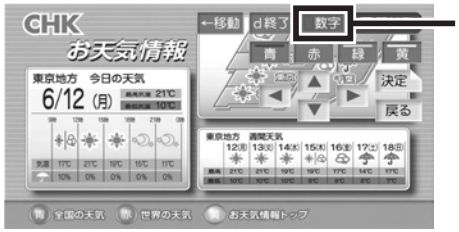
地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

お知らせ

- データ放送を利用するには、あらかじめ現在地の郵便番号を設定しておく必要があります。（→P.188）
- データ放送がない番組の場合、d をタッチしても何も表示されません。

1 d をタッチする

データ放送画面が表示されます。



数字入力メニューに切り替わります。

END

緊急放送を観る（12セグ放送のみ）

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。
デジタル放送受信中に緊急放送が始まると、画面に「緊急放送」または「EWS」と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

オーディオ画面



ナビゲーション画面



放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

アドバイス

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

END

音声を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりします。

1 受信中にオーディオ画面で 音声 をタッチする

現在選択中の音声が表示されます。



受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。音声をタッチするたびに12セグ放送は最大16音声まで、ワンセグ放送は2音声まで切り替えられます。また、音声多重放送時には各音声の主音声と副音声を切り替えられます。

12セグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→第2音声（主）→第2音声（副）→・・・第16音声（主）→第16音声（副）→第1音声（主）・・・

ワンセグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→第2音声（主）→第2音声（副）→第1音声（主）

お知らせ

- 音声情報のない箇所は飛ばして切り替わるので、必ずしも上記の動作にはなりません。

END

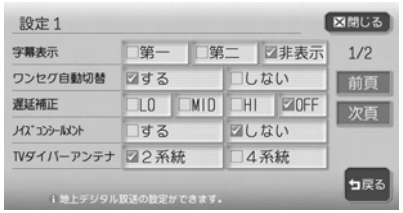
地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ここまでの操作 リスト

1 設定 をタッチする

設定メニュー画面が表示されます。





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
字幕表示	映画やドラマなど字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定する 表示する場合は「第1」「第2」の各言語から選択します。	第1／第2／非表示※	—
ワンセグ自動切替	12セグ受信中に受信感度が悪くなった場合、自動でワンセグモードへ切り替える機能を設定する	する※／しない	—
遅延補正	12セグ／ワンセグ自動切替時の映像／音声ズレを軽減する ONの場合は 「LO/MID/HI」から選択します。	LO/MID/HI/OFF※	—
ノイズコンシールメント	受信が困難になったときに、表示可能な最後の画面を静止画として表示する	する／しない※	—
TVダイバーアンテナ	TVダイバーアンテナの入力本数モードを設定する	2系統※／4系統	—
地域設定	オートストア実行時に重複した放送局がある場合の表示優先順位を決定する。またデータ放送受信時に、地域情報を取得するために郵便番号を設定する。	東京※	P.188
放送メール	放送局から送られてくるメールの内容を表示する	—	P.189
B-CASカード	B-CASカードのID情報を表示する	—	P.190
個人情報初期化	個人情報を初期化する	—	P.191

優先エリアを切り替える

県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 ［地域設定］から 地域設定 をタッチする

エリア選択画面が表示されます。

2 優先させたい放送局エリアをタッチして、決定 をタッチする



選択した放送局エリアのランプが点灯し、郵便番号入力画面が表示されます。

3 放送局エリアの郵便番号を入力し、決定 をタッチする



アドバイス

- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、ランダムな数字を入力してください。（ゼロを7桁入力した場合は設定できません）データ放送は受信できませんが、エリア設定を行うことができます。

END

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

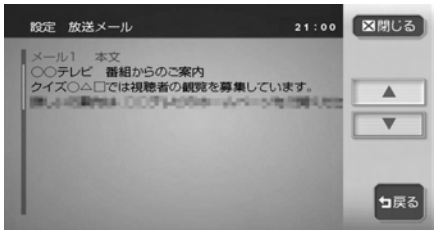
ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 ［放送メール］から 受信メール表示 をタッチする

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

2 表示させたいメールをタッチする





選択した放送メールの内容が表示されます。

お知らせ

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲、▼で画面をスクロールして表示します。
- 受信した放送メールは最大８個まで保存されます。８個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に削除されます。一番古いメールが未読状態でも削除されます。
- すべての放送メールを削除することもできます。（→P.191）
- 放送メールの受信が１通もない場合、受信メール表示 をタッチしても受信メール一覧は表示されません。

END

B-CASカードのID情報を確認する

B-CASカードのID情報などを確認します。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 [B-CASカード] から ID番号表示 をタッチする

B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

2 ▲、▼でB-CASカードのID情報などを確認する



B-CASカードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

アドバイス

- B-CASカード未挿入時には、B-CASカードID番号表示画面の「グループID」以外に［－－－－］が表示されます。

END

個人情報を初期化する

個人情報を初期化します。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 [個人情報初期化] から 項目選択 をタッチする

初期化項目選択画面が表示されます。

2 初期化したい個人情報をタッチする



削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

選択した各設定が初期化されます。

END

リモコンを使う

地上デジタルTVチューナーに付属のリモコンの使いかたについて説明します。

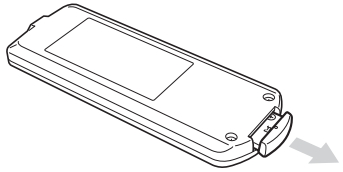
リモコンをセットする

1 電池ホルダー部のフィルムを抜く

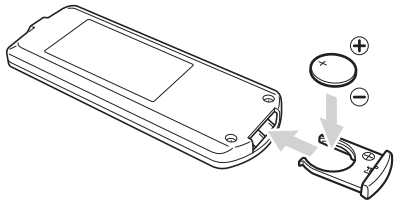
END

リモコンの電池を交換する

1 電池カバーを開け、電池を取り出す



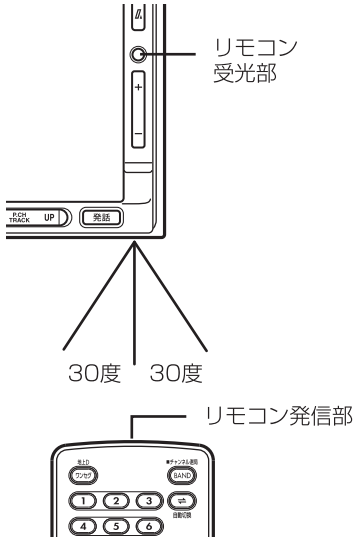
2 新しいリチウム電池（CR2025）を電池カバーの⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



END

リモコンの使いかた

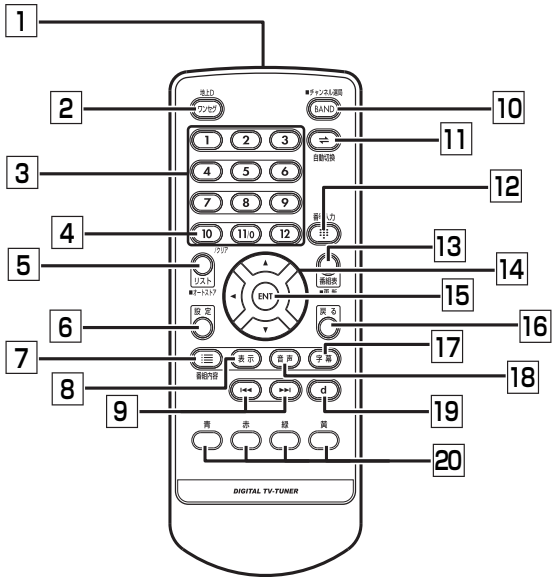
1 本機のリモコン受光部に向けて操作する



END

リモコンボタンの名称とはたらき

地上デジタルTVチューナーに付属のリモコンの各機能について説明します。



1 **リモコン送信部**
リモコンの信号を送信する場所です。

2 **ワンセグ ボタン**
ワンセグモード、12セグモードを切り替えるときに押します。(→P.176)

3 **チャンネルボタン**
チャンネル番号を入力するときに押します。(→P.179)

4 **10 ボタン**
入力したチャンネル番号をクリアするときに押します。

5 **リスト ボタン**
放送局リストを表示するときに押します。表示した放送局リストから選局できます。(→P.181) また、押し続けると受信可能な放送局を本機に自動で登録させることもできます。(→P.182)

6 **設定 ボタン**
地上デジタル放送のいろいろな設定を行うときに押します。(→P.187)

7 **番組内容 ボタン**
受信している番組の詳細内容を表示させるときに押します。(→P.183)

8 **表示 ボタン**
受信している番組の放送局名や番組タイトル名などのチャンネル情報を表示させるときに押します。

9 **<<、>> ボタン**
メイン／サブチャンネルの選局を行います。(→P.178)

10 **BAND ボタン**
プリセットモード（ホーム/お出かけ）のバンドを切り替えるときに押します。また、押し続けるとチャンネル選局を切り替えられます。（スタンドアロン接続時のみ）

11 **自動切換 ボタン**
12セグ⇔ワンセグ自動切替機能をON/OFFするときに押します。(→P.187)

12 **番号入力 ボタン**
チャンネル番号を入力するときに押します。チャンネル番号を入力して選局できます。(→P.179)

13 **番組表 ボタン**
EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。表示した番組表から選局できます。(→P.180) また、押し続けるとEPGを更新します。

14 **◄ ► ▼ ▲ ボタン**
画面に表示されている項目※を選択するときに押します。
（※番組表、番組内容、メール内容、B-CASカードID表示、データ放送、地域設定の画面のみ）

15 **ENT ボタン**
画面に 決定 が表示されている項目を確定するときに押します。

16 **戻る ボタン**
データ放送の項目を選択して処理を進めたときに、1つ前の画面に戻ります。（データ放送時のみ）

17 **字幕 ボタン**
字幕表示を切り替えるときに押します。(→P.187)

18 **音声 ボタン**
2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりするときに押します。(→P.186)

19 **d ボタン**
データ放送を受信させるときに押します。(→P.184)

20 **カラーボタン**
カラーキーを操作するときに押します。(→P.180)

Memo

オーディオ・ビジュアル編

DVDを観る／聴く

DVDビデオ／ DVDオーディオの再生方法や設定などの操作について説明します。

目次

画面表示とタッチキーについて …… 198
再生する …… 201
いろいろな再生方法 …… 202
初期設定を変更する …… 209
画面サイズを切り替える …… 222

画面表示とタッチキーについて

DVDビデオ／オーディオの画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

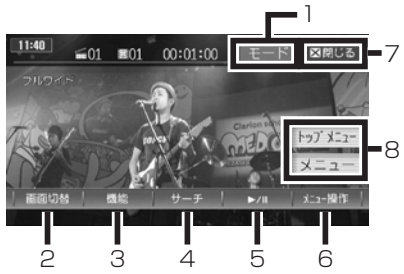
- DVDビデオモード時に音量を調節した場合、ディスクを取り出したり、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回DVDビデオを再生したときに元の音量で観ることができます。

ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ DVD/CD またはDVDディスクを挿入

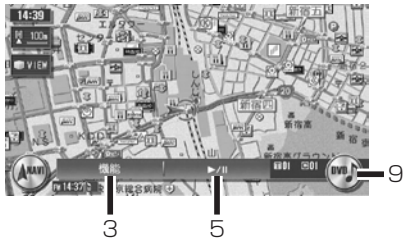
5秒間操作をしないと、DVDビデオ／オーディオのタッチキーは消えます。再表示させるには、画面内をタッチします。

DVDビデオ

オーディオ画面



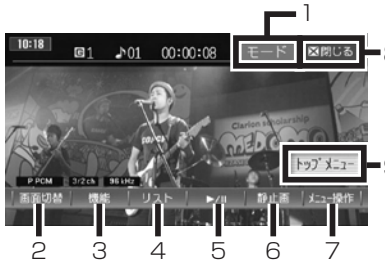
ナビ画面



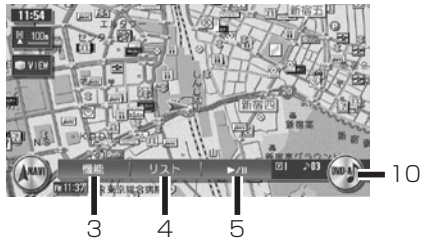
1	モード	字幕言語、音声言語、アングルを切り替える（P.208）
2	画面切替	画面サイズを切り替える（P.222）
3	機能	リピート再生、スキャン再生をするための機能メニューやDVDの初期設定画面を表示する（P.207、P.209）
4	サーチ	タイトルやチャプターをダイレクトに選択する（P.202）
5	▶/II	一時停止する 再度タッチすると再生が始まります。また、タッチし続けると再生を中止することもできます。
6	ﾒﾆｭｰ操作	DVDメニュー操作画面を表示する（P.203）
7	☒閉じる	画面に表示されている操作メニューの表示を消す
8	ﾄｯﾌﾟﾒﾆｭｰ メニュー	DVDメニューを表示する（P.205）
9	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（DVD）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

DVDオーディオ

オーディオ画面



ナビ画面



1	モード	マルチチャンネルコンテンツと2チャンネルコンテンツを切り替える ビデオコンテンツ再生時は、字幕言語、音声言語を切り替える（P.208）
2	画面切替	画面サイズを切り替える（P.222）
3	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューやDVDの初期設定画面を表示する（P.207、P.209）
4	リスト	グループリストを表示する（P.229） グループリストから聴きたいトラックを選んで再生できます。
5	▶/II	一時停止する 再度タッチすると再生が始まります。また、タッチし続けると再生を中止することもできます。
6	静止画	ディスク内にある静止画像のスライドショーを開始する※
7	ﾒﾆｭｰ操作	DVDメニュー操作画面を表示する（P.203）
8	☒閉じる	画面に表示されている操作メニューの表示を消す
9	ﾄｯﾌﾟﾒﾆｭｰ	DVDメニューを表示する（P.205）
10	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（DVD-A）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

※ 静止画像がない場合は 背景切替 が表示され、画面の背景をお好みの表示に設定できます。

アドバイス

- 一時停止中に以下の状況が発生した場合は、一時停止が解除され再生を再開します。
  交通情報（P.121）を聴き、解除した場合
  電話を受発信し**（P.139）**、終了した場合
- UP、DNを押してチャプターのアップ／ダウン操作をすることもできます。また、UP、DNを押し続けて、早送り（UP）／早戻し（DN）再生をすることもできます。
- DVDビデオディスクにより、メニュー中にキー操作（再生／一時停止）ができない場合があります。その場合は、メニュー操作でDVDメニューの操作キーを出して操作をしてください。

再生する

ディスクが本機に入っている場合の再生方法

1 SOURCEを押す

2 DVD/CDをタッチする

再生が始まります。

END

ディスクが本機に入っていない場合の再生方法

1 基-P.68を参照して、ディスクを本機に挿入する

自動的に操作パネルが閉じ、再生が始まります。

END

再生を停止する

1 再生中に▶/IIをタッチしつづける

再生が停止します。

END

停止位置から再生を再開する

1 ▶/IIをタッチする

前回の停止位置から再生が始まります。

END

ディスクの先頭から再生を再開する

1 再生停止状態で▶/IIをタッチしつづける

2 ▶/IIをタッチする

ディスクの先頭から再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

タイトル／チャプター番号を選んで再生する DVDビデオ

再生中のDVDから、見たいタイトルやチャプターの番号を入力して再生します。

お知らせ

- タイトル番号が指定できるのは、複数のタイトルが収録されているDVDビデオディスクを再生しているときです。
- ディスクによってはこの操作ができない場合があります。

ここまでの操作 サーチ

1 見たいタイトル番号を入力して 決定 をタッチする



チャプター番号を入力する画面に切り替わります。

2 閉じる をタッチする

テンキーが消え、選択したタイトル番号またはチャプター番号から再生がはじまります。

END

ディスクメニューを利用して再生する

DVDビデオ／オーディオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たいメニューを再生できます。表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

お知らせ

- ディスクによってはこの操作ができない場合があります。

ここまでの操作 メニュー操作

1 トップメニュー または メニュー をタッチし、DVDメニューを表示する



ディスクによってはこの操作ができない場合があります。

NEXT

2 ▲、▼、◀、▶をタッチして目的のメニュー項目を選択し、決定をタッチする



ダイレクト：メニュー項目をダイレクトに選択できます。(P.205)

10キー：メニュー番号をダイレクトに入力して選択できます。
選んだメニュー項目が再生されます。

10キー入力画面



通常のDVDメニュー画面に戻るには、戻るをタッチします。

END

ダイレクト操作で再生する

DVDメニューの項目をじかにタッチして再生することができます。

アドバイス

- DVDディスクメニューのダイレクト操作をする前に、確認画面を表示することもできます。(P.219)

ここまでの操作

メニュー操作 ▶▶▶ トップメニュー または メニュー ▶▶▶ ダイレクト
または 初期画面で トップメニュー メニュー のいずれか

1 目的のメニュー項目をタッチする



DVDメニュー操作のタッチキーが表示されます。再度広域または詳細を押すとメニュー操作画面に戻ります。選んだメニュー項目が再生されます。

アドバイス

- ディスクメニューの間隔が狭くダイレクトタッチで操作できない場合は、初期画面のトップメニューまたはメニューをタッチして表示されるメニュー操作画面から操作してください。

END

スロー再生する DVDビデオ

再生中のDVDビデオをスロー再生できます。

1 ▶/II をタッチして、再生を一時停止する

2 UP を押し続ける

スロー再生がはじまります。

アドバイス

- UP から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「1/3」と表示されます。

END

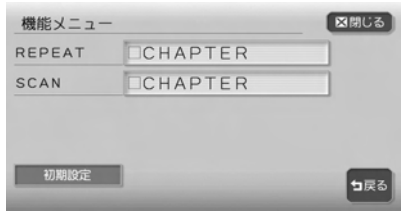
リピート、スキャン再生をする

1つのチャプターを繰り返し再生したり、各チャプターを10秒間ずつ再生して観たいチャプターを探すことができます。
DVDオーディオでは、ディスク内の全トラックをランダムに再生することもできます。

ここまでの操作 機能

1 目的の項目の□CHAPTER または□TRACK をタッチする

DVDビデオ



DVDオーディオ



REPEAT ：現在再生中のチャプターまたはトラックのみをリピート再生します。
SCAN ：現在再生中のチャプターまたはトラックから、各チャプター／トラックの先頭を10秒間ずつ再生します。
RANDOM：（DVDオーディオのみ）現在再生中のディスク内の全トラックをランダム再生します。
選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生になります。
選択を解除し、再生中のチャプターから通常の再生になります。

アドバイス

- チャプタースキャン再生は早送り／早戻しした場合に自動的に解除されます。

END

字幕・音声・アングルを切り替える

再生中のディスクの字幕言語、音声言語、映像のアングルを切り替えることができます。

お知らせ

- ディスクによっては、この操作はディスクメニューからしか行えない場合があります。

ここまでの操作 モード

1 目的の項目をタッチする



現在の設定が表示されています。

アングル ：再生中に映像のアングルを切り替えます。
複数のアングルが収録されている場面（（マルチアングルインジケータマーク）が表示されます）の再生中にのみ有効です。

字幕 ：字幕言語を切り替えます。
ディスクに字幕が収録されている場合のみ有効です。

音声 ：音声言語を切り替えます。
ディスクに複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

タッチするたびに、音声言語、字幕言語またはアングルの設定が切り替わります。

アドバイス

- **初期設定（P.209）**で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

2 戻るをタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

END

初期設定を変更する

メニュー言語や、国別の視聴制限などを設定できます。
ここでの設定は、DVDモード全体に適用されます。

お知らせ

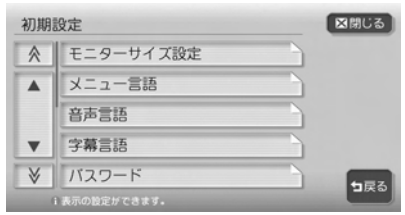
- 初期設定画面から各設定画面に移行すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、設定内容によってディスクの先頭もしくは設定前の場所から再生がはじまります。何もしないで初期設定画面を閉じると、途中から再生が始まります。

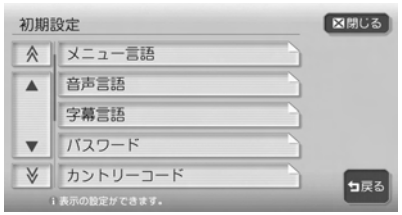
ここまでの操作 機能

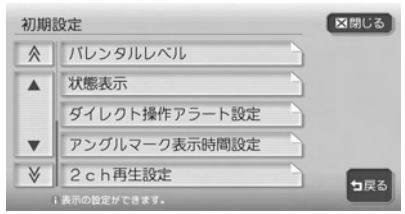
1 初期設定をタッチする

2 各種設定を行う

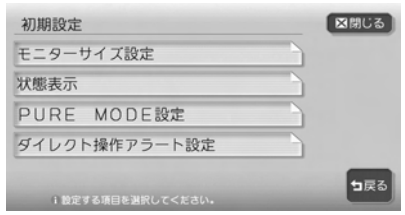
DVDビデオ







DVDオーディオ



NEXT

以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

設定項目	設定の内容	参照ページ
モニターサイズ設定	優先的に再生するモニターサイズを切り替える	P.211
メニュー言語 ※	メニューで優先表示される言語を切り替える	P.212
音声言語 ※	再生時に優先される音声言語を切り替える	P.212
字幕言語 ※	優先的に表示される字幕言語を切り替える	P.212
パスワード ※	視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・編集する	P.213
カントリーコード ※	視聴制限レベルを適用する国を設定する	P.215
バレンタルレベル ※	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかける（視聴制限対応ディスクのみ）	P.216
状態表示	再生情報（タイトル番号、チャプター番号、再生時間）を表示するかしないかを設定する	P.217
PURE MODE設定 ※※	DVDオーディオの音質をさらに高音質で再生する	P.218
ダイレクト操作アラート設定	DVDディスクメニューのダイレクト操作をする前に確認画面を表示する	P.219
アングルマーク表示時間設定 ※	アングルの切り替えが可能な画面で表示される（マルチアングルインジケータマーク）の表示時間を設定する	P.220
2ch再生設定 ※	5.1ch音声のみが記録されているDVDビデオで、強制的に音声を2chに切り替える	P.221

※ DVDビデオのみ
※※ DVDオーディオのみ

お知らせ

・設定を中止するには、設定中に 戻る をタッチします。

モニターサイズを切り替える DVDビデオ

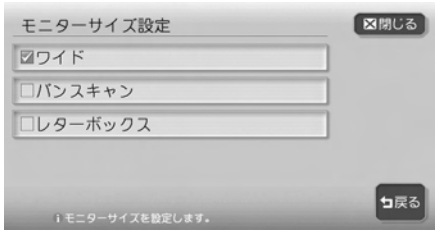
再生時に優先するモニターサイズを、ワイド、パンスキャン、レターボックスから選択します。

お知らせ

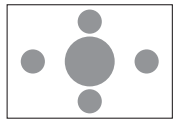
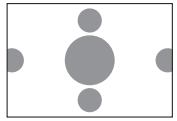
・収録されているモニターサイズはディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」あるいは「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生されることがあります。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ モニターサイズ設定

1 お好みのモニターサイズをタッチする



選択したモニターサイズのランプが点灯します。

ワイド		映像はモニターにぴったり収まり、映像が切れる部分はありません。
パンスキャン		画像の変形はありませんが、左右の映像が切れます。パン（スクロール）しながら画像を表示することもあります。
レターボックス		通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するために、上下部分を黒く表示します。

END

メニュー言語、音声言語、字幕言語を切り替える DVDビデオ

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語それぞれについて設定できます。

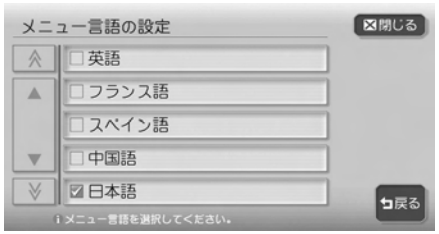
お知らせ

- 本設定は、再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

ここまでの操作

機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ メニュー言語 、音声言語 、字幕言語 のいずれか

1 お好みの言語をタッチする



※画面はメニュー言語選択画面です。選択した言語のランプが点灯します。選択できる言語は「英語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「日本語」です。

アドバイス

- 字幕言語の設定画面で OFF を選択すると、字幕は表示されなくなります。

END

パスワードを設定・変更する DVDビデオ

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

お知らせ

- パスワードの初期設定は「0000」です。

ここまでの操作

機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ パスワード

1 数字をタッチし、現在設定されているパスワード（新規パスワード設定の場合は任意の4桁の数字）を入力する



入力されたパスワードは「※※※※」と表示されます。

アドバイス

- パスワード未設定の場合は、新規パスワード設定画面が表示されます。

2 決定 をタッチする

パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。
新規パスワード設定の場合は、手順4に進みます。

3 パスワードの変更 をタッチする

パスワード画面が表示されます。

4 新しいパスワードを入力し、決定 をタッチする

NEXT

5 同じパスワードを再度入力し、決定をタッチする

パスワード設定のメッセージが表示され、初期画面に戻ります。

END

パスワードを消去する

設定したパスワードを消去します。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ パスワード

1 数字をタッチし、現在設定されているパスワードを入力する

2 決定をタッチする

パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。

3 パスワードの消去をタッチする

4 はいをタッチする

パスワードが消去され、初期設定画面へ戻ります。

アドバイス

- いいえをタッチすると、パスワードは消去されずに、パスワード編集画面に戻ります。

END

国別の視聴制限を設定する（カントリーコード） DVDビデオ

視聴制限（P.216）に使用する国を設定します。

カントリーコードは、視聴制限のために使用する国を識別するためのコードです。詳しくは、「カントリーコード一覧」（P.450）をご覧ください。

お知らせ

- 初期設定は「7480」（JAPAN）です。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ カントリーコード

1 DVDディスクに記録してある国（または地域）のコードを入力し、決定をタッチする



カントリーコードが設定され、初期設定画面に戻ります。

END

視聴制限を設定する（パレンタルレベル設定） DVDビデオ

視聴制限について

DVDビデオディスクには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。視聴制限はレベル1～8まであり、レベル1が最も制限が厳しくなっています。

視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：ディスク側の視聴制限がレベル3の場合

本機のパレンタルレベルが「レベル1～3」の場合のみ、再生できます。

本機のパレンタルレベルが「レベル4～8」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、視聴制限レベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまくかからない場合があります。

お知らせ

- パレンタルレベル変更の警告で「パレンタルレベル変更」をタッチしても、同様の操作ができます。
- 初期設定はOFFです。
- 視聴制限レベルは、ディスクのパッケージなどに記載されています。パッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ パレンタルレベル

1 パスワード（P.213）を入力し、決定 をタッチする

2 設定したいパレンタルレベルをタッチする



希望のパレンタルレベルが表示されていない場合は、タッチしてリストを送ります。

選択したレベルのランプが点灯します。

END

再生状態表示を設定する

映像画面に再生情報を常に表示しておくことができます。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ 状態表示

1 再生情報を表示させたい場合は ☑常に状態を表示する をタッチする



ランプが点灯します。

2 閉じる をタッチする

映像画面に戻ります。



常に表示されます。

アドバイス

- 再生情報表示を解除する場合は、☑常に状態を表示する を再度タッチします。

お知らせ

- リアモニター接続時、状態表示を設定するとリアモニターにも再生情報が表示されます。なお、映像をリアモニターから本機の画面に切り替えたときに、リアモニターの再生情報の一部が本機の画面に残る場合があります。

END

PURE MODEを変更する

DVDオーディオ

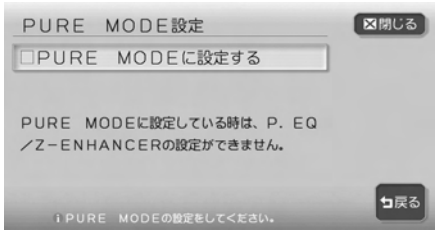
PURE MODEをONにするとサンプリング周波数192KHzのPCM音声をそのまま再生し、原音により近い音質で楽しむことができます。なお、PURE MODEをOFFにすると96KHzにダウンサンプリングして再生します。

お知らせ

- PURE MODEに設定すると、「パラメトリックイコライザー」と「Zエンハンサー」の設定はできません。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ PURE MODE設定

1 □PURE MODEに設定する をタッチする



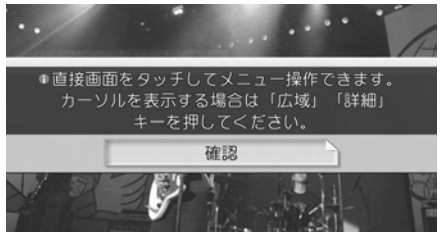
アドバイス

- PURE MODEを解除する場合は、□PURE MODEに設定する を再度タッチします。

END

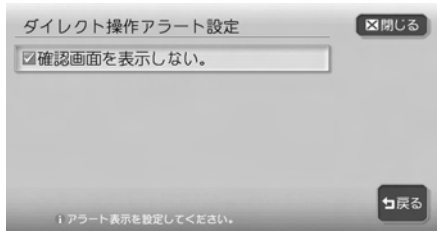
ダイレクト操作の確認画面を表示する

この設定をONにすると、DVDディスク挿入後最初にメニュー画面を表示させたときに、以下に示すダイレクト操作アラート確認画面を表示させることができます。



ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ ダイレクト操作アラート設定

1 ☑確認画面を表示しない。 をタッチする



ランプが消灯し、メニュー画面表示時に確認画面が表示されるようになります。

アドバイス

- 確認表示を解除する場合は、□確認画面を表示しない。 を再度タッチします。

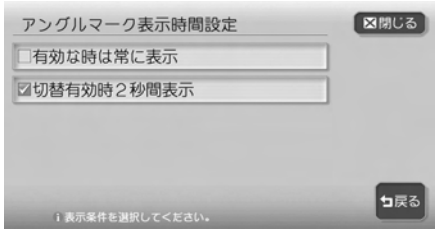
END

アングルマークの表示時間を設定する DVDビデオ

アングルの切り替えが可能な画面で表示される「マルチアングルマーク」の表示時間を設定することができます。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ アングルマーク表示時間設定

1 表示時間を設定する



☑有効な時は常に表示 ：アングルマーク有効時は常に表示します。

☑切替有効時2秒間表示 ：アングルマーク有効時に2秒間だけ表示します。

設定した項目のランプが点灯します。

END

5.1chの音声を2chに切り替えて再生する DVDビデオ

5.1ch音声のみが記録されているDVDビデオの再生時、強制的に2ch音声に切り替えることができます。
2ch音声に切り替えることで、どの席でもすべてのチャンネルの音声を聴くことができます。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ 2ch再生設定

1 □2ch再生する をタッチする



アドバイス

- 2ch再生を解除する場合は、□2ch再生する を再度タッチします。
- この設定をOFFにすると、リアモニターではDVDビデオに記録されているL/Rの音声のみ再生されます。設定がONのときは、DVDビデオに記録されている5.1ch音声がL/Rにミックスされて再生されます。

END

画面サイズを切り替える

DVD画面の表示サイズを、ノーマル、フルワイド、シネマに切り替えます。

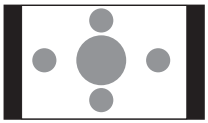
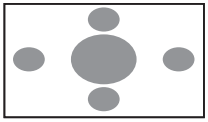
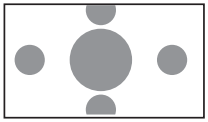
お知らせ

・画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ることがあります。

ここまでの操作　画面切替

1 希望の画面サイズを選択してタッチする



ノーマル		画面の左右が黒画面となります。
フルワイド		画面全体が横方向に広がります。
シネマ		画面上下の映像が見えなくなります。

通常のDVD画面に戻ります。
オーディオコントロールバーが消えると同時に、選択した画面のサイズが反映されます。

END

CD・MD・MP3・WMAを聴く

CD・MD・MP3・WMAの再生方法などの操作について説明します。

目次

画面表示とタッチキーについて …… 224
再生する …… 228
いろいろな再生方法 …… 229
情報を表示する …… 232

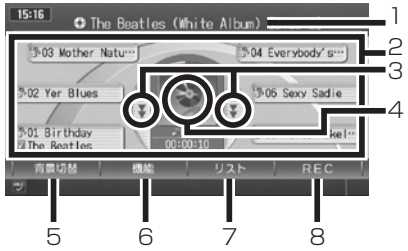
画面表示とタッチキーについて

P.228からの操作説明では、主にCDの画面を使って説明しています。ソースによって表示内容が異なる画面もありますが、特に記載のない限り、操作方法は同じです。
CDの画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

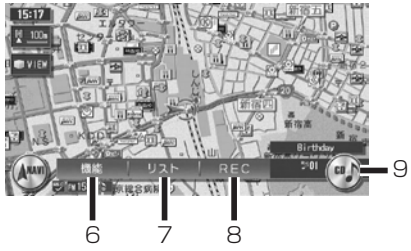
ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ DVD/CD

CD

オーディオ画面



ナビ画面



1	ディスク名称	現在再生中のディスク名表示 タッチするとスクロールします。
2	トラックキー	再生中のディスクにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する **(P.162)**
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューやCDの初期設定画面を表示する **(P.230、P.234)**
7	リスト	トラックリストを表示する
8	REC	手動録音の方法を選択する録音メニュー画面を表示する
9	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（CD）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

- 1曲ずつ選曲するときは、UPおよびDNを押します。UPを押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。DNを1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内にDNを押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、UP（早送り）およびDN（早戻し）を押し続けて行います。

お知らせ

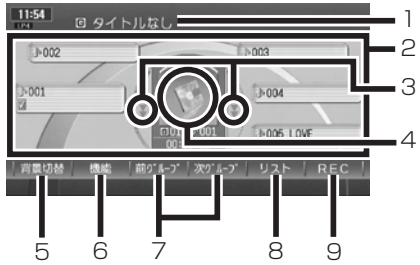
- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote® Music Recognition Service℠の情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote® Music Recognition Service℠からタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track 1」などの番号が表示されます。
- Gracenoteについて詳しくは、**「Gracenote® Music Recognition Service℠について」(P.478)** をご覧ください。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生すると、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部が空いて再生されます。

MD（MAX9700DTのみ）

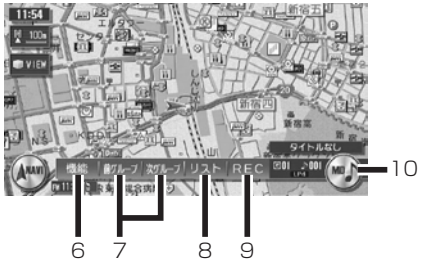
お知らせ

- 本機は、Hi-MDフォーマットで記録されたディスクは再生できません。挿入した場合、再生画面は表示されますが、再生はされません。

オーディオ画面



ナビ画面



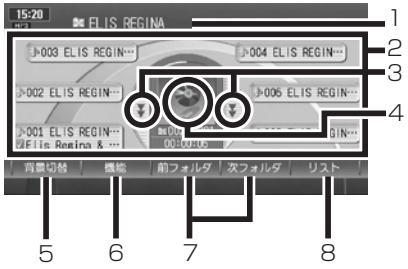
1	グループ名称	現在再生中のグループ名（グループ機能有効時）、またはディスク名（グループ機能無効時）表示 タッチするとスクロールします。
2	トラックキー	再生中のディスクにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼▼、▼▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.162）
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生、グループ機能再生をするための機能メニューを表示する（P.230）
7	前ｸﾞﾙｰﾌﾟ、次ｸﾞﾙｰﾌﾟ	再生するグループを切り替える（グループ機能有効時）
8	リスト	グループリスト（グループ機能有効時）、またはトラックリスト（グループ機能無効時）を表示する
9	REC	再生中のトラックを録音する（P.273）
10	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（MD）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

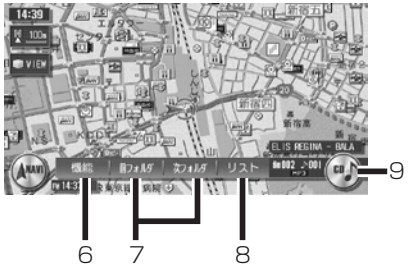
- 1曲ずつ選曲するとき、また早送り／早戻しについては、CDと同様の操作を行ってください。詳しくは**P.225**をご覧ください。

MP3/WMA

オーディオ画面



ナビ画面



1	フォルダ名称	現在再生中のフォルダ名表示 タッチするとスクロールします。
2	トラックキー	再生中のディスクにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼▼、▼▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.162）
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューやMP3/WMAの初期設定画面を表示する（P.230、P.234）
7	前フォルダ、次フォルダ	再生するフォルダを切り替える
8	リスト	フォルダリストを表示する
9	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（CD、DVD）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

- 1曲ずつ選曲するとき、また早送り／早戻しについては、CDと同様の操作を行ってください。詳しくは**P.225**をご覧ください。
- 低ビットレート時のMP3再生中の早送り／早戻しは、再生ファイルの容量が小さいため、スピードが早くなります。
- MP3/WMAのファイル名称には、拡張子は表示されません。

再生する

ディスクが本機に入っている場合の再生方法

1 SOURCEを押す

2 DVD/CD をタッチする

再生が始まります。

END

ディスクが本機に入っていない場合の再生方法

1 基-P.68を参照して、ディスクを本機に挿入する

自動的に操作パネルが閉じ、再生が始まります。

お知らせ

- 本機に録音されていないCDを挿入すると、自動的に録音が始まる場合があります。詳しくは、P.241をご覧ください。
- 本機では音楽CDのほかに、CD-R/RW、DVD-R/RWのMP3/WMAを再生できます。詳しくは、P.469をご覧ください。

END

メモリーカードから再生する

メモリーカードまたはMP3/WMAファイルについては、「MP3・WMAファイルについて」（P.469）をご覧ください。

1 基-P.70を参照して、メモリーカードを本機に挿入する

2 SOURCEを押す

3 M.STICK/SD をタッチする

再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

グループ／フォルダ／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。

ここまでの操作 リスト

1 聴きたいグループ／フォルダ名を選択してタッチする（MD、MP3、WMA）



選択したグループ／フォルダの先頭から再生がはじまります。
聴きたいトラックを指定する場合は、手順2へお進みください。

2 聴きたいトラック名を選択してタッチする



選択したトラックから再生がはじまります。

アドバイス

- UPまたはDNを押して、表示されているトラックを選択することもできます。

END

リピート、スキャン、ランダム再生をする

リピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目をタッチし、閉じるをタッチする

CD表示画面



MP3/WMA表示画面



MD表示画面（グループON時）



MD表示画面（グループOFF時）



TRACK	(REPEAT)	：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。
TRACK	(SCAN)	：現在再生中のCDまたはフォルダの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
TRACK	(RANDOM)	：現在再生中のCDまたはフォルダの全トラックをランダムに再生します。
1FOLDER	(RANDOM)	
FOLDER	(REPEAT)	：現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。
FOLDER	(SCAN)	：各フォルダの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
ALL TRACK	(RANDOM)	：全フォルダの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

選択を解除し、再生中のフォルダまたはトラックから通常の再生になります。

アドバイス

- 選曲操作をすると、スキャン再生は解除されます。

END

情報を表示する

トラックの情報を表示する

再生中のトラックのアルバム名、トラック名、アーティスト名、ジャンル（CDのみ）やMDのディスク名、グループ数を表示します。

ここまでの操作

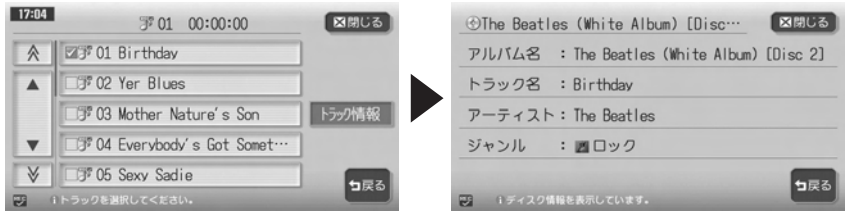
CD、MD：リスト

MP3/WMA：リスト ▶▶▶ [目的のフォルダ]

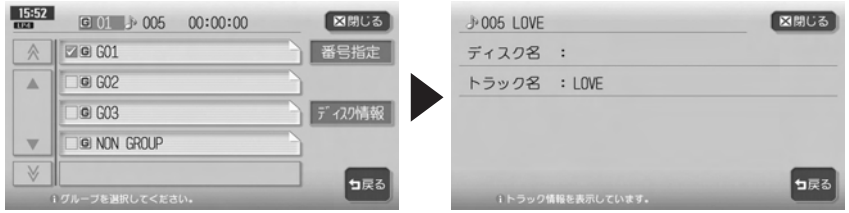
1 情報を見たいトラックをタッチする

2 CD、MD：トラック情報、MP3/WMA：TAG 情報をタッチする

CD



MD※



MP3/WMA



トラック情報画面が表示されます。

※グループ再生ON時は、グループリストが表示されます。目的のグループをタッチしてそのグループのトラックリストを表示させ、トラック情報をタッチします。
この方法で表示される情報は、トラック名とグループ名です。

END

CD-TEXT/TAG情報を表示する

オーディオ画面のタイトル表示部にCD-TEXT/TAG情報を表示できます。リスト画面の表示は変わりません。

CD：CD-TEXTがある場合は、優先的に表示できます。

MP3/WMA：TAG情報がある場合は、優先的に表示できます。TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示します。メモリーカードの場合も同様です。

お知らせ

- TAG優先設定時は、オーディオ画面には現在再生中のトラックにのみトラック名とアーティスト名が表示されます。その他のトラックにはトラック番号のみ表示されます。フォルダ名には、再生中のトラックのTAGにあるアルバム名が表示されます。また、トラックキー・フォルダ名称部にTAGアイコンが表示されます。メモリーカードの場合も同様です。



ここまでの操作 機能

1 初期設定 **をタッチする**

2 CD-TEXTを優先して表示する **（CD）または** TAG情報を優先して表示する **（MP3/WMA）をタッチする**



ランプが点灯し、タイトル表示部にCD-TEXT/TAG情報が表示されます。

※画面はCDのものです。

アドバイス

- CD-TEXT/TAG優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

END

MDのグループ演奏を切り替える（MAX9700DTのみ）

グループ編集されたMDで、グループ単位の演奏をするかしないかを設定できます。

ここまでの操作 機能

1 グループ機能再生 **をタッチする**



グループの機能メニューが表示されます。



END

Memo

ミュージックキャッチャー®・マイアルバムを聴く

本機への録音方法、またミュージックキャッチャーとマイアルバムの再生方法などの操作について説明します。

目次

ミュージックキャッチャー®とは …… 238
ミュージックキャッチャー®に録音する …… 239
マイアルバムを作成する …… 243
画面表示とタッチキーについて …… 246
再生する …… 248
いろいろな再生方法 …… 249
アルバム、トラックを編集する …… 263

ミュージックキャッチャー®とは

ミュージックキャッチャーとは、CDの曲を本機に録音し、再生する機能のことです。CDを持っていなくても、ミュージックキャッチャーからそのCDの曲を聴くことができます。

ミュージックキャッチャーの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	4000曲（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲） ※ただし、録音可能時間の範囲内のみ*
録音できる音源	音楽CDのみ**
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10に圧縮できます。

* 録音可能時間については、**「ハードディスク情報を見る」（P.122）**をご覧ください。

再生できるCDについては、「CDについて」（P.468）**をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。
SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを＜1世代まで＞と規制しております。
したがって、下記の操作を本機で行うことはできません。

●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
●デジタル録音およびコピーの禁止されているCDを録音すること
●CDからデジタル録音したCD-RとCD-RWからの録音

アドバイス

・録音した曲の中からお好みの曲を集めて、オリジナルのアルバムを作ることができます。詳しくは、**「マイアルバムを作成する」（P.243）**をご覧ください。

ミュージックキャッチャー®に録音する

ミュージックキャッチャーを使用するには、まずCDの曲を本機に録音します。

録音する前に必ずお読みください

・録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
・本機の故障や誤作動および不具合により録音に失敗した場合、録音内容および消失した録音データの補償については、ご容赦願います。
・録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
・録音したデータは、いかなる記憶媒体にも転送できません。
・ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）では、トラックとトラックの間に2～ 3秒の無音部をはさんで録音されます。

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote® Music Recognition Service℠のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。
情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。
また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

アドバイス

・Gracenote® Music Recognition Service℠のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新することができます。
詳しくは、**「アルバム情報の更新について」（P.402）**をご覧ください。

録音についてのご注意

録音時の状態について

下記のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

録音中の操作について

録音中に下記の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。

録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。

- トラックキーまたはリストからの選曲（ダイレクトトラック選択）
- REC をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生

お知らせ

- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。

また、録音中に下記の操作を行うと、録音中の曲が消去されます。

- エンジンを切る
  次回エンジンをかけると、前回録音していた曲の先頭から録音を再開します。
- CDを取り出す
  自動録音時：
  同じCDを再び挿入すると未録音の曲から録音・再生します。
  手動録音時：
  曲の消去と同時に録音設定がキャンセルされるので、同じCDを再び挿入するときは録音設定を行ってください。

自動録音

お知らせ

- 自動録音は、4～7倍速で行われます。ただし、システムの動作状況により、必ずしも上記の動作が保証されるわけではありません。

1 CDを本機に挿入する

自動的に録音が始まります。
工場出荷時はこの設定になっています。

自動録音に設定する

1 設定/情報 を押し、各種設定 をタッチする

2 録音設定 をタッチする

3 挿入と同時に録音 をタッチする

4 閉じる をタッチする

END

手動録音

設定が自動録音になっている場合は、まず手動録音に設定してから録音操作を行ってください。

手動録音に設定する

1 設定/情報を押し、各種設定をタッチする

2 録音設定をタッチする

3 手動で録音をタッチする

4 閉じるをタッチする

END

手動録音する

1 CD再生中にRECをタッチする

2 希望の録音モードをタッチする



項目名	設定内容
全曲録音	再生中のCDを全曲録音する 確認画面で はい をタッチすると、アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生と録音が始まります。
現在の曲を録音	再生中の曲のみを録音する タッチすると再生中のトラック先頭に戻り、再生・録音を始めます。
曲を指定して録音	録音したい曲をリストから選択して録音する 選択後に 決定 をタッチすると、先頭に近い曲から再生・録音を始めます。

END

マイアルバムを作成する

マイアルバムは、ミュージックキャッチャーに録音した曲からよく聴く曲を集めて、お好みのオリジナルアルバムとして編集できる機能です。

お知らせ

- マイアルバムが1つも作成されていない場合は、マイアルバムをタッチすると「アルバムが作成されていません。作成しますか？」と表示されます。
  はい をタッチするとマイアルバムの作成画面（手順5）が表示されます。
- CD録音中は、マイアルバムの作成はできません。

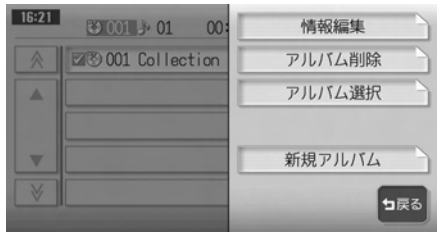
1 SOURCEを押し、M. CATCHERをタッチする

2 マイアルバムをタッチし、リストをタッチする

3 編集をタッチする



4 新規アルバムをタッチする



NEXT

5 アルバム名を全角／半角28文字までで入力して、決定をタッチする

6 トラックの追加方法を選択してタッチする



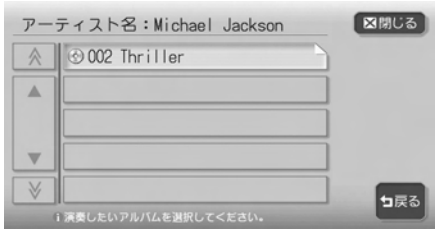
選択した方法で、ミュージックキャッチャーに録音済みの音源がリスト表示されます。
アルバム選択でトラックを追加する場合は、手順8に進んでください。

7 登録したいアーティスト名またはジャンルをタッチする



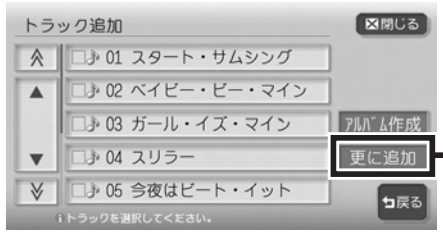
※画面は手順6で「アーティストから」をタッチした場合のものです。
選択した項目のアルバムリストが表示されます。

8 登録したいアルバムを選択してタッチする



9 登録したいトラックを選択してタッチする

複数のトラックを選択できます。



別のアルバムからさらにトラックを追加する場合にタッチします。手順6の画面に戻ってトラックを選択できます。

10 選択し終わったら、アルバム作成をタッチする

アルバムが作成され、アルバムリスト画面に戻ります。

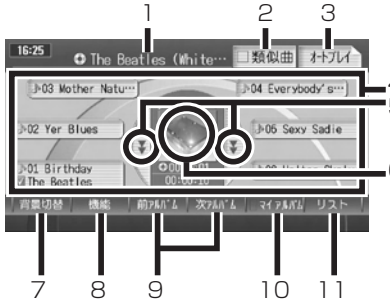
END

画面表示とタッチキーについて

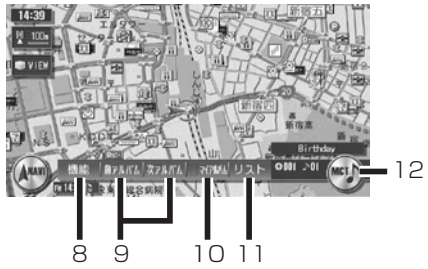
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。



オーディオ画面



ナビ画面



1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	類似曲※	ジャンル、リリース時期などが似ている曲を集めて再生する
3	ｵｰﾄﾌﾟﾚｲ※	お好みのプレイリストを作成する
4	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
5	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
6	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
7	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.162）
8	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する（P.254）
9	前ｱﾙﾊﾞﾑ、次ｱﾙﾊﾞﾑ	再生するアルバムを切り替える
10	ﾏｲｱﾙﾊﾞﾑ	マイアルバムリストを表示する（P.243）
11	リスト	アルバム／トラックリストを表示する
12	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（MCT）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

※ 背景の設定（P.162）で「リスト表示」を選択した場合のみ表示されます。

お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、UPおよびDNを押します。UPを押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。DNを1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内にDNを押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、UP（早送り）およびDN（早戻し）を押し続けて行います。
- ミュージックキャッチャーに何も録音されていない場合は、「NO ALBUM HDDにはなにも録音されていません」と表示されます。

再生する

1 SOURCEを押す

2 

をタッチする

前回再生していたトラックから再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

アルバム／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。

ここまでの操作 リスト

アルバムリスト

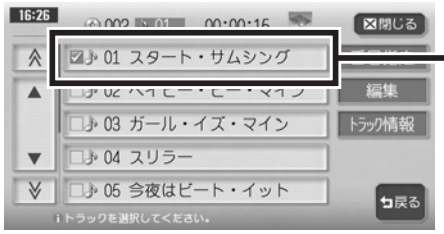


再生中のアルバムは、名称の横に☑が表示されています。
聴きたいアルバムをタッチすると、そのアルバムの先頭から再生が始まります。

▼

トラックリストを表示したいアルバム名をタッチする

トラックリスト



再生中のトラックは、名称の横に☑が表示されています。
聴きたいトラックをタッチすると、そのトラックの先頭から再生が始まります。

アドバイス

- 見たいアルバム／トラックタイトルが表示されていない場合は、▲または▼をタッチしてリストをスクロールしてください。
  ただし、走行中はリストをスクロールすることはできません。現在表示中のリストからのみ選曲できます。
- UPまたはDNを押して、表示されているアルバム／トラックを選択することもできます。

アルバム名を選んで再生する

Mキャッチャー

お知らせ

- Gracenote® Music Recognition Service℠から情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、**「アルバム情報を編集する」（P.263）**を参照して、情報を手入力してください。

ここまでの操作　リスト

1 検索 をタッチする

2 アルバム名 をタッチする

3 アルバム名を入力し、決定 をタッチする



入力した文字に該当するアルバムの数が右上に表示されます。絞り込みにより、該当しない文字のキーは消えていきます。

該当するアルバムを先頭にしたアルバムリスト画面が表示されます。

4 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

アーティスト名を選んで再生する

Mキャッチャー

アーティスト名を入力して、目的のアルバムを探し出して再生します。

お知らせ

- Gracenote® Music Recognition Service℠から情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、**「アルバム情報を編集する」（P.263）**を参照して、情報を手入力してください。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ アーティスト名

1 目的のアーティスト名をタッチする

アーティスト名は記号→数字→英語→ひらがな／カタカナ→漢字の順で表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

ジャンルを選んで再生する

Mキャッチャー

ジャンルを選択して、目的のアルバムを探し出して再生します。

お知らせ

- Gracenote® Music Recognition Service℠から情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、**「アルバム情報を編集する」（P.263）**を参照して、情報を手入力してください。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ ジャンル

1 目的のジャンルをタッチする

選択したジャンルで登録してあるアルバムが、番号の若い順にリスト表示されます。

NEXT

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

最近聴いた曲を選んで再生する

最近聴いた曲の中から、目的のトラックを検索できます。

お知らせ

- 最近聴いた曲として検索できるのは、アルバムリストから選択されたアルバム、音声操作で選択したアルバムとなります。ただし、再生中のアルバムを選択した場合は、そのアルバムは「最近聴いた曲」には登録されません。
- FUN RINGメニューから最近聴いた曲を探すこともできます。詳しくは**「最近聴いたアルバムの曲を聴く」（基-P.91）**をご覧ください。

ここまでの操作：リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ 最近聞いた

1 聴きたい曲をタッチする



アルバムの先頭から再生が始まります。

END

アルバム番号を選んで再生する

アルバム番号を入力して、目的のアルバムを検索します。

ここまでの操作：Mキャッチャー ▶▶▶ リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ 番号指定
マイアルバム ▶▶▶ リスト ▶▶▶ 番号指定

1 アルバム番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたアルバムリストが表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

トラック番号を選んで再生する

トラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。

ここまでの操作：リスト ▶▶▶ [目的のアルバム名] ▶▶▶ 番号指定

1 トラック番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

2 聴きたいトラックをタッチする

選択したトラックから再生が始まります。

END

リピート、スキャン、ランダム再生をする

リピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

お知らせ

- ミュージックキャッチャーでランダム再生を選択し、その後ミュージックキャッチャー以外のソースに切り替えてふたたびミュージックキャッチャーに戻った場合、録音済みの曲数が変わっていると、異なる曲が再生されることがあります。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目をタッチし、閉じるをタッチする



ALBUM	(REPEAT)	：現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。
TRACK	(REPEAT)	：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。
ALBUM	(SCAN)	：各アルバムの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
TRACK	(SCAN)	：現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
ALL TRACK	(RANDOM)	：全アルバムの全トラックをランダムに再生します。
1ALBUM	(RANDOM)	：現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。
選択を解除し、再生中のアルバムまたはトラックから通常の再生になります。

END

指定したアルバムを再生する

再生するアルバムを指定します。複数のアルバムを指定できるので、好きなアルバムだけをつづけて再生することができます。

ミュージックキャッチャー®の場合

ここまでの操作
リスト ▶ 編集 ▶ 選択演奏

1 お好みの選択方法をタッチする



2 演奏したい項目（アルバム、アーティスト、ジャンル）を選択してタッチする



※画面は手順1で「アルバム選択」をタッチした場合のものです。
選択した項目のランプが点灯します。

3 決定をタッチする

選択した項目が再生されます。

アドバイス

- 何も選択しないで 決定 をタッチすると、すべてのアルバムが再生されます。
- 選択演奏を中止するには、アルバムリストから 編集 → 選択演奏 → 選択演奏解除 の順にタッチし、確認メッセージ画面で はい をタッチします。
- 選択演奏中は、オーディオ情報表示部にそれぞれのアイコンが表示されます。
  - ：アルバム名選択時
  - ：アーティスト名選択時
  - ：ジャンル選択時

END

マイアルバムの場合

ここまでの操作
リスト ▶ 編集 ▶ アルバム選択

1 再生したいアルバムをタッチする



選択したアルバムのランプが点灯します。

2 決定をタッチする

選択したアルバムが再生されます。

END

オートプレイリストを作成して再生する Mキャッチャー

オートプレイリストは、ミュージックキャッチャーに録音した曲からアーティスト名、アーティストタイプ、ジャンル、リリース時期などの条件で曲を集めて、お好みのプレイリストとして編集できる機能です。

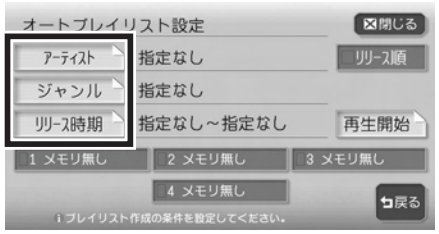
お知らせ

- プレイリストは最大99曲まで集められ、曲順はランダムに再生されます。
- CD録音時は、オートプレイリストの設定および再生はできません。
- 走行中は、オートプレイリストの設定はできませんが、再生をすることはできます。

1 オートプレイ をタッチする

オートプレイリスト設定画面が表示されます。

2 アーティスト 、ジャンル 、または リリース時期 にタッチし、条件を設定する



各条件設定画面が表示されます。

アドバイス

- 「アーティスト」、「ジャンル」、「リリース時期」の各設定画面で希望の項目を選択後に 決定 をタッチすると、選択した内容が有効になります。

アーティスト選択

アーティスト名 または アーティストタイプ をタッチし、希望の項目をタッチして選択します。



選択した項目のチェックボックスにチェックマークが表示されます。

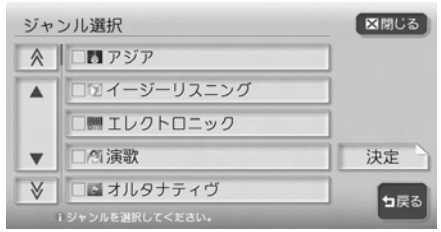
アーティスト名： アーティスト名のリストから選択します。アーティストを選択しない場合は、すべてのチェックマークを外します。

アーティストタイプ： 以下のアーティスト種別リストから選択します。
男性ソロ／女性ソロ／男性デュオ／女性デュオ／男女デュオ／男性グループ／女性グループ／男女グループ／その他
アーティストタイプを選択しない場合は、すべてのチェックマークを外します。

※アーティスト名とアーティストタイプは同時に選択できません。また、選択できるアーティスト名とアーティストタイプは１つだけです。

ジャンル選択

希望のジャンルを選択してタッチします。
選択できるジャンルは1つだけです。



NEXT

リリース時期設定

＋、－で指定するか、年代キーをタッチしてワンタッチで範囲を指定することもできます。

指定できる範囲は、1900年～2007年（※）までです。

※指定できる範囲は、本機を使用している当年が最大値となります。



3 登録したいプリセットキーを「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける

設定した条件を登録しない場合は、手順4に進んでください。



タッチするとリリースされた日付順に曲を並べ替えて再生できます。

チェックボックスにチェックマークが表示され、オートプレイリストが登録されます。

プリセットキーには、以下が表示されます。

（アーティスト名が表示）：アーティスト名が指定されています。

指定無し：　再生条件が設定されているが、アーティスト名は指定されていません。

メモリなし：　再生条件が設定されていません。

4 再生開始 をタッチする

オートプレイリストが再生されオーディオ画面に戻ります。

過去に設定した条件で再生する場合は、再生したプリセットキーをタッチしてから再生開始をタッチします。

お知らせ

- 設定した条件は4つまで登録できます。ユーザーを登録している場合は、ユーザーごとに4つまで登録できます。
- リリース順に並べ替えた曲順は、プリセットキーに登録できません。
- オートプレイリスト再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- オートプレイリスト再生中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、CDモードに画面が変わります。このときオートプレイリスト再生は終了しないため、ふたたびミュージックキャッチャーに画面が切り替わると、引き続きオートプレイリスト再生が始まります。
- プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、プレイリスト作成が完了するまで音が出力されないことがあります。
- プレイリスト作成中にAVを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- アーティスト、ジャンル、リリース時期を指定せずに再生を開始すると、すべてのトラックからランダムで99曲集められて再生されます。

END

オートプレイを中止する

ここまでの操作

オートプレイ

1 解除 をタッチする

オートプレイが中止され、オートプレイ再生の前に再生されていた曲に戻ります。

END

オートプレイ中にトラックリストを表示する

オートプレイリスト再生中に、登録されたトラックリストを見ることができます。

1 リスト をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。



現在再生中のトラックには、チェックマークが表示されます。

トラック情報画面が表示されます。

END

類似曲を再生する

現在再生中のトラック情報から、アーティスト、ジャンルが類似している曲を集めて、自動再生する機能です。

お知らせ

- 類似曲として集められた曲を登録することはできません。

1 類似曲 をタッチする

類似曲がランダムに最大で99曲集められ、曲の再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 類似曲再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。
- 類似曲再生中に 再生開始 をタッチすると、類似曲再生が中止となりオートプレイ再生が始まります。オートプレイ中に 類似曲 をタッチすると、オートプレイ再生が中止となり類似曲再生が始まります。
- CDの録音中は、類似曲再生はできません。ただし、類似曲再生中にCDの録音を始めた場合は、類似曲再生されたままCDの録音も開始されます。
- 類似曲リスト作成中にAVを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- 類似曲再生中に リスト をタッチすると、集められた曲のリストが表示されます。

END

「探す」から聴きたい曲を選んで再生する

「探す」（探す）を押して、聴きたい曲をプレイリストとして選曲することができます。
「探す」から選曲できる曲は、ミュージックキャッチャーに録音された曲のみです。

お知らせ

- この操作を行うと、ソースがミュージックキャッチャーに切り替わります。
- CD録音中にソースをミュージックキャッチャーに切り替えて「曲を探す」メニューを表示すると、録音済みの曲のみ表示され、その後録音が終了した曲は表示されません。一度ミュージックキャッチャー以外のソースに移り、ふたたびソースをミュージックキャッチャーに切り替えると、録音済みの曲がすべて表示されます。

1 探すを押し、曲を探すをタッチする

曲を探すメニューが表示されます。

2 アーティスト、ジャンル、またはリリース時期にタッチする

以降の操作については、**「オートプレイリストを作成して再生する」（P.256）**をご覧ください。

END

アルバム、トラックを編集する

アルバム情報を編集する

お知らせ

- ミュージックキャッチャーで選択演奏中は、情報の表示のみで編集はできません。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ 編集 ▶▶▶ 情報編集

1 情報を編集したいアルバム名をタッチする

アルバム情報が表示されます。

2 情報を編集する

■ミュージックキャッチャー



■マイアルバム



アルバム名 / アーティスト：文字入力画面が表示されます。全角／半角で28文字まで入力できます。

→フリガナ：文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。

ジャンル：ジャンルリストが表示されます。登録したいジャンルをタッチして選択します。

画像：画像フォルダリストが表示されます。登録したい画像の入っているフォルダをタッチして選択し、さらに画像をタッチして選択します。

3 決定をタッチする

END

不要なアルバムを削除する

お知らせ

・ミュージックキャッチャーモード時に、マイアルバムに収録されているアルバムを削除すると、マイアルバムからも削除されます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 編集 ▶▶▶ アルバム削除

1 削除したいアルバムをタッチする

2 決定 をタッチする

3 はい をタッチする

選択したアルバムが削除されます。

END

アルバムの再生順序を変更する

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 編集 ▶▶▶ アルバム並替

1 順序を変えたいアルバムをタッチする

タッチした項目の色が変わり、移動可能な場所に ◀ 移動 が表示されます。

2 移動したい場所の ◀ 移動 をタッチする



3 決定 をタッチする

確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

END

トラック情報を編集する

Mキャッチャー

お知らせ

- ここで情報を編集したトラックがマイアルバムにも登録されている場合、編集内容はマイアルバムにも反映されます。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム] ▶▶▶ 編集

1 情報編集 をタッチする

2 情報を編集したいトラックをタッチする

3 情報を編集する



トラック名 / アーティスト：文字入力画面が表示されます。全角／半角で28文字まで入力できます。

フリガナ：文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。

情報取得：アルバム情報を更新するときに使用します。詳しくは**「アルバム情報の更新について」(P.402)**をご覧ください。

4 決定 をタッチする

5 閉じる をタッチする

情報を編集した次の曲から再生が始まります。

END

不要なトラックを削除する

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム] ▶▶▶ 編集

1 トラック削除 をタッチする

2 削除したいトラックをタッチし、決定 をタッチする

3 はい をタッチする

選択したトラックが削除されます。

END

トラックの再生順序を変更する

マイアルバム

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム] ▶▶▶ 編集

1 トラック並替 をタッチする

2 順序を変えたいトラックをタッチする

タッチした項目の色が変わり、移動可能な場所に 移動 が表示されます。

3 移動したい場所の 移動 をタッチする



NEXT

4 決定 をタッチする

確認メッセージが表示され、トラックリスト画面に戻ります。
トラックリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

END

トラック情報を表示する

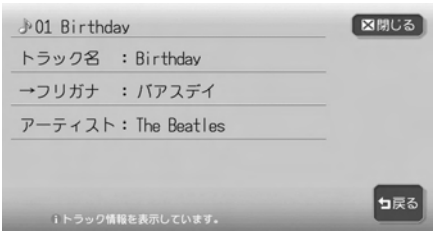
お知らせ

- ここで表示する画面から情報を編集することはできません。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム]

1 情報を表示したいトラックをタッチし、トラック情報 をタッチする

トラック情報が表示されます。



END

アナログ録音する／ファイルを聴く

テレビ、ラジオ、MD（MAX9700DTのみ）の音源をハードディスクに録音して、再生させることができます。

目次

アナログキャッチャーとは …… 270
アナログキャッチャーに録音する …… 271
画面表示とタッチキーについて …… 274
再生する …… 277
いろいろな再生方法 …… 278
情報を表示／編集する …… 280

アナログキャッチャーとは

アナログキャッチャーとは、ラジオ・MD（MAX9700DTのみ）の音声を本機に録音し、再生する機能のことです。
同梱の地上デジタルTVチューナー（DTX870）を接続した場合は、地上デジタル放送のテレビ（ワンセグ、12セグ）の音源も録音できます。

アナログキャッチャーの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	テレビ・ラジオ：99（各ソースごと） MD：1000（アルバムは最大100、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲）
録音できる音源	テレビ、ラジオ、MD

- テレビ、ラジオでは、1回の録音が1つのトラックとして保存されます。1トラックの最大録音時間は約60分です。60分を超えると、自動的に録音が中止されます。
- MDでは、1曲が1つのトラックとして保存されます。1つのアルバムのトラック数が99を超えると、自動的に次のアルバムが作成されます。
- ハードディスクにこれ以上録音できないときは、「不要なアルバムを削除してください」と表示されます。
- 交通情報は録音できません。

アナログキャッチャーに録音する

録音する前に必ずお読みください

- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- 本機の故障や誤作動および不具合により録音に失敗した場合、録音内容および消失した録音データの補償については、ご容赦願います。
- 録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- 録音したデータは、いかなる記憶媒体にも転送できません。
- 音飛びしたときやディスクの状態が悪いときは、無音状態が録音される場合があります。
- Gracenoteからタイトルなどの情報を取得して表示させることはできません。

録音についてのご注意

録音時の状態について

下記のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

録音中の操作について

録音中に下記の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。

録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。

- 他のソースに切り替える
  ただしリモコンによるソースの切り替えの場合は、録音は継続されます（アナログ録音中のソース切り替えはできません）。
- REC をタッチする
- ラジオ・テレビでの選局、バンド切替
- MDでのトラック選択、グループ選択

下記の操作を行った場合は、録音は自動的に中止になります。

- 電話設定（**P.152**）を行う
- 電話の受発信を行う

また、録音中に下記の操作を行うと、録音が終了し、録音中の曲が消去されます。

- エンジンを切る
  MDでは、次回電源を入れると、前回録音していた曲の先頭から録音を再開します。
- オーディオの電源を切る（MD録音時のみ。ラジオ・テレビでは、録音中の内容は保存されます。）
- MDを取り出す（MD録音時のみ。ラジオ·テレビでは､録音を継続します。）
- DVD/CDディスクを入れる（MD録音時のみ。ラジオ・テレビでは、録音中の内容は保存されます。）

録音する

アナログ録音は、ソースがラジオ、MD（MAX9700DTのみ）、地上デジタル放送のテレビ（ワンセグまたは12セグ）のときに、手動で行えます。

1 テレビ、ラジオ、MDの再生中に REC をタッチする



録音が始まります。

録音を中止する場合は、再度 REC をタッチし、 はい をタッチします。

アドバイス

- MDは、曲数が100に達する前に、アルバムをクローズしておくことができます。詳しくは、**「アルバムをクローズする」（P.282）**をご覧ください。
- MD再生中に REC をタッチすると、再生中のトラックの先頭に戻って再生・録音を開始します。またMD1枚の最後まで録音が終了すると、自動的に録音を終了します。
- ワンセグ／ 12セグの自動切替（**P.187**）がONの場合、ワンセグ放送へ自動で切り替わっても録音はそのまま継続されます。そのため、録音データには切り替わり時に発生するタイムラグの状態がそのまま記録されます。

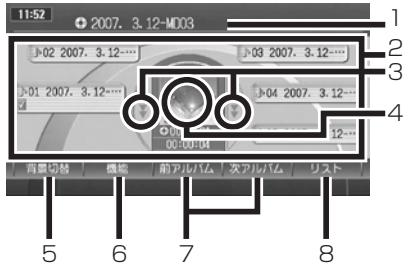
END

画面表示とタッチキーについて

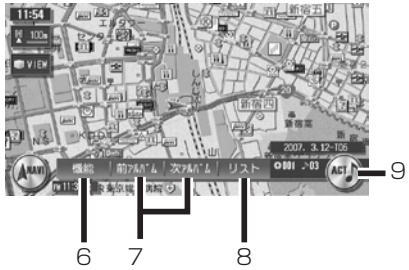
ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ ANALOG ▶▶▶ MD

MD録音ファイル

オーディオ画面



ナビ画面



1	グループ名称	現在再生中のグループ名表示 タッチすると、スクロールします。
2	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.162）
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する（P.230）
7	前ｱﾙﾊﾞﾑ、次ｱﾙﾊﾞﾑ	再生するアルバムを切り替える
8	リスト	トラックリストを表示する
9	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（ACT）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

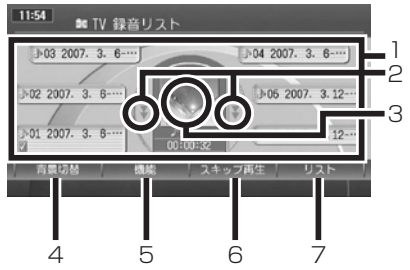
アドバイス

- 1曲ずつ選曲するときは、UPおよびDNを押します。UPを押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。DNを1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内にDNを押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、UP（早送り）およびDN（早戻し）を押し続けて行います。

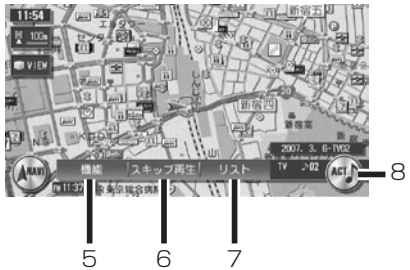
ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ ANALOG ▶▶▶ FM／AM
または TV

ラジオ・テレビ録音ファイル

オーディオ画面



ナビ画面



1	トラックキー	再生中のリストにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
2	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
3	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
4	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.162）
5	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する（P.230）
6	スキップ再生	スキップ再生画面を表示する 再生したい位置のキーをタッチすると、その場所から再生を始めます。再生位置のキーには、総録音時間を8分割したキーとTOPキーがあります。（P.279）

NEXT

7	リスト	トラックリストを表示する
8	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（ACT）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

- 1曲ずつ選曲するときは、UPおよびDNを押します。UPを押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。DNを1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内にDNを押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、UP（早送り）およびUP（早戻し）を押し続けて行います。

再生する

1 SOURCEを押す

2 

をタッチする

3 再生したいソースのキーをタッチする

前回再生していたトラックから再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。

ここまでの操作 リスト

テレビ・ラジオ



再生したいトラック名をタッチします。

MD



再生したいトラック名をタッチします。

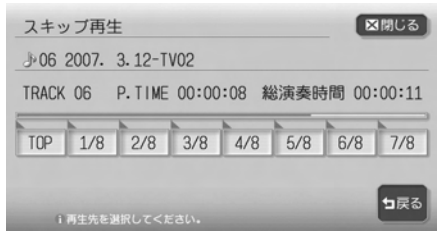
お知らせ

- 再生したいトラックタイトルが表示されていない場合は、▲または▼をタッチしてリストをスクロールしてください。ただし、走行中はリストをスクロールすることはできません。現在表示中のリストからのみ選曲できます。

スキップ再生する

ここまでの操作 スキップ再生

1 スキップさせたいボタンをタッチする



選択した場所から再生が始まります。

情報を表示／編集する

トラックを編集する

トラック編集メニューから、トラック名の編集や不要なトラックの削除ができます。

ここまでの操作 リスト

1 編集 をタッチする



編集メニューが表示されます。



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	編集の内容	参照ページ
情報編集	トラック名を編集する 操作のしかたは、ミュージックキャッチャーと同じです。	P.266
トラック削除	不要なトラックを削除する 操作のしかたは、ミュージックキャッチャーと同じです。	P.267

アルバム／トラックを表示する

アルバム情報（MD）やトラック情報（ラジオ・テレビ）を表示することができます。

ここまでの操作 リスト

テレビ・ラジオ



MD



トラックリストが表示されます。
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	内容	参照ページ
番号指定	トラック番号を入力して、目的のトラックを検索する 操作のしかたは、ミュージックキャッチャーと同じです。	P.253
編集	トラック名の編集や不要なトラックの削除を行う 操作のしかたは、ミュージックキャッチャーと同じです。	P.266
トラック情報 ｱﾙﾊﾞﾑ情報※	アルバム／トラックの名称を表示する	−
ｱﾙﾊﾞﾑｸﾛｰｽﾞ※	MD録音時、追加録音できないようにアルバムをクローズする	P.282

※MD選択時のみに表示されるキーです。

アルバムをクローズする

アドバイス

- 1枚のMDを1つのアルバムとして録音したい場合は、そのMDを録音した後にアルバムをクローズしてください。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ ｱﾙﾊﾞﾑｸﾛｰｽﾞ

1 はい をタッチする

アルバムがクローズされ、リスト上にクローズアイコン（CLOSE）が表示されます。

END

オーディオ・ビジュアル編

iPod®を聴く／観る

別売の07AV-Navi用iPod接続ケーブルをつないで、お手持ちのiPodを本機で再生することができます。
本機でのiPod再生方法や設定などの操作について説明します。

目次

接続できるiPod® …… 284
画面表示とタッチキーについて …… 285
再生する …… 287
いろいろな再生方法 …… 288
情報を表示する …… 292
iPod®ビデオを観る …… 293
iPod®画面を設定する …… 295

接続できるiPod®

接続可能なiPodについては、以下の表をご覧ください。
iPod shuffle、および第1、第2、第3世代のiPodには対応しておりません。

お知らせ

- iPodを本機に接続するには、別売の07AV-Navi用iPod接続ケーブル（CCA-700-500）が必要です。

接続可能なiPod	備考
第4世代iPod（クリックホイール）	
iPod photo	
iPod mini	iPodソフトウェア1.1以前は接続不可
iPod nano※1	
第5世代iPod（ビデオ再生可）※2	

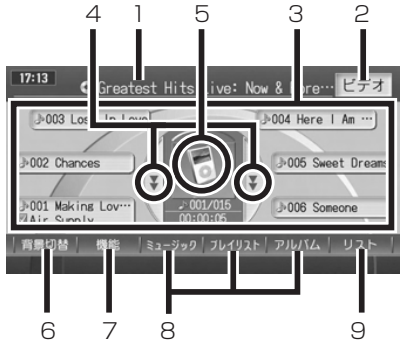
※1 iPod nanoは、ヘッドフォンを外してから接続してください。音が出なくなるなど、正常に動作しなくなることがあります。

※2 第5世代iPodを接続する場合は、iPodのビデオ設定を「TV出力：オン、TV信号：NTSC」に設定してください。

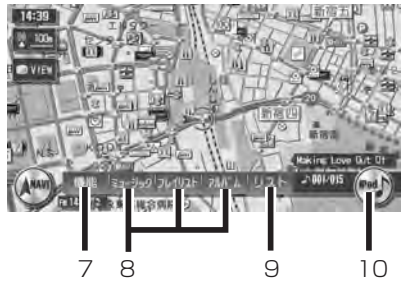
画面表示とタッチキーについて

ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ iPod

オーディオ画面



ナビ画面



1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	ビデオ	ビデオ映像画面切替（P.293） （第5世代iPod接続時のみ）
3	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
4	▼▼、▼▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
5	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
6	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.162）
7	機能	リピート再生、シャッフル再生をするための機能メニューや iPodの初期設定画面を表示する（P.289、P.291）
8	ミュージック プレイリスト アルバム	タッチした方法でトラックを選択する（P.290） この項目はカスタマイズできます。※
9	リスト	トラックリストを表示する（P.288）

NEXT

10	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（iPod）表示 タッチするごとに、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

※：オーディオコントロールバーに選択演奏項目を登録できます。詳しくは、**「指定条件をカスタマイズする」（P.291）**をご覧ください。

アドバイス

- 1曲ずつ選曲するときは、UPおよびDNを押します。UPを押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。DNを1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内にDNを押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、UP（早送り）およびDN（早戻し）を押し続けて行います。

再生する

お知らせ

- iPodを07AV-Navi用iPod接続ケーブルに接続すると、iPodからの操作はできません。操作は本機のオーディオコントロールバーから行います。（ビデオ再生時除く）

1 07AV-Navi用iPod接続ケーブルにiPodを接続する

2 SOURCEを押す

3 

をタッチする

iPodの再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

リストからトラックを直接選択して選曲できます。

ここまでの操作 リスト

1 聴きたいトラックをタッチする



選択した曲から再生が始まります。選曲しても、リピート再生やシャッフル再生は解除されません。

END

トラック番号を選んで再生する

ここまでの操作 リスト

1 トラックリスト画面で 番号指定 をタッチする

トラック番号の入力画面が表示されます。

2 トラック番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生が始まります。

END

リピート、シャッフル再生をする

アルバムやトラックのリピート再生、シャッフル再生をすることができます。

お知らせ

- iPod本体の設定メニュー内にある「リピート」は、あらかじめ「オフ」に設定しておいてください。
- シャッフル時にスキップするファイルのみのリスト選択時は、シャッフル状態を解除して再生します。シャッフル時にスキップするファイルかどうかは、iTunesで確認してください。

ここまでの操作 機能

1 目的の項目をタッチする



選択した動作での再生が始まります。

TRACK (REPEAT)：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

ALBUM (SHUFFLE)：アルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK (SHUFFLE)：アルバムに関係なくトラックをランダムに再生します。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

END

条件を指定して再生する

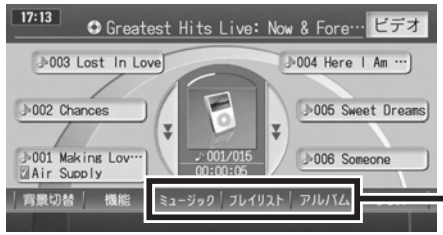
オーディオコントロールメニューのユーザーカスタマイズキーからiPodの機能を呼び出して、いろいろな方法で再生できます。
選択できる機能は次の7項目です。

ミュージック／プレイリスト／アーティスト／アルバム／トラック／ジャンル／作曲者

ユーザーカスタマイズキーへの機能の登録方法については、**「指定条件をカスタマイズする」（P.291）**をご覧ください。

※お買い上げ時は、ミュージック、プレイリスト、アルバムが登録されています。

1 ユーザーカスタマイズキーをタッチする



ユーザーカスタマイズキー
（Aボタン、Bボタン、Cボタン）

2 指定条件をタッチする



トラックリストの最初の曲から再生が始まります。

※画面は、手順1でミュージックを選択した場合のものです。

この後は、本機のタッチパネルを使って、使い慣れたiPodの感覚そのままに選曲してください。

END

指定条件をカスタマイズする

ユーザーカスタマイズキーに指定条件を登録できます。
登録できる機能は7項目です。

ミュージック／プレイリスト／アーティスト／アルバム／トラック／ジャンル／作曲者

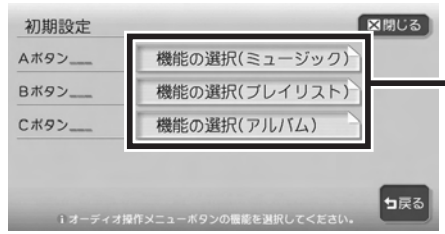
お知らせ

- ミュージックを変更した場合、選択できない機能があります。

ここまでの操作 機能

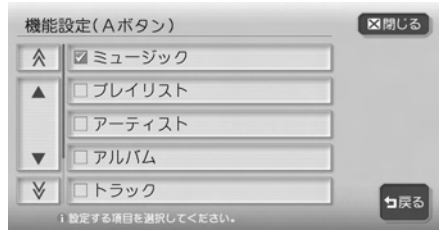
1 初期設定をタッチする

2 変更したいボタンの機能の選択をタッチする



タッチキー内には、現在設定されている機能名が表示されています。

3 変更したい機能をタッチし、閉じるをタッチする



選択した機能がユーザーカスタマイズキーに登録され、オーディオ画面に戻ります。

END

情報を表示する

再生中のアルバム名、トラック名、アーティスト名を表示できます。

ここまでの操作 リスト

1 トラック情報 をタッチする



トラック情報画面が表示されます。

END

iPod®ビデオを観る

iPodのビデオを観ることができます。

1 ビデオ をタッチする



2 iPodを操作して観たいビデオを再生する



約5秒間操作をしないと、iPodのタッチキーは消えます。再度表示させるには、画面内をタッチします。

1	リスト表示	iPodのオーディオ画面を表示する
2	画面切替	画面サイズを切り替える（P.222） 操作のしかたは、DVDビデオと同様です。

お願い

- 第5世代iPodのビデオプレイリストには対応していません。iPodを接続する前に、ビデオプレイリスト以外のミュージックカテゴリにしてから接続してください。オーディオファイルとビデオファイルが混在したビデオプレイリストでビデオファイルを再生してしまうと、iPodが操作不能になってしまう場合があります。万が一iPodが操作不能になってしまったときはiPodをリセットしてください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
- 第5世代iPodでビデオファイルを再生するときは、iPod本体を操作します。
- 第5世代iPodを接続する場合は、iPodのビデオ設定を「TV出力：オン、TV信号：NTSC」に設定してください。
- オーディオファイル再生中の第5世代iPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオファイル再生中に接続した場合は、オールトラックリストの先頭から再生されます。

お知らせ

- ビデオ再生時、本機からiPodを操作することはできません。操作する場合は、停車時にiPod本体のボタンで操作してください。
- 走行中は、iPodビデオの映像は表示されません。

⚠注意

- **走行中は、iPod本体の操作は行わないでください。**

END

iPod®画面を設定する

本機とiPodを接続した時に表示されるiPod画面を、お好きな画像に変更できます。表示される画像は、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で作成された4階調のものになります。
iPod画面を設定するには、あらかじめ本機にデータを取り込む必要があります。
iPod画面の取り込み方法は、**「iPod®画面の取り込み／削除」（P.414）**をご覧ください。

お知らせ

- ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定

1 iPod画面 をタッチする

2 iPod画面にしたい画像をタッチし、決定 をタッチする



アドバイス

- 初期画像に戻す をタッチすると、工場出荷時に設定されていたiPod画面に戻ります。“工場出荷時のiPod画面”に設定されている場合は、初期画像に戻す は表示されません。

3 はい をタッチする

選択した画像がiPod画面になり、設定メニュー画面に戻ります。

END

Memo

各種設定

ナビゲーションに関するいろいろな操作、オーディオの音質、画面表示の色や画質などを、お好みで設定することができます。

目次

ナビゲーションの設定をする …… 298
音質を設定する …… 334
映像を設定する …… 354
ユーザーを設定する …… 357
画面の表示色を設定する …… 365
オープニング画面を設定する …… 366

ナビゲーションの設定をする

本機のナビ設定は、設定メニューから行います。

お知らせ

・ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

ナビ設定メニューは、以下の方法で表示されます。

1 設定/情報を押し、各種設定をタッチする

2 ナビ設定をタッチする

3 設定したい項目をタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
画面	ナビゲーション画面に関する設定を行う	P.300
アイコン	地図上に示されるアイコンに関する設定を行う	P.302
軌跡設定	地図上に示される軌跡に関する設定を行う	P.304
VIEW設定	ルート誘導時の画面表示に関する設定を行う	P.308
誘導設定	ルート誘導中の案内表示に関する設定を行う	P.310

タッチキー	設定の内容	参照ページ
音と音声	音声案内に関する設定を行う	P.313
VICS	VICS情報に関する設定と別売のETCユニット接続時の設定を行う	P.316
VICS/ETC		P.332
その他	その他、便利な設定を行う	P.320
販売店	使用できません。	—
初期設定	ナビゲーションを使用するために必要な設定を行う	P.330

4 希望の設定値をタッチする



設定項目のページが移動します。設定したい項目が表示されていない場合は、画面を切り替えてください。

＊画面は、手順3で画面をタッチした場合です。

設定した項目のランプが点灯し、設定が確定されます。

設定終了後は、閉じるをタッチすると現在地画面に戻ります。

END

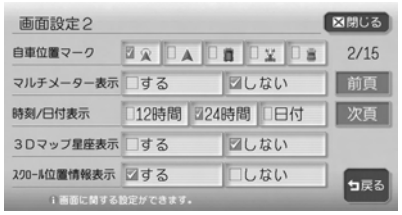
画面の設定をする

自車位置マークなど、画面表示に関する設定ができます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ 画面

画面設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

画面設定項目一覧 ※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
昼画面／夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の市街地図／通常地図の表示色を5色から選択する	市街地図：地図色1※～4 通常地図：地図色1※～4	P.301
地図表示選択	地図画面に表示する文字の大きさや文字の情報量を選択する	標準※／注記量少／太文字使用	P.301
一般道／有料道の経路色	一般道および有料道での誘導ルートの色を5色から選択する	黄※（一般道）／緑／オレンジ／紫／青※（有料道）	—
自車位置マーク	地図画面に表示される自車位置マークを5種類から選択する	※	—
マルチメーター表示	走行速度や平均速度などの表示／非表示を切り替える	する／しない※	基-P.43
時刻／日付表示	時刻／日付の表示形式を選択する 日付 を選択した場合、VICS情報提供時間などは、変更前の設定で表示されます。	12時間／24時間※／日付	—
3Dマップ星座表示	3D地図の空に、星座や月を表示させる	する／しない※	基-P.43
スクロール位置情報表示	スクロール先の地点の住所、緯度・経度、マップコードの表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.20

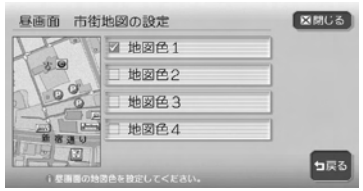
昼画面／夜画面の地図色を設定する

ここまでの操作 設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 画面

1 ［昼画面の地図色］または［夜画面の地図色］の 市街(色1) または 通常(色1) をタッチする

（　　）内には、現在設定している地図色番号が表示されています。

2 変更したい地図色を選択してタッチする



画面左側に選択した地図色の地図が表示されます。

※画面例は昼画面の市街地図です。

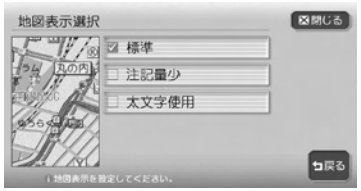
END

地図の表示方法を設定する

ここまでの操作 設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 画面

1 表示選択（標準）をタッチする

2 変更したい項目をタッチする



標準 ：文字の大きさと情報量を標準に設定します。

注記量少 ：文字の大きさを標準に、文字の情報量を少なく設定します。

太文字使用 ：文字を大きく、文字の情報量を少なく設定します。

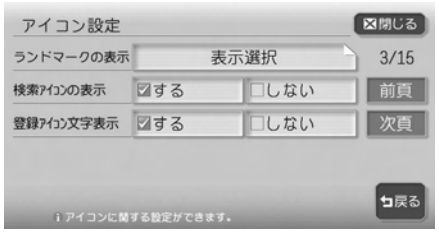
END

地図上のアイコンの設定をする

ランドマークの表示など、地図上に示されるアイコンに関する設定ができます。

ここまでの操作　設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ アイコン

アイコン設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

アイコン設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

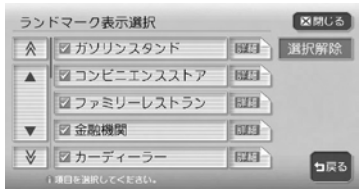
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ランドマークの表示	地図上に表示されるランドマークの種類を選択する	初期設定では以下がオフに設定されています。 ・その他のコンビニエンスストア ・ファーストフード	P.303
検索アイコンの表示	周辺検索（P.60）で検索した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
登録アイコン文字表示	登録アイコンに表示される名称の表示／非表示を切り替える	する※／しない	—

ランドマーク表示を設定する

ここまでの操作　設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ アイコン

1 ［ランドマークの表示］の 表示選択 をタッチする

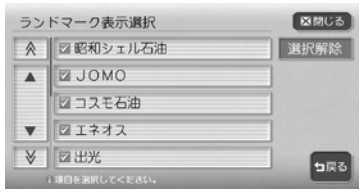
2 表示したいジャンルを選択してタッチする



選択したジャンルのランプが点灯します。

3 選択したジャンルの 詳細 をタッチする

4 表示したいブランドを選択してタッチする



選択したブランドのランプが点灯します。

END

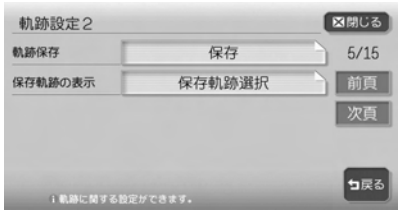
走行軌跡の設定をする

軌跡（今までに走行した道のりの表示）に関する設定ができます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ 軌跡設定

軌跡設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

軌跡設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
軌跡の表示	軌跡の表示／非表示を切り替える	する／しない※	基-P.42
軌跡の間隔	軌跡の間隔を設定する 軌跡のポイントは2,000を超えると古いものから順に消去されますので、軌跡の間隔を長くすると、長い距離の軌跡表示が可能になります。	50m ／ 100m ／ 200m※ ／ 500m	—
軌跡マーク	軌跡マークを5種類から選択する	(青)※、(赤)、(緑)、(紫)、(足跡)	—
軌跡の消去	軌跡の記録を消去する 軌跡の記録を消去すると、再表示はできません。	—	—
軌跡保存	表示している軌跡を、名前を付けて5つまで保存する	—	P.305
保存軌跡の表示	保存している軌跡を表示する	—	P.306

軌跡を保存する

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶
軌跡設定 ▶ 次頁

1 ［軌跡保存］から 保存 をタッチする

2 軌跡を保存したい場所を選択してタッチする



すでに保存している軌跡があれば、上書きされます。
名称を入れなければ、保存した日付が表示されます。

アドバイス
- 保存されるのは、本機に登録されている全ての軌跡です。

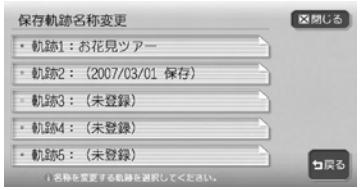
END

軌跡に名称を付ける

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶
軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存

1 名称変更 をタッチする

2 名称を変更したい軌跡を選択してタッチする



3 名称を入力して 決定 をタッチする

名称を入れなければ、保存した日付が表示されます。

END

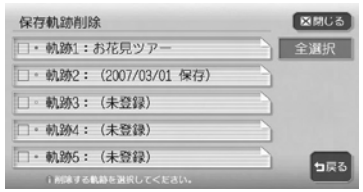
軌跡を削除する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存

1 削除 をタッチする

2 削除したい軌跡を選択してタッチする



3 決定 をタッチする

▶ END ◀

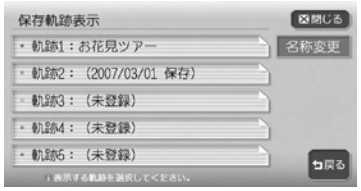
軌跡を表示する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁

1 ［保存軌跡の表示］から 保存軌跡選択 をタッチする

2 表示したい軌跡を選択してタッチする



地図上に選択した軌跡が表示されます。

3 決定 をタッチする



軌跡の表示が設定されます。

▶ END ◀

軌跡表示を解除する

表示されている軌跡の表示設定を解除します。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存軌跡選択

1 削除 をタッチする



確認メッセージが表示されます。

2 はい をタッチする

保存軌跡の表示が解除されます。

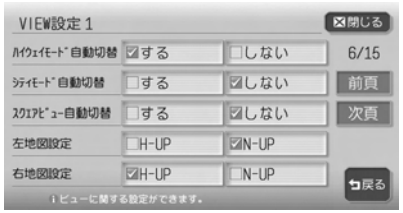
▶ END ◀

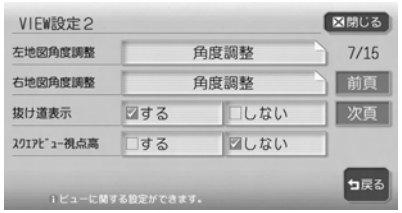
ルート誘導時の地図の設定をする

スクエアビュー表示や3Dマップ角度調整など、ルート誘導時の画面表示に関する設定ができます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ VIEW設定

VIEW設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

VIEW設定項目一覧 ※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ハイウェイモード自動切替	ハイウェイモードの自動表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.29
シティモード自動切替(*)	シティモードの自動表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.32
スクエアビュー自動切替(*)	スクエアビューの自動表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.32
左地図／右地図設定	1画面表示時の地図（2画面表示時の左地図）／2画面表示時の右地図の表示方法を選択する	H-UP※（右地図）：進行方向を上向きに表示 N-UP※（左地図）：北方向を上向きに表示	P.28
左地図／右地図角度調整	1画面表示時の地図（2画面表示時の左地図）／2画面表示時の右地図の3Dの視点を設定する	—	P.309
抜け道表示	一般道を走行中に、抜け道を表示させる 抜け道は、市街地図のないエリアでは10～200mスケール、市街地図のあるエリアでは50～200mスケールで表示されます。ただし、市街地図では表示されません。	する※／しない	—
スクエアビュー視点高	スクエアビュー表示時の視点を高い位置から表示させる	する／しない※	P.32

（*）シティモード自動切替、スクエアビュー自動切替の両方が□する の場合は、スクエアビュー表示が優先されます。

左地図／右地図角度調整（3Dマップ角度調整）

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶
VIEW設定 ▶ 次頁

1 ［左地図角度調整］または、［右地図角度調整］から、角度調整 をタッチする

角度設定画面が表示されます。

2 高 または 低 をタッチして視点を変更する

●視点を高くした場合

視点が上がります。

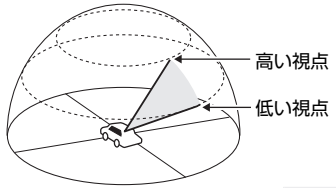


視点が下がります。

●視点を低くした場合



3Dマップ角度イメージ



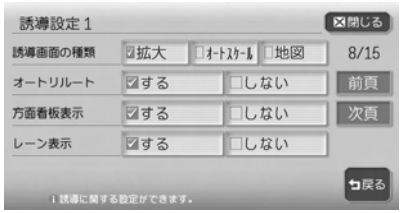
END

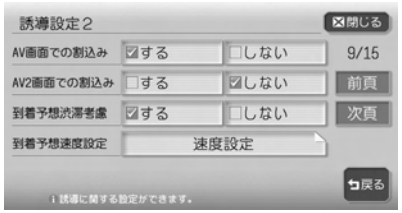
ルート案内の設定をする

方面看板表示など、ルート誘導中の画面表示に関する設定ができます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ 誘導設定

誘導設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

誘導画面設定項目一覧 ※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
誘導画面の種類	ルート誘導中の、交差点および都市高速道路入口での表示案内画面を設定する	拡大※ オートスケール 地図	—
オートリルート	ルート誘導中、ルートを間違えたときに、自動的に目的地までのルートを再設定する	する※／しない	—
方面看板表示	方面看板案内の表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
レーン表示	レーンガイドの表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
AV画面での割込み(*)	オーディオ画面表示中の交差点案内割込表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
AV2画面での割込み(*)	AV2画面表示中の交差点案内割込表示／非表示を切り替える	する／しない※	—
到着予想渋滞考慮	到着予想時間の計算時、渋滞の統計データを(**)考慮して計算するかしないかを設定する 「する」を設定すると次のようになります。 ・「到着予想速度設定」は考慮されません。 ・別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、ビーコン情報も考慮された到着予想時間が計算されます。	する※／しない	—
到着予想速度設定	到着予想時間の計算時に基準となる速度を設定する 「到着予想渋滞考慮」を、「しない」に設定した場合に有効となります。	高速道： 60～100km/h(80※) 有料道： 40～80km/h(60※) 一般道： 20～60km/h(30※)	P.312

（*） 画面がOFFの状態でも交差点案内は表示されます。

（**）渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

到着予想速度設定

お知らせ

- 到着予想渋滞考慮を「する」に設定している場合、到着予想速度設定を変更することはできません。到着予想速度設定をする場合は、到着予想渋滞考慮を「しない」に変更してください。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 誘導設定 ▶ 次頁

1 ［到着予想速度設定］から 速度設定 をタッチする

2 ▲ または ▼ をタッチして各速度を変更する



高速：高速道走行時の速度を60～100km/hに設定できます。

有料：有料道走行時の速度を40～80km/hに設定できます。

一般：一般道走行時の速度を20～60km/hに設定できます。

END

音声案内の設定をする

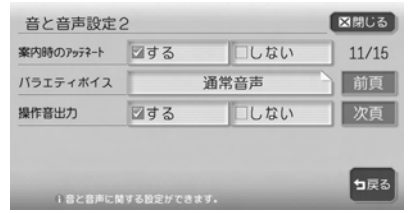
音声案内に関する設定ができます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 音と音声

音と音声設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

音と音声設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声案内	音声案内などのナビゲーション音声を、出力するかしないかを設定する「しない」を選択しても、目的地到着案内・渋滞・規制の音声案内は行います。	通常※／しない	—
音量設定	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する	レベル1～15（レベル8※）	P.315
音声認識アンサーバック	ボイスコントロール時の音声による確認（P.392）を設定する	する※／しない	—
音声案内アイコン選択	登録地点のアイコンに近づいたときの、音声案内を設定する	鳴らす：音声案内をします。 オフ※：音声案内をしません。 選択：音声案内をするアイコンを指定します。	—
音声を鳴らす距離	音声案内を行うアイコンと、自車位置の距離を設定する	200m※／400m／800m	—
案内時のアッテネート	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	する※／しない	—
バラエティボイス	音声案内を4種類の中から選択する	通常音声※／簡易音声／関西弁／英語	P.315
操作音出力	ボタン・タッチキー操作時にビープ音を鳴らすかどうかを設定する	する※／しない	—

音量を調整する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 音と音声

1 音量設定 をタッチする

2 ▲ または ▼ をタッチして各音量を調整する



設定した音量で、「この音量でご案内します」と音声案内します。

アドバイス

- 高速走行時と通常走行時の音量切り替えは、時速80km/hを目安に行われます。

END

バラエティボイス

関西弁および英語は、交差点の進行方向を中心に音声案内を行います。交差点名・ランドマーク名・方面名称・道路名については音声案内を行いません。

簡易音声は、通常音声における音声案内の一部を省略した内容で案内を行います。ただし、簡易音声に設定しても、通常音声と変更のない音声案内もあります。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 音と音声 ▶ 次頁

1 ［バラエティボイス］に表示されている音声をタッチする

2 案内させたい音声を選択してタッチする



選択した音声のランプが点灯します。

END

VICS情報の設定をする

VICS情報に関する設定ができます。

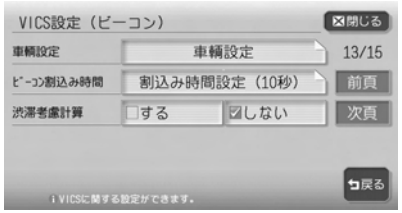
お知らせ

- VICS設定（ビーコン）の画面は、別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ VICS

VICS設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

VICS設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
周波数設定	VICS情報やFM多重放送の受信放送局を設定する	自動追尾※／OFF	P.318
文字情報表示	受信したVICS文字情報の表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.37
VICS情報更新の通知	VICS情報を更新したときに、音声でお知らせするかしないかを設定する	する※／しない	—
VICSアイコン情報表示	地図上にVICSアイコンの情報を表示するかしないかを設定する	する※／しない	P.37
VICS表示項目選択	VICS情報を表示する項目を選択する	一般道交通情報の表示※／高速道交通情報の表示※／渋滞なしの表示／駐車場情報の表示※	P.318
車輌設定（*）	本機を使用する車両を、6種類の中から選択する	軽車輌／小型車輌※／普通車輌／大型車輌／特定車輌／大型特定車輌	P.319
ビーコン割込時間（*）	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報を、画面に割込表示する時間を設定する	OFF／5秒／10秒※／20秒／30秒	P.319
渋滞考慮計算（*）	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報をもとに、渋滞箇所を考慮したルートを計算する	する／しない※	—

（*）別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時のみ設定できます。

FM周波数の設定

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS

1 周波数設定 をタッチする

2 放送局を選択してタッチする



⏭ ⏮ :
周波数が切り替わります。タッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に検出します。

自動追尾 :
NHK-FM受信中は、放送エリア外に出た場合でも、そのエリアのNHK-FMを自動的に受信します。初期設定はON（ランプ点灯）です。NHK-FM以外の放送局を受信すると、OFFになります。

END

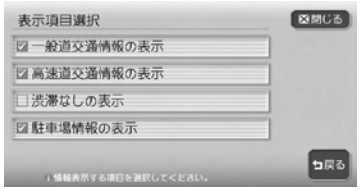
VICS表示項目選択

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS

1 [VICS表示項目選択] から 表示項目選択 をタッチする

2 表示させたい項目を選択してタッチする



選択した表示形式のランプが点灯します。

END

車両を設定する（ビーコン）

正しく設定されていないと、高速道の料金表示が正しく表示されない場合があります。

大型車両、特定車両、大型特定車両の高速道料金には対応していません。

アドバイス

・ナビ各種設定画面で 初期設定 をタッチしても、同様の操作ができます。(P.331)

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS ▶ 次頁

1 車種設定 をタッチする

2 ご使用の車両を選択してタッチする

選択した車両のランプが点灯します。

END

ビーコン割込時間（ビーコン）

お知らせ

・この設定を OFF にしても、**「ルート案内の設定をする」(P.310)** のAV画面での割込みが する に設定されている場合は、オーディオ画面がOFFの状態でも、ビーコン情報画面は割込み表示します。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS ▶ 次頁

1 [ビーコン割込み時間] から、割込み時間設定（10秒） をタッチする

2 表示させたい時間を選択してタッチする



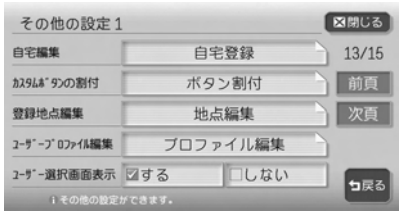
選択した時間のランプが点灯します。

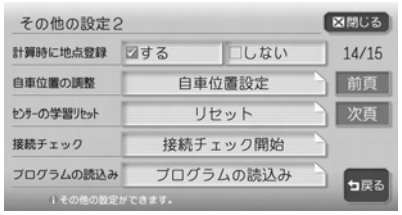
END

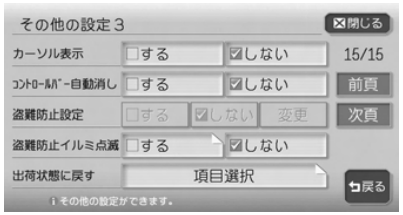
その他の設定をする（自宅編集・登録地点編集・自車位置の調整・カーソル表示…）

ここまでの操作　設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ その他

その他の設定メニュー







以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

その他設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
自宅編集	登録されている自宅の場所を変更する 編集方法については、**「まずは自宅を登録しよう」の手順5以降（基-P.45）**をご覧ください。	—	—
カスタムボタンの割付	よく使う機能を、10個までカスタムボタンに割り付ける 割り付けた機能は、ナビゲーション操作メニューのカスタムから簡単に呼び出すことができます。	—	P.323
登録地点編集	登録地点の編集、削除、グループ編集、マイリスト編集をする ［登録地点編集］から地点編集をタッチした後に、下記項目をタッチして編集してください。	—	—
	• データ編集	—	P.56
	• グループ編集	—	P.58
	• マイリスト編集	—	P.54
	• 地点削除	—	P.59
ユーザープロファイル編集	ユーザープロファイルの編集やユーザーの削除をする ［ユーザープロファイル編集］からプロファイル編集をタッチした後に、下記項目をタッチして編集／削除してください。	—	—
	• ユーザー編集	—	P.361
	• ユーザー削除	—	P.360
ユーザー選択画面表示	エンジンをかけた後のユーザー選択画面の表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.357
計算と同時に地点登録	目的地までのルートの設定と同時に、目的地を登録するかしないかを設定する	する※／しない	—
自車位置の調整	自車位置を修正する	—	P.325
センサーの学習リセット	距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する	—	P.326

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
接続チェック	本機に接続されているセンサーや信号の状況をチェックする	—	P.326
	<GPS状態確認> GPSの受信状況を表示する		P.327
	<再起動> 車のバッテリーを交換した場合などに、システムを再起動する		P.327
プログラムの読込み	将来的に、メモリーカードによりプログラムのバージョンアップが必要なときに使用する	—	—
カーソル表示	画面上で、現在選択されている項目をハイライト表示する	する／しない※	P.323
コントロールバー自動消し	ナビゲーション／オーディオコントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを設定する	する／しない※	—
盗難防止設定	エンジンをかけた後に暗証番号入力画面を表示させ、暗証番号を入力しないと本機を操作できないようにする	する／しない※／変更	P.328
盗難防止イルミ点滅	エンジンがOFFのときに 現在地 を点滅させて、盗難を抑制する	する／しない※	—
出荷状態に戻す	本機の状態を工場出荷時の状態に戻す	—	P.329

カーソル表示画面

□しない を選択しても、画面によっては項目がカーソル表示されることがあります。
別売のリモコン操作時は、この設定は □する に切り替わります。

□する を選択した場合
選択中の項目がハイライトで表示されます。



□しない を選択した場合
ハイライト表示はありません。



カスタムボタンの割付

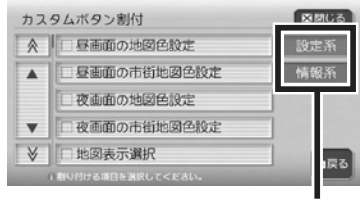
ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他

1 ［カスタムボタンの割付］から、ボタン割付 をタッチする

2 割り付けたいボタンを選択してタッチする



3 割り付ける機能を選択してタッチする



割り付ける機能を絞り込むことができます。

選択した機能のランプが点灯し、カスタムボタン割付画面に戻ります。

END

■カスタムボタンに割り付けられる機能一覧表

設定系	昼画面の地図色設定	スクエアビュー自動切替	音声を鳴らす距離
	昼画面の市街地図色設定	左地図設定	案内時のアッテネート
	夜画面の地図色設定	右地図設定	操作音出力
	夜画面の市街地図色設定	3Dマップ角度調整	文字情報表示
	地図表示選択	右地図3Dマップ角度調整	VICS情報更新の通知
	一般道の経路色選択	抜け道表示	VICSアイコン情報表示
	有料道の経路色	スクエアビュー視点高	VICS表示項目選択
	自車位置マーク設定	誘導画面の種類	ビーコン割込時間※2
	マルチメーターの表示	オートリルート	渋滞考慮計算※2
	時刻表示の選択	方面看板表示	ユーザー選択画面表示
	3Dマップ星座表示	レーン表示	計算と同時に地点登録
	スクロール位置情報表示	AV画面での割込み	ETC音声ガイド※3
	検索アイコンの表示	AV2画面での割込み	ETCカード入れ忘れ警告※3
	登録アイコン文字表示	到着予想渋滞考慮	ETC本体ブザー音※3
	軌跡の表示	到着予想時間速度設定	ETCアイコン表示※3
	軌跡の間隔	音声案内	ETC割込み時間※3
	軌跡マーク	音量設定	コントロールバー自動消し
	ハイウェイモード自動切替	音声認識アンサーバック	メニュー設定
	シティモード自動切替	音声案内アイコン選択※1	検索アイコン消し
情報系	FM文字多重情報	NHK所要時間	ビーコン図形情報※2
	FM多重図形情報	ビーコン文字情報※2	ビーコン所要時間※2
	NHK一般情報※4		

※1 走行中には、アイコンは選択できません。
※2 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
※3 別売のETCユニット接続時に表示されます。
※4 走行中には、［ニュース・スポーツ情報］を表示することはできません。

自車位置を調整する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［自車位置の調整］から、自車位置設定をタッチする

2 自車位置の移動方法を選択してタッチする

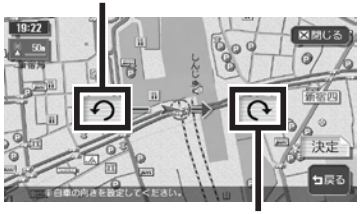
移動のしかたは、目的地を探す場合と同様です。詳しくは**「目的地を探す」**(P.43) をご覧ください。

3 場所を確認して、決定をタッチする



4 自車位置の方向を調整する

自車位置の方向を、左方向に回転します。



自車位置の方向を、右方向に回転します。

5 決定をタッチする

自車位置が修正され、現在地画面に戻ります。

END

センサーの学習リセット

タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。

学習方法については、**「自車位置がずれていたら」（P.418）**、**「3Dセンサーによる上下道路判定について」（P.419）**をご覧ください。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［センサーの学習リセット］から リセット をタッチする

2 はい をタッチする

学習記録が初期化されます。

END

接続状況をチェックする

チェックは以下の14項目に対して行います。

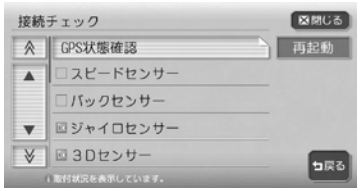
GPS状態確認／スピードセンサー／バックセンサー／ジャイロセンサー／3Dセンサー／サイドブレーキ／イルミ／タッチパネル／リモコン／ビーコン／FM多重／リアカメラ／ETC／Bluetooth

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［接続チェック］から、接続チェック開始 をタッチする

GPS状態確認 以外は、接続が確認されると OK が表示されます。



GPS状態確認については、**「GPS情報を表示する」（P.327）**をご覧ください。

END

GPS情報を表示する

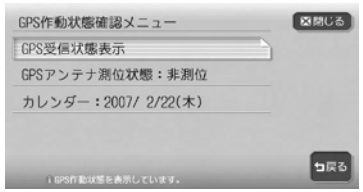
ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［接続チェック］から、接続チェック開始 をタッチする

2 GPS状態確認 をタッチする

3 GPS受信状態表示 をタッチする





GPS情報画面が表示されます。

END

システムを再起動する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［接続チェック］から、接続チェック開始 をタッチする

2 再起動 をタッチする

3 はい をタッチする

システムが再起動します。

END

盗難防止用に暗証番号を設定する

お知らせ

- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してからにしてください。
- 暗証番号は、GPSアンテナ接続時のみ設定できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁 を2回

1 ［盗難防止設定］から する をタッチする

2 注意事項を読み、確認 をタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号を4桁入力し、決定 をタッチする

電話番号入力画面が表示されます。

4 電話番号を入力し、決定 をタッチする

メッセージが表示され、暗証番号と電話番号が保存されます。

お願い

- 暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。

アドバイス

- 暗証番号を変更する場合は、［盗難防止設定］から 変更 をタッチして暗証番号を入力してから、新しい暗証番号と電話番号を入力してください。
- 盗難防止設定を解除する場合は、［盗難防止設定］から しない をタッチして暗証番号を入力してください。

END

■暗証番号を忘れてしまった場合は・・・

暗証番号を忘れてしまった場合は、次のことを行ってください。

1 SDメモリーカード、またはメモリースティックを入れ、コード発行 をタッチする

2 SDメモリーカード、またはメモリースティックを取り出し、「暗証番号照会申込書」を添付して弊社お客様相談室宛に郵送で送る

※「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

※「暗証番号照会申込書」には、必ず暗証番号設定時に入力した電話番号をご記入ください。未記入、あるいは間違っている場合は、暗証番号のご通知はできません。

本人確認のため、「暗証番号照会申込書」には以下の事項を必ず記入してください。詳しくは、「暗証番号照会申込書」（P.480）をご覧ください。

- **暗証番号設定時に入力した電話番号**
- **自宅登録している場所（自宅住所や駐車場住所など）**
- **解除コードの送付先（お客様の氏名、住所、電話番号）**

END

出荷状態に戻す

お願い

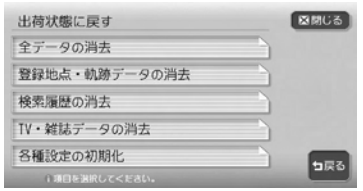
- 本機を譲渡・転売するときは、必ず全てのデータを削除してください。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁 を2回

1 ［出荷状態に戻す］から、項目選択 をタッチする

2 出荷状態に戻したい項目をタッチする



確認画面が表示されます。

アドバイス

- 盗難防止機能が「する」に設定されている場合は、全データの消去 または 各種設定の初期化 をタッチすると暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

3 はい を2回タッチする

選択した項目が出荷時の状態に戻ります。

END

初期設定

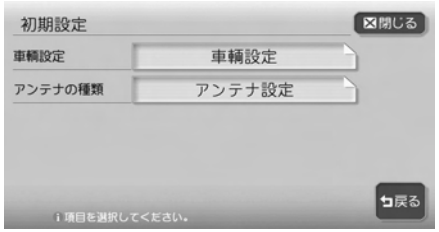
ナビゲーションを使用するために必要な設定ができます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶

初期設定

初期設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

初期設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
車輌設定	本機を使用する車両を6種類の車両から選択する	軽車輌／小型車輌※／普通車輌／大型車輌／特定車輌／大型特定車輌	P.331
アンテナの種類	本機を使用する車のアンテナの種類を設定する	オートアンテナ／その他※	P.331

車両を設定する

正しく設定されていないと、高速道の料金表示が正しく表示されない場合があります。

大型車両、特定車両、大型特定車両の高速道料金には対応していません。

アドバイス

- 別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合は、**「VICS情報の設定をする」（P.316）**の車輌設定からも同様の操作ができます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶

初期設定

1 車輌設定をタッチする

2 ご使用の車両を選択してタッチする



選択した車両のランプが点灯します。

END

アンテナの種類を設定する

お知らせ

- オートアンテナの設定ができるのは、オートアンテナ車で車両のアンテナ端子と本機のオートアンテナ端子を接続している場合です。
- 立体駐車場など、天井の低い場所に入るときは、オートアンテナを下げてください。

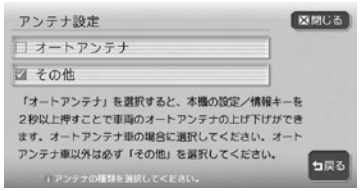
ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶

初期設定

1 ［アンテナの種類］からアンテナ設定をタッチする

2 ご使用の車に合わせて、オートアンテナまたはその他をタッチする



選択した設定項目のランプが点灯します。

オートアンテナ：

車載ラジオのスイッチをONにすると自動的に出てくるアンテナです。本機の設定/情報を押し続けると、オートアンテナの上げ下げができます。オートアンテナ車では、必ずこちらを選択してください。

その他：

オートアンテナ以外のアンテナをお使いの場合は、こちらを選択してください。

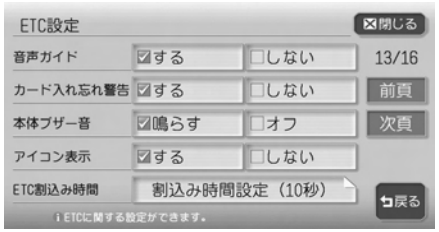
END

ETCの設定をする

別売のETCユニット接続時の設定ができます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ VICS/ETC

ETC設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

ETC設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声ガイド	ゲート通過時の音声ガイドを設定する	する※：音声とメッセージ表示 しない：メッセージ表示のみ	—
カード入れ忘れ警告	エンジンをかけたときに、ETCカードが挿入されていない場合に警告をするかしないかを設定する	する※：メッセージ表示で警告 しない：警告しません	—
本体ブザー音	ETC本体のブザー音（ゲート通過時、カード挿入時、カード排出時、エンジンをかけたときにカード未挿入時）を設定する	鳴らす※／オフ	—
アイコン表示	地図上のETCアイコンの表示／非表示を切り替える □する を選択した場合のETCアイコン表示： ETC OK（紫）：正常時 ETC（グレー）：カード無し、エラー時	する※／しない	—
ETC割込み時間	料金を割込表示させる時間を設定する	5秒／10秒※／15秒／20秒／30秒	P.333

ETC料金表示割込時間

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS/ETC

1 [ETC割込み時間]から割込み時間設定（10秒）をタッチする

2 表示させたい時間を選択してタッチする



選択した項目のランプが点灯します。

END

音質を設定する

オーディオの音に関する設定を行ないます。
本機は、5.1chサラウンドプロセッサーを内蔵しており、最先端のデジタル音響技術によるリアリティあふれる臨場感豊かなサウンドの再生が可能です。

お知らせ

- 最初に、スピーカーの設定を必ず行ってください。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定

1 オーディオ設定 をタッチする

オーディオ設定画面が表示されます。

2 設定したい項目をタッチする



各設定項目のONとOFFを切り替えます。チェックボックスにチェックマークが表示された状態がONです。

設定後は、閉じる をタッチして現在地画面に戻ります。
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
モード選択 [ドルビーPLⅡ設定]	立体的なサラウンド空間を作り出すモードを設定する	MUSIC/MATRIX/MOVIE/OFF※	P.341
モード選択 [ポジション設定]	音像定位が最適になるように着座位置を選択する また、タイムアライメント調整*1やスピーカーゲイン調整*2もできます。	フロント左／フロント右／フロント／リア／フルシート／ユーザー／OFF※	P.344
モード選択 [パラメトリックEQ設定]	車両環境に合わせて車室内の音響特性を補正する	セダン／ワゴン／ワンボックス／ミニバン／コンパクトカー／ユーザー／OFF※	P.348
モード選択 [Zエンハンサー設定]	低音域・高音域を強調し、迫力ある再生を可能にする 3種類の音質効果メモリーから、お好みの音質を選ぶことができます。	B-BOOST/IMPACT/EXCITE/OFF※	P.352
バランス設定	お好みの音量バランスをメモリーする	BAL：L9～0※～R9 FAD：F9～0※～R9	P.353
スピーカー設定	接続しているスピーカーの種類の設定や各種調整をする また、各スピーカーのハイパスフィルター（低音域をカットします）やサブウーファーローパスフィルター（高音域をカットします）の周波数を調整できます。	—	P.336
DRC [ダイナミック・レンジ・コントロール設定]	映画のセリフなどの小さな音を維持したまま、大音量を抑制する この設定は、ドルビーデジタル方式のDVDにのみ有効です。 タッチするたびにON（チェックボックスにチェックマークが表示された状態）とOFFが切り替わります。	ON／OFF※	—
高域補正	MP3などの圧縮オーディオの高音域を補正し、原音に近づける タッチするたびにONとOFFが切り替わります。	ON／OFF※	—

*1：音の到着時間の誤差をなくすために、選んだ座席位置に対して、各スピーカーからの距離を微調整できます。
*2：スピーカー出力レベルを調整できます。

お知らせ

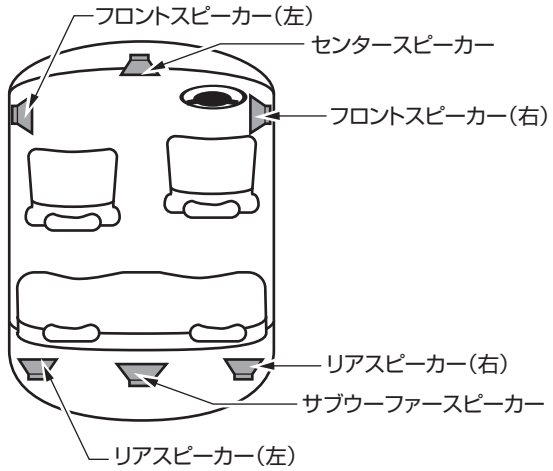
- 設定を中止するには、設定中に 戻る をタッチします。
- オーディオOFF中は、オーディオ設定は操作できません。

スピーカーを設定する

接続しているスピーカーの種類の設定や各種調整を行います。
ここでの設定内容と実際に装備されているスピーカーの有無や内容が異なると、音声が出力されない場合があります。必ず実際のスピーカー状況に合わせた設定を行ってください。音場再生機能を最大限にお楽しみいただくために、5.1chのスピーカーシステムをおすすめします。

※5.1chスピーカーシステムでない場合（通常の4スピーカーシステムの場合）は、ディスク（録音内容）により、スピーカーから音が出ないチャンネルがあります。これは、5.1chなどのマルチチャンネルにおける音声データが、通常のスピーカーシステムでの再生において、振り分けを禁止されているディスクによるものです。よって、このようなディスクでは、5.1chスピーカーシステムでの再生と異なる場合があります。

例：［センタースピーカー接続］を「なし」に設定した場合、センターチャンネルの音声は、フロントチャンネルに振り分けて出力されます。ただし、振り分けを禁止しているディスクの場合、センターチャンネルの音声はどこにも出力されません。



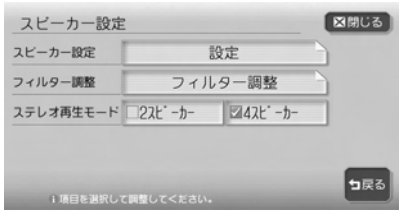
アドバイス

- 5.1chの音声を2chに切り替えて再生すれば、振り分けを禁止しているディスクでもすべての音声を出力することができます。詳しくは、**「5.1chの音声を2chに切り替えて再生する」（P.221）**をご覧ください。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ スピーカー設定

1 各項目を設定する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて □あり を選択した場合



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
スピーカー設定	接続しているスピーカー構成を設定する	—	P.339
フィルター調整[*1]	各スピーカーのハイパスフィルター（低音域をカットします）やサブウーファーローパスフィルター（高音域をカットします）の周波数を調整する	—	P.340
ステレオ再生モード[*2]	ステレオ再生時の信号の出力先スピーカーを設定する **<2スピーカー>** 2チャンネルソースの信号を、フロントスピーカーからのみ出力します。 **<4スピーカー>** 2チャンネルソースの信号をフロントスピーカーとリアスピーカーの両方から出力します。	2スピーカー／4スピーカー※	—

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
サブウーファー極性*3	サブウーファーの極性を設定する **<極性＋>** サブウーファーから、他のスピーカーと同じ極性で音を出力します。 **<極性－>** サブウーファーから、他のスピーカーと位相を反転させて音を出力します。極性を＋にしてもサブウーファースピーカーの効果が少ない場合に選択します。	極性＋※／極性－	—
低域出力先スピーカー(W-BASS)*4	低域の出力先を設定する **<フロント>** 2チャンネルソースの低域信号を、フロントスピーカーからのみ出力します。 **<フロント＋サブウーファー>** 2チャンネルソースの低域信号を、フロントスピーカーとサブウーファースピーカーの両方から出力します。	フロント※／フロント＋サブウーファー	—

*1：[センタースピーカー接続] [リアスピーカー接続] [サブウーファー接続] で「なし」が選択されているスピーカーは、[フィルター設定] が表示されません。

*2：[リアスピーカー接続] で「なし」が選択されている場合およびドルビープロロジックⅡが「ON」の場合は、[ステレオ再生モード] は表示されません。

*3：[サブウーファー接続] で「なし」が選択されている場合、[サブウーファー極性] は表示されません。また、通常は「極性＋」が標準ですが、組み合わせるスピーカーや設置する場所によっては、「極性－」に切り替えた方がよい場合があります。実際にお聴きになり、聴感上自然でつながりのよい方に切り替えてください。

*4：[低域出力先スピーカー] で「フロント」が選択されており、かつフロントスピーカーのハイパスフィルターで「スルー」を選択していると、CDなどの2チャンネルソース再生時にサブウーファーから低音が再生されなくなります。このような場合は、[低域出力先スピーカー] で「フロント＋サブウーファー」を選択してください。また、[サブウーファー接続] で「なし」が選択されている場合、[低域出力先スピーカー] は表示されません。

END

接続しているスピーカーを設定する

お知らせ

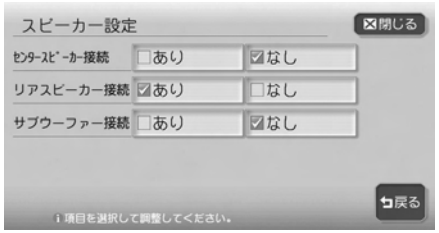
- センタースピーカー・サブウーファーを接続しないと、音量が不自然に小さくなることがあります。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

ｽﾋﾟｰｶｰ設定 ▶▶▶ [スピーカー設定] から 設定

1 スピーカーの接続状態を設定する



設定の内容は、以下の表をご覧ください。　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
センタースピーカー接続	センタースピーカーの有無を設定する **<あり>** センタースピーカーから音が出力されます。 **<なし>** センタースピーカーへの音声信号は、左右フロントのスピーカーに振り分けられて出力されます。	あり／なし※
リアスピーカー接続	リアスピーカーの有無を設定する **<あり>** リアスピーカーから音が出力されます。 **<なし>** リアスピーカーへの音声信号は、左右フロントのスピーカーに振り分けられて出力されます。	あり※／なし
サブウーファー接続	サブウーファーの有無を設定する **<あり>** サブウーファーから音が出力されます。 **<なし>** サブウーファーへの音声信号は、接続されているスピーカーへ振り分けられて出力されます。	あり／なし※

END

フィルター調整をする

センター、フロント（右／左）、サブウーファー、リア（左／右）ごとにフィルターを調整できます。

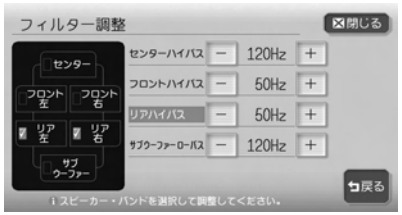
ここまでの操作
設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶
スピーカー設定 ▶▶▶ フィルター調整

1 調整するスピーカーをタッチし、－ ＋ でフィルターを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて□あり を選択した場合



設定の内容は、以下の表をご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
センターハイパス	センタースピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	50Hz/80Hz/120Hz※
フロントハイパス	フロントスピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	スルー /50Hz※/ 80Hz/120Hz
リアハイパス	リアスピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	
サブウーファーローパス	サブウーファーのローパスフィルター周波数を選択する	50Hz/80Hz/120Hz※

END

ドルビー PLⅡを設定する

立体的なサラウンド空間を作り出すモードを設定できます。

ドルビープロロジックⅡについて

- ドルビープロロジックⅡは最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのドルビープロロジックをさらに改良したマトリクスデコード技術です。ドルビーサラウンドソースをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れた5.1ch 再生を実現します。
- ドルビーデジタルは、5.1chの完全独立デジタルディスクリート方式のフォーマットです。フロント3chとサラウンド2ch、低域効果音に0.1chの信号が独立した状態で記録されているため、チャンネル間のクロストークもなく、音の定位感、遠近感など忠実に再現します。

アドバイス

- この設定をONにすると、リアスピーカーからはSURROUND成分からの出力となります。

ここまでの操作
設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶
［Dolby PL Ⅱ］から モード選択

1 お好みのモードをタッチする



設定の内容は、以下の表をご覧ください。

設定項目	設定の内容	設定値
□MUSIC	CDなどの音楽に適したモード 音楽ソースにより音場の広がり感が異なるため、さらに調整することができます。	—
□MATRIX	ラジオなどの音源に適したモード	—
□MOVIE	DVDやテレビなどのステレオ音声に適したモード	—
MUSICモード調整	MUSIC モードを微調整する □MUSIC を選択したときのみ調整できます。設定方法については、**「MUSICモードを微調整する」(P.343)** をご覧ください。	—

END

MUSICモードを微調整する

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

[Dolby PL Ⅱ] から モード選択 ▶▶▶ MUSICモード調整

1 MUSICモードを微調整する



設定の内容は、以下の表をご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
PANORAMA	フロントの音場イメージをリアスピーカーまで拡大する サラウンド効果が少ないと感じる場合は、「ON」に設定してください。	ON/OFF※
DIMENSION	音場イメージをフロント側またはリア側にシフトする −、＋で調整します。 音場イメージをリア側にシフトする場合は0～2、中心に置く場合は3、フロント側にシフトする場合は4～6に調整します。	0～6（3※）
CENTER WIDTH（*）	センターチャンネルの定位をセンタースピーカーからフロントスピーカーの間で調整する センター音を左右のフロントスピーカーに振り分けると、全体の音場イメージが増すので自然な音の広がり感を得ることができます。 −、＋で調整します。 全てのセンター音をセンタースピーカーで再生する場合は0、ステレオ音声と同様に全てのセンター音を左右のフロントスピーカーに振り分ける場合は7に調整します。	0～7（3※）

(*)［センタースピーカー接続］で「なし」を選択している場合、この項目は表示されません。

END

ポジションを設定する

各スピーカーからの音の到着時間と出力レベルを、座席位置に合わせて選ぶことができます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

［ポジション］から モード選択

1 基準となる座席位置をタッチする



選んだ座席のランプが点灯します。

ユーザー は、タイムアライメント調整とスピーカーゲイン調整をお好みで調整し、保存するモードです。詳しくは、**「タイムアライメントを調整する」(P.345)**、**「スピーカーゲインを調整する」(P.347)** をご覧ください。

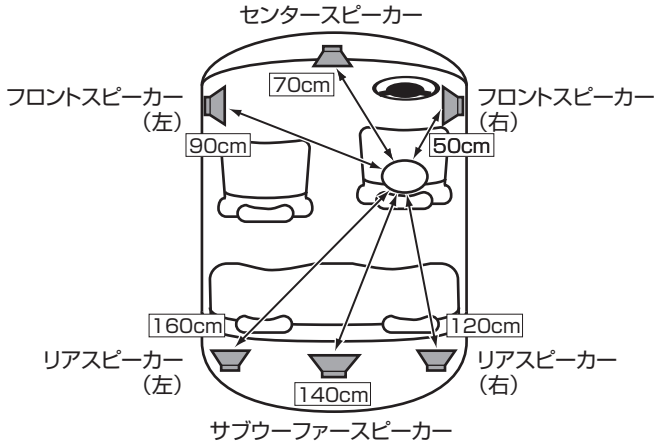
END

タイムアライメントを調整する

車内では、各スピーカーからリスニングポジションまでの間に、それぞれの距離差により音が到達する時間差が生じます。そのために、音像定位や位相が狂います。

音の到着時間を補正するには、選択したポジションに対して、各スピーカーからの距離で微調整します。

下記のイラストは調整の例です。



お知らせ

- ［スピーカー設定］で「なし」が選択されているスピーカーは表示されず、調整できません。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

［ポジション］から モード選択 ▶▶▶ タイムアライメント調整

1 調整するスピーカーをタッチし、－ ＋でタイムアライメントを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて□あり を選選択した場合



－ ＋ ：タッチするごとに、5cmの単位で調整できます。
調整範囲は0～470cmです。

ユーザー に保存 ：調整したタイムアライメントがユーザー定義として保存され、ポジション設定画面では、［ユーザー］が選ばれた状態となります。

END

スピーカーゲインを調整する

スピーカー出力レベルを調整できます。

お知らせ

- ［スピーカー設定］で「なし」が選択されているスピーカーは表示されず、調整できません。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

［ポジション］から モード選択 ▶▶▶ ｽﾋﾟｰｶｰｹﾞｲﾝ調整

1 調整するスピーカーをタッチする

タッチしたスピーカーからテストトーンが出ます。

2 －＋でスピーカーゲインを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて□あり を選選択した場合



各スピーカーのテストトーンがすべて同じになるように調整します。

－ ＋ ：タッチするごとに、1dBの単位で調整できます。調整単位は-6～+6dBです。

ユーザー に保存 ：調整したスピーカーゲインがユーザー定義として保存され、ポジション設定画面では、［ユーザー］が選ばれた状態となります。

END

パラメトリックイコライザーを設定する

車両の環境に合わせて車室内の音響特性を補正します。

DVDオーディオでPURE MODEに設定されているとき（**P.218**）は、この設定はできません。

ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

［パラメトリックEQ］から モード選択

1 車種をタッチする



選んだ車種のランプが点灯します。

ユーザー は、パラメーターをお好みで調整し、保存したモードです。詳しくは、**「パラメーターを調整する」（P.349）**をご覧ください。

END

パラメーターを調整する

選んだ車種の設定を元にして、音響特性を微調整できます。

■パラメトリックイコライザーとは

スピーカーから出力された音は車内のシートやインパネなどで吸収されたりして、音響特性は平坦ではありません。

本機ではパラメトリックイコライザー（P.EQ）で、車内の音響特性を補正します。

■調整について

スピーカーとバンドの組み合わせに対して、中心周波数・ゲイン・Qカーブを調整できます。

●センター・フロント・リア

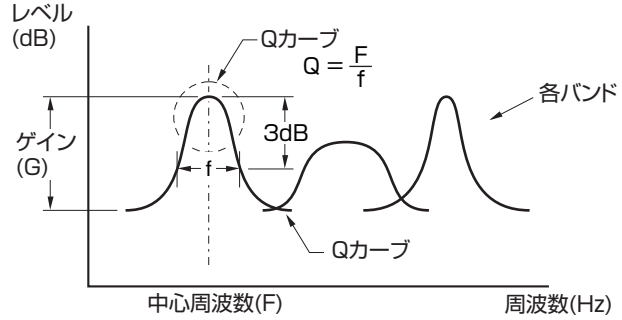
調整するスピーカーを選択します。

●BAND

調整する周波数バンド（1・2・3）を選択します。周波数バンドごとに、中心周波数・ゲイン・Qカーブの選択と設定を行います。

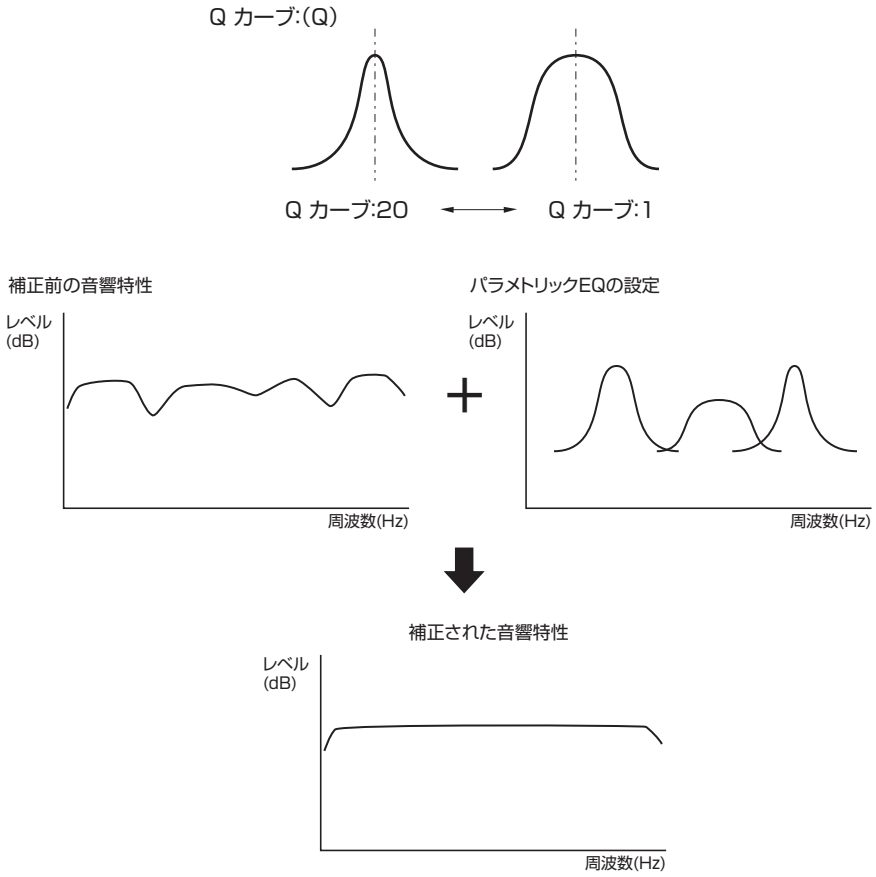
■周波数特性の補正について

中心周波数・ゲイン・Qカーブの関係は、次の表のようになっています。



Qカーブについて

Qカーブは、数値を大きくするとカーブが鋭く、数値を小さくするとカーブが緩やかになります。補正したい周波数カーブと逆のQカーブを選択することで、平坦な音響特性を作り出すことができます。



ここまでの操作

設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶

［パラメトリックEQ］から モード選択 ▶▶▶ パラメーター調整

1 センター、フロント、リアのBANDをタッチし、－ ＋ でパラメーターを調整する

工場出荷時

［スピーカー設定］ですべて □あり を選択した場合



［周波数］：中心周波数（補正したい周波数帯＜バンド＞の中心となる周波数）を20Hz ～ 20kHzの範囲で調整します。1/3オクターブずつ、31段階で調整できます。

［GAIN］：ゲイン（出力レベル）を－12dB ～＋12dBの範囲で調整します。1dBずつ、25段階で調整できます。

［Q］：Q カーブの鋭さを1、3、5、7、20のいずれかで設定します。

ノイズ：スピーカーからテストトーンが出ます。

ユーザー に保存：ユーザー定義として保存され、パラメトリックEQ設定画面では、［ユーザー］が選ばれた状態となります。

END

Z エンハンサーを設定する

低音域・高音域を強調し、迫力ある再生を可能にします。
DVDオーディオでPURE MODEに設定されているとき（**P.218**）は、この設定はできません。
3種類の音質効果メモリーから、お好みの音質を選択できます。

ここまでの操作
設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶
［Z-ENHANCER］から モード選択

1 B-BOOST、IMPACT、EXCITEから、お好みの音質をタッチする



B-BOOST：低音を重視したサウンドです。
IMPACT：低音と高音を強調したサウンドです。
EXCITE：低音と高音をさらに強調したサウンドです。
選んだ項目のランプが点灯します。

2 EFFECT ▲またはEFFECT ▼をタッチし、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルは−3〜+3の間で調整できます。
エフェクトレベルは音質効果のレベルです。エフェクトレベルを調整することにより、音質効果の強弱を調整することができます。

END

音量バランスを調整する

前後左右の音量バランスを調整できます。

ここまでの操作
設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ バランス設定

1 画面左の調整エリア内をタッチしてお好みのバランス/フェダーに調整する



画面をタッチして、ダイレクトにバランス／フェダーを調整できます。

1ステップずつ調整することもできます。

BAL：左右のバランス
FAD：前後のフェダー

END

映像を設定する

映像のモードに関する設定を行ないます。

昼画面と夜画面を切り替える

昼間にヘッドライトを点灯させていて画面が見づらいときなどに、昼画面と夜画面を手動で切り替えることができます。

ここまでの操作　設定/情報

1 昼画面 をタッチする

タッチするたびに昼画面と夜画面が切り替わります。

2 戻る をタッチする

アドバイス

- 各種設定画面で昼画面と夜画面を切り替えることもできます。

END

ディスプレイの明るさを調整する

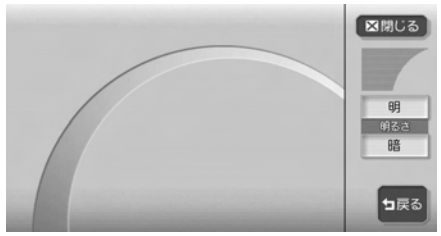
ディスプレイをお好みの明るさに調整できます。

明るさは画面色（昼画面／夜画面）ごとに調整できます。

ここまでの操作　設定/情報 ▶▶▶ 各種設定

1 モニター設定 をタッチする

2 明 または 暗 をタッチして明るさを調整する



END

画質を調整する

テレビやDVD、VTRなどの画質を調整できます。

お知らせ

・この操作は、テレビ／ DVD ／ VTR視聴時、またはiPodビデオ再生時のみ行えます。

ここまでの操作　設定/情報 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ モニター設定

1 調整したい項目の調整キーにタッチし調整する



ブライト：明るさを調整します。＋、－で設定します。
色濃度：色の濃さを調整します。濃、薄で設定します。
色合い：色味を調整します。緑、赤で設定します。
コントラスト：コントラストを調整します。強、弱で設定します。
明るさ：ディスプレイの明るさを調整します。昼画面／夜画面ごとに調整できます。

END

ユーザーを設定する

ユーザーを選択する

この操作を行うには、2人以上のユーザー登録がされていて、「ユーザー選択画面表示」を「する」に設定しておく必要があります。詳しくは**「その他の設定をする」(P.320)**をご覧ください。

1 エンジンをかける

オープニング画面の後に、ユーザー選択画面が表示されます。

2 使用するユーザーを選択する



メッセージが表示され、選択したユーザー設定に切り替わります。

お知らせ

・約5秒間操作をしないとユーザー選択画面は消え、最後に使用したユーザー設定に設定されます。

END

途中でユーザーを切り替える

ドライブの途中で運転を交代したときなど、ユーザーの切り替えができます。

1 設定/情報を押し、ユーザー設定をタッチする

2 使用するユーザーを選択する



メッセージが表示され、選択したユーザー設定に切り替わります。

END

ユーザーを登録する

本機を使用するユーザーを登録します。
ユーザーを登録すると、以下の設定はユーザーごとに設定値が保持されます。

ナビ機能の設定（軌跡設定を除く）／マイリスト／メニュー設定／オープニング画面の設定／地図のスケール／カスタム設定／最近聴いた曲／ iPod画面

1 設定/情報を押し、ユーザー設定をタッチする

ユーザー設定画面が表示されます。

2 未登録のユーザーボタンをタッチする



メッセージが表示されます。

3 はい をタッチする

ユーザー入力画面が表示されます。

4 ユーザー名称を入力し、決定をタッチする



設定値選択画面が表示されます。

5 設定値を選択し、はいをタッチする



ユーザーが設定されます。

END

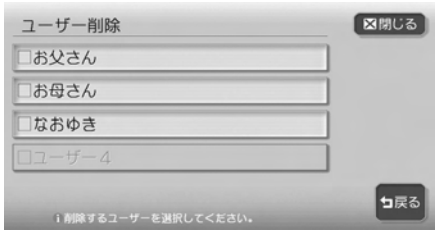
ユーザーを削除する

登録したユーザーを削除できます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ ユーザー設定

1 ユーザー削除をタッチする

2 削除したいユーザーを選択し、決定をタッチする



メッセージが表示されます。

3 はいをタッチする

選択したユーザーが削除されます。

END

ユーザー情報を編集する

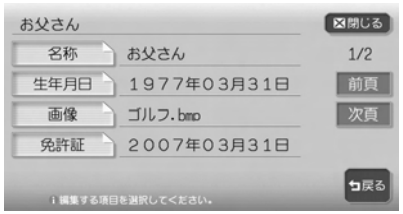
ユーザー名称の変更や生年月日、画像や免許証の更新日などの情報を登録できます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ ユーザー設定

1 ユーザー編集をタッチする

2 編集したいユーザーをタッチする

3 編集したい項目をタッチする





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
名称	ユーザー名称を変更する	P.362
生年月日	生年月日を設定する 設定した月日になると、お祝いのメッセージが表示されます。	P.362
画像	画像を設定する 設定した画像は、ユーザー選択画面やユーザー設定画面に表示されます。	P.362
免許証	免許証の満了日を設定し、さらに設定した満了日をお知らせする日にちを設定する	P.363
保険1 保険2	保険の満了日を設定し、さらに設定した満了日をお知らせする日にちを設定する	P.363
オリジナル	オリジナルの設定をする	P.364

ユーザー名称を変更する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ ユーザー設定 ▶ 名称

1 ユーザー名称を変更し、決定をタッチする



ユーザー名称が変更されます。

▶ END ◀

生年月日を設定する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ ユーザー設定 ▶ 生年月日

1 生年月日を入力し、決定をタッチする



生年月日が設定されます。

▶ END ◀

画像を設定する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ ユーザー設定 ▶ 画像

1 設定したい画像フォルダをタッチする



画像リストが表示されます。

2 画像を選択し、決定をタッチする



画像が設定されます。

▶ END ◀

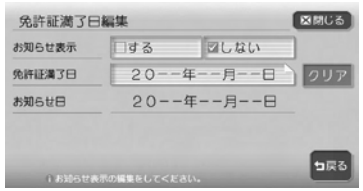
免許証の満了日を設定する

ここまでの操作

設定/情報 ▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

[編集したいユーザー] ▶ 免許証

1 免許証の満了日やお知らせ表示の内容を設定する



お知らせ表示：
　免許証の満了日をお知らせ表示するかしないかを設定します。（初期設定値は「しない」）
免許証満了日：
　免許証の満了日を入力します。
お知らせ日：
　免許証の満了日をお知らせする日にちを入力します。
　免許証の満了日を設定した後に表示される年月日入力画面で、お好みの日にちを設定できます。初期設定は、満了日の2週間前です。満了日より後にお知らせ日を設定することはできません。

▶ END ◀

保険の満了日を設定する

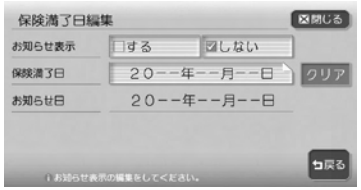
ここまでの操作

設定/情報 ▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集

▶ [編集したいユーザー] ▶ 次頁

▶ 保険1 または 保険2

1 保険の満了日やお知らせ表示の内容を設定する



お知らせ表示：
　保険の満了日をお知らせ表示するかしないかを設定します。（初期設定値は「しない」）
保険満了日：
　保険の満了日を入力します。
お知らせ日：
　保険の満了日をお知らせする日にちを入力します。
　保険の満了日を設定した後に表示される年月日入力画面で、お好みの日にちを設定できます。初期設定は、満了日の2週間前です。満了日より後にお知らせ日を設定することはできません。

▶ END ◀

オリジナルの設定をする

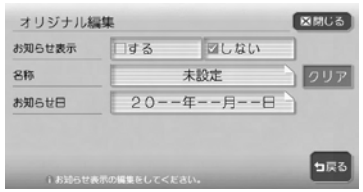
ここまでの操作

設定/情報 ▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集

▶［編集したいユーザー］▶ 次頁

▶ オリジナル

1 お好みの名称、お知らせ日を設定する



お知らせ表示：
　お知らせ表示するかしないかを設定します。（初期設定値は「しない」）
名称：
　タッチして、お好みの名称を入力します。
お知らせ日：
　お知らせする日を入力します。

▶ END ◀

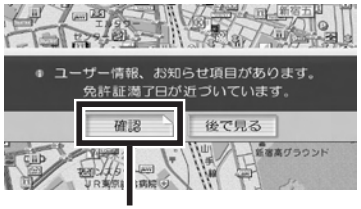
お知らせ表示について

設定したお知らせ日になると、画面にメッセージが表示されます。
以下に、表示例を示します。

■誕生日の場合



■誕生日以外のお知らせ内容がある場合



お知らせ項目が表示されます。



■誕生日とそれ以外のお知らせ内容がある場合



お知らせ項目が表示されます。

お知らせ

・ 後で見る をタッチすると、メッセージ画面は消えます。

画面の表示色を設定する

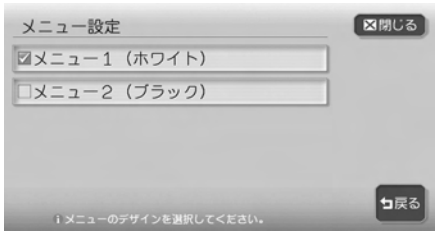
メニュー表示のベース色を設定できます。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定

1 メニュー設定 をタッチする

メニュー設定画面が表示されます。

2 希望の色をタッチする



選択した色のランプが点灯します。
※工場出荷時の初期設定は（ホワイト）です。

●メニュー１（ホワイト）を選択した場合



●メニュー２（ブラック）を選択した場合



▶ END ◀

オープニング画面を設定する

本機の電源を入れた時に表示されるオープニング画面を、お好きな画像に変更できます。

お知らせ

・ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

オープニング画面を設定するには、あらかじめ本機にデータを取り込む必要があります。
オープニング画面の取り込み方法は、**「オープニング画面の取り込み／削除」（P.409）**をご覧ください。

ここまでの操作 設定/情報 ▶▶▶ 各種設定

1 オープニング画面 をタッチする

2 オープニング画面にしたい画像をタッチし、決定 をタッチする



アドバイス

・初期画像に戻す をタッチすると、工場出荷時に設定されていたオープニング画面に戻ります。
“工場出荷時のオープニング画面”に設定されている場合は、初期画像に戻す は表示されません。

3 はい をタッチする

選択した画像がオープニング画面になり、設定メニュー画面に戻ります。
ハードディスクに録音されているアルバムや曲数が多いと、オープニング画面の表示に時間がかかる場合があります。

END

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、
または廃棄するときのご注意について
説明しています。

目次

データを消去（初期化）する …… 368

データを消去（初期化）する

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

●お客様のプライバシー保護のために・・・

ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

●著作権保護のために・・・

ハードディスクに保存された画像データ／音楽データなど（その他録音データ）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償および無償）・転売いたしますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

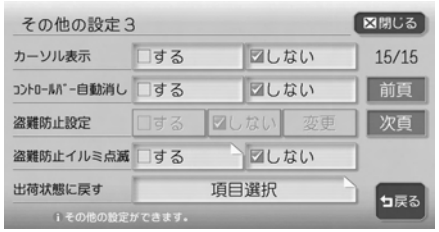
※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去する

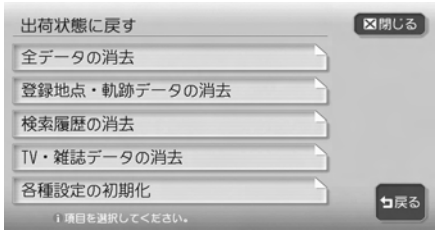
本機に保存されたデータを消去（初期化）します。
ここでは、本機内のすべてのデータを消去する方法を例にあげて説明します。



1 ［出荷状態に戻す］の 項目選択 をタッチする



2 全データの消去 をタッチする



確認画面が表示されます。

アドバイス

- TV・雑誌データは、更新データのみ消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

3 はい をタッチする

再度、確認画面が表示されます。

NEXT

4 はい をタッチする

本機に保存された全データが消去されます。

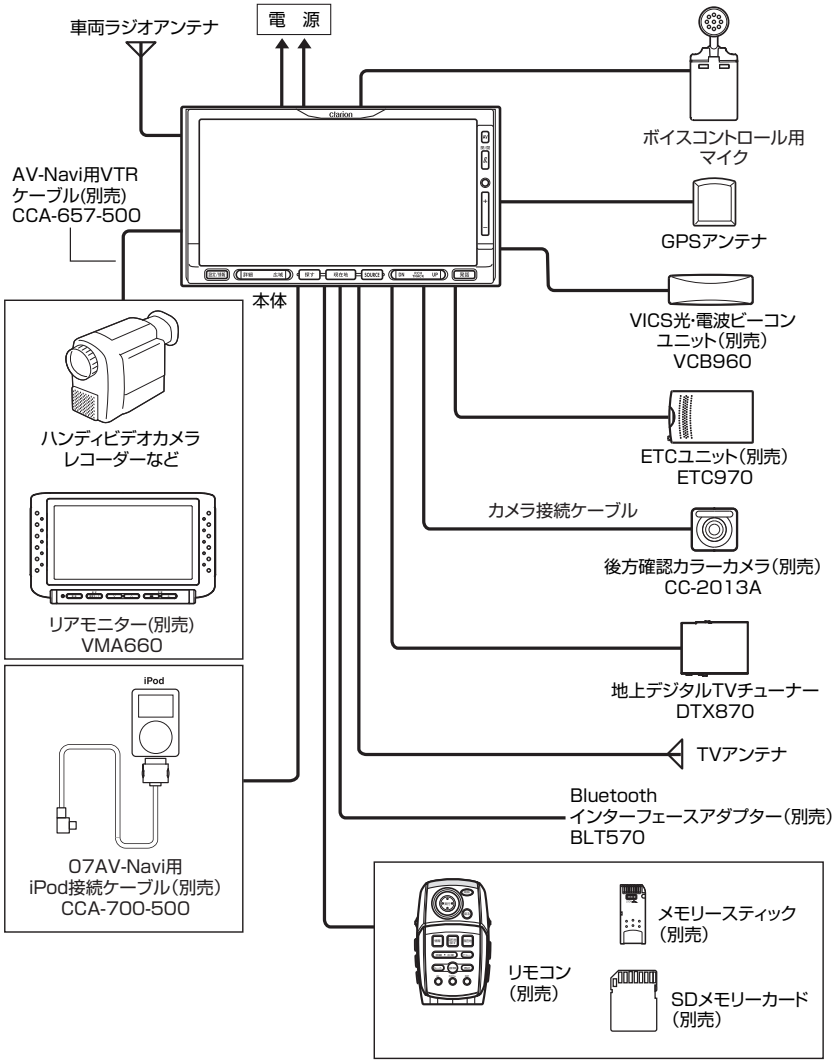
END

便利な機能（アクセサリー）の使いかた

目次

本機に接続できる機器 …… 372
リモコンを使う（別売）…… 373
接続したビデオを観る …… 380
リアモニターを使う（別売）…… 382
リアカメラシステムを使う（別売）…… 388
音声で操作するには（ボイスコントロール）… 392
メモリーカードを使う（別売）…… 398

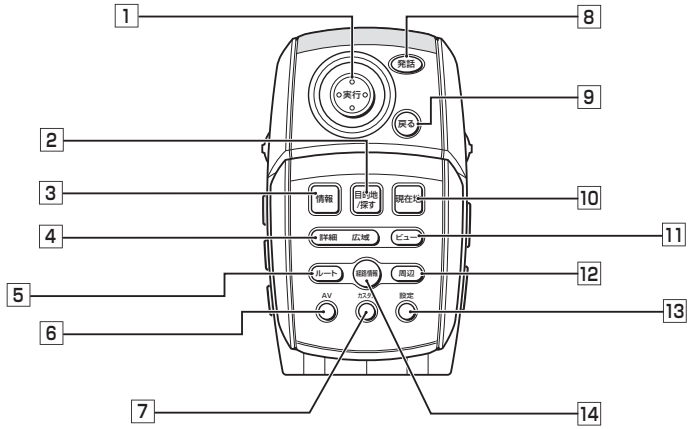
本機に接続できる機器



リモコンを使う（別売）

各部の名称と働き

RCB-165-540（別売）



1 **ジョイスティック[実行]ボタン**
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。

2 **[目的地/探す]ボタン**
行き先を設定するための目的地メニューが表示されます。

3 **[情報]ボタン**
VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

4 **[詳細]ボタン／[広域]ボタン**
地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大／縮小を細かく切り替えることができます。（フリースケール）

5 **[ルート]ボタン**
ルートを編集するためのルートメニューが表示されます。

6 **[AV]ボタン**
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

7 **[カスタム]ボタン**
自由に設定できる10個の機能を簡単に呼び出せます。

8 **[発話]ボタン**
対話形式による音声操作ができます。

9 **[戻る]ボタン**
前の画面に戻ります。

10 **[現在地]ボタン**
現在地の地図画面を表示します。

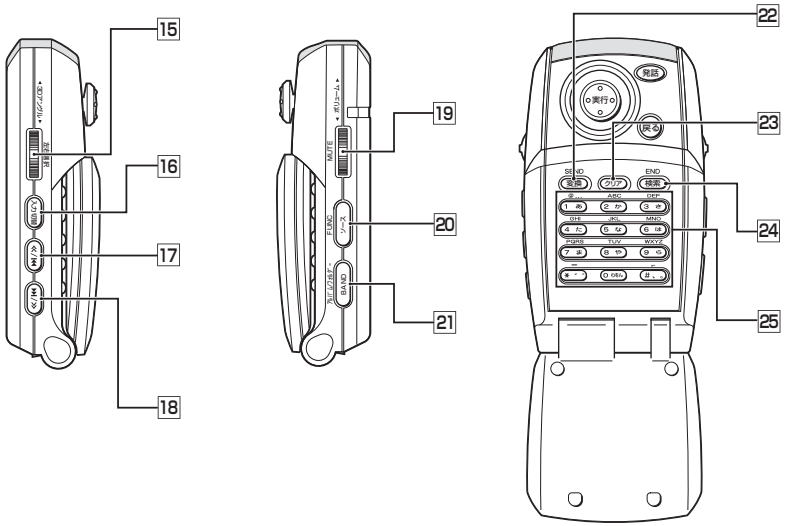
11 **[ビュー]ボタン**
地図の表示方法を変えます。

12 **[周辺]ボタン**
現在地周辺の施設を検索します。

13 **[設定]ボタン**
各種設定を行うための設定メニューを表示します。

14 **[経路情報]ボタン**
ルート上の各種情報を表示します。

NEXT



15 **3Dアングルダイヤル**
3D地図のアングルを変えます。押すと、2画面表示時の左右画面選択を行います。

16 **入力切替ボタン**
入力文字種を切り替えます。

17 **<<ボタン**
テレビ／ラジオ時：
プリセットチャンネルアップ
CD/DVD※／MD／メモリーカード／ミュージックキャッチャー／アナログ／iPod時：
トラックアップ、トラックのサーチアップ

18 **>>ボタン**
テレビ／ラジオ時：
プリセットチャンネルダウン
CD/DVD※／MD／メモリーカード／ミュージックキャッチャー／アナログ／iPod時：
トラックダウン、トラックのサーチダウン

19 **ボリュームダイヤル**
回転すると、音量を調節します。押すと、消音（MUTE）します。消音を解除する場合は、再度押します。

20 **ソースボタン**
オーディオモードのソースを切り替えます。

21 **BANDボタン**
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。

22 **変換ボタン**
入力されたかなを漢字に変換します。

23 **クリアボタン**
入力された文字を削除します。

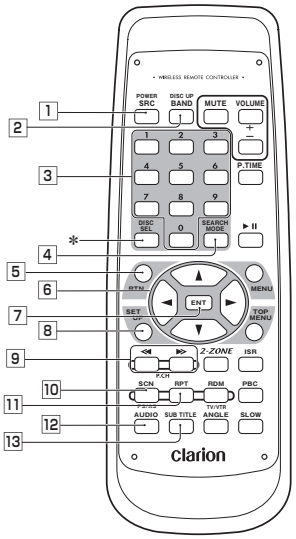
24 **検索ボタン**
文字入力検索時は検索を開始します。
編集時は入力された文字を決定します。

25 **10キー**
文字や数字を入力します。

※DVDの操作では、リモコンで操作できないメニューがあります。本機のタッチパネルで操作してください。

RCB-177-500（別売）

2ZONE ON時は後席リモコンとして動作しますが、2ZONE OFF時は前席用AVリモコンとして使用できます。また、2ZONE ON中は一部のキーが無効となります。



1 **SRCボタン**
オーディオモードのソース選択画面を表示します。

2 **BANDボタン／DISC UPボタン**
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。テレビ／ラジオ／iPod以外では、フォルダ／グループなどのUPボタンとして機能します。

3 **10キー※1**
文字や数字を入力します。

4 **SEARCH MODEボタン※1**
タイトル番号やチャプター番号をダイレクトに選択できます。

5 **RTNボタン※1**
前の画面に戻ります。

6 **JOG（▲▼◄►）ボタン※1**
カーソルを移動します。

7 **ENTボタン※1**
設定内容を決定するときに押します。

8 **SET UPボタン※1**
初期設定画面を表示します。初期設定画面表示中に押すとオーディオ画面に戻ります。

9 **<<ボタン、>>ボタン**
トラックのアップ／ダウンや早送り／巻戻しを行います。

10 **SCNボタン**
スキャン再生のON/OFFを切り替えます。

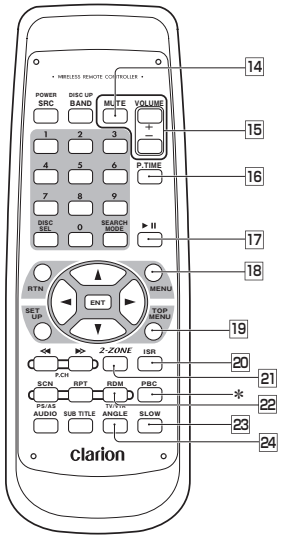
11 **RPTボタン**
リピート再生のON/OFFを切り替えます。

12 **AUDIOボタン※1**
再生中に押すと、音声言語が切り替わります。

13 **SUB TITLEボタン※1**
再生中に押すと、字幕言語が切り替わります。

※1 DVDビデオ／オーディオ時のみ
DVDの操作では、リモコンで操作できないメニューがあります。
本機のタッチパネルで操作してください。

NEXT



14 **MUTE ボタン**
消音（MUTE）します。押すたびにMUTEのON/OFFが切り替わります。

15 **VOLUME ボタン**
音量を調整します。また、MUTE中に押すとMUTEをOFFします。

16 **P.TIME ボタン**※1
タイトル番号、チャプター番号、再生時間などの表示／非表示を切り替えます。

17 **►II ボタン**※1
再生／一時停止を行います。約2秒以上押すと再生を停止します。

18 **MENU ボタン**※1
再生中／一時停止中に押すと、DVDのメニューを表示します。

19 **TOP MENU ボタン**※1
再生中／一時停止中に押すと、DVDのトップメニューを表示します。

20 **ISR ボタン**
交通情報画面の表示／非表示を切り替えます。

21 **2-ZONE ボタン**
2ZONE設定のON/OFFを切り替えます。2ZONE ON中はサブゾーンのソースを切り替えます。

22 **RDM ボタン**
ランダム再生のON/OFFを切り替えます。

23 **SLOW ボタン（DVDビデオ時のみ）**
再生中に押すと、スロー再生されます。

24 **ANGLE ボタン（DVDビデオ時のみ）**
再生中に押すと、アングルが切り替わります。

＊ **DISC SEL ボタン、PBC ボタン**
本機では使用しません。

※1 DVDビデオ／オーディオ時のみ
DVDの操作では、リモコンで操作できないメニューがあります。
本機のタッチパネルで操作してください。

リモコンの操作

文字を入力する（RCB-165-540のみ）

リモコンの10キーを使用して文字を入力することができます。

■基本的な操作

操作内容	リモコンの操作
カーソルを右に移動	3Dアングルダイヤルを上方向に動かす
カーソルを左に移動	3Dアングルダイヤルを下方向に動かす
文字の削除	クリアボタンを押す
入力文字の切替	入力切替ボタンを押す
文字を変換する	変換ボタンを押す

※画面上のタッチキーをジョイスティックで選択し、実行ボタンを押しても同じ操作ができます。
※目的地検索では、文字入力後に検索ボタンを押して検索することもできます。

■入力文字と10キーの対応

ボタン＼モード	かな漢字入力	カタカナ入力	英字入力	数字入力
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@ : ; / . ～ー＿	1@:;/.～ー＿
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ	9
0	わをんゎ	ワヲンヮ		0
*	゛゜	゛゜	－＋×＝	－＋×＝
#	ー	、。ー～・！？（）「」	,.～·!?()「」	,.～·!?()「」

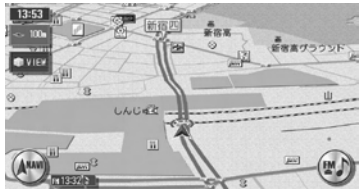
※地図画面で0ボタンを押すと、電話番号検索画面が表示されます。

3D地図のアングルを変える

1 3D地図表示中に3Dアングルダイヤルを動かす



下方向に動かすと、低いアングルになります。



上方向に動かすと、高いアングルになります。

END

電池を交換する

■電池に関するご注意

●指定された電池以外は使用しない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。

●リモコン内に電池を挿入するときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる

指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

●加熱・分解したり、火・水の中に入れない

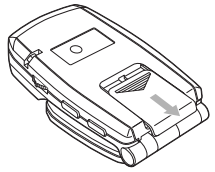
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

●金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない

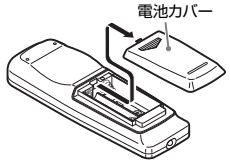
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

●使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する

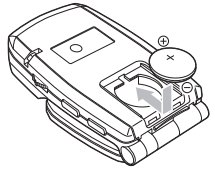
1 電池カバーを開ける



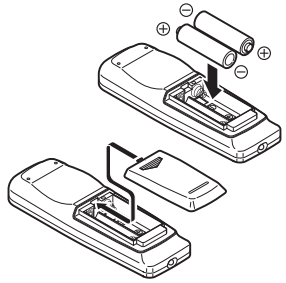
（後席リモコン）



2 リチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



（後席リモコン）付属の単3形電池2本を、内部の⊕⊖表示に合わせて入れ、電池カバーを閉める



END

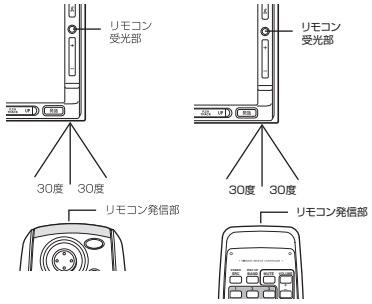
リモコン操作時の注意

●本機のリモコン受信部に直射日光があたっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。

●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。

●リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。

●リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。



●リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

接続したビデオを観る

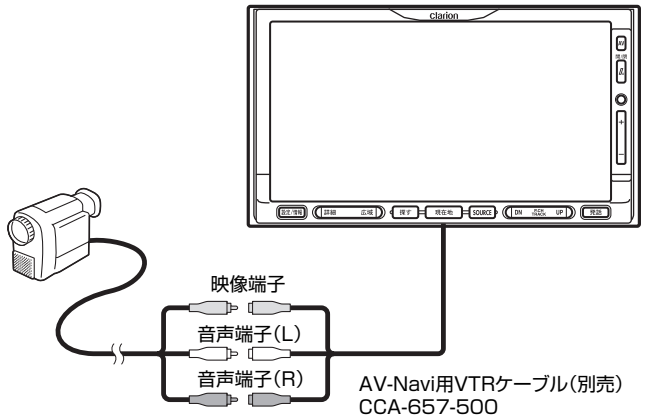
VTR機器接続時は、お手持ちのVTR機器などを接続して映像、音声が楽しめます。
接続には、別売のAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）をお買い求めください。

⚠警告

- **運転者がテレビやビデオを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、車が停車しているときのみビデオ映像を観ることができます。**
  走行中は、音声だけを聴くことができます。

1 別売のAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）にお手持ちのVTR機器を接続する

接続した機器付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。



オーディオ・テレビ映像入力端子と音声入力端子は正しく確実に接続してください。

2 SOURCEを押し、☑ VTRをタッチする

3 VTR機器を操作する

VTR映像が表示されます。

END

画面サイズを切り替える

VTR画面の表示サイズを、ノーマル、フルワイド、シネマに切り替えます。

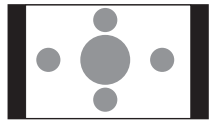
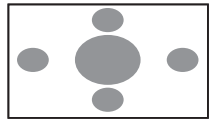
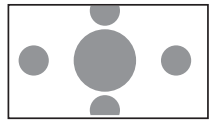
お知らせ

- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ることがあります。

ここまでの操作 SOURCE ▶▶▶ ☑ VTR ▶▶▶ 画面切替

1 希望の画面サイズを選択してタッチする



ノーマル		画面の左右が黒画面となります。
フルワイド		画面全体が横方向に広がります。
シネマ		画面上下の映像が見えなくなります。

通常のVTR画面に戻ります。
オーディオコントロールバーが消えると同時に、選択した画面のサイズが反映されます。

END

リアモニターを使う（別売）

本機はビデオ出力端子を装備しているので、後席に別売のリアモニター（VMA660）を増設することで、リアエンターテイメントを楽しむことができます。

お願い

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

お知らせ

- リアモニターを本機に接続するには、別売のAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）と、市販のRCAピンコードが必要です。
- **「再生状態表示を設定する」（P.217）**で状態表示を設定するとリアモニターにも再生情報が表示されます。なお、映像を本機の画面からリアモニターに切り替えたときに、本機の画面の再生情報の一部がリアモニターに残る場合があります。

リアモニターに表示できる映像

リアモニターに表示できる映像は、DVDビデオ／オーディオ、テレビ、VTRの映像です。オーディオコントロールバーなどは表示されません。走行中/停止中に関係なく映像が表示されます。
DVDビデオ／オーディオ、テレビ、VTR以外のソースを選択しても、リアモニターには何も表示されません。
本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、選択したオーディオソースの映像のみが表示されます。

前席とリアモニターで別々のソースを選択する（2ZONE）

リアモニターでDVDやTVの映像と音を楽しみながら、前席では別のソースを楽しむことができます。

1 SOURCEを押し、前席のソースを選択する

2 2ZONEをタッチする



後席ソース画面が表示されます。

3 ONをタッチし、ソース（TV/VTR/DVD）をタッチする



ONのランプが点灯し、チェックボックスにチェックマークが表示されます。
タッチするごとに、チェックマークの表示／非表示が切り替わります。

タッチして後席ソースを選択します。チェックマークの表示された項目が選択中のソースです。

▼

リアモニターに映像と音声が流れます。
DVDが挿入されている場合は、DVDの再生が始まります。

お知らせ

- リアモニターが接続されていない場合は、必ずチェックマークを外しておいてください。チェックマークがついたままだと、前席のソース選択が制限されることがあります。
- 2ZONE「ON」時は、常にDVDモードが選択されています。
- DVD VIDEO再生時の「初期設定」の「2ch再生設定」で「2ch再生する」をOFFにすると、リアモニターではDVDビデオに記録されているL/Rの音声のみ再生されます。設定がONのときは、DVDビデオに記録されている5.1ch音声がL/Rにミックスされて再生されます。詳しくは、**「5.1chの音声を2chに切り替えて再生する」（P.221）**をご覧ください。
- 別売のBluetoothインターフェースアダプター（BLT570）を接続したBluetooth対応携帯電話で通話中に、後席リモコンを使用して2ZONEのON/OFFを切り替えることができます。ただし、後席リモコンでリアモニターのソースは変更できません。したがって、通話中に後席リモコン操作で2ZONEを「ON」にすると、DVDモードのみ選択されます。

END

DVD

DVDビデオ画面



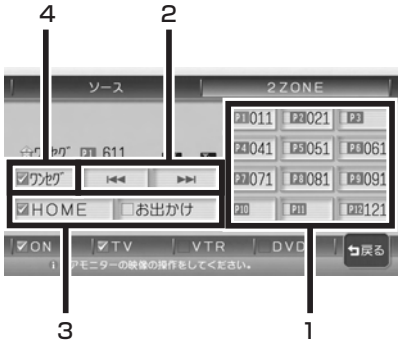
DVDオーディオ画面



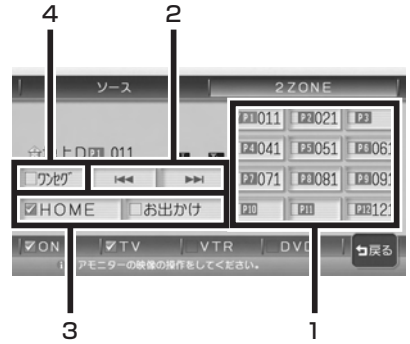
1	▶/II	タッチするごとに一時停止と再生を切り替える タッチし続けると再生を中止します。
2	⏮、⏭	チャプター／トラックを切り替える ⏭をタッチした回数だけ先のチャプター／トラックが再生されます。 ⏮を1回タッチすると再生中のチャプター／トラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に⏮をタッチすると、タッチした回数だけ前のチャプター／トラックが再生されます。タッチし続けると早送り、早戻しを行います。

テレビ

ワンセグ画面



12セグ画面



1	プリセットチャンネルキー	現在登録されているプリセットチャンネルのキー ご希望のチャンネルのキーにタッチすると、選択したチャンネルを選局します。
2	⏮、⏮	受信するチャンネル番号を切り替える
3	HOME お出かけ	プリセットモードを切り替える
4	ワンセグ	ワンセグ／ 12セグ放送を切り替える タッチするたびに、ワンセグ→12セグ→ワンセグの順に切り替わります。

前席・リアモニターの選択可能ソース一覧

前席ソース	後席ソース（2ゾーン選択）		
	DVD	TV	VTR
DVD	○	○	○
TV	○	○	×
VTR	○	×	○
DVD・CD（MP3／WMA）	×	○	○
メモリーカード（MP3／WMA）	○	○	○
ミュージックキャッチャー	○	○	○
マイアルバム	○	○	○
FM/AM、交通情報	○	×	×
MD	○	○	○
iPod	○	○	○
アナログ録音	○	○	○

お知らせ

- 後席ソースでTVを選択しているときは、前席でラジオ／交通情報は選択できません。
- 後席ソースでTVを選択しているときは、ボイスコントロールでラジオ／交通情報に切り替えることはできません。
- 前席ソースの音声は、車のスピーカーから出力されます。リアモニターには音声入力を装備したモニターをご使用ください。後席ソース音声は、本機から出力される音声出力信号をリアモニターに入力してご使用ください。
- リアモニターの音声は、リアモニター背面のスピーカーもしくは市販ヘッドフォンで聴いてください。
- iPodビデオの映像は、リアモニターで観ることはできません。
- 2ZONEがONのときにセンタースピーカー接続**（P.339）**が「あり」に設定されていると、リアモニターからはサラウンド音声しか出力されません。
- 地上デジタルTVチューナー（DTX870）、およびBluetoothインターフェースアダプター（BLT570）を同時に接続した場合、リアモニターでTVを選択時に電話の発着信があると2ZONEが「ON」から「OFF」に切り替わります。

リアモニターの映像（後席ソース）を操作する

リアモニターの映像（後席ソース）を前席で操作できます。

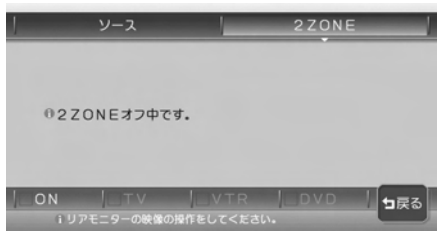
アドバイス

- 後席ソースの詳細な操作をしたい場合は、前席も後席と同じソースにして前席側より操作してください。
- リアモニター側から後席ソースの操作はできません。

1 SOURCEを押し、2ZONEをタッチする

DVDソース画面が表示されます。

2 ONをタッチする



後席ソースの操作キーが表示されます。

3 操作キーを選んでタッチする



後席ソースの映像が操作できます。
DVDの操作については**「DVDを観る／聴く」（P.197）**をご覧ください。
テレビの操作については**「地上デジタル放送のテレビを観る」（P.165）**をご覧ください。
VTRの操作については**「接続したビデオを観る」（P.380）**をご覧ください。

END

リアカメラシステムを使う（別売）

リアカメラシステム接続時は、車の後方をモニターで確認できます。
リアカメラシステムを本機に接続するには、別売の後方確認カラーカメラ（CC-2013A）が必要です。

⚠警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

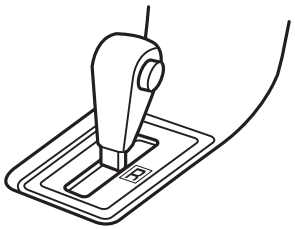
⚠注意

- **リアカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

リアカメラシステムの操作

1 エンジンをかける

2 シフトレバーを[R]（リバース）にする





リアカメラの映像に切り替わります。
リアカメラの映像は、オーディオ画面やDVDビデオ／テレビ／ナビゲーション画面よりも優先して映し出されます。

お知らせ

- カメラ表示中に操作できるのは、本体の[∧]、[設定/情報]、[AV]、[UP]、[DN]、別売のリモコンです。音声情報のない箇所は飛ばして切り替わるので、必ずしも上記の動作にはなりません。

END

画質を調整する

1 リアカメラ映像表示中に[設定/情報]を押す

画質調整画面が表示されます。



●明るさを調節する
[暗]、[明]をタッチして調整します。
●ブライトを調節する
[＋]、[－]をタッチして調整します。

■カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこすると レンズカバーにキズが付くことがあります。

END

ガイドを表示する

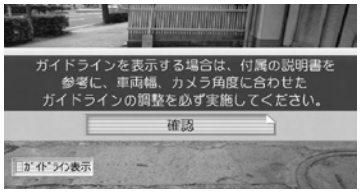
1 リアカメラ映像が表示されている状態で、画面内をタッチする

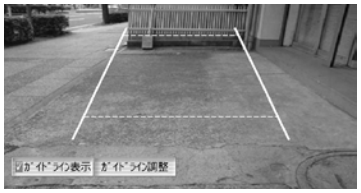
[ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ表示]が表示されます。
3秒間操作をしないと、[ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ表示]は画面から消えます。再表示させるには、画面内をタッチします。

2 [ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ表示]をタッチする



3 [確認]をタッチする





ガイドラインが表示されます。

END

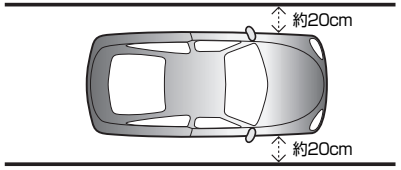
ガイドを調整する

ガイド線を表示する場合は、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。

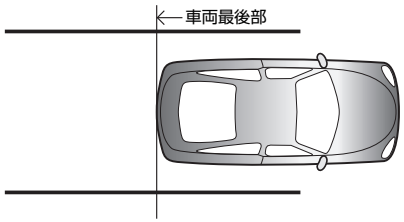
⚠警告

- 車を降りて目印をつける際には、必ずエンジンをお切りください。
- ガイド線を調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。
- ガイド線はあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。

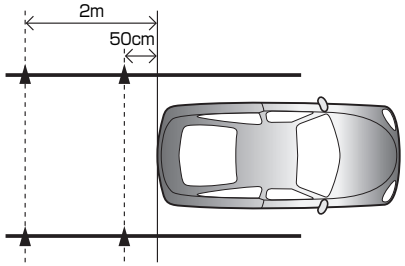
1 車両の幅+両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつける



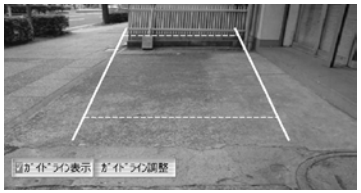
2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に直線の目印をつける



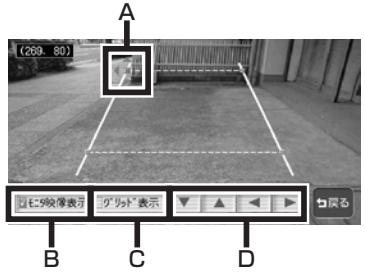
3 車両最後部から50cmおよび2m離れた左右4箇所をマーキングする



4 ガイドラインを表示させ、ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ調整 をタッチする

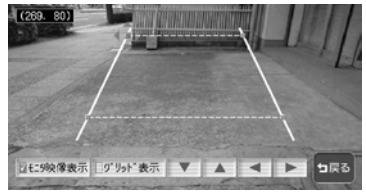


5 画面に表示されているガイドポイント（4箇所）を ▼ ▲ ◀ ▶ をタッチして調整し、マーキングした4点と合わせる

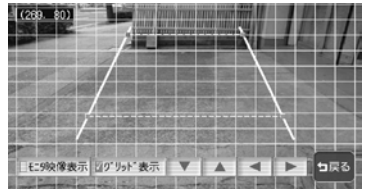


A：選択状態になっているガイドポイントです。別のガイドポイントを選択するときは、そのガイドポイントをタッチします。

B：映像の表示/非表示を切り替えます。

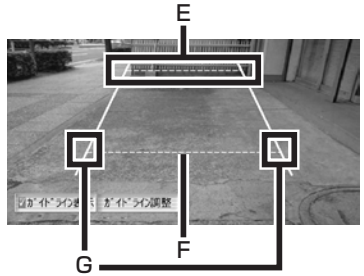


C：グリッド線の表示/非表示を切り替えます。



D：選択中のガイドポイントを上下左右に移動します。タッチし続けると、5倍の速さで連続して移動させることができます。

6 すべてのガイドポイントの調整が終了したら、戻る をタッチする



E：車両後端より約2mの位置を示します。

F：車両後端より約50cmの位置を示します。

G：車幅+約20cmの目安を示します。

設定が保存され、通常のリアカメラの映像に戻ります。

END

音声で操作するには（ボイスコントロール）

さまざまな操作を、マイクに話しかけてボイスコントロール（音声操作）で操作できます。

お願い

- 走行中も一部を除いて操作できますが、運転の妨げにならないように十分注意してください。
- 操作に慣れるまで、停車状態で発話のタイミングや発音を練習してください。

音声操作について

音声で操作するボイスコントロールでは、発話した言葉に対し、音声による回答が返ってきます。（アンサーバック機能）
操作によってはアンサーバックしないこともあります。
アンサーバックは設定によりOFFにすることもできます。詳しくは**「音声案内の設定をする」（P.313）**をご覧ください。

■操作の種類

ボイスコントロールの操作方法は、次の2種類があります。状況に応じて使い分けてください。

●単独で操作する

地図画面上などで[発話]を押し、認識できる言葉を発話することで音声だけで操作を完結できます。

●目的地を探す

住所、電話番号、施設名称から目的地を音声だけで探すことができます。

ボイスコントロールに入る

ボイスコントロールモードに入るには、以下の操作を行います。

1 [発話]を押す

2  が赤く点灯したら、マイクに向かって発話する



言葉を認識すると、操作を実行します。
「ピッ」という音が鳴る前など、発話するタイミングが早すぎる場合は、発話しても認識されません。再度発話してください。

マイクアイコン消灯時は、アンサーバック中などで発話を受け付けていない状態です。

END

知っておきたい言葉

スムーズな操作のために、知っておくと便利な言葉です。
ナビゲーションとオーディオで共通です。

動作	発話内容
直前の画面に戻る	もどる →前の画面に戻ります。
ボイスコントロールを中止する（※1）	ちゅうし →ボイスコントロールが終わり、音声操作を始める前の画面に戻ります。
数字を認識させる（※2）	いち、に、さん、よん、ご、ろく、なな、はち、きゅう、ぜろ
何と発話していいのかわからなくなった（※3）	へるぷ →ヘルプ画面が表示され、ボイスコントロールは終了します。

※1 発話 を押すか、中止 をタッチしても中止できます。
※2「13」など2桁の数字は、1つずつではなく「じゅうさん」と発話してください。
※3 ヘルプの内容は、ナビゲーションとオーディオで異なります。

正しく認識させるために

ボイスコントロールをスムーズに行うために、以下のことに注意してください。

●車の窓を閉める
周囲の雑音により、言葉が正しく認識されないことがあります。

●マイクに向かってはっきり正しく発話する
早口や、こもった話し方では正しく認識されないことがあります。

●ボイスコントロール使用中は他の話をしない
話し声により正しく認識されないことがあります。

●発話できる言葉を使う
操作により発話できる言葉が決まっていますので、本書をよくお読みください。

お知らせ

- 上記を正しくお守りいただいても、走行ノイズなどの音により、発話内容を認識できない場合や、間違った結果を出す場合があります。

音声操作例

ボイスコントロールの操作例です。
発話できる言葉については、**「ボイスコントロールで操作できる言葉」（P.452）**をご覧ください。

目的地を住所から探す

1 「じゅうしょ」と発話する

「住所名称をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音が鳴ります。

2 都道府県名から丁目までを発話する



「○○（認識された住所）の次をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音が鳴ります。

アドバイス

- 丁目を発話をする時は、「いち」「いっちょうめ」が認識可能です。番地、号を発話するときは「いち」は認識可能ですが「いちばんち」「いちごう」などは認識されません。

3 番地などの番号を発話する

「○○（認識された住所）を表示します」とアンサーバックされ、地図が表示されます。「ピッ」と音が鳴ります。



希望するメニューを発話してください。
発話できるメニューについては、**「目的地検索後の操作に関する言葉」（P.456）**をご覧ください。

アドバイス

- 番地、号を続けて発話する時は、「いちのに」の様に「の」を入れて発話してください。
- 都道府県名と市町村名、地名、丁目、番地、号を分けて発話することもできますが、できるだけ都道府県～丁目を発話した後、番地～号を発話してください。
- 都道府県名～号までを一度に発話することもできますが、丁目までしか認識できませんので、その後再度、号までの発話をしてください。
- 途中で「地図表示」と発話すると、認識した住所までの代表地点を地図表示します。

END

近くのコンビニを探す

■走行中の場合

1 「ちかくのこんびに」と発話する

最短の施設周辺の地図を表示します。複数該当するときは、「つぎ」または「まえ」と発話すると次の施設、前の施設に切り替わります。



希望するメニューを発話してください。

END

■停車中の場合

1 「ちかくのこんびに」と発話する

施設リストが表示されます。



施設リストが表示されると、ボイスコントロールモードは解除されます。リストから施設を選択、選択後の計算などは、タッチパネル操作を行なってください。

END

ソースを選択する

1 目的のソースを発話する

「○○（認識されたソース名）にします」とアンサーバックされ、ソースが切り替わります。



END

曲名を検索する

1 「きょくめい」と発話する

「曲名をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音がなります。

2 曲名を発話する



「○○（認識された曲名）を再生します」とアンサーバックされ、アルバムの再生をはじめます。

END

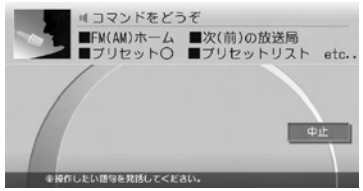
FMのプリセットチャンネルを選択する

この操作は、オーディオモードでのみ行えます。

1 「えふえむ」と発話する

ソースがFMに切り替わります。

2 発話 を押し、聴きたいプリセットチャンネルを発話する



例：プリセットチャンネル1→「ぷりせっといち」発話した放送局が映ります。

END

メモリーカードを使う（別売）

お知らせ

- 本機はSDメモリーカードおよびメモリースティックを付属していません。ご利用の際はそれぞれの規格に準拠した市販品をお買い求めください。

使用可能なメモリーカード

本機で使用可能なメモリーカードは、下表のようになっております。
本機では、SDメモリーカード／メモリースティックと互換のない記録メディアには対応していません。

メモリーカードの種類	対応	備考
HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
PRO HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
SUPER HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
miniSDカード、microSDカード	○	専用のアダプターが必要
メモリースティック	○	
メモリースティック（セレクト機能）	○	
メモリースティックDuo	○	専用のメモリースティックDuoアダプターが必要
マジックゲートメモリースティック	○	マジックゲート機能が必要なデータの再生は不可
マジックゲートメモリースティックDuo	○	専用のメモリースティックDuoアダプターが必要 マジックゲート機能が必要なデータの再生は不可
メモリースティックPRO	○	マジックゲート機能が必要なデータの再生は不可
メモリースティックPRO Duo	○	専用のメモリースティックDuoアダプターが必要 マジックゲート機能が必要なデータの再生は不可
メモリースティックPRO（High Speed）	×	
メモリースティックPRO Duo（High Speed）	×	

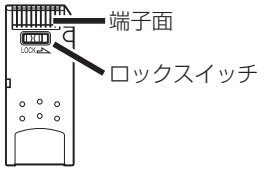
お知らせ

- miniSDアダプター、microSDアダプター、メモリースティックDuoアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータおよびマジックゲート機能が必要なデータの再生はできません。
- 本機で使用可能なメモリーカードの最大容量は2GBです。2GBを超えるメモリーカードには対応していません。

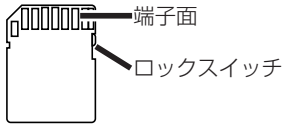
SDメモリーカード／メモリースティックに関するご注意

メモリーカードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

●メモリーカードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●メモリーカードの端子部に、手や金属で触れないでください。
●メモリーカードの最適化は行わないでください。
●書き込み中や読み込み中にメモリーカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
●メモリーカード内のデータは圧縮しないでください。
●操作パネルの開閉動作中およびチルト状態では、メモリーカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●メモリーカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
●メモリーカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
●メモリーカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



メモリースティック



SDメモリーカード

メモリーカードのデータを編集する

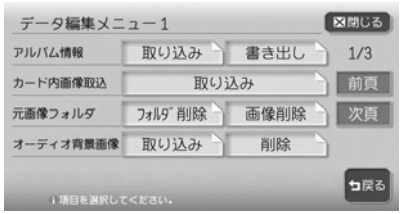
メモリーカードのデータは、データ編集メニューから編集できます。
操作は、メモリーカードを本機に挿入した状態で行います。メモリーカードの出し入れについては、**「メディアの出し入れ」（基-P.70）**をご覧ください。

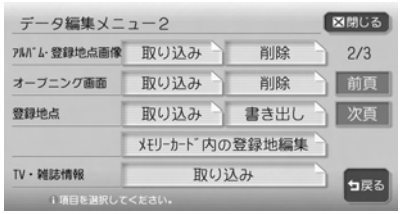
1 設定/情報を押し、各種設定をタッチする

各種設定画面が表示されます。

2 データ編集をタッチする

データ編集メニューが表示されます。







以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

お願い

- 操作中は電源を切らないでください。
- メモリーカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

設定項目	設定の内容	参照ページ
アルバム情報の取り込み／書き出し	ミュージックキャッチャーのアルバム情報をメモリーカードに書き出す また、メモリーカードから本機にアルバムを取り込むこともできます。	P.402
カード内画像の取り込み	メモリーカード内の画像データを、本機に取り込む	P.403
元画像フォルダのフォルダ削除／画像削除	本機内の画像フォルダや画像を削除する	P.404
オーディオ背景画像の取り込み／削除	メモリーカード内の画像データを、オーディオの背景用の画像として本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.405
アルバム・登録地点画像の取り込み／削除	メモリーカード内の画像データを、アルバム・登録地点用の画像として本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.407
オープニング画面の取り込み／削除	メモリーカード内のオープニング画面用画像データを、本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.409
登録地点の取り込み／書き出し	本機からメモリーカードに登録地点を書き出したり、メモリーカードから本機に登録地点を取り込む また、メモリーカード内の登録地点を編集することもできます。	P.411
TV・雑誌情報の取り込み	メモリーカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込む	P.413
iPod画面の取り込み／削除	メモリーカード内のiPod画面用画像データを、本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.414

■パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、弊社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要です。
「HDDナビマスター」は、下記の弊社ホームページからダウンロードできます。

http://www.clarion.com

※［サポート］メニューの［ダウンロード（HDDナビ）］を選択すると、ダウンロードページが表示されます。

「HDDナビマスター」の操作方法は、アプリケーションの提供と併せてご案内します。

アルバム情報の更新について

メモリーカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。
録音の際に、本機に内蔵のGracenote® Music Recognition Service℠から取得したアルバム情報をメモリーカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenote®のデータベースから最新の情報に更新できます。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要になります。
「HDDナビマスター」については、P.401をご覧ください。

アルバム情報の取り込み／書き出し

■アルバム情報を書き出す

ミュージックキャッチャーのアルバム情報をメモリーカードに書き出すことができます。アルバム情報の書き出しは、ミュージックキャッチャーモード時のみ有効になります。

お知らせ

- オートプレイ（P.256）、類似曲（P.261）再生中は、アルバム情報の書き出しはできません。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［アルバム情報］から、書き出し をタッチする

2 書き出すアルバム情報を選択して 決定 をタッチする



アルバム情報は、複数選択できます。選択した情報のランプが点灯します。

3 はい をタッチする

情報転送中画面が表示されたあと、転送完了メッセージが表示され、アルバム情報画面に戻ります。
ハードディスクに録音されているアルバムや曲数が多いと、書き出しに時間がかかる場合があります。

END

■アルバムの情報を取り込む

メモリーカードから本機にアルバム情報を取り込むことができます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［アルバム情報］から、取り込み をタッチする

2 はい をタッチする

更新メッセージが表示されアルバム情報が更新されます。
アルバムや曲数が多いと、取り込みに時間がかかる場合があります。

END

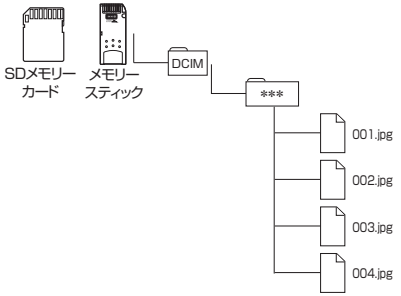
カード内画像の取り込み

■カード内画像ファイルについて

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、SDメモリーカード／メモリースティックを使って本機に取り込むことができます。

■カード内画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、次のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



- メモリーカード内には、必ず「DCIM」フォルダを作成し、「DCIM」フォルダ内には、必ず任意の名称のフォルダを作成してください。
- カード内の全ファイル・フォルダ名称の合計文字数が半角254文字以下になるようにしてください。
- 取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。プログレッシブJPEG 形式は使用できません。
- ファイル名は半角8文字（全角4文字）以内（「xxxxxxxx.jpg」、「xxxxxxxx.bmp」）としてください。

■画像ファイルのサイズについて

取り込み可能な画像サイズは、最大5356×4056 ドットです。

■画像を取り込む

本機に画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［カード内画像取込］から、取り込み をタッチする

画像リスト画面またはフォルダリスト画面が表示されます。

2 画像を取り込むフォルダをタッチする



画像リスト画面が表示されます。
※フォルダリスト画面は表示されない場合もあります。

3 取り込む画像をタッチする



NEXT

4 決定 をタッチする

選択した画像が本機に取り込まれます。

取り込まれた画像データは、探す →画像を探す→HDD内画像 の操作で表示される日付のフォルダから見ることができます。

アドバイス

- 取り込まれた画像データは、別のフォルダに移動することはできません。
- フォルダのアイコン画像は、そのフォルダを開いたときに最初に表示される画像のプレビューです。任意のアイコンに変更できません。

END

元画像フォルダの削除／画像削除

■フォルダを削除する

本機内の画像フォルダを削除できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［元画像フォルダ］から、フォルダ削除 をタッチする

2 削除するフォルダをタッチする



3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択したフォルダが削除されます。

END

■画像を削除する

本機内の画像フォルダの画像を削除できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［元画像フォルダ］から、画像削除 をタッチする

2 削除する画像のあるフォルダを選択してタッチする



3 削除する画像をタッチし、決定 をタッチする



4 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択したフォルダ内の画像が削除されます。

END

オーディオ背景画像の取り込み／削除

■オーディオ背景画像ファイルについて

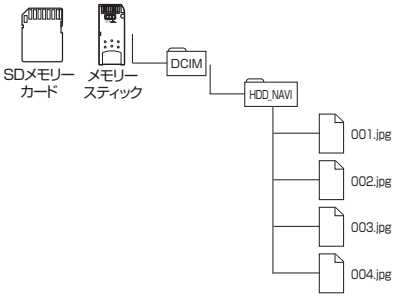
デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、メモリーカードを使ってオーディオ背景画像として本機に取り込むことができます。

取り込んだ画像は、以下で表示させることができます。

- **オーディオの壁紙（P.164）**

■オーディオ背景画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、次のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



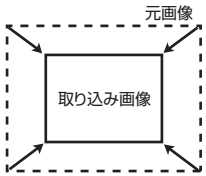
- メモリーカード内には、必ず「DCIM」フォルダを作成し、「DCIM」フォルダ内には、必ず「HDD_NAVI」フォルダを作成してください。
- 取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。プログレッシブJPEG 形式は使用できません。
- ファイル名は半角8文字（全角4文字）以内（「xxxxxxxx.jpg」、「xxxxxxxx.bmp」）としてください。

■画像ファイルのサイズについて

画像サイズの調整は、専用アプリケーション「HDDナビマスター」でも行うことができます。「HDDナビマスター」については、**P.401**をご覧ください。

取り込み可能な画像サイズは、最大816×492ドットです。

- オーディオユーザー壁紙に貼り込む画像サイズは、816×492ドットです。
- 取り込んだ画像が貼り込む画像より縦横ともに大きい場合は、自動的に貼り込む画像サイズに縮小して表示します。



- 取り込んだ画像が貼り込む画像サイズより小さい場合は、画像は中央に配置され、余白部分は黒く表示されます。



■画像を取り込む

本機にオーディオ背景画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［オーディオ背景画像］から、取り込み をタッチする

画像リスト画面が表示されます。

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



3 決定 をタッチする

選択した画像がフォルダに取り込まれます。

▶ END ◀

■画像を削除する

本機に取り込んだオーディオ背景画像を削除できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［オーディオ背景画像］から、削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して 決定 をタッチする

確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

▶ END ◀

アルバム・登録地点画像の取り込み／削除

■アルバム・登録地点画像ファイルについて

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、メモリーカードを使ってアルバム登録地点用の画像として本機に取り込むことができます。

取り込んだ画像は、以下で表示させることができます。

- **ナビゲーションの登録リスト（基-P.113）**
- **ナビゲーションのマイリスト（基-P.85）**
- **ミュージックキャッチャー、マイアルバムのアルバム画像（P.263）**
- **iPod画面（P.295）**

■アルバム・登録地点画像ファイルの保存方法について

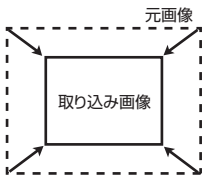
ファイルの保存方法は、オーディオ背景画像と同じです。**P.405**をご覧ください。

■アルバム・登録地点画像ファイルのサイズについて

画像サイズの調整は、専用アプリケーション「HDDナビマスター」でも行うことができます。「HDDナビマスター」については、P.401をご覧ください。

取り込み可能な画像サイズは、最大816×492 ドットです。

- 登録地点やアルバムなどで貼り込む画像サイズは、128×128ドットです。
- 取り込んだ画像が貼り込む画像より縦横ともに大きい場合は、自動的に貼り込む画像サイズに縮小して表示します。



- 取り込んだ画像が貼り込む画像サイズより小さい場合は、画像は中央に配置され、余白部分は黒く表示されます。



■画像を取り込む

本機にアルバム・登録地点画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［アルバム・登録地点画像］から、取り込み をタッチする

画像リスト画面が表示されます。

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



3 決定 をタッチする

選択した画像がフォルダに取り込まれます。

END

■画像を削除する

本機に取り込んだアルバム・登録地点画像を削除できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［アルバム・登録地点画像］から、削除 をタッチする

フォルダ選択画面が表示されます。

2 削除する画像があるフォルダを選択してタッチする

画像リストが表示されます。

3 削除する画像を選択して 決定 をタッチする

確認画面が表示されます。

4 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

END

オープニング画面の取り込み／削除

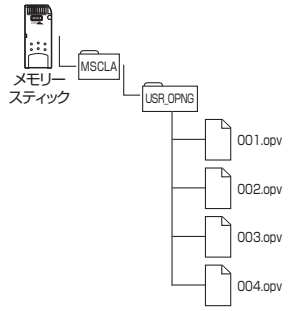
■オープニング画面について

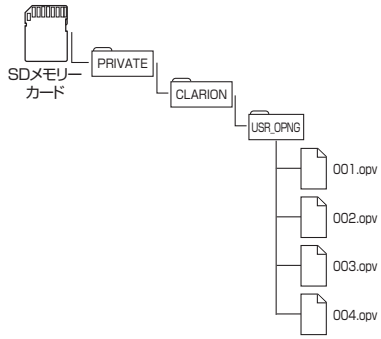
デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、オープニング画面として本機に取り込むことができます。

オープニング画面として取り込む画像は、他では使用できません。

■オープニング画面用画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、つぎの図のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。





デジタルカメラなどで撮影した画像は、必ずパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で画像変換をして、データ形式を「OPV」形式にしてください。

「HDDナビマスター」については、P.401をご覧ください。

■画像を取り込む

本機にオープニング用の画像を取り込むことができます。オープニング画面は、20個まで取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「OPV」形式です。あらかじめ、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を利用して画像を作成してください。
取り込んだ画像は、本機の電源ON時に、本機の画面に表示されます。

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［オープニング画面］から、取り込み をタッチする

2 取り込む画像を選択してタッチする
選択した画像のランプが点灯します。

3 決定 をタッチする
選択した画像が本機に取り込まれます。

END

■画像を削除する

本機に取り込んだオープニング用の画面データを削除できます。

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［オープニング画面］から、削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して決定 をタッチする

3 はい をタッチする
削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

END

登録地点の取り込み／書き出し

本機では500カ所の登録地点を保存できますが、メモリーカードに最大10グループ（1グループ550件、合計5,500件）まで登録地点を保存しておくことも可能です。
メモリーカードから保存した登録地点を表示させたり、再度メモリーカードから本機に登録地点を取り込むことができます。
登録地点の取り込み、書き出し、メモリーカード内の登録地編集は、ナビゲーション画面からのみ行えます。

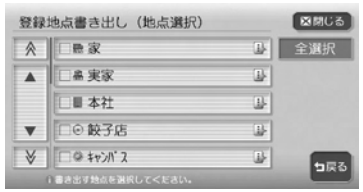
■登録地点を書き出す

本機からメモリーカードに登録地点を書き出すことができます。

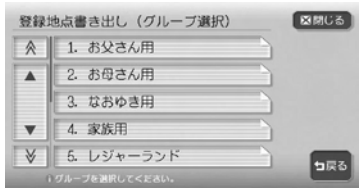
ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［登録地点］から、書き出し をタッチする

2 書き出す登録地点を選択して決定 をタッチする



3 書き出す先のグループを選択してタッチする



4 はい をタッチする
書き出しメッセージが表示され、選択した登録地点が書き出されます。

END

■登録地点を取り込む

メモリーカードから本機に登録地点を取り込むことができます。

ここまでの操作
設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［登録地点］から、取り込み をタッチする

2 取り込むグループを選択してタッチする

3 取り込む登録地点を選択して決定 をタッチする
選択した地点が登録リストに取り込まれます。

END

登録地点の編集

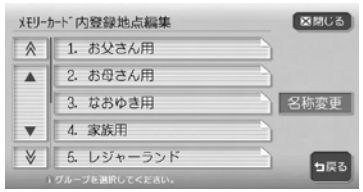
メモリーカード内の登録地点グループ名を変更できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 メﾓﾘｰｶｰﾄﾞ内の登録地編集 をタッチする

2 名称変更 をタッチする



グループ名称変更画面が表示されます。

3 名前を変更するグループを選択してタッチする

4 変更したい名称を入力して 決定 をタッチする

名称が変更されてグループリストに戻ります。

END

登録地点の削除

メモリーカード内の登録地点を削除できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 メﾓﾘｰｶｰﾄﾞ内の登録地編集 をタッチする

2 削除する登録地点のグループをタッチする

3 地点削除 をタッチする



削除地点リストが表示されます。

4 削除する登録地点を選択して 決定 をタッチする

5 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した登録地点が削除されます。

END

登録地点を地図表示する

メモリーカード内の登録地点を地図に表示できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 メﾓﾘｰｶｰﾄﾞ内の登録地編集 をタッチする

2 表示する登録地点のグループをタッチする

3 表示する登録地点を選択してタッチする

タッチした地点が地図表示されます。

END

TV・雑誌情報の取り込み

メモリーカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込むことができます。

お知らせ

- メモリーカードとパソコンを使用してTV・雑誌情報を更新することができます。
  本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要になります。
  HDDナビマスターについては、P.401をご覧ください。
  なお、TV・雑誌情報は過去3年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは削除され、過去3年以内の情報のみになります。削除したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

お願い

- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV・雑誌の情報から探す」機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［TV・雑誌情報］の 取り込み をタッチする

2 はい をタッチする

本機にデータが取り込まれます。

END

iPod®画面の取り込み／削除

■iPod画面について

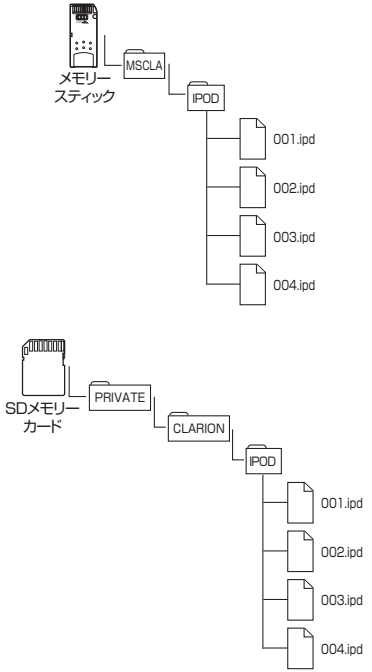
デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、iPod画面として本機に取り込むことができます。

iPod画面とは、iPodを本機に接続しているとき、iPodのディスプレイに表示される画像です。表示される画像は、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で作成された4階調のものになります。

iPod画面として取り込む画像は、他では使用できません。

■iPod画面用画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、つぎの図のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



デジタルカメラなどで撮影した画像は、必ずパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で画像変換をして、データ形式を「IPD」形式にしてください。「HDDナビマスター」については、P.401をご覧ください。

■画像を取り込む

本機にiPod用の画像を取り込むことができます。iPod画面は、20個まで取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「IPD」形式です。あらかじめ、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を利用して画像を作成してください。

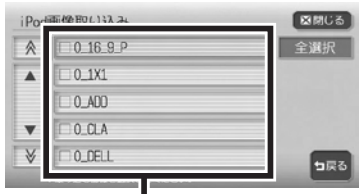
取り込んだ画像は、本機とiPod接続時に、iPodのディスプレイに表示されます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁 を2回

1 ［iPod画面］の 取り込み をタッチする

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



画像リストは、ファイル名の順で表示されます。

3 はい をタッチする

本機に画像が取り込まれます。

END

■画像を削除する

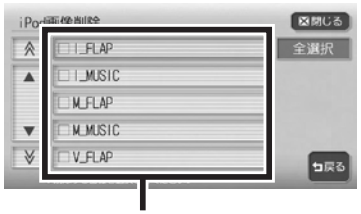
本機に取り込んだiPod用の画像を削除できます。

ここまでの操作

設定/情報 ▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁 を2回

1 ［iPod画面］の 削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して 決定 をタッチする



画像リストは、ファイル名の順で表示されます。

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

END

Memo

困ったときに…

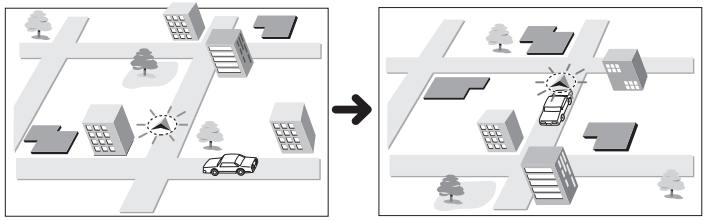
ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

目次

自車位置がずれていたら …… 418
故障かなと思ったら …… 423
よくある質問について（Q&A） …… 429
エラーメッセージ一覧 …… 432

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。
従って、走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

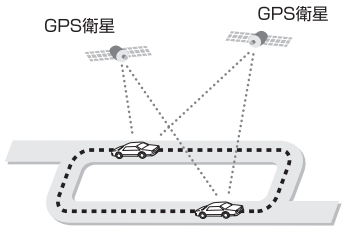


自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときなどは、走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しのよい道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになりますので、次の方法により短時間で学習をさせることができます。
上空に障害物がない（GPSが受信できる）道で、約5分間、50km/h前後のスピードで定速走行を行う。

アドバイス

- 自車位置マークの精度や誤差について詳しくは、**「自車位置の精度について」（P.420）**をご覧ください。



3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

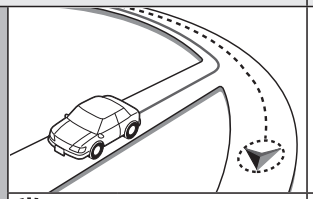
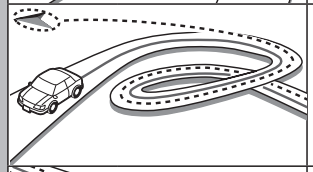
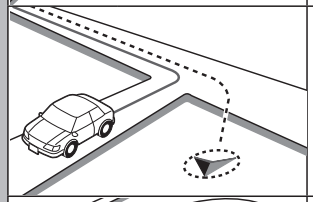
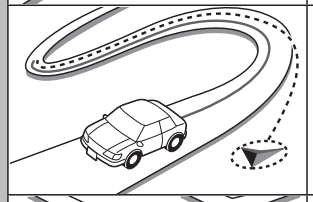
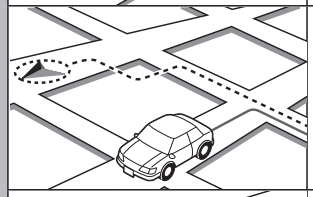
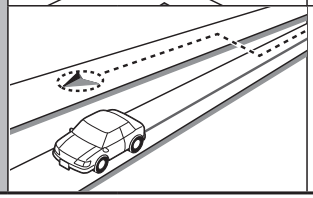
●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。

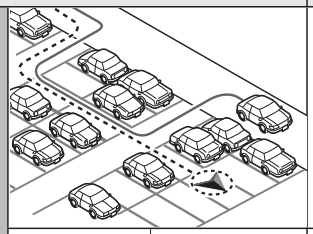
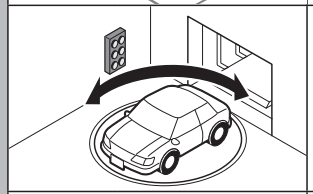
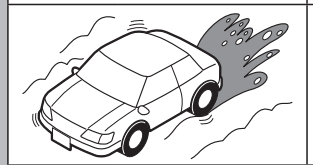
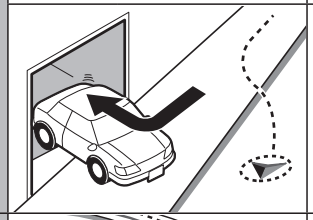
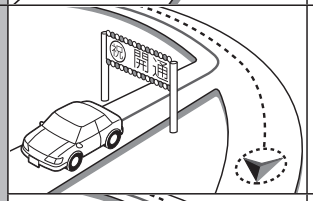
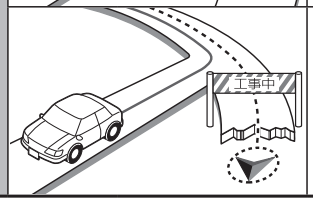
●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

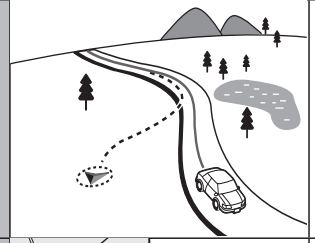
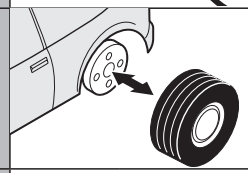
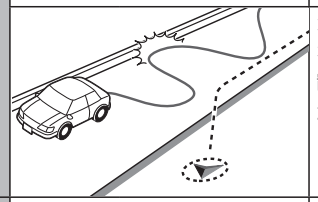
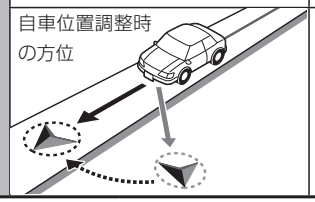
●本機を別の車に載せ替えたときや、取り付け位置・角度を変更した場合は、必ず**「センサーの学習リセット」（P.326）**を行ってください。

自車位置の精度について

次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は自車位置調整を、また必要に応じて方位修正を行ってください。**「センサーの学習リセット」(P.326)**、**「自車位置がずれていたら」(P.418)** をご覧ください。
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置からはずれていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は自車位置調整を、また必要に応じて方位修正を行ってください。**「センサーの学習リセット」(P.326)**、**「自車位置がずれていたら」(P.418)** をご覧ください。
		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	
		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路からはずれていることがあります。	
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	

原因（状況）　——：走行中　- - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
地図データ		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は自車位置調整を、また必要に応じて方位修正を行ってください。（**P.326、P.418**をご覧ください）
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	しばらく走行しても、なお距離がずれる場合は、**「センサーの学習リセット」(P.326)**を行ってください。
走りかた	無停止連続走行	長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	1度停止して、自車位置調整の方位修正を行ってください。
		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は位置修正を、また必要に応じて自車位置調整の方位修正を行ってください。
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度	位置の設定の精度が悪いと、とくに道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	**お願い** **修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。**
	自車位置調整時の方位 	自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

症状		原因	処置
●ナビゲーション関連			
表示関連	ＧＰＳ受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。（取付説明書参照）
		障害物などにより、ＧＰＳ衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なＧＰＳ衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示が可能になります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない仕様です。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに出る。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示されます。	「目的地」メニューの「周辺検索」メニューを開いて「検索アイコン消去」を選択すると表示を消す事ができます。
	地図画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい。（または大きい）	音量が小さく（または大きく）設定されている。	**「音量を調整する」(P.315)**を参照して、音量を調整してください。
	音声案内が出ない。	音声案内が、「しない」に設定されている。	**「音声案内の設定をする」(P.313)**を参照して、音声案内の設定をしてください。

症　状		原　因	処　置
●ナビゲーション関連			
自車位置精度関連	自車位置がずれる。（購入直後）	車速パルスと距離の学習が不十分の可能性があります。	GPSの受信しやすい場所で、時速50km程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。（タイヤ交換後）	車速パルスと距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっています。	**「センサーの学習リセット」（P.326）**を行ってください。
VICS関連	FM多重周波数が自動追尾されない。	周波数を変更すると、自動追尾の設定は強制的に「オフ」になります。	自動追尾の設定を「オン」に変更してください**（P.318）**。
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合は追尾しない場合があります。	**「VICS情報の設定をする」（P.316）**のFM周波数設定を参照して、手動で放送局を選択してください。
	ビーコンの簡易図形が割込表示しない。	ビーコンから図形情報が提供されていない事があります。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割込みません。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
音声認識関連	認識率が悪い。うまく認識してくれない。	窓を開けていて、車外の騒音がマイクに入った。	窓を閉めてはっきり発話してください。
	間違って認識する。	発話をはじめるタイミングが早い。	発話スイッチを押した後、「コマンドをどうぞ、ポッ」という音の後に発話してください。
		発話した言葉に似ている言葉が認識辞書にある。	大きな声ではっきり発話してみてください。

オーディオ関連

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
表示関連	オーディオ画面が乱れる	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 • 高電圧を発生させて作動するもの……マイナスイオン発生器など • 電磁波を発生するもの……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動選局で選局してください。
	放送局の名前が表示されない。	エリア選択で該当する地域を選択してください。その場合でもすべての放送局の名称が登録されているわけではありません。放送局名が出ないようであればユーザータイトルを入力してください。	**「放送局名を編集する」(P.160)**を参照してユーザータイトルを入力してください。
CD／※MD／DVD／MP3／WMA	ディスクを入れても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクの裏表を逆に入れている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。	CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。ご使用のCDをもう一度ご確認ください。
	音飛びする。ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが入らない。	本機の中にすでにディスクが入っている。	⏏ボタンを押してディスクを取り出してからディスクを入れてください。
	CD-TEXTが表示できない。	CD-TEXT優先表示になっていない。	CD-TEXT優先表示に設定してください。
	CDタイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを再生した。	アルバム情報を最新のものに更新してください**（P.239）**。
	MP3/WMAの音が飛ぶ。	MP3/WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMAの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3/WMAの音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をしてみてください。

※MAX9700DTのみ

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
CD／※MD／DVD／MP3／WMA	TAGが表示できない、文字化けする。	TAG優先表示になっていない。	TAG優先表示にしてください（**P.234**）。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できません。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大255ファイルまで）を越えた場合には、再生できません。また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合があります。	音楽データ以外のデータ部分を削除してファイルを作成してください。
	正しく表示されない。	正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1またはLV2に書き込み設定を変更して書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMAが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3/WMAファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMAファイルが書き込まれたCDを使用してください。
	「ディスクを確認してください」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆に入れている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
ミュージックキャッチャー	タイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを録音した。	パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を使用して最新の情報に更新する（**P.402**）か、タイトルの編集でユーザータイトルを入力してください（**P.263、P.266**）。
	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクのキズにより音飛びした可能性があります。ディスクを確認して、再度録音してください。
	録音ができない。	ハードディスクの容量が不足している。	録音済みの曲を削除してください（**P.264、P.267**）。
		コピー禁止ディスクを使用している。	コピー可能ディスクを使用して録音してください。
		全曲録音済みのディスクを使用している。	別のディスクを挿入してください。

※MAX9700DTのみ

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
ミュージックキャッチャー	録音ができない。	自動録音モードになっていない。	自動録音モードに設定してください（**P.241**）。
		SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）で2世代目のコピーになっている。	コピー可能ディスクをご使用ください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「編集」の「アルバム選択」でアルバムが選択されていない。	**「指定したアルバムを再生する」（P.255）**をご覧ください。
	表示されたタイトル(アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル)が間違っている。	Gracenote®はTOC情報でタイトルを検索しますが、あいまい検索でタイトルを選択するために、タイトルが合わない事があります。	タイトルを入力してください（**P.263、P.266**）。
メモリーカード	音がでない。	未対応のメモリーカードを使用している。	対応可能なメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードが挿入できない。	メモリーカードを表裏逆に挿入している。	メモリーカードの端子面を上にして挿入してください。
	音が飛ぶ。	MP3/WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音してみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できません。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大99ファイルまで）を越えた場合には、再生できません。	PCを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。
	TAG（曲目）が表示されない。	TAG表示優先になっていない。	**「CD-TEXT/TAG情報を表示する」（P.234）**を参照して、TAG表示を優先にしてください。
	操作パネルをオープンしたら再生が停止してしまった。	メモリーカード内のデータ保護のために画面をオープンするとスロットの電源が切れます。	操作パネルをクローズすると再生を再開します。
	実際に入れているMP3/WMAの数が違う。	メモリーカードにMP3/WMA以外のファイルがある。	MP3/WMA以外のファイルを削除してください。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
テレビ	放送局名が表示されない。	エリアを設定していない。	放送局エリアの設定をしてください（P.188）。
		受信チャンネルのリストが取得できていない。	各地域でエリア選択後にオートストアを実行してください。
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境のよいところに移動してください。
	映りが悪い。	フィルムアンテナの給電端子が給電部からはがれている。	給電端子を給電部にしっかりと張り付けてください。はがれてくる場合は、販売店で新しい給電端子と交換してください。
		フロントガラスからアンテナ線がはがれている。	アンテナ線は張り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。
	電源投入直後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合があります。	バックライトが温まれば解消されます。

リアカメラシステム

症　状	原　因	処　置
●リアカメラシステム		
カメラ映像が表示されない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。

その他

症　状	原　因	処　置
●その他		
ディスプレイに「エラー表示」が出る。	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている。	「エラーメッセージ一覧」（P.432）を参照して、内容を確認してください。

お知らせ

・電話（Bluetooth）に関する内容は、別売のBluetoothインターフェースアダプターの取扱説明書を参照してください。

よくある質問について（Q&A）

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路計算結果で、最適ではない経路を案内されましたが…

A: ナビゲーションが道路種別などを考慮して経路計算しますので、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり計算条件を変えて計算を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、計算方法を変更しても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをお勧めします。

Q: 複数ルート表示で8ルート表示されません。

A: 必ずしも8ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、他のルートが計算できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート計算をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: 推奨ルートの方の距離が短い場合は、推奨ルートを優先することがあります。

Q: 条件が「距離優先」なのに、最短距離と思われるルートで案内されません。また、複数ルート表示で、標準2のルートよりも距離優先のルートの方が距離が長いようです。

A: あくまでも距離「優先」であり、距離のみでルートを引いているわけではなく、道路種別なども考慮してルートを引いているためです。また、標準2は「標準」「距離優先」とは別に提示可能なルートを表示しているため、標準2よりも距離優先の方がルートの距離が長くなる場合もあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。（対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。このような場合には、実際の料金に従ってください。）

Q: 個人宅検索をしたが、自宅がヒットせず、検索できません。

A: ハローページに電話番号と住所が掲載されていませんと、対象となりません。

Q: ナビ画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1)　情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2)　FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3)　新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 操作時に、その時々でボタンが出たり出なかったりすることがありますが？

A: 操作できないボタンは消える仕様になっています。画面上に表示されるボタンはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないボタンは消えるようになっています。

Q: AVボタンを押した直後に発話ボタンを押すと、反応が遅いことがあります。

A: 本機のソフトは複数の処理を同時に処理するマルチタスクで動作しています。AVボタンを押した直後は地図表示の他、複数の処理が同時に行われることがあり、発話ボタンの反応が遅くなることがあります。

Q: 到着予想時刻の計算基準はなんですか？

A: **「到着予想渋滞考慮」（P.311）**を「する」に設定している場合には、渋滞の統計データを使用します（渋滞の統計データとは、過去の１年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです）。
「しない」に設定している場合は、**「到着予想速度設定」（P.312）**を基準に算出します（こちらは、お好みの平均速度を設定することができます）。

Q: 計算条件にて、「統計渋滞考慮」の条件を選択していたのに、渋滞している道路に案内されました。

A: 過去の１年分のVICS情報から統計処理したデータを使用しています。そのため、必ずしも過去の渋滞情報と現在の渋滞情報が一致しないため、結果的に渋滞している道路が案内される場合もあります。

Q: 一般道優先で計算したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使用することがあります。これは、あくまでも一般道「優先」であり、「使用しない」とはしていないからです。

Q: 高速道路上で案内終了する経路を案内されました。

A: 原則としては高速道路上で案内終了する経路は案内しませんが、一部の一般有料道路については案内しています。案内が不適切な場合は、目的地の座標を適切な位置に移動してください。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

Q: ハイウェイモードやシティモードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、計算が終了するまで通常地図に戻ります。計算終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

オーディオ編

■メモリーカード

Q: SOURCE選択メニューの「M.STICK/SD」って何ですか？

A: メモリースティック、SDメモリーカードのモードです。これらのメモリーカードに記録されたMP3/WMAファイルを再生する事ができます。

■DVD

Q: メニュー画面が選択できません。

A: タッチパネルを押してもメニューがうまく選択できない場合は、詳細ボタンか広域ボタンを押してメニュー操作画面を表示し、メニュー操作画面からメニューを選択してください。

■ミュージックキャッチャー

Q: 「M.CATCHER」って何ですか？

A: CDに入っている音楽をハードディスクに録音、再生する機能です。ジュークボックス的な機能とお考えください。

Q: 録音できる曲数は？

A: 最大4,000曲です。ただし、録音する曲の長さなどにより、曲数は変化します。アルバム数は500以内、アルバム中の曲数は99曲以内、録音時間の合計時間は約250時間の制限があります。

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: マイアルバム機能をお使いください。

Q: 録音したアルバムのタイトルが出ず、録音した日時になっています。

A: CD データベースに該当するアルバムの情報が有りません。パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を使用して最新の情報に更新してください。または、編集メニューの「情報編集」で手動での入力が可能です。

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: メモリーカードにトラック情報を書き出し、パソコンからGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択してメモリーカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q: 自動的につけられたジャンルがしっくり来ません。

A: ジャンルは、CDデータベースに入っている内容で表示しています。気に入らない場合は編集メニューの「情報編集」から変更が可能です。

Q: メモリーカードから音楽データをコピーしたいのですが。

A: 著作権保護のためできない仕様になっています。

エラーメッセージ一覧

■画面にこんなメッセージが出たら

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法に従って障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

⚠注意

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態では使用しないでください。

お願い

- 下記の処置を行う場合は、車を安全な場所に止めてから行ってください。
- 下記の処置を行ってもまた同様のメッセージが表示されるときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
CD／※MD／DVD／MP3／WMA	MECHANISM ERROR	メカニズムに障害が生じている場合。	ディスクを再度入れ直すか、電源を入れ直してください。
	DISC ERROR ディスクを確認してください。	裏挿入などで読み出せないとき。	ディスクを交換してください。 または、もう一度ディスクを入れなおしてください。
		再生可能なファイルが存在しないとき。	
		ブランクCD-R、DVD-Rのとき。	
		MIX MODE CDが挿入されたとき。	
		ディスクが挿入できなかったとき。	ディスクを正しく挿入してください。
	FOCUS ERROR ディスクを確認してください。	ディスクの傷などにより、フォーカスが合わないとき。	ディスクを交換してください。
	FORMAT ERROR このディスクは再生できません。	デッキ内のディスクに傷などがあり、演奏できないとき。	ディスクを交換してください。
		データフォーマットに不正がある。	
		再生できないメディアを挿入した。	

※MAX9700DTのみ

	エラー表示	原　　因	処　　置
CD／※MD／DVD／MP3／WMA	WRONG REGION このディスクは再生できません。	挿入されたディスクのリージョンが設定と一致しない。	ディスクを交換してください。
	DISABLED FILE ファイルの種類が適切ではありません。	拡張子が「.MP3/WMA」で、中身が再生できない形式（DRM含む）のファイルだったとき。	ディスクを交換してください。
	PARENTAL VIOLATION ディスクを抜いてパレンタルレベルを変更してください。	設定されているパレンタルレベルより制限が厳しいコンテンツのとき。	パレンタルレベルを変更してください。
メモリーカード	ACCESS ERROR メモリーカードとの通信ができません。	通信ができない、フォーマットされていない、認識できるメモリーカードではないとき。	メモリーカードを交換してください。
	NO FILE MP3/WMAファイルがありません。	メモリーカードにMP3、WMAファイルが入っていないとき。	メモリーカードにMP3、WMAファイルを入れてください。
ミュージックキャッチャー	SCMS ERROR このディスクは録音できません　録音をキャンセルします。	コピー不可ディスクを再生したとき。	コピー可能なディスクを入れてください。
iPod	iPodを確認してください	iPodと通信できないとき。	iPodとの接続を確認してください。
		iPod内にトラックがないとき。	iPodにトラックを追加してください。

※MAX9700DTのみ

	エラー表示	原　　因	処　　置
HDD系	TEMP ERROR 低温のため正常な動作が出来ません、正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。	車内温度が低いためにHDDにアクセスできないとき。	温度が正常になるまでお待ちください。
HDD系	TEMP ERROR 高温のため正常な動作が出来ません、正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。	車内温度が高いためにHDDにアクセスできないとき。	温度が正常になるまでお待ちください。
HDD系	ACCESS ERROR HDDに異常がみられます、販売店にご相談ください。	HDDとの通信ができないとき。	他のAUDIOモードに切り替えて使用し、販売店にご相談ください。
		HDDのセクター/クラスターが破壊されたとき。	

付録

市街地図エリアの一覧、ボイスコントロールで使える言葉の一覧など、参考となる資料について説明しています。

目次

地図データについて …… 436
市街地図収録エリア一覧 …… 440
VICSシステムの問い合わせ先…… 446
VICS情報有料放送サービス契約約款…… 447
カントリーコード一覧 …… 450
ボイスコントロールで操作できる言葉 …… 452
対応メディア・対応ファイルについて …… 468
お手入れ …… 472
保証書とアフターサービス …… 474
仕様 …… 475
商標について …… 477
暗証番号照会申込書 …… 480
索引 …… 481

地図データについて

本機ハードディスク内の情報は
- 道路情報　：2006年10月現在
- ハイウェイ情報　：2006年12月現在
- 有料道路情報　：2006年12月現在
- 施設検索データ　：2006年11月現在
（一部のジャンルは2005年8月現在のものです。）
- 住所・郵便番号検索データ　：2006年11月現在
- TV・雑誌検索データ　：2007年2月現在
（定期的に最新データを提供しています。**(P.413)**）
- 交通規制データ　：2006年4月現在

の情報を使用しています。
＊本機ハードディスク内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

お知らせ

- ナビゲーションの動作状況によっては、文字やマークが読み取りにくくなることがあります。

■件数について
- 施設検索件数　：1000万件
- 個人宅電話番号件数　：3000万件
- 住所データ　：3450万件

■交通規制データの保証について
本機ハードディスクに使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
（承認番号TMT07-39）

■年度バージョン表示と現場交通規制の優先について
本機ハードディスクに使用している交通規制データは、2006年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。

■スマートIC営業時間情報について
本機ハードディスクに使用しているスマートIC営業時間データは、2007年3月現在のものです。

■著作権および使用実施権について
本機ハードディスクに使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメントP（株）が取得しています。
「© 2006.TMT」

■複製および複写の禁止
本品に使用している交通規制データを無断で複写複製・加工または改変することはできません。

■ご使用の前に必ずお読みください
- ●データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
- ●本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
- ●本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ●本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
- ●本品の地図は、国土交通省国土地理院の承認を得て同院発行の2.5万分の1地形図および20万分の1の地勢図を使用しました。
（測量法第30 条に基づく成果使用承認　平17企指公第1号、平8総使第31号）
- ●本品の地図は、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会）を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認90-063）
- ●この地図の作成は、小田原市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1国土基本図を使用しました。
（承認番号平成10年小田原市指令第52号）

●この地図は、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認平成12年度知都発第170号）
●この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用しました。
（平成12年養建第1902号）
●この地図は、貴志川町長の承認を得て、同町発行の2,500分の1全図を使用し、調整しました。
（承認番号平10.近公.第34号）
●この地図は、大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1地形図を使用し、調整しました。
（15大木建第734号）
●この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1地形図を使用し、調整しました。
（承認番号　東開第111号　平成18年2月28日承認）
●この地図は、伊香保町長の承認を得て、平成7年度作成の10,000分の1白図を使用し、調整しました。
（承認番号　伊建農発229号　平成17年7月14日承認）
●この地図は、新地町長の承認を得て、同町発行の2,500分の1都市計画図を使用し、調整しました。
（承認番号　新都第287号　平成17年12月15日承認）
●「ぬけみち」データは、（株）昭文社発行の「GIGAマップル 渋滞・ぬけみち」を参照元としたデータで、[首都圏道路地図版][名古屋・中部道路地図版][京阪神道路地図版]2006年4月発行、[関東圏（繁華街・観光地）]：昭文社「渋滞・ぬけみち 関東道路地図」2002年5月3版3刷発行、[中部圏（繁華街・観光地）]：昭文社「渋滞・ぬけみち 名古屋・中部道路地図」2003年4月3版1刷発行のデータに基づき作成しています。
●本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

© 2006.TMT
© 2007.財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2007.INCREMENT P CORP.

■スクエアビュー整備対象地域

札幌市、仙台市、さいたま市、東京23区、川崎市、横浜市、千葉市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市、広島市、福岡市、北九州市の中心部にて、主要一般道路および全国都市高速道路（※）が対象。

（※）　首都高速道路
名古屋高速道路
阪神高速道路（湾岸垂水線を除く）
広島高速道路
福岡高速道路
北九州高速道路
ただし一部の区間でスクエアビューを表示しない箇所があります。

■ジャンル検索リスト

大分類の項目と、そのジャンルに分類される中・小分類の例です。

大分類	内容・例
交通機関	交通に関する施設です。**→駅・空港・フェリー乗り場**
カー＆ドライブ	車に関する施設です。**→ガソリンスタンド・駐車場・カーディーラー・カー用品店など**
遊ぶ・見る	レジャーに関する施設です。**→レジャーランド・観光ポイントなど**
食べる・飲む	食事に関する施設です。**→各種レストラン・ファミリーレストランなど**
泊まる	旅行・宿泊に関する施設です。**→ホテル・旅館・ペンションなど**
お店	各種のお店です。**→コンビニ・スーパー・ホームセンターなど**
公共施設	公共の施設です。**→役所・学校・図書館など**
医療	各種病院や薬局です。**→総合病院・内科・小児科など**
金融機関	お金に関する施設です。**→都市銀行・信用金庫など**
その他	その他の施設です。**→結婚式場・葬儀場など**

市街地図収録エリア一覧

＜95%＞ …… 全面積の95%以上が収録されている都市
＜80%＞ …… 全面積の80%以上が収録されている都市
それ以外…… 全面積の40%以上および市街中心部のみが収録されている都市

お知らせ

・一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道・東北地域	
北海道	**＜80%＞室蘭市** 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、白老町、洞爺湖町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、幕別町、池田町、釧路町
青森県	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、田舎館村、野辺地町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、仙北市、八郎潟町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町
宮城県	**＜95%＞多賀城市、亘理町、七ヶ浜町** **＜80%＞塩竈市、名取市、東松島市、利府町** 仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、山元町、松島町、大和町、富谷町、大衡村、美里町、本吉町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、鏡石町、会津美里町、矢吹町、石川町、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町

収録都道府県	市街地図収録都市
関東地域	
東京都	**＜95%＞千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町** 檜原村、奥多摩町
千葉県	**＜95%＞千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、山武市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町** **＜80%＞南房総市** 君津市、匝瑳市、いすみ市
埼玉県	**＜95%＞さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町** **＜80%＞本庄市、小川町、長瀞町、寄居町** 秩父市、飯能市、越生町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町
茨城県	**＜95%＞水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町** **＜80%＞桜川市** 日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、常陸大宮市、城里町、大子町

収録都道府県	市街地図収録都市
栃木県	**<95%>小山市、下野市、二宮町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町** **<80%>上三川町** 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、茂木町、芳賀町、壬生町、都賀町、那須町
群馬県	**<95%>** **伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町** **<80%>吉岡町、吉井町** 前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、富士見村、榛東村、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町
神奈川県	**<95%>横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町** 秦野市、松田町、山北町、清川村
中部地域	
静岡県	**<95%>熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、大井川町、吉田町、新居町** **<80%>伊東市、磐田市** 静岡市、浜松市、沼津市、富士宮市、島田市、富士市、掛川市、藤枝市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、東伊豆町、長泉町、小山町、芝川町、富士川町、由比町、岡部町、森町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、波田町、山形村、池田町、松川村、小布施町
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、荒川町
山梨県	**<95%>昭和町** **<80%>中央市** 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、増穂町、鰍沢町、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
富山県	**<95%>射水市、舟橋村** 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町

収録都道府県	市街地図収録都市
石川県	**<95%>川北町、野々市町、内灘町** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、宝達志水町、中能登町
岐阜県	**<95%>多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町** **<80%>岐阜市、可児市、養老町、富加町** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、垂井町、関ケ原町、揖斐川町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
愛知県	**<95%>名古屋市、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、春日町、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町、御津町** **<80%>豊川市** 岡崎市、瀬戸市、豊田市、新城市、音羽町
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、高浜町、おおい町
近畿地域	
大阪府	**<95%>大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町** **<80%>岸和田市、泉佐野市、島本町** 高槻市、貝塚市、茨木市、河内長野市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、千早赤阪村
京都府	**<95%>城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町** **<80%>長岡京市** 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、木津川市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町
兵庫県	**<95%>神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町** **<80%>加西市、福崎町** 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、三田市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、神河町、上郡町

収録都道府県	市街地図収録都市
奈良県	**＜95%＞大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町** **＜80%＞御所市、葛城市、高取町、大淀町** 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、明日香村、吉野町、下市町、黒滝村
滋賀県	**＜95%＞彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、安土町、竜王町、豊郷町、甲良町、虎姫町** **＜80%＞愛荘町、湖北町、高月町** 大津市、長浜市、栗東市、甲賀市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、木之本町
三重県	**＜95%＞四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町** **＜80%＞桑名市、鈴鹿市、玉城町** 津市、伊勢市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、多気町、度会町、南伊勢町、御浜町、紀宝町
和歌山県	**＜95%＞和歌山市、太地町** **＜80%＞有田市、岩出市** 海南市、橋本市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	**＜95%＞倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町** **＜80%＞笠岡市** 岡山市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、矢掛町
鳥取県	**＜95%＞境港市、日吉津村** **＜80%＞米子市** 鳥取市、倉吉市、伯耆町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、東出雲町
広島県	**＜95%＞府中町、海田町、熊野町、坂町** **＜80%＞広島市** 呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、和木町、平生町
高知県	**＜95%＞春野町** 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町

収録都道府県	市街地図収録都市
香川県	**＜95%＞宇多津町** **＜80%＞琴平町** 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、多度津町、まんのう町
徳島県	**＜95%＞松茂町、北島町** **＜80%＞小松島市** 徳島市、鳴門市、阿南市、吉野川市、美馬市、三好市、石井町、藍住町、板野町、上板町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、松前町、砥部町
福岡県	**＜95%＞北九州市、福岡市、直方市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大木町、糸田町** **＜80%＞行橋市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、大刀洗町、苅田町** 大牟田市、久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、豊前市、筑紫野市、前原市、古賀市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、桂川町、筑前町、二丈町、志摩町、広川町、香春町、川崎町、大任町、福智町、みやこ町、吉富町、築上町
佐賀県	**＜80%＞上峰町、みやき町** 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、日出町
熊本県	**＜95%＞菊陽町、嘉島町** 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、天草市、合志市、城南町、富合町、長洲町、植木町、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町
長崎県	長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、佐々町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、三股町、高鍋町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、大口市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、さつま町、加治木町
沖縄県	**＜95%＞那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、豊見城市、北谷町、中城村、西原町、与那原町、南風原町** **＜80%＞沖縄市、八重瀬町** 石垣市、名護市、うるま市、宮古島市、南城市、読谷村、嘉手納町、北中城村

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては下記のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、弊社「お客様相談室」（連絡先は裏表紙をご覧ください）にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	クラリオン（株）お客様相談室	VICSセンター
VICSの概念、計画	−	○
レベル1（文字情報）の表示内容	−	○
レベル2（図形情報）の表示内容	−	○
レベル3（地図上に表示される情報）の表示内容	−	○
情報のサービスエリア	○	−
受信の可否	○	−
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた	○	−

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

■（財）VICSセンター

電話番号：0570-00-8831
※PHSからはご利用できません。
●PHSからの電話番号
（03）3592-2033（東京）／（06）6209-2033（大阪）
受付時間：9:30～ 17:45（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX番号：（03）3592-5494（東京）
受付時間：24時間
●インターネット・ホームページ
http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について

VICS情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　則

（約款の適用）
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、ＦＭ多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、別表Iのとおりとします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表IIに定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款より

[別表Ⅰ]
サービスの提供区域

北海道（札幌地区）
赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、室蘭市、夕張市

北海道（旭川地区）
旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市

北海道（函館地区）
函館市

北海道（釧路地区）
釧路市、根室市、帯広市

北海道（北見地区）
網走市、北見市、紋別市

青森県　青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

岩手県　一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市

山形県　上山市、寒河江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県　秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

宮城県　石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、仙台市、多賀城市、名取市、古川市

福島県　会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

東京都　23区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、八王子市、羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県　厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

千葉県　我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

埼玉県　上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、吉川市、和光市、蕨市

茨城県　石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

栃木県　足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、黒磯市、佐野市、栃木市、日光市、真岡市、矢板市

群馬県　安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

山梨県　塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

静岡県　熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

岐阜県　恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

愛知県　安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、春日井市、蒲郡市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、知立市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市

長野県　飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、須坂市、諏訪市、茅野市、中野市、長野市、松本市

新潟県　小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新津市、見附市、村上市、両津市

富山県　魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

石川県　金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市

福井県　大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

滋賀県　大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

三重県　伊勢市、尾鷲市、亀山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

和歌山県　有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

奈良県　生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

京都府　綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、宮津市、向日市、八幡市

大阪府　池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、交野市、門真市、河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

兵庫県　相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

岡山県　井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

広島県　因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

島根県　出雲市、江津市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市

鳥取県　倉吉市、境港市、鳥取市、米子市

山口県　岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、長門市、萩市、光市、防府市、美祢市、柳井市、山口市、周南市

香川県　坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県　今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、新居浜市、松山市、八幡浜市

徳島県　阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県　安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福岡県　飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

宮崎県　小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

大分県　宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、日田市、別府市

佐賀県　伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県　諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

熊本県　荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

鹿児島県　阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

沖縄県　糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、名護市、那覇市

[別表Ⅱ]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA（local name:Hrvatska）	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE,METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN（ISLAMIC REPUBLIC）	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBORG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775
MALTA	MT	7784

国名	国コード	入力番号
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
（NETHERLANDS ANTILLES）	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA（Slovak Republic）	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

ボイスコントロールで操作できる言葉

ナビゲーションモードで操作できる言葉

地図操作に関する言葉

操作目的		発話内容
現在地を表示する		げんざいち
スケールを変える		こういき/しょうさい　または すけーるきりかえこういき/すけーるきりかえしょうさい
平面地図で表示する		へいめんちず　または　へーめんちず、 つーでぃーちず、へいめん、へーめん、つーでぃー
3D地図で表示する		すりーでぃーちず　または　すりーでぃー
1画面で表示する		いちがめん
2画面で表示する		にがめん
ＡＶ2画面で表示する		えーぶいにがめん　または　てれびにがめん、 でぃーぶいでぃにがめん、おーでぃおにがめん
ハイウェイモードで表示する		はいうぇいもーど　または　はいうぇーもーど
シティモードで表示する		してぃもーど
スクエアビューに切り替える		すくえあびゅー
ヘディングアップに切り替える		へでぃんぐあっぷ
ノースアップに切り替える		のーすあっぷ
地図尺度を切り替える	10m	じゅうめーとる　または すけーるきりかえじゅうめーとる
	25m	にじゅうごめーとる　または すけーるきりかえにじゅうごめーとる
	50m	ごじゅうめーとる　または すけーるきりかえごじゅうめーとる
	50m市街地図	ごじゅうめーとるしがいちず　または　しがいちず、 すけーるきりかえごじゅうめーとるしがいちず、 すけーるきりかえしがいちず
	100m	ひゃくめーとる　または すけーるきりかえひゃくめーとる
	200m	にひゃくめーとる　または すけーるきりかえにひゃくめーとる
	500m	ごひゃくめーとる　または すけーるきりかえごひゃくめーとる

操作目的		発話内容
地図尺度を切り替える	1ｋｍ	いちきろめーとる　または すけーるきりかえいちきろめーとる
	2ｋｍ	にきろめーとる　または すけーるきりかえにきろめーとる
	4ｋｍ	よんきろめーとる　または すけーるきりかえよんきろめーとる
	8ｋｍ	はちきろめーとる　または すけーるきりかえはちきろめーとる
	16ｋｍ	じゅうろっきろめーとる　または じゅうろくきろめーとる、 すけーるきりかえじゅうろっきろめーとる、 すけーるきりかえじゅうろくきろめーとる
	32ｋｍ	さんじゅうにきろめーとる　または すけーるきりかえさんじゅうにきろめーとる
	64ｋｍ	ろくじゅうよんきろめーとる　または すけーるきりかえろくじゅうよんきろめーとる
	128ｋｍ	ひゃくにじゅうはちきろめーとる　または すけーるきりかえひゃくにじゅうはちきろめーとる
	256ｋｍ	にひゃくごじゅうろっきろめーとる　または にひゃくごじゅうろくきろめーとる、 すけーるきりかえにひゃくごじゅうろっきろめーとる、 すけーるきりかえにひゃくごじゅうろくきろめーとる
地点を登録する		ちてんとうろく　または　とうろく
昼画面に切り替える		ひるがめん
夜画面に切り替える		よるがめん
地図色を切り替える（地図色1～4）		ちずしょく※1　いち/に/さん/よん
市街地図色を切り替える（地図色1～4）		しがいちずしょく※1　いち/に/さん/よん
カスタムメニューを表示する		かすたむ※2
軌跡を保存する		きせきほぞん

※1 画面通常地図表示中の「しがいちずしょく」は、表示画面の変更は行いません。
※1 画面市街地図表示中の「ちずしょく」は、表示画面の変更は行いません。
※2 カスタムメニューが表示されると、音声認識は終了します。メニュー選択はタッチパネル操作で行います。

ルートに関する言葉

操作目的	発話内容
ルートを再計算する	さいけいさん※1　または　さいけーさん
一般道優先でルート再計算する	いっぱんどうゆうせんさいけいさん　または いっぱんどうゆうせんさいけーさん、 いっぱんどうさいけいさん、 いっぱんどうゆうせんけーさん
有料道優先でルート再計算する	ゆうりょうどうゆうせんさいけいさん　または ゆうりょうどうゆうせんさいけーさん、 ゆうりょうどうさいけいさん、ゆうりょうどうさいけーさん
複数ルート計算する	ふくすうけいさん　または　ふくすうけーさん、 ふくすうるーと※2
迂回計算する	うかいけいさん　または　うかいけーさん、 うかいるーと
全ルートを表示	ぜんるーと
経由地を削除する	けいゆちさくじょ　または　けーゆちさくじょ、 ちゅうけいてんさくじょ、ちゅーけーてんさくじょ

※1「さいけいさん」をする時、計算条件は現在の条件で計算されます。
※2「ふくすうけいさん」または「ふくすうるーと」で複数ルートが表示されると、ボイスコントロールは終了します。ルート選択はタッチパネル操作で行います。

経路情報に関する言葉

操作目的	発話内容
次の案内を表示する	つぎのあんない
渋滞情報を聞く	じゅうたいじょうほう　または　じゅうたいちぇっく、 じゅうたい
誘導情報を表示する	ゆうどうじょうほう　または　るーとじょうほう
再音声	さいおんせい
目的地を表示する	もくてきちひょうじ　または　もくてきち

情報関係の操作に関する言葉

操作目的	発話内容
交通情報を聴く	こうつうじょうほう　または そーすきりかえこうつうじょうほう
FMレベル1	えふえむれべるわん　または　えふえむれべるいち、 えふえむもじじょうほう
FMレベル2	えふえむれべるつー　または　えふえむれべるに、 えふえむずけいじょうほう
ビーコンレベル1	びーこんれべるわん　または　びーこんれべるいち、 びーこんもじじょうほう
ビーコンレベル2	びーこんれべるつー　または　びーこんれべるに、 びーこんずけいじょうほう

その他の言葉

操作目的	発話内容
案内音量調整	あんないおんりょう　あっぷ/だうん　または あんないおんりょう　おおきく/ちいさく
自宅	じたく※1
戻る	もどる
音声認識解除	ちゅうし　または　きゃんせる
ヘルプ表示	へるぷ※2
ユーザーを切り替える（1～4）	ゆーざーいち/に/さん/よん

※1「じたく」は、走行中、停止中ともに、現在の計算条件で計算します。
※2 ヘルプ画面を表示するとボイスコントロールは終了します。

目的地検索に関する言葉

操作目的	発話内容
住所検索する	じゅうしょ　または　じゅうしょけんさく
電話番号検索する	でんわばんごう　または　でんわばんごうけんさく
施設検索する	しせつけんさく
近くの施設を検索する	ちかくの○○
登録リスト愛称	それぞれ登録してある愛称を発話してください
マイリスト（1～16）	まいりすといち/に/さん/よん/ご/ろく/なな/はち/ きゅう/じゅう/じゅういち/じゅうに/じゅうさん/ じゅうよん/じゅうご/じゅうろく※

※「マイリスト（1～16）」は、走行中、停車中ともに現在の計算条件で計算します。

目的地検索後の操作に関する言葉

操作目的	発話内容
目的地までのルートを計算する	けいさん　または　けーさん
一般道優先計算する	いっぱんどうゆうせんけいさん　または いっぱんどうゆうせんけーさん、 いっぱんどうけいさん、いっぱんどうけーさん
有料道優先計算する	ゆうりょうどうゆうせんけいさん　または ゆうりょうどうゆうせんけーさん、 ゆうりょうどうけいさん、ゆうりょうどうけーさん
経由地を設定する	けいゆち　または　けーゆち、ちゅうけいてん、 ちゅうけーてん
ルート検索した地点を登録する	ちてんとうろく　または　とうろく
複数施設があるときに次/前の施設を探す	つぎ/まえのしせつ

施設検索のジャンル

操作目的	発話内容
JR	じぇいあーる　または　じぇいあーるえき
私鉄	してつ　または　してつえき
地下鉄	ちかてつ　または　ちかてつえき
空港	くうこう　または　ひこうじょう
フェリー乗り場	ふぇりーのりば　または　ふぇりー
レジャーランド	れじゃーらんど　または　ゆーえんち
動・植物園	どうしょくぶつえん　または　どうぶつえん、 しょくぶつえん
水族館	すいぞくかん　または　すいぞっかん
プール	ぷーる
名所・旧跡	めーしょきゅうせき
自然地	しぜんち
観光牧場	かんこーぼくじょー
海水浴場	かいすいよくじょー
美術館	びじゅつかん
博物館	はくぶつかん
公園	こうえん
劇場・ホール	げきじょーほーる　または　げきじょー、ほーる
スポーツ観戦	すぽーつかんせん
温泉地	おんせんち　または　おんせん

操作目的	発話内容
温泉浴場	おんせんよくじょう
ゴルフ場	ごるふじょう
スキー場	すきーじょー
ホテル	ほてる
ビジネスホテル	びじねすほてる
デパート	でぱーと
ショッピング街	しょっぴんぐがい

「ちかくの○○」で、○○の部分で認識できるジャンル

操作目的	発話内容
駅	えき
JR	じぇいあーる　または　じぇいあーるえき
私鉄	してつ　または　してつえき
地下鉄	ちかてつ　または　ちかてつえき
高速入口	こうそくいりぐち　または　ゆうりょういりぐち、 はいうぇいいりぐち
カー用品店	かーよーひんてん　または　かーよーひん
スーパーオートバックス	すーぱーおーとばっくす
オートバックス	おーとばっくす
イエローハット	いえろーはっと
オートテック	おーとてっく
オートハローズ	おーとはろーず
コクピット	こくぴっと
オートアールズ	おーとあーるず
ジェームス	じぇーむす
タイヤ館	たいやかん
タイヤセレクト	たいやせれくと
ドライバースタンド	どらいばーすたんど
オートウェーブ	おーとうぇーぶ
ガソリンスタンド	がそりんすたんど　または　すたんど
昭和シェル石油	しょーわしぇるせきゆ　または　しぇる、 しょーわしぇる
Jomo	じょも
コスモ石油	こすもせきゆ　または　こすも
出光	いでみつ

操作目的	発話内容
エッソ石油	えっそせきゆ　または　えっそ
キグナス石油	きぐなすせきゆ　または　きぐなす
ゼネラル石油	ぜねらるせきゆ　または　ぜねらる
モービル石油	もーびるせきゆ　または　もーびる
九州石油	きゅーしゅーせきゆ　または　きゅーしゅー
エネオス	えねおす
カーディーラー	かーでぃーらー　または　でぃーらー
HondaCars	ほんだかーず　または　ほんだぷりも、ほんだべるの、ほんだくりお
日産レッド&ブルー	にっさんれっどあんどぶるー
日産レッドステージ	にっさんれっどすてーじ
日産ブルーステージ	にっさんぶるーすてーじ
スバル	すばる
マツダ	まつだ
アンフィニ	あんふぃに
ネッツトヨタ	ねっつとよた　または　ねっつ
トヨタ	とよた
三菱自動車	みつびしじどうしゃ　または　みつびし
三菱ふそう	みつびしふそう
ダイハツ	だいはつ
日産ディーゼル	にっさんでぃーぜる
日野自動車	ひのじどーしゃ　または　ひの
いすゞ	いすず
スズキ	すずき
フォード	ふぉーど
ヤナセ	やなせ
マツダオートザム	まつだおーとざむ　または　おーとざむ
フォルクスワーゲン	ふぉるくすわーげん　または　わーげん
ボルボ	ぼるぼ
フィアット	ふぃあっと
BMW	びーえむだぶる　または　びーえむだぶりゅ
アウディ	あうでぃ
ジャガー	じゃがー
プジョー	ぷじょー
レクサス	れくさす

操作目的	発話内容
駐車場	ちゅーしゃじょー　または　ぱーきんぐめーたー、ぱーきんぐ
レジャーランド	れじゃーらんど　または　ゆーえんち
動・植物園	どうしょくぶつえん　または　どーぶつえん、しょくぶつえん
水族館	すいぞくかん　または　すいぞっかん
プール	ぷーる
観光ポイント	かんこーぽいんと　または　かんこーすぽっと
名所・旧跡	めーしょきゅーせき
自然地	しぜんち
観光牧場	かんこーぼくじょー
海水浴場	かいすいよくじょー
美術館	びじゅつかん
博物館	はくぶつかん
公園	こうえん
劇場・ホール	げきじょーほーる　または　げきじょー、ほーる
映画館	えーがかん
スポーツ観戦	すぽーつかんせん
カラオケボックス	からおけぼっくす　または　からおけ
温泉・お風呂	おんせんおふろ　または　おんせん、おふろ、せんとう
ゴルフ場	ごるふじょー
スキー場	すきーじょー
ファミリーレストラン	ふぁみりーれすとらん　または　ふぁみれす
スカイラークガーデンズ	すかいらーくがーでんず
すかいらーく	すかいらーく
ガスト	がすと
デニーズ	でにーず
ロイヤルホスト	ろいやるほすと
ジョナサン	じょなさん
CASA	かーさ
バーミヤン	ばーみやん
フレンドリー	ふれんどりー
藍屋	あいや
夢庵	ゆめあん
リンガーハット	りんがーはっと

操作目的	発話内容
COCO'S	ここす
サイゼリヤ	さいぜりや
ジョイフル	じょいふる
ジョリーパスタ	じょりーぱすた
びっくりドンキー	びっくりどんきー
安楽亭	あんらくてー
王将	おーしょー
牛角	ぎゅーかく
ファーストフード店	ふぁーすとふーどてん
マクドナルド	まくどなるど　または　まっく、まくど
ロッテリア	ろってりあ
モスバーガー	もすばーがー
ケンタッキーフライドチキン	けんたっきーふらいどちきん　または　けんたっきー
ファーストキッチン	ふぁーすときっちん
ミスタードーナツ	みすたーどーなつ
吉野家	よしのや　または　よしぎゅー
かまどや	かまどや
小僧寿し	こぞーずし
ラーメン屋	らーめんや
ホテル	ほてる
ビジネスホテル	びじねすほてる
旅館	りょかん
コンビニエンスストア	こんびにえんすすとあ　または　こんびに
セブンイレブン	せぶんいれぶん
ローソン	ろーそん
ファミリーマート	ふぁみりーまーと
ミニストップ	みにすとっぷ
サークルK	さーくるけー
サンクス	さんくす
セイコーマート	せいこーまーと
デイリーヤマザキ	でいりーやまざき　または　でいりーすとあ
セーブオン	せーぶおん
am/pm	えーえむぴーえむ
ココストア	ここすとあ
ヤマザキYショップ	やまざきわいしょっぷ
SHOP99	しょっぷきゅーきゅー

操作目的	発話内容
デパート	でぱーと
ショッピング街	しょっぴんぐがい
CD・DVD・ビデオ店	しーでぃーでぃーぶいでぃーびでおてん　または しーでぃーびでお、しーでぃーびでおてん、 しーでぃーでぃーぶいでぃーびでお
家電量販店	かでんりょーはんてん　または　でんきや
ホームセンター	ほーむせんたー
郵便局	ゆーびんきょく
都市銀行	としぎんこー　または　ぎんこー、としぎん
三井住友銀行	みついすみともぎんこー　または　みついすみとも
みずほ銀行	みずほぎんこー　または　みずほ
りそな銀行	りそなぎんこー　または　りそな
埼玉りそな銀行	さいたまりそなぎんこー　または　さいたまりそな
三菱東京UFJ銀行	みつびしとーきょーゆーえふじぇーぎんこー　または みつびしとーきょーゆーえふじぇー
地方銀行	ちほーぎんこー　または　ちぎん

オーディオモードで操作できる言葉

基本操作に関する言葉

操作目的	発話内容
ボリュームUP/DOWN	ぼりゅーむあっぷ/だうん　または ぼりゅーむおおきく/ちいさく
ラジオモードにする	らじお　または　そーすきりかえらじお
FM放送に切り替える	えふえむ　または　えふえむらじお、 そーすきりかええふえむ、 そーすきりかええふえむらじお
AM放送に切り替える	えいえむ　または　えーえむ、えいえむらじお、 えーえむらじお、そーすきりかええいえむ、 そーすきりかええーえむ、 そーすきりかええいえむらじお、 そーすきりかええーえむらじお
CDモードにする	しーでぃー　または　そーすきりかえしーでぃー

操作目的	発話内容
DVDモードにする	でぃーぶいでぃー　または　でぃーぶいでぃーびでお、 でぃーぶいでぃーおーでぃお、 そーすきりかえでぃーぶいでぃー、 そーすきりかえでぃーぶいでぃーびでお そーすきりかえでぃーぶいでぃーおーでぃお
MDモードにする（MAX9700DTのみ）	えむでぃー　または　そーすきりかええむでぃー
ビデオモードにする	ぶいてぃーあーる　または そーすきりかえぶいてぃーあーる
ミュージックキャッチャーモードにする	みゅーじっくきゃっちゃー　または おりじなるあるばむ、 そーすきりかえみゅーじっくきゃっちゃー、 そーすきりかえおりじなるあるばむ
マイアルバムモードにする	まいあるばむ　または　そーすきりかえまいあるばむ
メモリーカードモードにする	めもりーすてぃっく、えすでぃーかーど　または そーすきりかえめもりーすてぃっく、 そーすきりかええすでぃーかーど
アナログモードにする	あなろぐきゃっちゃー　または　あなろぐ、 あなろぐろくおん、 そーすきりかえあなろぐきゃっちゃー、 そーすきりかえあなろぐ、 そーすきりかえあなろぐろくおん
アナログ録音ラジオモードにする	あなろぐきゃっちゃーらじお　または あなろぐらじお、あなろぐろくおんらじお、 そーすきりかえあなろぐきゃっちゃーらじお、 そーすきりかえあなろぐらじお、 そーすきりかえあなろぐろくおんらじお
アナログ録音テレビモードにする	あなろぐきゃっちゃーてれび　または あなろぐろくおんてれび、 そーすきりかえあなろぐきゃっちゃーてれび、 そーすきりかえあなろぐろくおんてれび
アナログ録音MDモードにする（MAX9700DTのみ）	あなろぐきゃっちゃーえむでぃー　または あなろぐえむでぃー、あなろぐろくおんえむでぃー、 そーすきりかえあなろぐきゃっちゃーえむでぃー、 そーすきりかえあなろぐえむでぃー、 そーすきりかえあなろぐろくおんえむでぃー
デジタルテレビモードにする	でじたるてれび　または　そーすきりかえでじたるてれび

操作目的	発話内容
iPodモードにする	あいぽっど　または　あいぽっどみに、 あいぽっどなの、そーすきりかえあいぽっど、 そーすきりかえあいぽっどみに、 そーすきりかえあいぽっどなの
交通情報を聴く	こうつうじょうほう　または そーすきりかえこうつうじょうほう

ラジオモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
FM放送に切り替える	えふえむ　または　えふえむらじお、 そーすきりかええふえむ、 そーすきりかええふえむらじお
AM放送に切り替える	えいえむ　または　えーえむ、えいえむらじお、 えーえむらじお、そーすきりかええいえむ、 そーすきりかええーえむ、そーすきりかええいえむらじお、そーすきりかええーえむらじお
次の放送局に進める	つぎのほうそうきょく
前の放送局に戻る	まえのほうそうきょく
プリセットチャンネル番号を選ぶ	ぷりせっと いち/に/さん/よん/ご/ろく/なな/はち
プリセットリストを表示する	ぷりせっとりすと　または　ほうそうきょくりすと、 りすと※
AMモードをホームに切り替える	えーえむほーむ　または　えーえむいち
AMモードをお出かけに切り替える	えーえむおでかけ　または　えーえむに
FMモードをホームに切り替える	えふえむほーむ　または　えふえむいち
FMモードをホームお出かけに切り替える	えふえむおでかけ　または　えふえむに

※ 放送局リストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

CDモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
曲のリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※、りすと

※ リストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

MP3、WMA、メモリーカードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
次のフォルダーを選ぶ	つぎのふぉるだ　または　つぎのふぉるだー、 つぎのあるばむ
前のフォルダーを選ぶ	まえのふぉるだ　または　まえのふぉるだー、 まえのあるばむ
フォルダリストを表示する	ふぉるだりすと※　または　ふぉるだーりすと、 あるばむりすと
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ フォルダリスト/トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

DVDモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次のチャプターに進める	つぎのちゃぷたー
前のチャプターに戻る	まえのちゃぷたー

DVDオーディオモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
次のグループに進める	つぎのぐるーぷ
前のグループに戻る	まえのぐるーぷ
グループリストを表示する	ぐるーぷりすと※
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ グループリスト／トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

MD（MAX9700DTのみ）モードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
次のグループに進める	つぎのぐるーぷ
前のグループに戻る	まえのぐるーぷ
グループリストを表示する	ぐるーぷりすと※
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ グループリスト／トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

デジタルテレビで認識できる言葉

操作目的	発話内容
モードをホームに切り替える	ほーむ または でじたるてれびほーむ、でじたるてれびいち
モードをお出かけに切り替える	おでかけ または でじたるてれびおでかけ、でじたるてれびに
次の放送局に進める	つぎのほうそうきょく　または　つぎのちゃんねる
前の放送局に戻る	まえのほうそうきょく　または　まえのちゃんねる
プリセットリストを表示する	ぷりせっとりすと または ちゃんねるりすと、りすと※
番組表（EPG）を表示する	ばんぐみひょう
プリセットチャンネル番号を選ぶ	ぷりせっといち/に/さん/よん/ご/ろく/なな/はち/ きゅう/じゅう/じゅういち/じゅうに

※ プリセットリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

ミュージックキャッチャー、マイアルバムで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
アルバム名を指定して再生する	あるばむめい※1
アーティスト名を指定して再生する	あーてぃすとめい　または　かしゅめい※1、 あーてぃすとめえ、かしゅめえ
トラック名を指定して再生する	きょくめい　または　とらっくめい※1

操作目的	発話内容
次のアルバムに進める	つぎのあるばむ
前のアルバムに戻る	まえのあるばむ
アルバムリストを表示する	あるばむりすと※2
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※2

※1 録音時にGracenote® Music Recognition Service℠から取得したフリガナ情報をもとに検索されます。情報が取得されていないものについては、検索されません。**「アルバム情報を編集する」(P.263)**を参照して入力してください。
また、同じフリガナの項目が複数ある場合、リストが表示され、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。走行中の場合は、リストは表示されず、番号が小さいアルバムから再生されます。
※2 アルバムリスト/トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

アナログで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
次のアルバムに進める	つぎのあるばむ
前のアルバムに戻る	まえのあるばむ
アルバムリストを表示する	あるばむりすと※
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ アルバムリスト／トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

iPodモードで認識できる言葉（iPod接続時）

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

電話操作に関する言葉

操作目的	発話内容
ダイヤルする	はんずふりー　または　はんどふりー、けいたいでんわ、けいたい
リダイヤルする	りだいやる　または　りだいある
発信履歴からダイヤルする	はっしんりれき
着信履歴からダイヤルする	ちゃくしんりれき

認識愛称に登録できる語句一覧

ア	イ	ウ	エ	オ	キャ		キュ		キョ	ギャ		ギュ		ギョ
カ	キ	ク	ケ	コ	シャ		シュ		ショ	ジャ		ジュ	ジェ	ジョ
サ	シ	ス	セ	ソ	チャ		チュ		チョ	ヂャ		ヂュ		ヂョ
タ	チ	ツ	テ	ト	ニャ		ニュ		ニョ	ビャ		ビュ		ビョ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ヒャ		ヒュ		ヒョ	ピャ		ピュ		ピョ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ミャ		ミュ		ミョ		ディ			
マ	ミ	ム	メ	モ	リャ		リュ		リョ			ドゥ		
ヤ		ユ		ヨ		ウィ		ウェ	ウォ	ヴァ	ヴィ		ヴェ	ヴォ
ラ	リ	ル	レ	ロ					クォ			デュ		
ワ		ヲ		ン				シェ		ッ	ー			
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ				チェ						
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ツァ			ツェ	ツォ					
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド		ティ								
バ	ビ	ブ	ベ	ボ			トゥ							
パ	ピ	プ	ペ	ポ	ファ	フィ	フュ	フェ	フォ					

お知らせ

- 「、」「ッ」「ー」を先頭に入力することはできません。

対応メディア・対応ファイルについて

●DVD/CD取り扱い上のご注意

- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋をつけないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 新しいディスクには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

●DVDについて

再生できるディスク

- <DVDビデオロゴ><DVDオーディオロゴ>のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク

再生できないディスク

- 8chディスク
- 異形のディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- VRモード、パケットライト方式で記録されたディスク
- DVD-RAM
- ビデオCD
- ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。
- デュアルディスクはディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

●CDについて

再生できるディスク

- 音楽CD（Compact Disc DIGITAL AUDIOロゴのついたもの）
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク（※1）
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク（※2）
- コピーガード付きCD（※3）

※1：アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2：正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3：再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- デュアルディスクはディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

●MP3・WMAファイルについて

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。
WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。
本機では、MP3またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、メモリースティックを再生することができます。

再生できるMP3・WMAファイル

	MP3	WMA
記録メディア (*1)	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、メモリースティック	
記録フォーマット	CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo DVD：UDF（Ver1.02のみ）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Romeo SDメモリーカード、メモリースティック：FAT16、V-FAT	
パケットライト	非対応	
拡張子（*2）	.MP3	.WMA

*1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RWはマルチセッション未対応）
*2 雑音や故障の原因となるため、MP3/WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください。

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）、ジャンルの表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz　MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
  ※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps　MPEG2：8kbps ～ 160kbps
  ※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスクまたはメモリーカード内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応
- ディスクまたはメモリーカード内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数：記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレート：記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。

	ディスクWMA	メモリーカードWMA
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)
320	—	48/44.1
256	—	44.1
192	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1
80	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32
48	44.1/32	48/44.1/32
44	—	32
40	32	32
36	—	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	—	32/22.05
20	22.05	22.05
VBR※	48/44.1	48/44.1

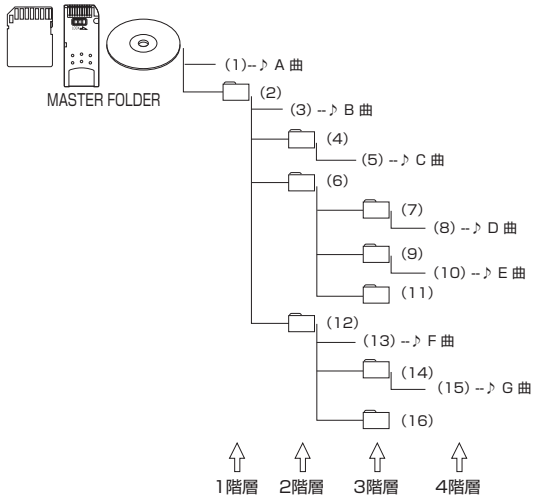
※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

●MP3・WMAの記録メディアについて

	MP3	WMA
ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数	フォルダ：255（ルートを含む） ファイル：512 トラック：1フォルダあたり255	
メモリーカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数	フォルダ：255（ルートを含む） ファイル：512 トラック：1フォルダあたり99	

フォルダ構成

MP3/WMAファイルを記録したディスク、メモリーカードのイメージ（例：1～4階層の場合）は、下図のようになります。



曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
左図の場合の再生順序は、
ディスク：(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15)
メモリーカード：(1) → (3) → (5) → (13) → (8) → (10) → (15)
となります。

- MP3/WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- 8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3/WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスク、メモリーカードの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3/WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。
  その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- メモリーカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合、パソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- メモリーカードで1つのフォルダにMP3/WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

●ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。

●レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。

●DVD/CD 専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。

●ディスクは次のような場所には保管しないでください。

・直射日光のあたる場所

・湿気やホコリの多い場所

・暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

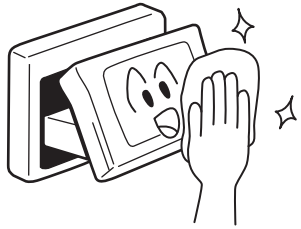
本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。



※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

●液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布でふいてください。



TVアンテナのお手入れ

●フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。

●一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

保証書とアフターサービス

■保証書
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。
なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間
保証書に記載の期間をご確認ください。

■万一故障が発生した場合
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について
修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

■その他
アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

仕様

GPSアンテナ部
方式　：マイクロストリップ平面アンテナ

ナビゲーション部
受信周波数　：1575.42MHz C/A コード
感度　：−133dBm
チャンネル数　：パラレル12チャンネル
音声合成　：ADPCM方式、サンプリング周波数11.025kHz

LCD モニター部
画面寸法　：7型（156.2mm×82.3mm）
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数　：1,152,000画素 800×3（RGB）×480

CD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：85dB
高調波ひずみ率：0.1%（1kHz）

DVD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：85dB
高調波ひずみ率：0.1%（1kHz）

MD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：85dB
高調波ひずみ率：0.1%（1kHz）

FMチューナー部
受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　：9dBf（IHF）
SN比　：70dB（IHF·A）
周波数特性　：30Hz ～ 15kHz±3dB
高調波ひずみ率：0.4%（1kHz）

AMチューナー部
受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　：28dBμV
SN比　：50dB

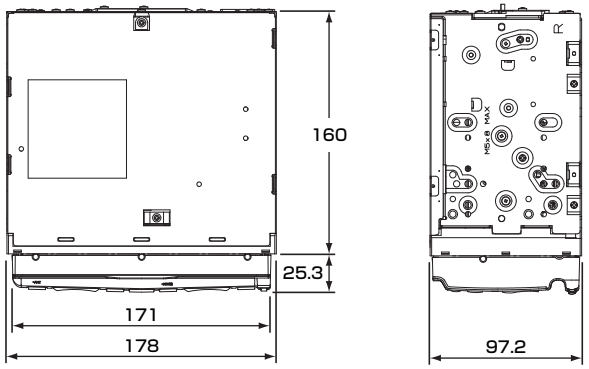
MP3/WMAプレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：85dB
高調波ひずみ率：0.1%（1kHz）

オーディオ部
定格出力　：16W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力：43W×4
適合インピーダンス：4Ω

共通部
電源電圧　：14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約4.2A（1W出力時）
外形寸法（本体）：178（W）×97.2（H）×185.3（D）mm

構成内容

外形寸法図（本体）



※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●DTSおよびDTSデジタルサラウンドは、米国DTS社の登録商標です。

●DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●“Memory Stick”（“メモリースティック”）、メモリースティックロゴ、“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）はソニー株式会社の商標です。

●「SDメモリーカード」「miniSD™」「microSD™」はSDアソシエーションの商標です。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

●GracenoteおよびCDDBは、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴ、ロゴ標記、および“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。

●VICSは、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●Windows Media™、およびWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●「マップクリップ®」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「iMapFan」および「ケータイ地図MapFan」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●スクエアビューには、インクリメントP株式会社、株式会社キャドセンター、株式会社パスコ作成の「MAPCUBE®」を使用しています。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●「個人宅電話番号データベース」は、日本ソフト販売（株）の「Bellemax®」（2006年7月収録）を収録しています。

●「ATRAC3」および「ATRAC3」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

●TV・雑誌情報は、(株)レインボー・ジャパンの所有するTeePeeデータを使用しています。

・「TeePee商標」は、株式会社レインボー・ジャパンの登録商標であり、TeePeeデータは(株)レインボー・パートナーズによりライセンス供与されています。

・「TeePeeデータ」の著作権は、株式会社レインボー・ジャパンに帰属します。同社の承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。

●iPod、iPod mini、iPod photo、iPod nanoは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

●Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

■Gracenote® Music Recognition Service℠ について

・音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenote®は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com
GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright © 2000-2007 Gracenote.
Gracenote Software：Copyright © 2000-2007 Gracenote.
この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用に Open Globe, Inc.から提供されました。

・GracenoteおよびCDDBはGracenote社の登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate

※Gracenote®はパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、データの内容を100%保証するものではありません。

※本機のデータベースは、2007年2月時点のものです。



Gracenote® Music Recognition Serviceのご利用の前に、以下の同意書をご一読ください。

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市の Gracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品は Gracenote の技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術は Gracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

・Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。

・標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。

・第三者に、Gracenote Embedded Software または Gracenote Data の譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。

・この文章中で明白に許可されたこと以外での Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。

・これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Database の全ての使用をやめることに同意すること。

・Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の所有権を含むすべての権利を保有しています。

・Gracenote はこの同意のもとで、Gracenote の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded Software や Gracenote Data の各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべての Gracenote Data の正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。Gracenote は Gracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Software が、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Software の機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenote は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来 Gracenote が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenote は、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenote は、Gracenote Component またはいかなる Gracenote Server の利用により生じた結果について保証しません。
Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

End User License Agreement for Devices (Revision J-2-1)

暗証番号照会申込書

盗難防止のために、本機に暗証番号を設定しておくことができます。
万が一設定した暗証番号をお忘れになった場合は、コード発行されたメモリーカード（**P.329**）と、下記の「暗証番号照会申込書」を弊社お客様相談室宛に郵送でお送りください。
「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ（**http://www.clarion.com**）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

暗証番号照会申込書

盗難防止機能の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クラリオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日　平成　　年　　月　　日

クラリオン株式会社 お客様相談室　行

1. 登録情報（本人確認するための情報になります。）

電話番号	セキュリティ機能を設定した際に入力した電話番号を記載してください。
自宅登録	ナビゲーションに自宅登録している場所（住所）をできるだけ詳しく記載してください。

2. お客様の連絡先（暗証番号の発行およびメモリーカードの返送先になります。）

氏 名	フリガナ	
住 所	フリガナ	
	局留め等の住所表記では受け付けることはできません。 〒	
電話番号		

※ 本人確認のため電話連絡させていただく場合があります。

＜申し込み手順＞
① 対応したメモリーカードをカードスロットに挿入します。
　メモリーカードを郵送していただきますので余分なデータは消去するようにしてください。
② 暗証番号入力画面から「コード発行」をタッチします。
　「コード発行」をタッチするとメモリーカードに解除コード発行に必要な情報が書き込まれます。
③ コード発行されたメモリーカードと本申込書を同封の上、クラリオンお客様相談室 宛に送付してください。
　送付先：
　　〒364-0007 埼玉県北本市東間 5-66
　　クラリオン株式会社 お客様相談室 宛

【個人情報保護に関して】
本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

索引

基：基本操作ガイド

あ

アーティスト名検索…… 251
アイコン・名称変更…… 56
アイコン設定…… 302
アイコンの移動…… 基-89
アイコン表示…… 332
愛称の変更…… 57
明るさ…… 355
明るさ（画質調整）…… 356
アナログ放送…… 168
アナログ録音…… 273
アルバム・登録地点画像…… 408
アルバムクローズ…… 282
アルバム削除…… 264
アルバム情報（データ編集）…… 402
アルバム情報の更新…… 402
アルバム情報の編集…… 263
アルバム選択再生…… 255
アルバム並べ替え…… 265
アルバム番号検索…… 253
アルバム名検索…… 250
アルバムリスト（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 249
アルバムリスト（アナログ録音）…… 278
アングルマーク表示時間設定…… 220, 221
暗証番号…… 328
アンテナの種類…… 331

い

位置調整…… 101
一般道の経路色…… 300
一般優先…… 91
緯度経度検索…… 79
色合い…… 356
色濃度…… 356

う

迂回計算…… 92

え

映像画面のサイズ…… 28
エリア切替…… 161

お

オーディオON/OFF …… 基-33
オーディオコントロールバー…… 基-41, 基-95
オーディオ設定…… 334
オーディオ操作キー…… 基-94
オーディオ背景画像…… 405
オートスケール…… 36
オートストア（テレビ）…… 182
オートストア（ラジオ）…… 158
オートプレイリスト…… 256
オートリルート…… 311
オープニング画面（データ編集）…… 409
オープニング画面の設定…… 366
お好み一括検索…… 61
お好み最短検索…… 63
お好み最短リスト登録…… 62
お好み最短リストの削除…… 62
お知らせ設定…… 124
お知らせ表示…… 364
音と音声設定…… 313

オリジナル…… 364
音声案内…… 314
音声案内アイコン選択…… 314
音声ガイド…… 332
音声言語…… 212
音声認識アンサーバック…… 314
音声を鳴らす距離…… 314
音量設定…… 315
音量調節…… 基-39
音量バランスの調整…… 353

か

カーソル表示…… 322
カード入れ忘れ警告…… 332
ガイド調整…… 390
ガイド表示…… 389
開閉ボタン…… 基-36, 基-37
拡大…… 35
画質調整…… 356
画質調整（リアカメラ）…… 389
カスタムボタンの割付…… 323
画像（データ編集）…… 403
画像の設定（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 263
画像の設定（ユーザー設定）…… 362
画像を探す…… 134
画像を探すメニュー…… 基-26
画面ON/OFF …… 基-34
画面サイズ切替（DVD） …… 222
画面サイズ切替（VTR） …… 381
画面設定…… 300
カレンダー …… 163
関係者以外立ち入り禁止区間… 基-60
カントリーコード…… 215

き

キーワード検索…… 52
機器情報…… 152
軌跡設定…… 304
軌跡の間隔…… 304
軌跡の消去…… 304
軌跡の表示……基-42, 304
軌跡保存…… 305
軌跡マーク…… 304
機能（CD・MD・MP3・WMA）…… 230
機能（DVDオーディオ） …… 207
機能（DVDビデオ） …… 207
機能（iPod） …… 289
機能（MD録音ファイル） …… 274
機能（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 254
機能（ラジオ・テレビ録音ファイル）…… 275
緊急放送…… 185

く

区間設定…… 97
グループ演奏…… 235
グループ設定…… 58
グループ選択…… 56
グループの編集…… 58
グループ名称変更…… 58

け

計算条件…… 88
計算と同時に地点登録…… 321
携帯電話を登録…… 140
経由地の削除…… 101
経由地の追加…… 99
経由地の並べ替え…… 100
経路情報…… 105
現在地表示…… 18
現在地ボタン…… 18

検索アイコン…… 68
検索アイコンの表示…… 302
検索結果画面表示…… 84

こ

広域ボタン…… 21
交差点案内…… 34
交差点表示…… 35
交通情報…… 121
ここに行く…… 88
個人情報初期化…… 191
コントラスト…… 356
コントロールバー自動消し…… 322

さ

サーチ…… 202
再音声…… 107
細街路誘導…… 基-62
再起動…… 327
最近聴いたアルバム…… 基-91
最近聴いた曲検索…… 252
再計算…… 91
最後の地図…… 73
再生停止…… 201
探すボタン……基-18, 262
探すボタンから選曲…… 262
サブチャンネル…… 167

し

時刻／日付表示…… 300
自車位置の精度…… 418
自車位置の調整…… 325
自車位置マーク……基-41, 300
自車周辺検索（TV・雑誌） …… 72
自車周辺検索（周辺検索）…… 64
施設情報…… 85
施設名称入力検索…… 50
施設名称入力検索（ハイウェイ）… 78
自宅…… 基-63
自宅登録…… 基-44
自宅へ戻る…… 45
自宅編集…… 321
視聴制限の設定…… 215, 216
指定条件のカスタマイズ…… 291
シティモード…… 32
シティモード自動切替…… 308
自動応答…… 152
自動録音…… 241
字幕・音声・アングルの切り替え…… 208
字幕言語…… 212
字幕表示…… 187
写真…… 164
シャッフル再生…… 289
車両設定（初期設定）…… 331
車両設定（ビーコン）…… 319
ジャンル検索…… 51
ジャンル検索（Mキャッチャー）…… 251
ジャンル検索（TV・雑誌） …… 71
ジャンル検索リスト…… 439
住所検索…… 47
渋滞考慮計算…… 317
渋滞情報…… 107
周波数設定…… 318
周辺検索…… 60
出荷状態に戻す…… 329
出発時刻指定…… 102
手動録音…… 242
条件指定再生（iPod） …… 290
詳細ボタン…… 21
状態表示…… 217
情報メニュー…… 基-24
情報を見る…… 110
初期設定…… 330
初期設定（DVD） …… 209

す

スキップ再生…… 279
スキャン再生
（CD・MP3・WMA） …… 230
スキャン再生（DVDオーディオ）
…… 207
スキャン再生（DVDビデオ） … 207
スキャン再生（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 254
スクエアビュー …… 32
スクエアビュー検索…… 83
スクエアビュー視点高…… 308
スクエアビュー自動切替…… 308
スクロール位置情報表示…… 300
スクロール時の地図表示…… 20
スケールの詳細調整…… 22
スピーカーゲイン…… 347
スピーカー設定…… 336
スピーカー選択…… 152
スマートインターチェンジ…… 31
スライドショー …… 136
スロー再生…… 206

せ

静止画データ…… 134
静止画データの編集…… 137
生年月日…… 362
接続可能なiPod …… 284
接続スピーカーの設定…… 339
接続チェック…… 326
設定／情報ボタン…… 基-20, 基-21
設定とメモリの初期化…… 152
設定メニュー…… 基-25
センサーの学習リセット…… 326
選択演奏（iPod） …… 290
選択演奏（Mキャッチャー）…… 255
全ルート表示…… 103

そ

操作音出力…… 314
操作パネル…… 基-28
操作パネルの開閉…… 基-36
操作パネルの角度調節…… 基-37
ソースの切り替え…… 基-66

た

タイムアライメント調整…… 345
ダイヤル…… 144
ダイレクト選曲（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 278
ダイレクト操作…… 205
ダイレクト操作アラート…… 219
タッチパネルの操作…… 基-92

ち

地域設定…… 188
遅延補正…… 187
地上デジタルTVチューナー …… 165
地上デジタル放送の設定…… 187
地図（交差点表示）…… 36
地図画面…… 基-40
地図の縮小、拡大…… 21
地図のスクロール…… 19
地図の向き…… 23
地図表示選択…… 300
地図表示の種類…… 25
地図表示の変更…… 24
地点登録…… 53
地点メニュー…… 基-26, 基-96
地名入力検索…… 49
着信音量…… 152
着信履歴…… 145
駐車場ニアピン…… 65
駐車場リレー検索…… 66

チルト機能…… 基-37

つ

次の案内…… 106

て

ディスクメニュー再生…… 203
データの消去…… 368
データ編集…… 400
データ放送…… 184
デジタル放送…… 168
デモ走行…… 104
テレビ…… 165
テレビの選局…… 178
電源ON/OFF …… 基-32
電話…… 139
電話受信…… 148
電話設定…… 152
電話帳…… 146
電話番号検索…… 46
電話番号変更…… 56

と

到着予想渋滞考慮…… 311
到着予想速度設定…… 312
盗難防止イルミ点滅…… 322
盗難防止設定…… 328
登録アイコン文字表示…… 302
登録地点（データ編集）…… 411
登録地点の削除（データ編集）… 412
登録地点の地図表示（データ編集）
…… 413
登録地点の編集（データ編集）… 412
登録地点編集…… 321
登録地の位置修正…… 57
登録地の音声案内変更…… 57
登録地の画像設定…… 57
登録地の削除…… 59
登録リスト検索…… 55
登録リストの表示方法…… 基-113
登録リスト編集…… 56
道路名検索…… 76
閉じる（DVDオーディオ） …… 199
閉じる（DVDビデオ） …… 198
閉じる（テレビ）…… 174
トラック削除…… 267
トラック情報
（CD・MP3・WMA） …… 232
トラック情報（iPod） …… 292
トラック情報（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 268
トラック情報の編集…… 266
トラック並べ替え…… 267
トラック番号検索（iPod） …… 288
トラック番号検索（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 253
トラック編集（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 266
トラック編集（アナログ録音）… 280
トラックリスト（iPod） …… 288
トラックリスト
（MD・MP3・WMA） …… 229
トラックリスト（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 249, 278
トラックリスト（アナログ録音）
…… 281
ドルビー PL Ⅱ設定 …… 341

な

ナビゲーションコントロールバー
…… 基-40, 基-94
ナビゲーションコントロールメニュー
…… 基-22
ナビゲーション操作キー…… 基-94
ナビ設定…… 298

ぬ

抜け道表示…… 308

の

ノイズコンシールメント…… 187

は

バーコード…… 86
ハードディスク情報…… 122
ハイウェイ検索…… 75
ハイウェイモード…… 29
ハイウェイモード自動切替…… 308
背景の設定…… 162
パスワードの消去…… 214
パスワードの編集…… 213
発信履歴…… 145
発話ボタン…… 393
バラエティボイス…… 315
パラメーター調整…… 349
パラメトリックEQ設定 …… 348
パラメトリックイコライザー … 348
バランス設定…… 353
パレンタルレベル設定…… 216
番組表…… 180
番号指定…… 253
販売店情報…… 127

ひ

ビーコンVICS情報 …… 116
ビーコン割込時間…… 319
左地図角度調整…… 309
左地図設定…… 308
表示画面の切り替え…… 基-38
表示先周辺検索（TV・雑誌） …… 72
表示先周辺検索（周辺検索）…… 64
昼画面…… 354
昼画面の地図色…… 301

ふ

フィルター調整…… 340
フォルダリスト…… 229
複数計算…… 93
ブライト…… 356
プログラムの読込み…… 322

へ

ペアリング…… 140

ほ

ボイスコントロール…… 392
放送局の登録（テレビ）…… 181
放送局の登録（ラジオ）…… 157
放送局名の編集…… 160
放送メール…… 189
方面看板表示…… 311
保険の満了日…… 363
ポジション…… 344
保存軌跡の削除…… 306
保存軌跡の表示…… 306
保存軌跡の表示解除…… 307
保存軌跡の名称…… 305
本体ブザー音…… 332

ま

マイアルバム…… 243
マイアルバムの作成…… 243
マイク感度…… 152
マイリスト検索…… 基-87
マイリスト登録…… 基-85
マイリストの整理…… 基-88
マップクリップ…… 86
マップコード検索…… 81
マルチチャンネル放送…… 167
マルチメーター表示……基-43, 300

み

右地図角度調整…… 309
右地図設定…… 308
右地図の縮小、拡大…… 28
ミュージックキャッチャー …… 238

め

メインチャンネル…… 167
メディアの出し入れ…… 基-68
メニュー言語…… 212
メニュー設定…… 365
メモリーカード…… 398
メモリーカード地点検索…… 82
メモリーカード内の登録地編集… 412
メモリーカードの再生…… 228
免許証の満了日…… 363
メンテナンス情報…… 123
メンテナンス情報の初期化…… 123

も

モード…… 208
目的地周辺検索（TV・雑誌） …… 72
目的地周辺検索（周辺検索）…… 64
目的地周辺検索（ハイウェイ）…… 77
目的地選択メニュー…… 基-23
目的地の解除…… 104
目的地の検索…… 44
目的地の設定…… 44
目的地表示…… 106
文字種類の切り替え……基-103
文字情報表示…… 316
文字入力…… 基-98
文字の編集……基-100
元画像…… 404
モニターサイズ切替…… 211
モニター設定…… 355
最寄りの入口…… 77

ゆ

ユーザー切替…… 358
ユーザー情報の編集…… 361
ユーザー選択…… 357
ユーザー選択画面表示…… 321
ユーザーの削除…… 360
ユーザーの登録…… 359
ユーザープロファイル編集…… 321
ユーザー名称変更…… 362
優先路…… 95
誘導画面の種類…… 311
誘導情報…… 108
誘導設定…… 310
郵便番号検索…… 80
有料道の経路色…… 300
有料優先…… 91

よ

よく行く場所…… 基-90
夜画面…… 354
夜画面の地図色…… 301

ら

ラジオ…… 153
ラジオの選局…… 156
ランダム再生
（CD・MD・MP3・WMA）… 230
ランダム再生（DVDオーディオ）
…… 207

ランダム再生
（Mキャッチャー・マイアルバム）
…… 254
ランドマーク…… 41
ランドマーク（VICS情報） …… 38
ランドマークの表示…… 303

り

リアカメラシステム…… 388
リアモニター …… 382
リスト（CD） …… 224
リスト（DVDオーディオ） …… 199
リスト（iPod） …… 285
リスト（MD） …… 226
リスト（MD録音ファイル） …… 274
リスト（MP3/WMA） …… 227
リスト
（Mキャッチャー・マイアルバム）
…… 247
リスト（テレビ）…… 174
リスト
（ラジオ・テレビ録音ファイル）
…… 276
リスト（ラジオ）…… 154
リスト送り……基-105
リストから発信…… 147
リストの絞り込み……基-107
リストの操作……基-105
リストのタブ切り替え……基-106
リストの並べ替え……基-111
リストの表示方法……基-112
リスト表示…… 163
リダイヤル…… 145
リピート再生
（CD・MP3・WMA） …… 230
リピート再生（DVDオーディオ）207
リピート再生（DVDビデオ） … 207
リピート再生（iPod） …… 289
リピート再生（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 254
リモコン…… 373

る

ルート…… 90
ルート確認…… 103
ルートサイド検索…… 67
ルートの計算条件…… 95
ルートの再計算…… 91
ルートの編集…… 98
ルート誘導中の音声案内…… 基-61
ルート誘導中の画面表示…… 基-57
ルート誘導中の地図表示…… 33

れ

レーン表示…… 311

ろ

録音設定…… 241

わ

ワンセグ…… 166
ワンセグ自動切替…… 187

A

AV2画面 …… 25
AV2画面での割込み …… 311
AV画面での割込み …… 311
AVボタン …… 基-34, 基-38

B

B-CASカード …… 170
B-CASカードのID情報 …… 190
Bluetooth …… 139

C

CD …… 223
CD-TEXTの優先表示 …… 234
CDについて …… 468

D

DRC …… 335
DVDオーディオ …… 197
DVDについて …… 468
DVDビデオ …… 197

E

EPG …… 180
ETC警告 …… 130
ETC情報 …… 131
ETC設定 …… 332
ETC予告案内 …… 129
ETC料金表示 …… 129
ETC割り勘 …… 133
ETC割込み時間 …… 333

F

FM VICS情報 …… 111
FUN RING …… 基-84

G

GPS情報表示 …… 327
GPS測位状態 …… 基-41

I

iPod …… 283
iPod画面 …… 414
iPod画面の設定 …… 295
iPod画面の取り込み …… 414
iPodビデオ …… 293

M

MD …… 223
MP3 …… 223
MP3について …… 469
MUSICモード …… 343

P

PURE MODE設定 …… 218

S

SA/PA図 …… 30
SA/PA図のマーク …… 30
SOURCE選択メニュー …… 基-19
SOURCEボタン …… 基-19, 基-33

T

TAG情報 …… 234
TAG情報の優先表示 …… 234
TV・雑誌情報 …… 413
TV・雑誌情報検索 …… 69
TVダイバーアンテナ …… 187
TV番組・雑誌名検索 …… 70

V

VICSアイコン情報表示 …… 316
VICS緊急情報 …… 115
VICS情報 …… 111
VICS情報画面 …… 37
VICS情報更新の通知 …… 316
VICS情報の種類 …… 115
VICS所要時間 …… 115
VICS図形情報 …… 115
VICS設定 …… 316
VICS表示項目選択 …… 318
VICS文字情報 …… 115
VIEWキー …… 24
VIEW設定 …… 308
VOLボタン …… 基-39
VTR機器 …… 380

W

WMA …… 223
WMAについて …… 469

Z

Z-ENHANCER …… 352

数字

12セグ …… 166
2D地図 …… 26
2ZONE …… 383
2画面 …… 25
3D地図 …… 26
3Dマップ角度調整 …… 309
3Dマップ星座表示 ……基-43, 300
50音検索入力支援機能 ……基-104